

(受学管 8 - 8)

小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事

図 面 リ ス ト											
No	図 面 名 称	SCALE	No	図 面 名 称	SCALE	No	図 面 名 称	SCALE	No	図 面 名 称	SCALE
00	表紙・図面リスト	-									
M	【機械設備】		A	【建築】					E	【電気設備】	
01	機械設備工事特記仕様書1	-	01	建築改修工事特記仕様書(1)	-	16	改修 1階天井伏図	1/100	01	電気設備工事特記仕様書1	-
02	機械設備工事特記仕様書2	-	02	建築改修工事特記仕様書(2)	-	17	改修 屋根伏図	1/100	02	電気設備工事特記仕様書2	-
03	付近見取図、配置図	1/500、1/5000	03	建築改修工事特記仕様書(3)	-	18	改修 立面図(1)	1/100	03	分電盤結線図・機器リスト	-
04	空調設備機器リスト	-	04	建築改修工事特記仕様書(4)	-	19	改修 立面図(2)	1/100	04	改修前 2階平面図	1/100
05	空調設備 1階平面図	1/100	05	建築改修工事特記仕様書(5)	-	20	現況 矩計図	1/30	05	改修後 1階平面図	1/100
06	空調設備 展開図	1/100	06	建築改修工事特記仕様書(6)	-	21	改修 矩計図	1/30	06	改修後 2階平面図	1/100
07	空調設備 立面図	1/100	07	建築改修工事特記仕様書(7)	-	22	建具符号図	1/200	07	改修後 断面展開図 - 1	1/100
08	施工標準図・参考図	-	08	建築改修工事特記仕様書(8)	-	23	建具リスト1	1/50	08	改修後 断面展開図 - 2	1/100
09	部分詳細図	図示	09	建築改修工事特記仕様書(9)	-	24	建具リスト2	1/50	09	改修後 断面展開図 - 3	1/100
			10	建築改修工事特記仕様書(10)	-	25	空調室外機置場 部分詳細図	図示	10	改修後 室外機廻り立面図	1/100
			11	現況 1階平面図	1/100	26	収納台車詳細図	図示	11	詳細図、配線系統図	1/100
			12	現況 2階平面図	1/100	27	(参考図)仮設計画1階平面図	図示	12	改修後外壁立面図	1/100
			13	現況 1階天井伏図	1/100	28	(参考図)仮設計画図	1/350	13	放送設備移設平面図・立面図	1/100
			14	改修 1階平面図	1/100	29	断面展開図(1)	1/100			
			15	改修 2階平面図	1/100	30	断面展開図(2)	1/100			

宇 治 市
株式会社 丸山建築事務所

機械設備工事特記仕様書 1

【工事概要】
1 工事場所 宇治市小倉町西畑1番地4
2 建物概要
建物名 構造 階数 延床面積(㎡) 消防法令別表第 耐震安全性の分類 備考
3 工事科目
工事科目 建物名称 体育館
空気調和設備
換気設備
排煙設備
自動制御設備
衛生器具設備
給水設備
排水設備
給湯設備
消火設備
ガス設備
さく井設備
厨房機器設備
浄化槽設備
医療ガス設備
撤去工事

【特記事項】
1 一般事項
1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(機械設備工編)令和7年版」(以下、「標準仕様書」という。)...
2) 工事種目に電気設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面及び各工事の標準仕様書による。

章 項目 特記事項
設備機材等 本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するものまたは、これらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。
機材の承諾 機材の承諾に際しては、原則として国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課営繕技術管理室監修の機械設備工事機材承諾図様式集(最新版)によるものとする。
機材の品質・性能証明 使用する機材が、(一)社公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿(最新版)」による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2(3)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。
現場代理人 本工事に当たっては、工事請負契約書第10条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監督職員の職務を兼ね、受注者との直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任する。
電気保安技術者技能士(一級) 配管(配管工事) 建築板金(ダクト製作及び取付け) 冷凍空気調和機器施工
工事用電力・水その他 本工事に必要な工事用電力・水などの費用は、引き渡し時まですべて受注者の負担とする。
官公署への手続き 官公署等への手続きは速やかに行い、それに要する費用は、すべて受注者の負担とする。
工事用板設物 構内に置くことができる。
足場・作業構台 別契約の関係者・受注者が定置したものは、無償で使用できる。
監督職員事務所 設置しない(本工事 別途)
監督職員事務所 下記の図書を監督職員事務所へ備え付ける。
建設副産物の処理及び建設発生土の処理 引き渡しを要するもの【建設副産物の処理 再生資源利用を図るもの【建設副産物 特別処理産業廃棄物 P C B 使用機器 臭化リチウム】】
再生資源利用(促進)計画・実施書の提出 詳細は現場説明書による。
1) 「建設発生土処理計画書」及び「建設副産物等処理計画書」を監督職員に提出する。
2) 関係法令等に従い、適正に廃棄物等を処理し、「建設発生土処理報告書」及び「建設副産物処理報告書」により監督職員に報告する。
3) 冷媒については関係法令に従い適切に破壊処分を行う(家電リサイクル法対象機器を除く)。(精込: 本工事 別途、処分費: 本工事 別途、運搬費: 本工事 別途)
アスベストの処理等
1) 次の資機材のアスベスト含有の有無は以下による。
ダクトパッキン 含有 不含 要調査(分析資料数:)
配管エルボ部保温材 含有 不含 要調査(分析資料数:)
煙道の断熱材 含有 不含 要調査(分析資料数:)
アスベスト成形板 含有 不含 要調査(分析資料数:)
アスベスト成形板の処理等
施工調査 アスベスト成形板の撤去に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。調査結果は図面により記録し監督職員に提出する。
・アスベスト成形板使用部位の確認・アスベスト成形板の種別・厚さ等の確認
・アスベスト成形板使用数量の確認・施工範囲等の確認
確認範囲 成形板の製造年等の確認 X線解析法
2) アスベスト含有調査は以下のとおりとする。(ただし、調査費用は 本工事 別途 とする。)
J I S A 1 4 8 1 - 2 「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部試験採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法」又は「J I S A 1 4 8 1 - 3 「建材製品中のアスベスト含有率-第3部: アスベスト含有率の X 線回折定量分析方法」による。
3) アスベスト含有資機材は関係法令に従い適切に処理する。調査の結果アスベスト含有が確認された場合の処理方法は監督員との協議による。

章 項目 特記事項
工事関係書類 営繕工事契約関係書類提出書類書式集5 一覧表により提出。
宇治市へ提出(参照www.city.uji.kyoto.jp)
履行報告 月報 2部 3部 毎月末日(初め、翌月の5日までに提出する。
工事写真 1) 国土交通省大臣官房官庁営繕部「営繕工事写真撮影要領(最新版)」による。
2) 工事完成時、整理の上、1部提出する。
3) 画像電子化については、現場説明書による。
完成図書 名称 内容 大きさ 部数
完成図 金文字製本 A4版 1部
完成図 背貼り製本(A3版) A4ファイル止め 2部
施工図 背貼り製本(1版) A4ファイル止め 2部
機器完成図等 機器製作図 ファイル止め A4版 2部
保守指導案内書(機器取説書を含む)
機器性能試験成績書・保証書・施工の試験成績書
諸官庁提出書類 副本 1式
原図 完成図 1部
完成写真 アルバム綴り 2部
電子納品については、現場説明書による。
著作権等 当該建物において取得する、施工図等の著作権に係わる当該建物に限る著作権は、発注者に委譲するものとする。
付属品及び予備品 標準仕様書による。
総合試運転調整 (測定結果は報告書にて提出) 風量調整(測定共) 水量調整(測定共) 室内外空気温度湿度測定
室内気流及びじんあいの測定 騒音の測定 室内温度測定(夏冬の切替による)
飲料水の水質の測定(項目) 雑用水の水質の測定(項目)
耐震施工 1) 設備機器の固定は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」により、計算を行い、監督職員に報告し承諾を得る。
2) 下記の設計用水平震度(KH)により、機器製作固定を行う。
設置場所 特定の施設 一般の施設
上層階、屋上及び塔屋 2.0(2.0) 1.5(2.0) 1.5(2.0) 1.0(1.5)
中間階 1.5(1.5) 1.0(1.5) 1.0(1.5) 0.6(1.0)
1階及び地下階 1.0(1.0) 0.6(1.0) 0.6(1.0) 0.4(0.6)
注1 耐震安全性の分類が甲類の建物は特定の施設を、乙類の建物は一般の施設を適用する。屋外に設置する機器は建物の耐震安全性の分類に準じる。ただし、敷地内に甲類の建物と乙類の建物が混在する場合は、特定の施設を適用する。
注2 ()内の数値は、防振支持の機器の場合に適用する。
注3 設計用鉛直震度は、設計用水平震度の1/2とする。
注4 上層階の定義は、6階建以下の場合は最上階、7~9階建の場合は上階2階。
注5 重要機器(水槽類)は、下記に示すものとする。(水槽類にはオイルタンク等を含む。)
注6 「建築設備耐震設計・施工指針(2014年版)」による形鋼振れ止め支持を行う場合は、SSA種とする。ただし、取付け金物については標準図に準ずる。
一般用弁 標準仕様書第2編2.2.1(ア)~(シ)によるほか、下記による。
1) 水道直結部及び図面特記部の耐圧は10K以上、その他は5K以上とする。
2) 給水・給湯用の青銅製弁は、給水用青銅弁を使用する。
フレキブルジョイント 機器廻りに取付けるフレキブルジョイントは、鋼板に対してはペローズ形、FRPに対しては合成ゴム製とする。
鋼管用伸縮管継手 ペローズ形 スリーブ形
溶接接合 溶接部の非破壊検査は、適用しない
適用する(放射線透過検査 浸透深層検査又は磁粉深層検査)
地中埋設管及び埋設表示用テープ 1) 給水管 地中埋設管(要 不要) 埋設表示用テープ(要 不要)
2) 消火管 地中埋設管(要 不要) 埋設表示用テープ(要 不要)
3) ガス管 地中埋設管(要 不要) 埋設表示用テープ(要 不要)
4) 油管 地中埋設管(要 不要) 埋設表示用テープ(要 不要)
5) プライン管 地中埋設管(要 不要) 埋設表示用テープ(要 不要)
用途表示のあるテープ(幅は150mm以上)で、2倍以上重ね合わせて使用する。
防食処理 地中埋設の排水用塩ビライニング鋼管は、防食処理を行う。
保温
1) 保温材の仕様は、下記による。
給水管・排水管 ポリスチレンフォーム保温材
排煙ダクト・煙道、排気筒 ロックウール保温材
その他 グラスウール保温材 ロックウール
2) 鋼板製タンクの保温 必要 不要
3) 保温を施す膨張タンク等の蓋の保温 必要 不要
4) エア抜管の保温厚は20mmとし、仕様は当該配管の項に準ずる。また、保温を行う範囲はエア抜弁までとする。
5) 露出配管の保温外装種別は、下記による。
・屋内 合成樹脂カバー1 合成樹脂製カバー2 カラー亜鉛鉄板
・屋外 ステンレス鋼板(つや消し)
6) 弁、ストレーナ等の金属製カバー外装種別は、下記による。
・屋内 カラー亜鉛鉄板 ステンレス鋼板
・屋外 カラー亜鉛鉄板 ステンレス鋼板
7) 車庫内のダクト及び配管の保温は、機械室による。
8) 合成樹脂製支持受 硬質ウレタンフォームに準ずるもの
ヒーズ法ポリスチレンフォームに準ずるもの
塗装 (露出施工部) 標準仕様書によるほか、下記により塗装(指定色)を行う。ただし、保温を行うものは除く。
屋外(ダクト配管) 屋内居室(ダクト配管) 廊下(ダクト配管)
屋内PS・EPS(ダクト配管) 屋内機械室・電気室(ダクト配管)
吹出口及び吸込口ボックス ボックスの材質について、特記がない場合は亜鉛鉄板製とする。ただし、グラスウール製とする場合はJISA4009(空気調和及び換気設備用ダクトの構成部材)によるものとし、厚さ0.6mm以上の亜鉛鉄板で補強を施したものである。
ボックスの吊りは3点支持を標準とし、これによらない場合は監督職員との協議による。
ｽﾚﾝﾀﾞ製ｸﾞﾗﾝﾌﾞ外板厚 ステンレス製ダクトの板厚は J I S A 4 0 0 9 2 0 1 7 による
PF管で配管する場合は、樹脂製ボックスを使用する。
容量等の表示 機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。ただし、電動機の出力、燃料消費量及び圧力損失は、表示された数値以下とする。
誘導電動機 電動機出力が0.75kW以上の低圧三相かご形誘導電動機の規格は、J I S C 4 2 1 3 (低圧三相かご形誘導電動機-低圧トランプランナーモータ)による。
開放形膨張タンク等 開放形膨張タンク、補給水タンク及び消火用充水タンクの材質は次による
鋼板製 ステンレス鋼板製
電線及び電線管 電線及び電線管については標準仕様書第4編第1章第5節による

章 項目 特記事項
はつり及び穴開け 1) 既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターを使用する。
2) 復旧はモルタル補修までとする。
インサート及びアンカー あと施工アンカー等を行う場合は、改修標準仕様書第2編第5章による。
施工後確認試験 行う(国土交通省大臣官房官庁営繕部の公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)8章12節8.1.2.7による。)
防煙ダンパー及び防火防煙ダンパー 復旧方式は 遠方復帰式(電気式(定格入力DC24V0.6A以下))
手動復帰式
消音内貼 ダクト及びチャンパー、消音エルボの内貼り(箇所図示)は下記による。
・消音内貼り部分の外部保温は 不要 必要
・チャンパーの寸法は、外形寸法を示す。(ただし、ダクト及び消音エルボは、内形寸法を示す。)
・点検口は内貼り仕様又は断熱戸とする。
ドレン抜き取付枠 外壁に面するガラリに直接取付けるチャンパー類に必要に応じ設ける。
防火区画部に取付ける吹出口、吸込口等で取付枠を必要とするものは鋼枠を使用する。
機器の基礎 アンカーボルト及びビットは、下記による。
・屋外、多湿室等(溶融亜鉛めっき2種35 ステンレス鋼製(SUS304))
・その他(一般品)
機器側の材質がSUS製の場合は、SUS製とする。
防火区画 平面階 図示
指示板 機械室に操作順序、注意事項、連絡先及び系統図などを画いた指示板(文字標識)を設ける。
天井仕上区分 ()書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。
給油設備 オイルタンク 地下 屋内
遠隔油量指示計 設ける 設けない
副指示計 設ける 設けない
オイルサービスタンク 油面計 ゲージ式 ガラス管式
油面制御装置の機能は下記による。
給油ポンプの起動、停止制御用
返油ポンプの起動、停止制御用
満油警報
遠隔警報(減油 満減油)
配管用炭素鋼管(黒)
ポリエチレン被覆鋼管
建物導入部配管 標準図施工4(a)(フレキブルジョイント 埋設用フレキシブルジョイント)
標準図施工5(b)(ボールジョイント)
標準図施工5(c)(スリークッション)
鋼材 屋外露出部分 溶融亜鉛めっき2種35
ステンレス鋼製(SUS304)
制御及び操作盤 構成 連相コンデンサー
運転時間計
表示等 運転(赤色)及び停止(緑色)表示
保護継電器の動作表示
接点及び端子 遠方復帰用端子
湿度調節器用端子
運転時間表示用端子
温水出入口温度用端子
冷水出入口温度用端子
消費電力表示用端子(ボイラーの場合、小型貫流ボイラーに適用)
給水量表示用端子(ボイラーの場合、小型貫流ボイラーに適用)
燃料消費量表示用端子(ボイラーの場合、小型貫流ボイラーに適用)
空方式 全空気方式(中央 各階ユニット)
ファンコイル・ダクト併用方式 個別方式
主要熱源機器 吸収冷凍水機 チリングユニット 空気熱源ヒートポンプユニット
空冷ヒートポンプ式パッケージ型空気調和機(EHP GHP)
設計時の温湿度条件 場所 屋外 屋内(調整目標値)
時期 温度(DB) 湿度(RH) 温度(DB) 湿度(RH) 温度(DB) 湿度(RH)
冬期 0.4 40% 2.2 40%
夏期 36.9 50% 2.6 50%
長方形ダクトの工法 アンクルフランジ工法
コーナーボルト工法(共板フランジ工法 スライドオンフランジ工法)
ダクトの分岐方法 剥込み工法
直付け工法
配管材料(図面特記部分は除く) 冷水水管 配管用炭素鋼管(白) 一般配管用ステンレス鋼管(SUS304)
冷却水管 配管用炭素鋼管(白)
硬質塩化ビニルライニング鋼管(SGP-VA、SGP-FVA)
ドレン管 配管用炭素鋼管(白)(ねじ接合 MDジョイント)
水配管用亜鉛めっき鋼管
硬質ポリ塩化ビニル管(VP) 保温付VP管
リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VVP)
蒸気配管 給気管 配管用炭素鋼管(黒)
遠管 圧力配管用炭素鋼管(黒)
補給水管 配管用炭素鋼管(白)
膨張管 配管用炭素鋼管(白)
エア抜管 配管用炭素鋼管(白)
加湿給水管 硬質塩化ビニルライニング鋼管(SGP-VA、SGP-FVA)
一般配管用ステンレス鋼管(SUS304)
冷媒管 鋼管 断熱材被覆鋼管(ガス管:ハイグレード仕様)
パッケージ型空気調和機の2次側電気配管配線の仕様は製造者の標準仕様とする。
冷媒管接続方法:火無工法(ファイヤレスジョイント使用)とする。
温度計 工業用バイメタル式温度計
ガラス製棒状温度計 ガラス製二重管温度計
メカニカル形
変風量ユニット 風速センサー形(プロペラ形センサー 熱線センサー)
カセットファンコイルユニット 結露防止措置を施した亜鉛鉄板製
自己消火性のポリスチレンフォーム
ボイラー-燃焼制御方式 オン・オフ制御式(直接始動式 低燃費始動式)
ハイ・ロー・オフ制御式 比例制御式
遠心・スクリュウ凍冷機 電動機駆動 連相コンデンサー(要 不要)
排熱型冷凍水機 排熱投入型再生器 有り 無し
高温再生器の構造 図面による。
コージェネレーション装置 発電方式 原動機、発電機 燃料電池
熱回収装置 温水熱交換機 排ガスボイラー 排ガス熱交換機
熱回収用ポンプ その他
その他装置等 補機付制御装置 冷却塔(放熱用)
集中管理リモコン 表示機能 屋外機吸込温度 空調エネルギー-使用量按分 運転時間積算
室内温度
データ管理機能 屋外機吸込温度 空調エネルギー-使用量按分 運転時間積算
室内温度
外部記憶媒体への出力

Table with 4 columns: 株式会社 丸山建築事務所, 板橋 品一, 構造設計, 名称, No.
Table with 4 columns: 株式会社 丸山建築事務所, 板橋 品一, 構造設計, 名称, No.
Table with 4 columns: 株式会社 丸山建築事務所, 板橋 品一, 構造設計, 名称, No.

機械設備工事特記仕様書 2

章	項目	特記事項
空気調和設備	銅板製煙道 (ボイラー)	厚さ 3.2mm 4.5mm ばい煙濃度計の取付座 ばいじん量測定口 伸縮継手 掃除口
	ばい煙濃度計 (ボイラー) 瞬間流量計	送風機なし 送風機あり (電源は熱源機器付属制御盤より取出し、配管配線共本工事に含む) 固定形 個 着脱可能形 (測定用タッピング 個 本体 個)
換気設備	保温 (図面特記部分は除く)	1) 冷媒管の保温外装は下記による。 ・屋内 隠れ部 不要 必要 露出部 保温化粧ケース (塩化ビニル樹脂製) ビニル化粧テープ巻き ・屋外 ステンレス鋼板 (つや消し) アルミ合金製 保温化粧ケース (樹脂製 溶融亜鉛めっき鋼板製) ステンレス鋼板製 ・保温化粧ケースの下部カバー 必要 不要 2) ファンコイルユニット等のドレン管の保温は、給排水設備工事の排水管による。 3) 加湿用給水水槽の保温は膨張タンクに準ずる。 4) トラフ内の油管はプラスチックテープ1/2重ね1回巻きとする。
	ダクトの工法	アングルフランジ工法 コーナーボルト工法 (共板フランジ工法 スライドオンフランジ工法) スパイラルダクト アルミフレキシブルダクト
換気設備	ダクトの分岐方法	給気ダクト 割込み方式 直付け方式 排気ダクト 割込み方式 直付け方式
	厨房排気ダクトの板厚	厨房排気ダクトは亜鉛鉄板製とし、板厚は下記による。
換気設備		ダクトの長辺 板厚 450mm以下 0.6mm 450mmを超え1200mm以下 0.8mm 1200mmを超え1800mm以下 1.0mm 1800mmを超えるもの 1.2mm
	排気フード	1) 排気フードの補強・支持金物・接合剤等は、亜鉛鉄板製ダクトの当該事項によるものとし、材質は下記による。 ステンレス鋼板 (補強共) 2) 排気フード廻りに取付ける幕板は、上記フードと同材質とする。 本工事 別途工事 3) グリスフィルターの予備 不要 必要
換気設備	保 温	浴室・厨房 (多湿箇所) の外気取入ダクトの保温 不要 必要 外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) 不要 必要 全熱交換器までの外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) 不要 必要 全熱交換器以降の外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) 不要 必要 保温を行う場合の仕様は標準仕様書第2編第3章第1節による。
	排煙対象部分	廊下 事務室 図示 最大面積 m52
排煙設備	ダクトの種類	高圧1ダクト 高圧2ダクト
	ダクトの工法	アングルフランジ工法
排煙設備	ダクトの材料	亜鉛鉄板製 鋼板製 (1.5mm以上)
	排煙口	1) 形 状 スリットフェース形 パネル形 ダンパー形 2) 排煙口の開放 手動 (機械式 電気式) 煙感知器連動 3) 復帰装置 手元復帰式 (手動式 電気式) 遠方復帰式 4) ダンパー本体及び操作箱との渡り配線は本工事とし、それ以降の制御配管配線は別途工事とする。
換気設備	保温	床下及び暗渠内の保温 不要 必要 (図示) 図面による。
	自動制御	
衛生器具設備	小便器用節水装置	電気供給方式 A C 電源 乾電池 自己発電
	自動水栓	電気供給方式 A C 電源 乾電池 自己発電 手動スイッチ 無し 有り
衛生器具設備	大便器用洗浄弁	操作方式 手動式 電気開閉式 (センサー式 タッチスイッチ式)
	水石けん入れ	手洗器一体型 手洗器分離型
衛生器具設備	車椅子使用者用器具	1) 大便器洗浄弁 センサー式 タッチスイッチ式 レバー式 2) 洗面器の水栓は自動水栓とする。
	給水方式	水道直結方式 高置タンク方式 水道直結増圧方式 (水道用直結加圧形ポンプユニット) ポンプ直送方式 (小型給水ポンプユニット)
給水設備	配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内配管 一般配管用ステンレス鋼管 (S U S 3 0 4) (呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合) 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (H I V P) ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (S G P - P A , S G P - F P A) 硬質塩化ビニルライニング鋼管 (S G P - V A , S G P - F V A)
	地中配管 [屋内]	一般配管用ステンレス鋼管 (S U S 3 1 6) (呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合) 水道用ポリエチレン二層管 (5 0 A 以下) (1 種 2 種) (接合方法 メカニカル 電気融着) 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (H I V P) ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (S G P - P D , S G P - F P D) 硬質塩化ビニルライニング鋼管 (S G P - V D , S G P - F V D)
給水設備	地中配管 [屋外]	一般配管用ステンレス鋼管 (S U S 3 1 6) (呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合) 水道用ポリエチレン二層管 (5 0 A 以下) (1 種 2 種) (接合方法 メカニカル 電気融着) 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (H I V P) ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (S G P - P D , S G P - F P D) 硬質塩化ビニルライニング鋼管 (S G P - V D , S G P - F V D)
	緊急遮断弁装置	必要 不要 駆動方式 電気式 機械式
給水設備	量水器	現地表示式 (直読式) 遠隔表示式 (パルス式)

章	項目	特記事項
給水設備	水栓柱	合成樹脂製 (7 0 x 7 0 x 1 3 0 0 H) ステンレス製 () アルミニウム合金製 () 不凍水栓柱 ()
	管の埋設深さ	特記なき場合、水栓取付け高さは約600とする。 1) 一般敷地 300mm 2) 構内車両通路 600mm 3) 寒冷地では凍結深度以上とする。
給水設備	埋戻し及び盛土	良質土 再生コンクリート砂 山砂
	加入金・負担金	不要 必要 (別途 本工事)
給水設備	本管引込工事	本工事 (舗装本復旧まで 舗装復旧まで) 別途工事
	排水方式	汚水と雑排水 [屋内] 分流式 合流式 汚水・雑排水と雨水 [屋外] 分流式 合流式 ポンプアップ排水 有り (雑排水 汚水 雨水 湧水 浄化槽2次側) 無し
排水設備	放流式	汚水 直放流下水管 浄化槽 雑排水 直放流下水管 浄化槽 別途樹・側溝 浸透樹 雨水ポンプアップ排水 直放流下水管 雨水側溝 雨水樹 湧水ポンプアップ排水 直放流下水管 雨水側溝 雨水樹
	配管材料 (図面特記部分は除く)	水道用亜鉛めっき鋼管 配管用炭素鋼管 (白) (ねじ接合 M D ジョイント) 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 硬質ポリ塩化ビニル管 (V P) 保温付ビニル管 (V P) 排水・通気用耐火二層管 (V P)
排水設備	屋内汚水管	排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 硬質ポリ塩化ビニル管 (V P) リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (R F - V P) 排水・通気用耐火二層管 (V P)
	通気管	配管用炭素鋼管 (白) (ねじ接合 M D ジョイント) 硬質ポリ塩化ビニル管 (V P) リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (R F - V P) 排水・通気用耐火二層管 (V P)
排水設備	露出配管 [屋外]	硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー V P) リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 (R S - V U)
	地中配管 [屋外]	硬質ポリ塩化ビニル管 (V P V U) リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 (R S - V U) 保温付ビニル管 (V P)
排水設備	鋼管類のポンプアップ排水用の配管は、硬質塩化ビニルライニング鋼管 (S G P - V A , S G P - F V A) (地中配管は S G P - V D , S G P - F V D) とし、継手はフランジ接合とする。	
	負担金	不要 必要 (別途 本工事)
給湯設備	本管接続工事	本工事 (舗装本復旧まで 舗装復旧まで) 別途工事
	給湯方式	中央式 局部式
給湯設備	配管材料	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 (S G P - H V A) 一般配管用ステンレス鋼管 鋼管 (壁又は床埋設をする場合は、保温付被覆鋼管を使用してもよい。) 被覆鋼管
	保温	ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇所の保温は、標準仕様書第2編3.1.5の表2.3.5による。
消火設備	消火設備の種類	屋内消火栓 スプリンクラー 泡消火 不活性ガス消火 () 連結送水管
	配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内配管 配管用炭素鋼管 (白) 圧力配管用炭素鋼管 (白 S c h 4 0) 一般配管用ステンレス鋼管 地中配管 [屋内] [屋外] 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (S G P - V S) 消火用ポリエチレン管 (P E)
消火設備	保温	消火用充水タンクの保温を 施工する (膨張タンクによる) 施工しない 消火用呼水タンクの保温を 施工しない 施工する (膨張タンクによる) 屋外露出管の保温を 施工しない 施工する (給水管の保温仕様準ずる) 屋内露出管の保温を 施工しない 施工する (給水管の保温仕様準ずる) トレンチ内の保温を 施工しない 施工する (給水管の保温仕様準ずる)
	ガスの種類	都市ガス (発熱量 4 5 , 0 0 0 k J / N m 3 k J / N m 3) 液化石油ガス (5 0 k g 本立 2 0 k g 本立)
ガス設備	ガスメーター	親メーター 貸与品 購入 子メーター 購入 貸与品 計量方式 (実測式 パルス式)
	配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内配管 配管用炭素鋼管 (白) 地中配管 [屋内] [屋外] ポリエチレン被覆鋼管 ガス用ポリエチレン管
ガス設備	地中配管の接合方法	都市ガスの場合は、供給者仕様による。 S G M 工法 ネジ工法 P E 管工法
	ビット内施工法	溶接工法
ガス設備	負担金	不要 必要 (別途 本工事)
	本管接続工事	本工事 (舗装本復旧まで 舗装復旧まで) 別途工事
設備	排水弁設備	掘削工法 バークッション式 ロータリー式 ダウンザホールハンマ式 回転振動式 掘削工法 深度 () m
	孔口保護管	ケーシング材質 配管用炭素鋼管 (黒) 配管用ステンレス鋼管
設備	地中熱交換弁設備	掘削工法 回転振動式 ロータリー式 ダウンザホールハンマ式 掘削工法 ロータリーバークッション式
	厨房機器	図面による。

章	項目	特記事項
浄化槽設備	形式	ユニット形 現場施工形
	処理方法	小規模合併処理 (図面による) 合併処理 (図面による)
設備	医療力ス	図面による。
	その他	コア抜き (ダイヤル穴明け) 鉄筋探査機により探査し鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 校正記録 試験機器類の校正記録を提出する。 交通安全員 機器類搬入時、撤去材搬出時、外部掘削時に配置する。 保安器材 カラーコーン、コーンウェイト、コーンバーにて囲いながら掘削する。 鉄板敷き 1.524 x 6.096 x 厚2.2mm 文字標識 機器類 配管表示

別表 付属品・予備品

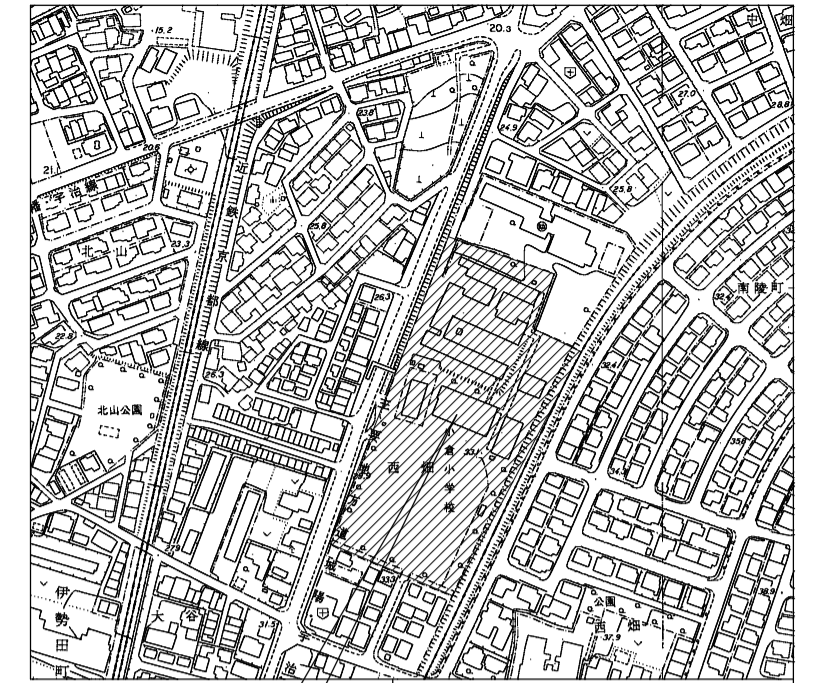
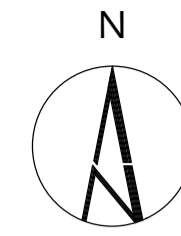
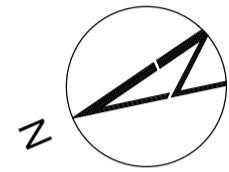
工具箱 (ドライバー、モンキーレンチ、組スパナ、ハンマー)	マンホールフック	パイプレンチ	ポンプブライヤー	ラバークップ (大、小)
イーゼルキャビネット	箱	キーボックス		

盤類予備品 (ランプ及びヒューズの100%)

試験・検査

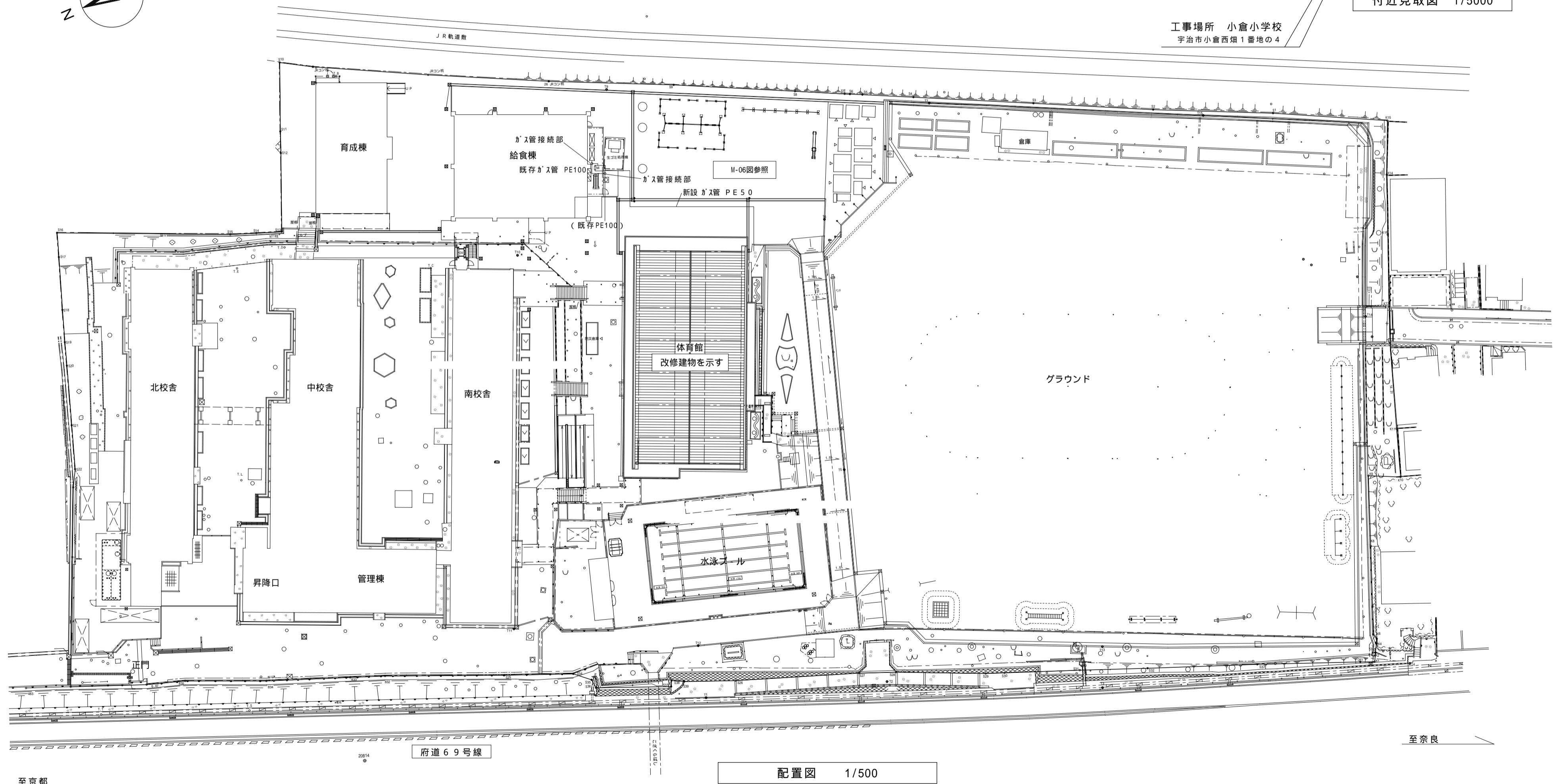
水圧試験	排水滴水試験	排水通水試験	機器類動作試験	風量測定	吹出口温度測定
気密試験	気密試験	点火試験	振動測定	絶縁試験	
消防設備試験	水質検査	水槽水張り試験	アンカー引張試験 (有資格者) (室内機)		

株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 品一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 () 構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. M - 0 2
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した 一級建築士登録 大臣 () 構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号 ()	図名 機械設備工事特記仕様書 2	縮尺 A2: - A3: -



付近見取図 1/5000

工事場所 小倉小学校
宇治市小倉西畑1番地の4



配置図 1/500

至京都

至奈良

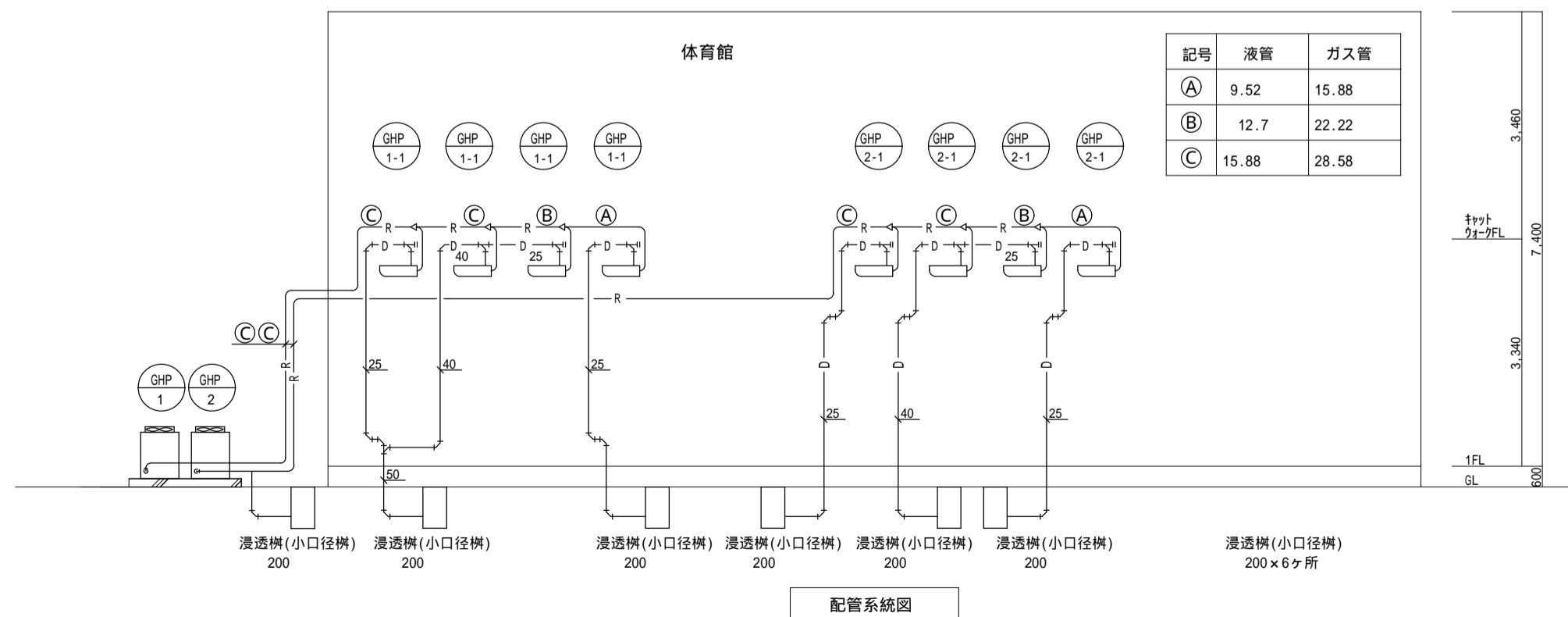
株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号		構造設計	一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称	小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事	No.	M-03
			構造/設備関係規定 への適合を確認した	一級建築士登録 大臣 ()	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号 ()	図名	付近見取図、配置図	縮尺 A2: 1/500-1/5000 A3: -	

空調・換気機器リスト (新設)

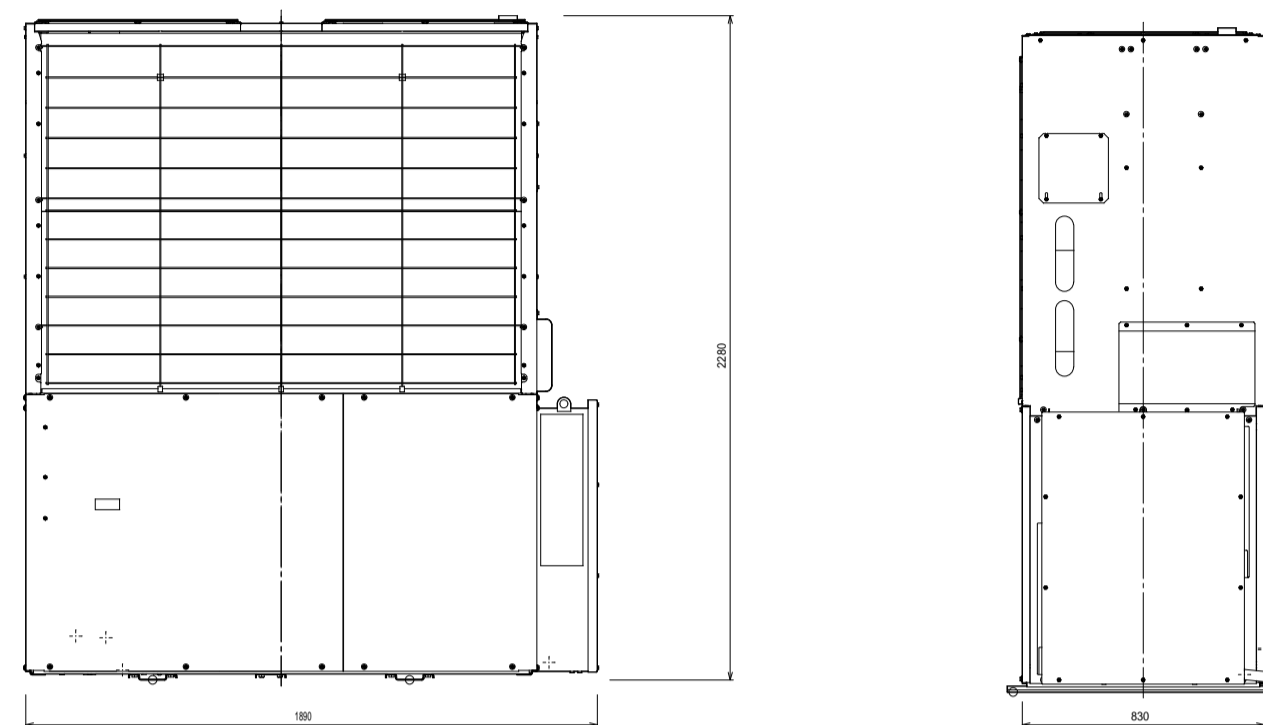
機器番号	機器名称	機器仕様	台数	据付位置	備考 (参考メーカー品番)
GHP 1	ガス・トホン [®] エアコン (GHP室外機)	定格冷房能力 56.0 kW 定格暖房能力 63.0 kW	2	屋外	YBZP560L1DBM (同等品)
	屋外据置型	室外ファン電動機 750.0W x 2台 燃料種別 13A			
GHP 2		燃料消費量冷房 41.9 kW 燃料消費量暖房 39.7 kW	4		RBP72Y (同等品)
		電源 単相 200V 1260W			
		外形寸法 (W x L x H) ・質量 1890 x 830 x 2280mm 965kg	2	屋外	K-KSVP1081 (同等品)
		冷媒分岐ジョイント (Y分岐管) 含む	2	屋内運動場	KAF501B160 (同等品)
		冷媒分岐ジョイント (Y分岐管) 含む	2	屋外	A08560J (同等品)
		防振パッド	2	屋内運動場	LT301B1 (同等品)
		予備フィルター	2	屋外	
		自立運転スイッチ	2	屋内運動場	
		スグローブカバー	1	屋外	
		その他附属品一式			
		防護ネットフェンス	1	屋外	
GHP 1-1	ガス・トホン [®] エアコン (GHP室内機)	定格冷房能力 14.0 kW 定格暖房能力 16.0 kW	8	屋内運動場	YZHP140NA (同等品)
	天井吊形	風量強 28.5 m3/min			
GHP 2-1		ファン電動機 182.0W x 1台	2	屋内運動場	RBPP33Y (同等品)
		電源 (単相) 200V60Hz			
		外形寸法 (W x L x H) ・質量 1590 x 690 x 235mm 43.0kg	2	屋内運動場	LC1G3 (同等品)
		REFNET [®] ヲイント (冷媒分岐器)	8	屋内運動場	
		運転スイッチ・液晶操作パネル	2	屋内運動場	
		その他附属品一式			
		防護ゲート	8	屋内運動場	
AF 1	エア搬送ファン (標準タイプ)	消費電力 1 100V 83.0W 騒音 46.5dB	6	屋内運動場	AH-2009SA (同等品)
	天井面取付 (端子台接続方式)	風量 1450.0m3/h 平均吹出風速 8.6m/s			
		外形寸法 (W x L x H) ・質量 900 x 222 x 197mm 11.0kg	2	屋内運動場	三菱電機 (同等品) FS-08AHS2
		コントロールスイッチ 1 100V (ON/OFF用)	6	屋内運動場	三菱電機 (同等品) AH-G30
		エア搬送ファン用防球ガード			
		その他附属品一式			

注記 1 フィルタ - の予備は室内機器と同等を納品する。

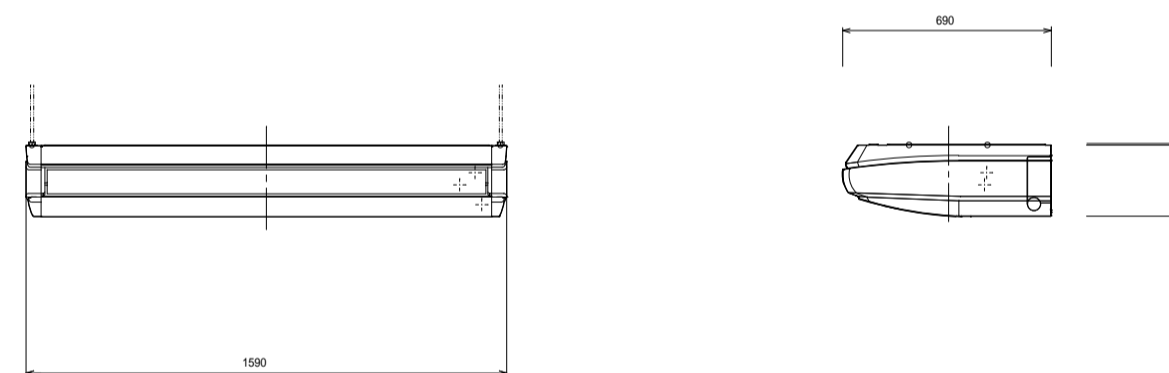
- 1、室外機と室内機の制御渡り操作線は冷媒管と共巻き。本工事 制御ケーブルはEM-C E E 1.25 X 2 Cとする。
- 2、室外機と室外機の渡り用配管、配線 (EM-C E E 1.25 X 2 C 2本) 結線調整は本工事。
- 3、ガスエアコン屋内ユニットリモコンスイッチは4台で1系統運転とする。 防球ガードは取り付ける。
- 4、ガスエアコンウィークリタイマースイッチは4台で1系統運転とする。
- 5、エア搬送ファンのコントロールスイッチは3台で1系統運転とする。 防球ガードは取り付ける。
- 6、エア搬送ファンのコントロールスイッチは電気設備業者に支給する。機器運転調整は本工事。
- 7、ガスエアコン屋外ユニットは、マルチマウント防振パッド敷きとすること。



ガス・トホン[®]エアコン (GHP室外機) 屋外据置型



ガス・トホン[®]エアコン (GHP室内機) 天井吊形



NO	品 目	製 造 者 名 簿
1	ガスエアコン	アイシン精機 (株) パナソニック (株)
		ヤンマ・エネルギー・システム (株)
2	換気扇、ファン類	三菱電機 (株) パナソニック (株)
		日立アプライアンス (株)
3	保温付硬質塩化ビニル管	積水化学工業 (株) ACD型
		因幡電機産業 (株) NDD型
4	屋内機用防球金具	日晴金属 (株) 因幡電機産業 (株)

株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第レ39号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. M-04
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した	構造設計/設備設計 一級建築士登録 大臣 () 一級建築士登録 交付番号 ()	図名 空調設備機器リスト	縮尺 A2: - A3: -

配管凡例

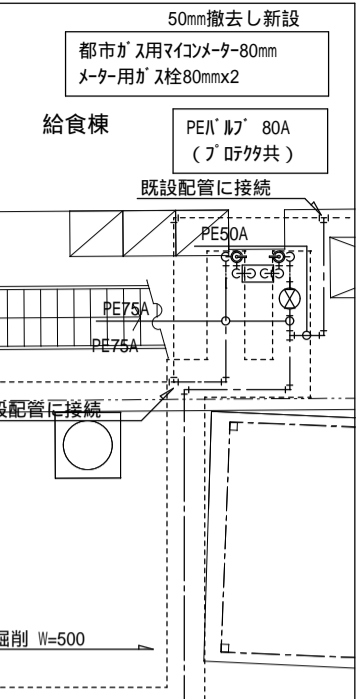
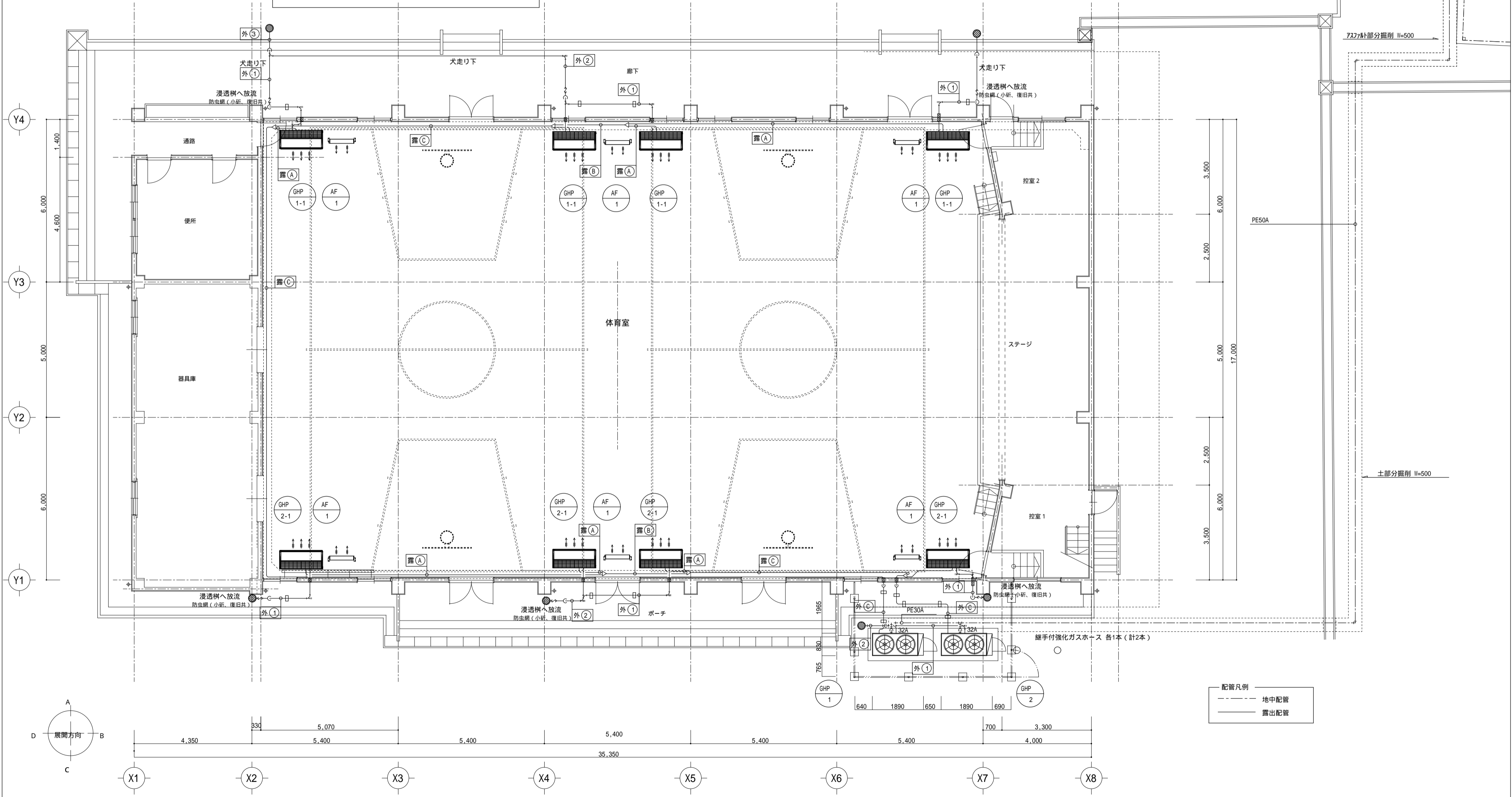
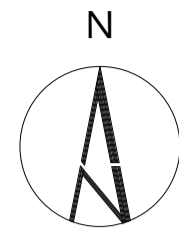
A 冷媒管 9.52/15.88
 B 冷媒管 12.7/22.22
 C 冷媒管 15.88/28.58
 ① ドレン管 VP(25)
 ② ドレン管 VP(40)
 ③ ドレン管 VP(50)

露...屋内露出配管 金属ダクト・RII保温
 外...屋外配管 ステンレス鋼板・RII保温
 冷媒配管はR/Gレートを使用する
 ドレン排水管 保温仕様 屋内 保温付き ビニ管 (VP管)
 屋外 加ヒビニ管 (VP管)
 地中 ビニ管 (VP管)

1 屋内冷媒配管は金属ダクト (指定色400x200)を施す。
 2 冷媒配管は出入口等に干渉しない高さを確保する。
 3 室内機には防護柵等取り付け、外部からの衝撃を防止する。
 4 屋外冷媒配管支持は形鋼振止支持点間6m以下とする。

樹リスト 樹取付後のコンクリート補修は建築工事とする

記号	名称	寸法	深さ	マンホール蓋
●	浸透樹(小口径樹)	200	300mm	200 (防臭蓋)



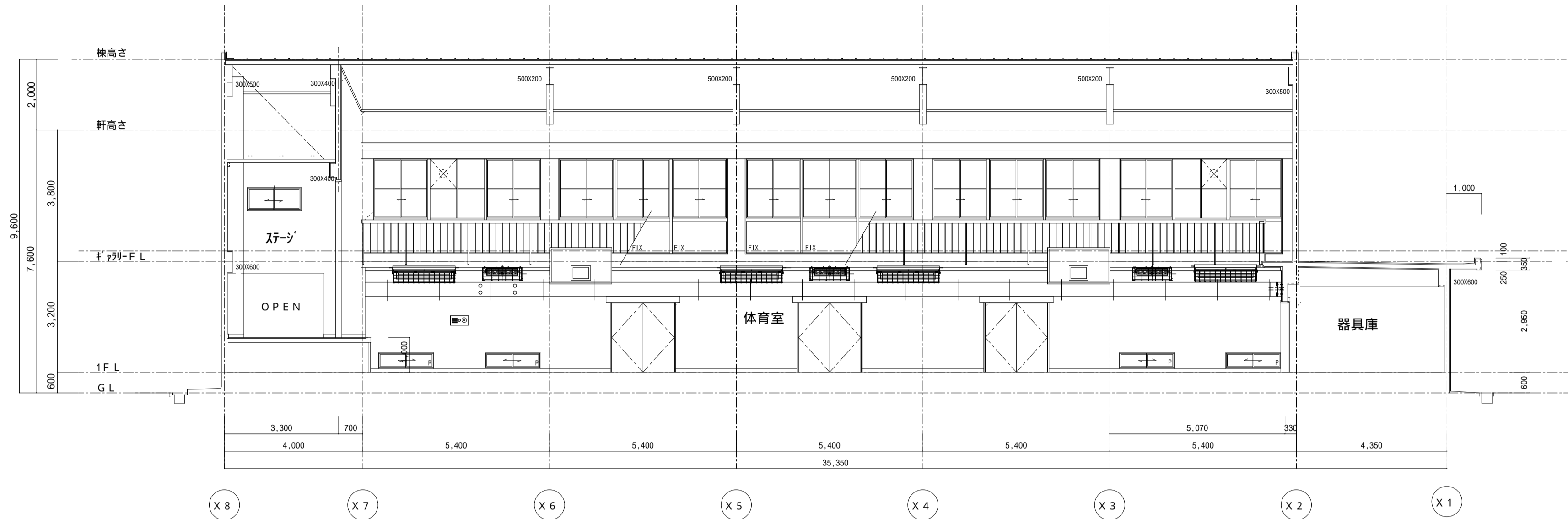
配管凡例

- - - 地中配管
 ——— 露出配管

1階平面図 1/100

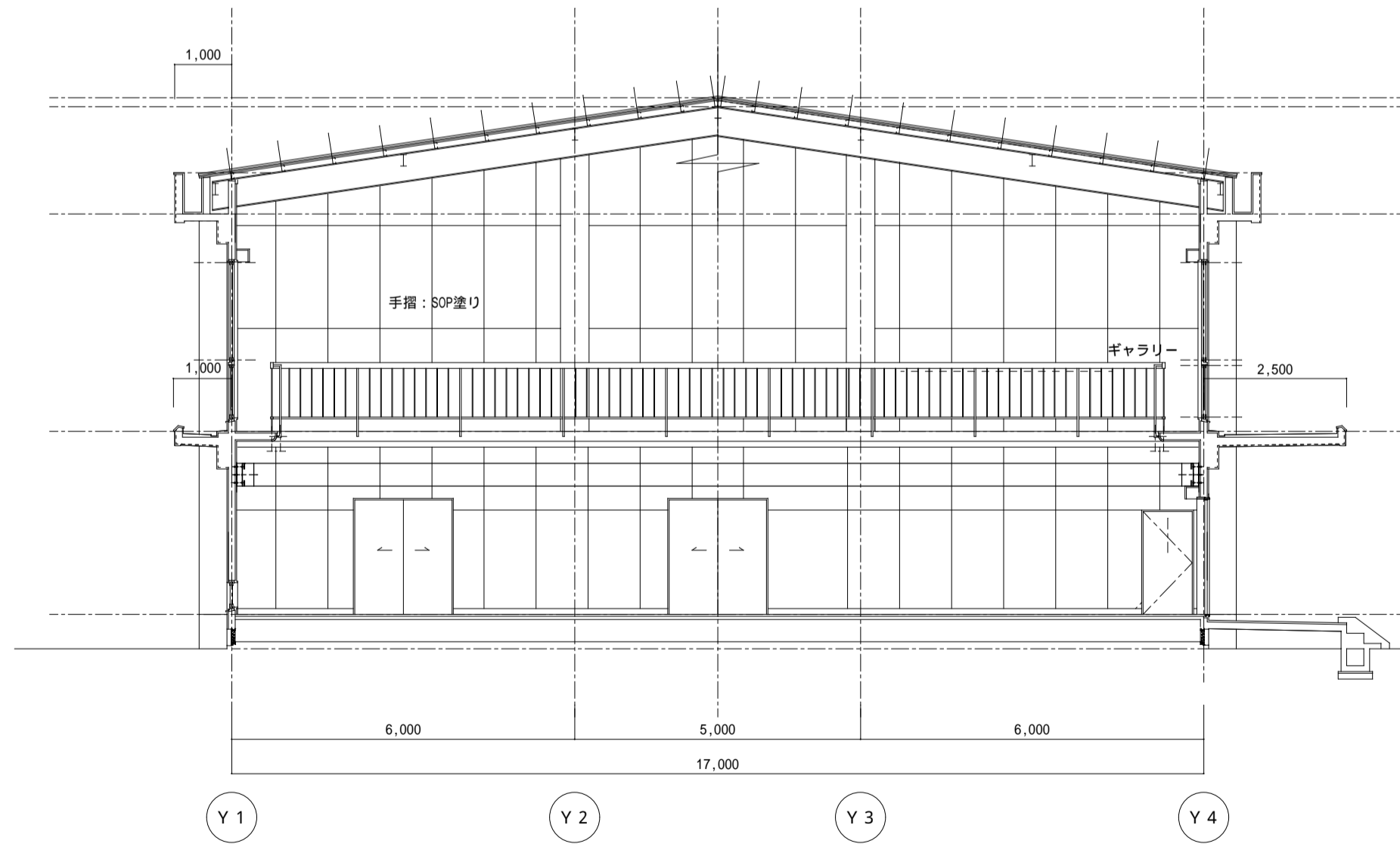
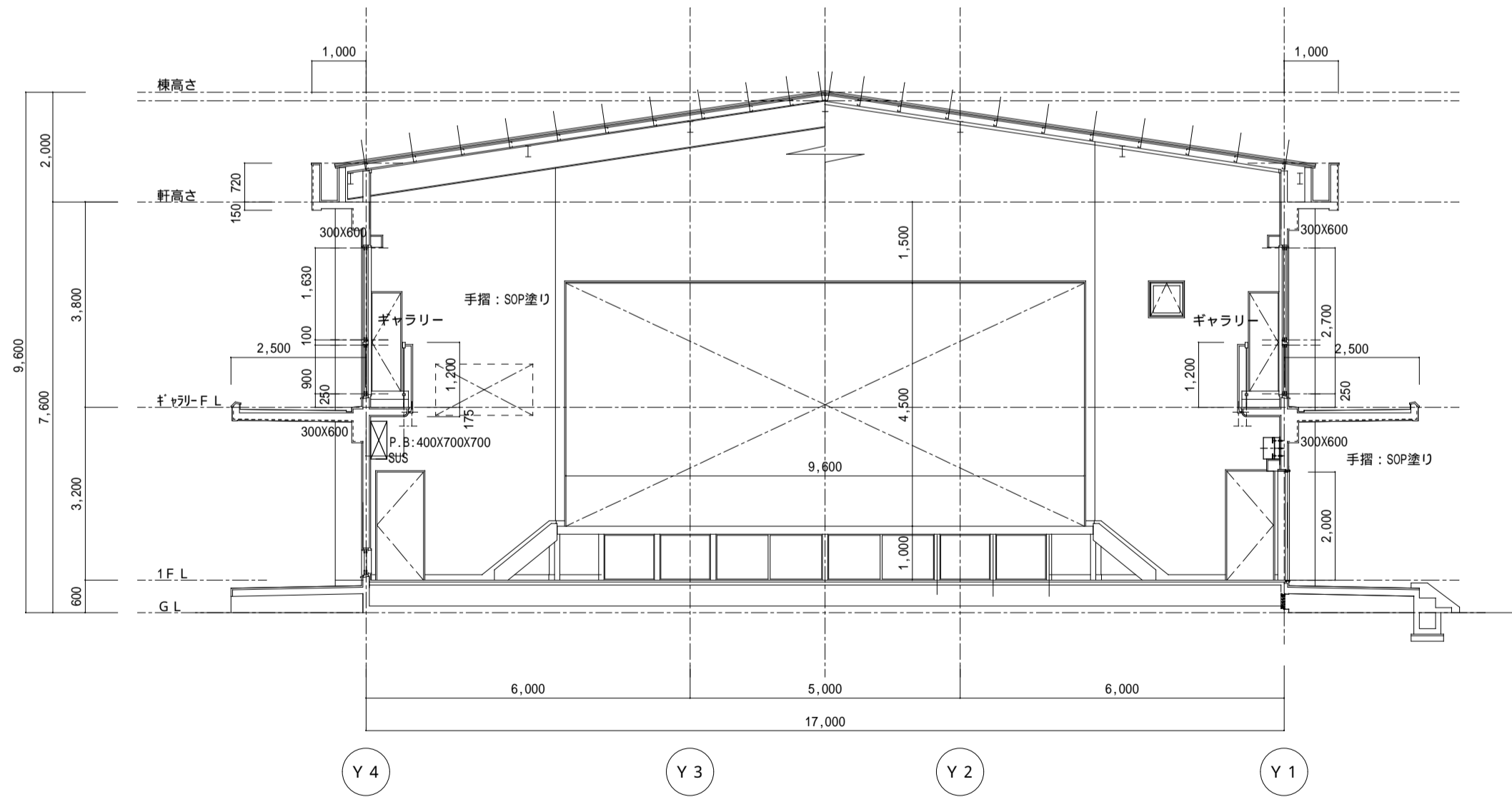
株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計	一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. M-05
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した	一級建築士登録 大臣 ()	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号 ()	図名 空調設備 1階平面図	縮尺 A2: 1/100 A3: -

改修図 体育室 A面 展開図

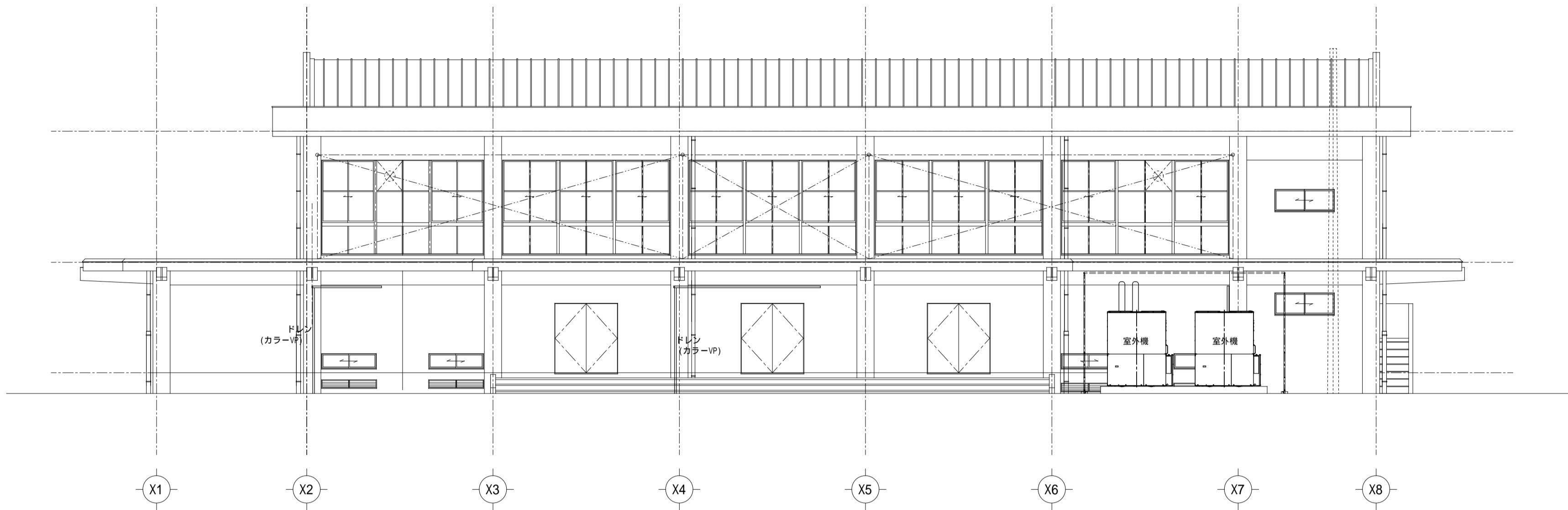


改修図 体育室 B面 展開図

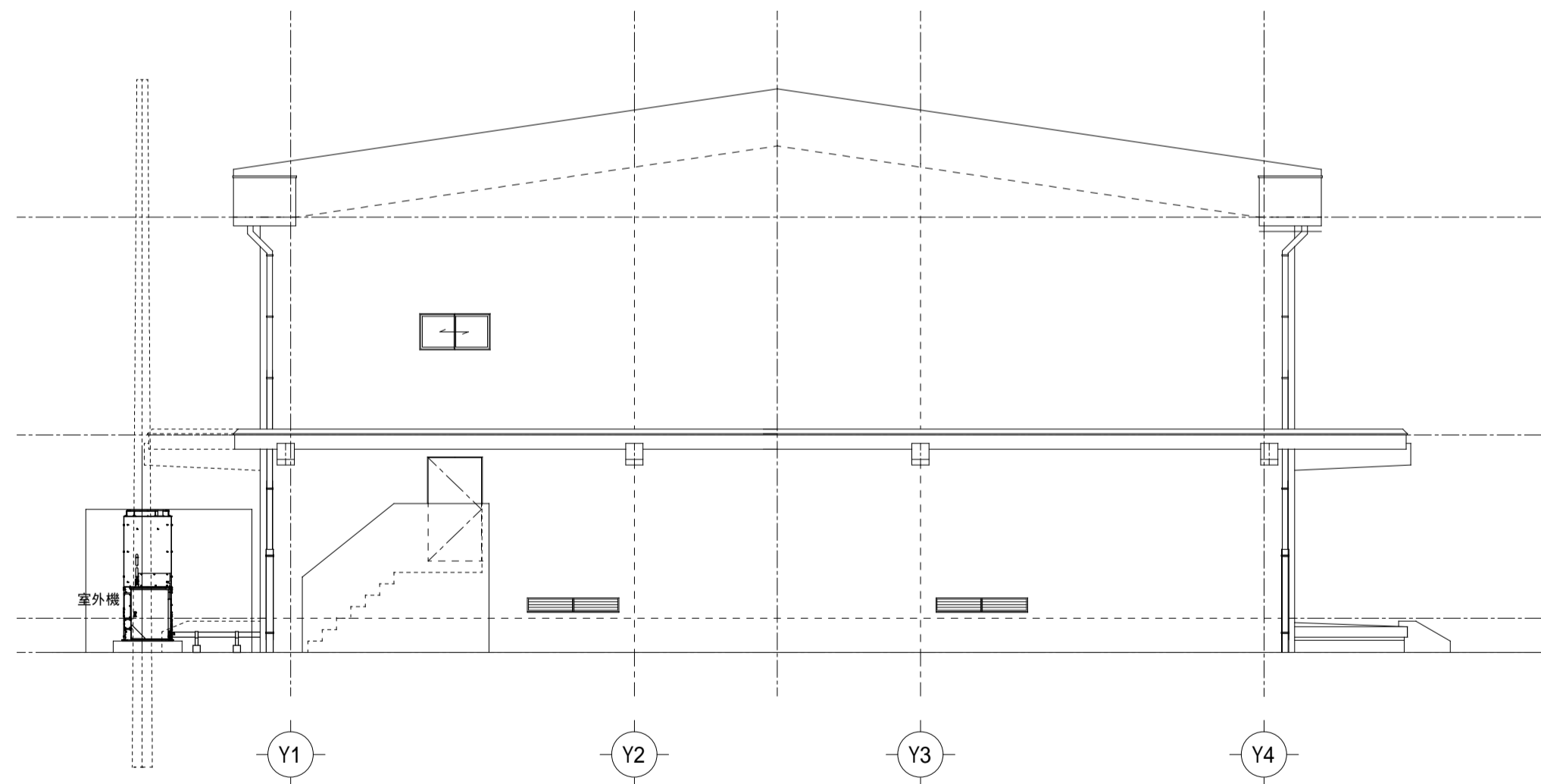
体育室 D面 展開図



株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第レ39号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. M - 0 6
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した	構造設計/設備設計 一級建築士登録 大臣 ()	図名 空調設備展開図	縮尺 A2: 1/100 A3: -

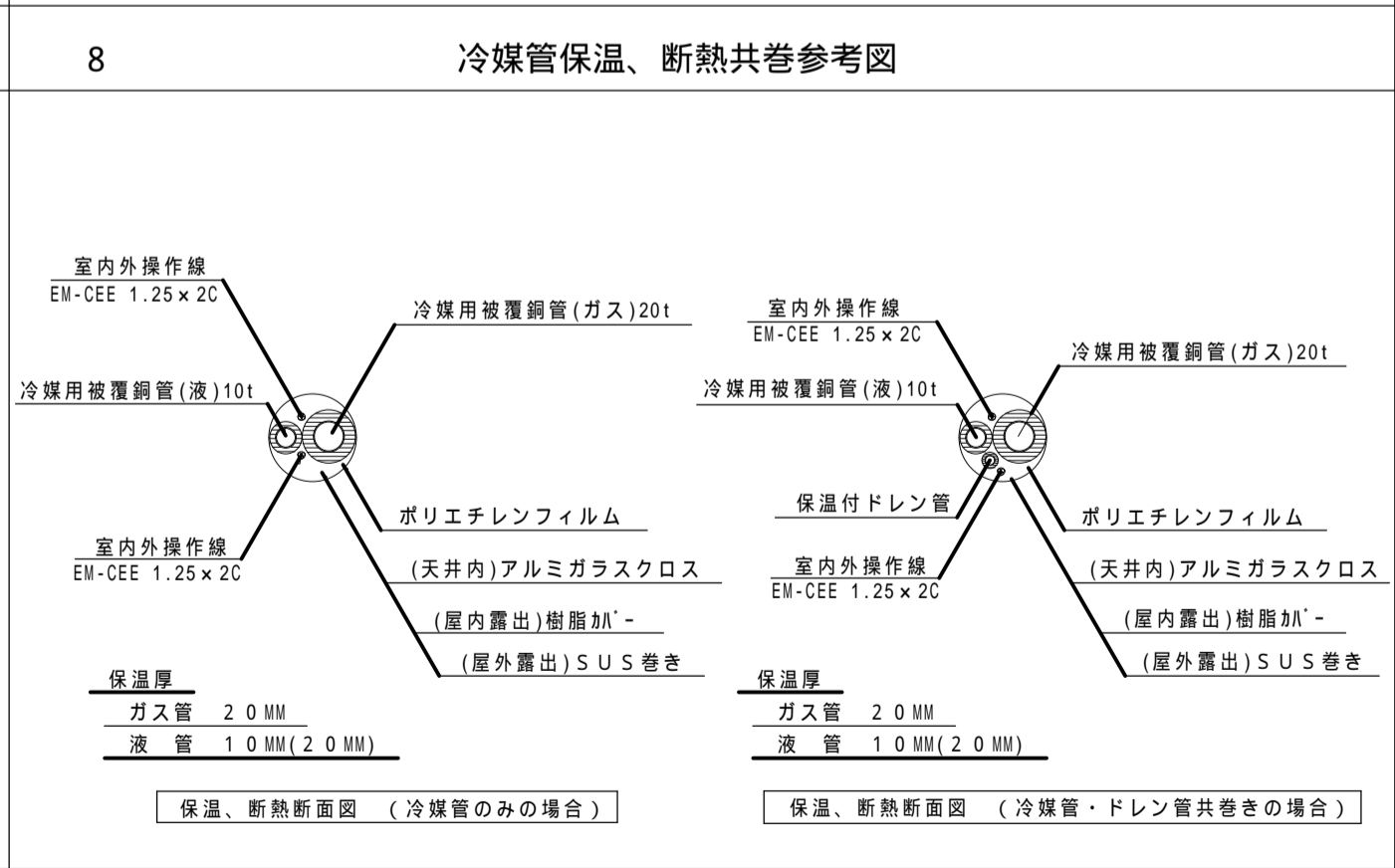
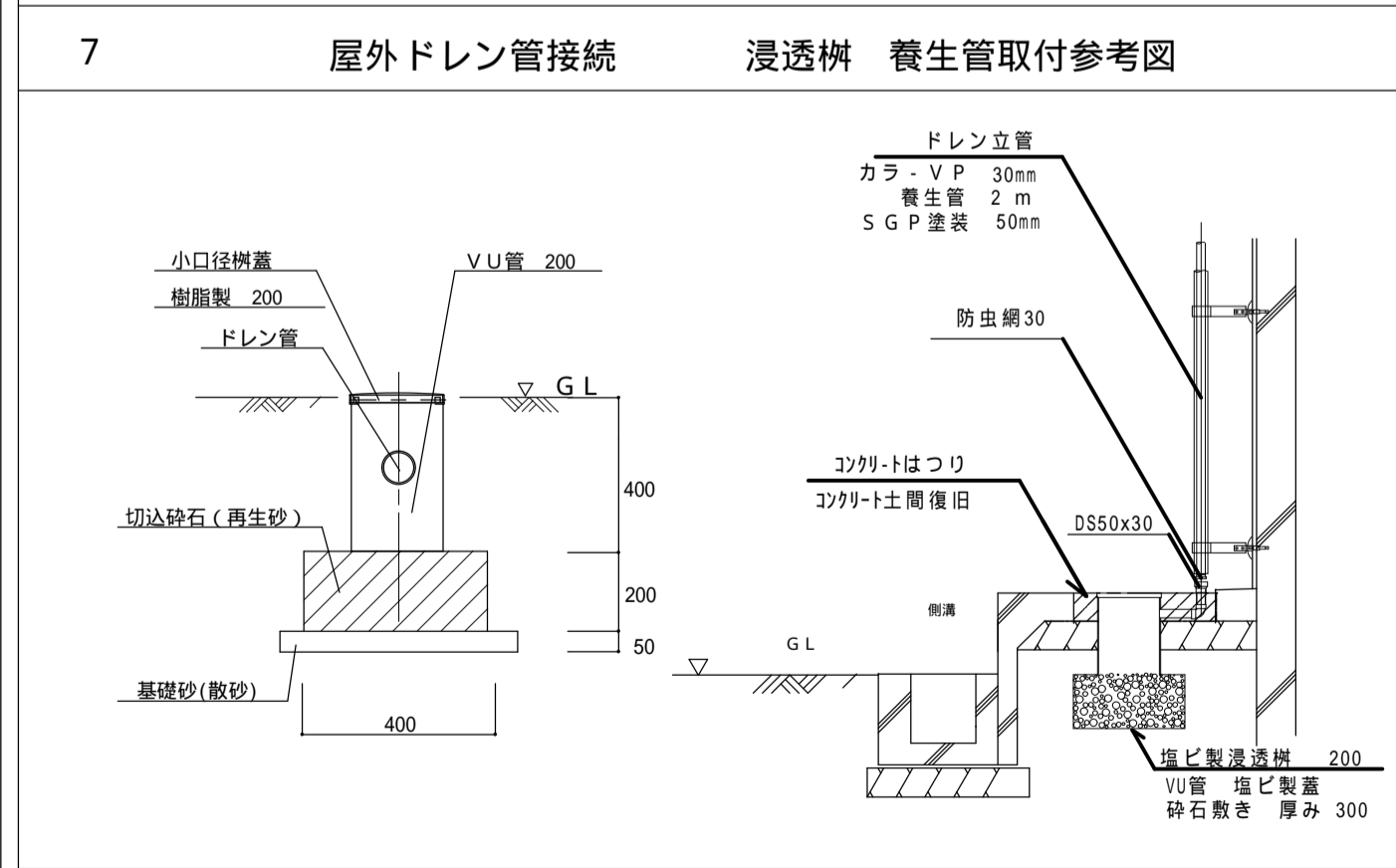
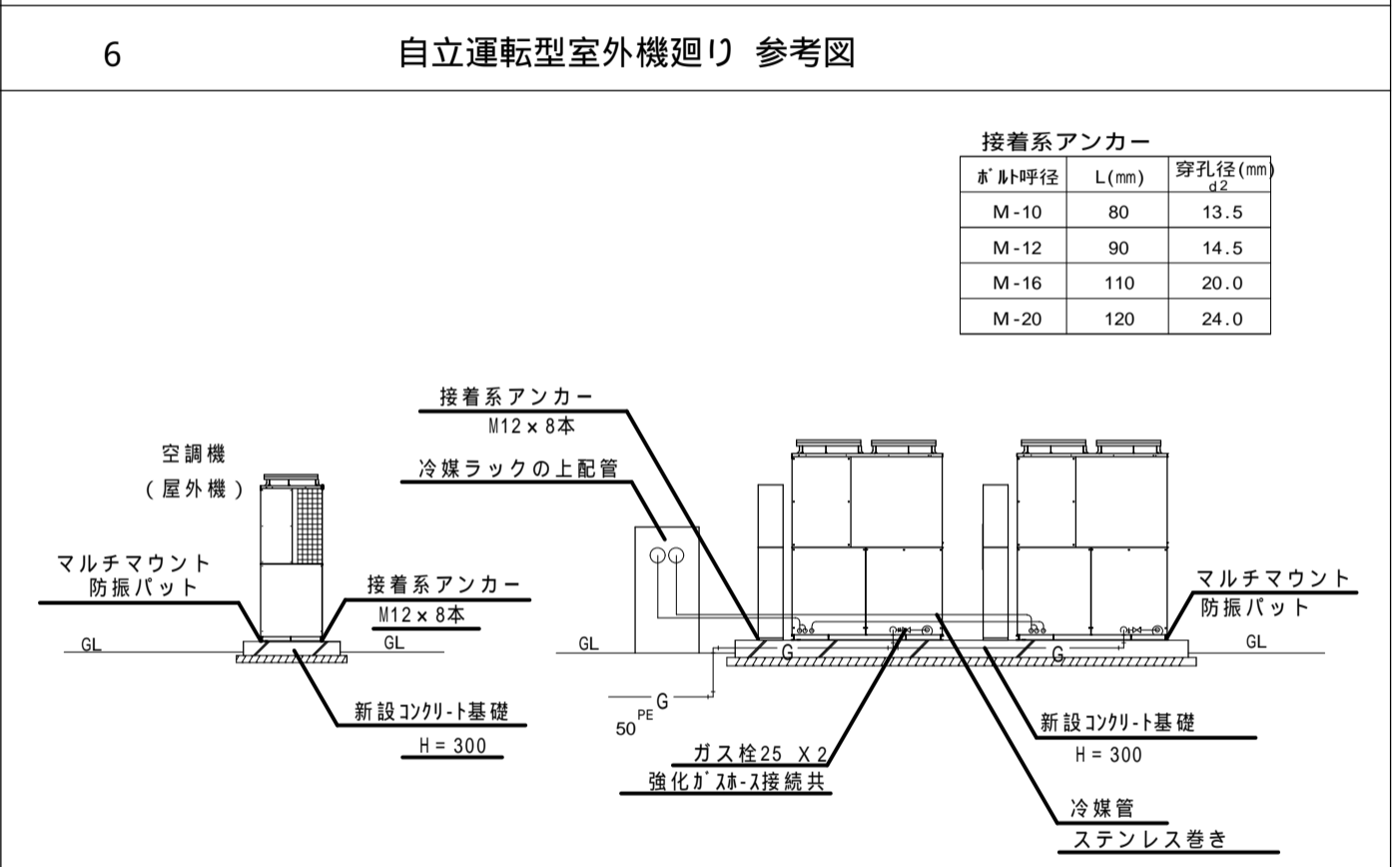
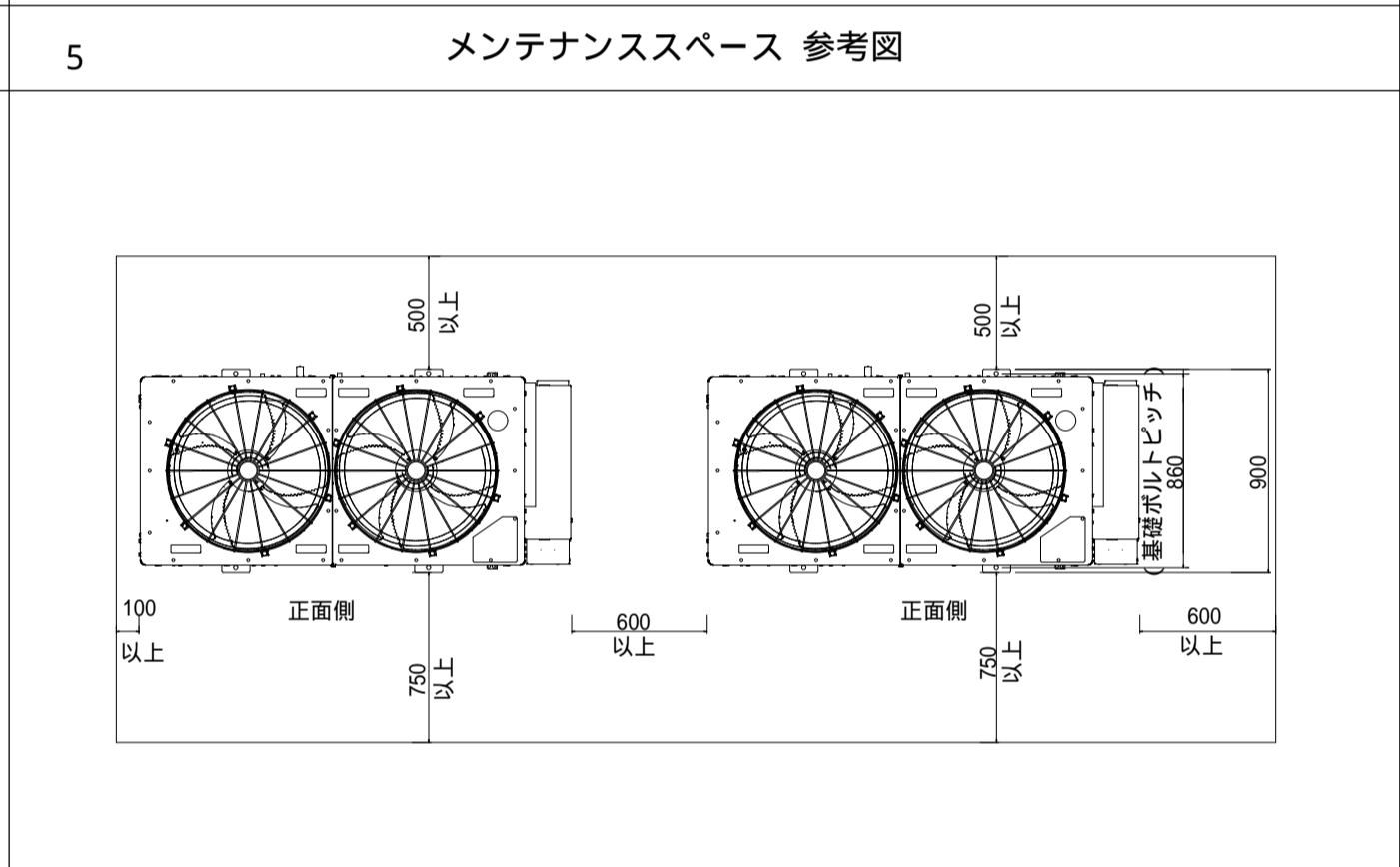
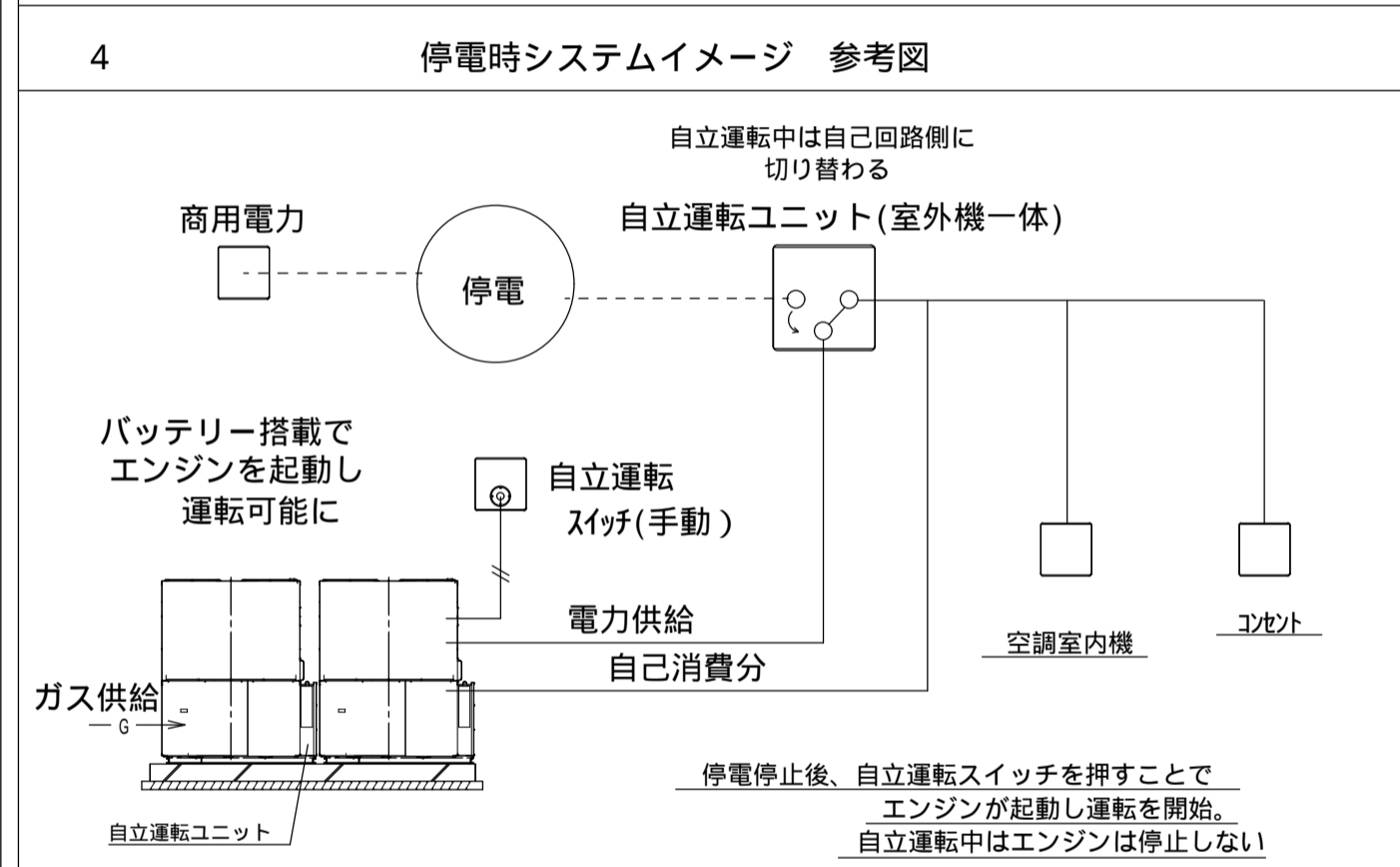
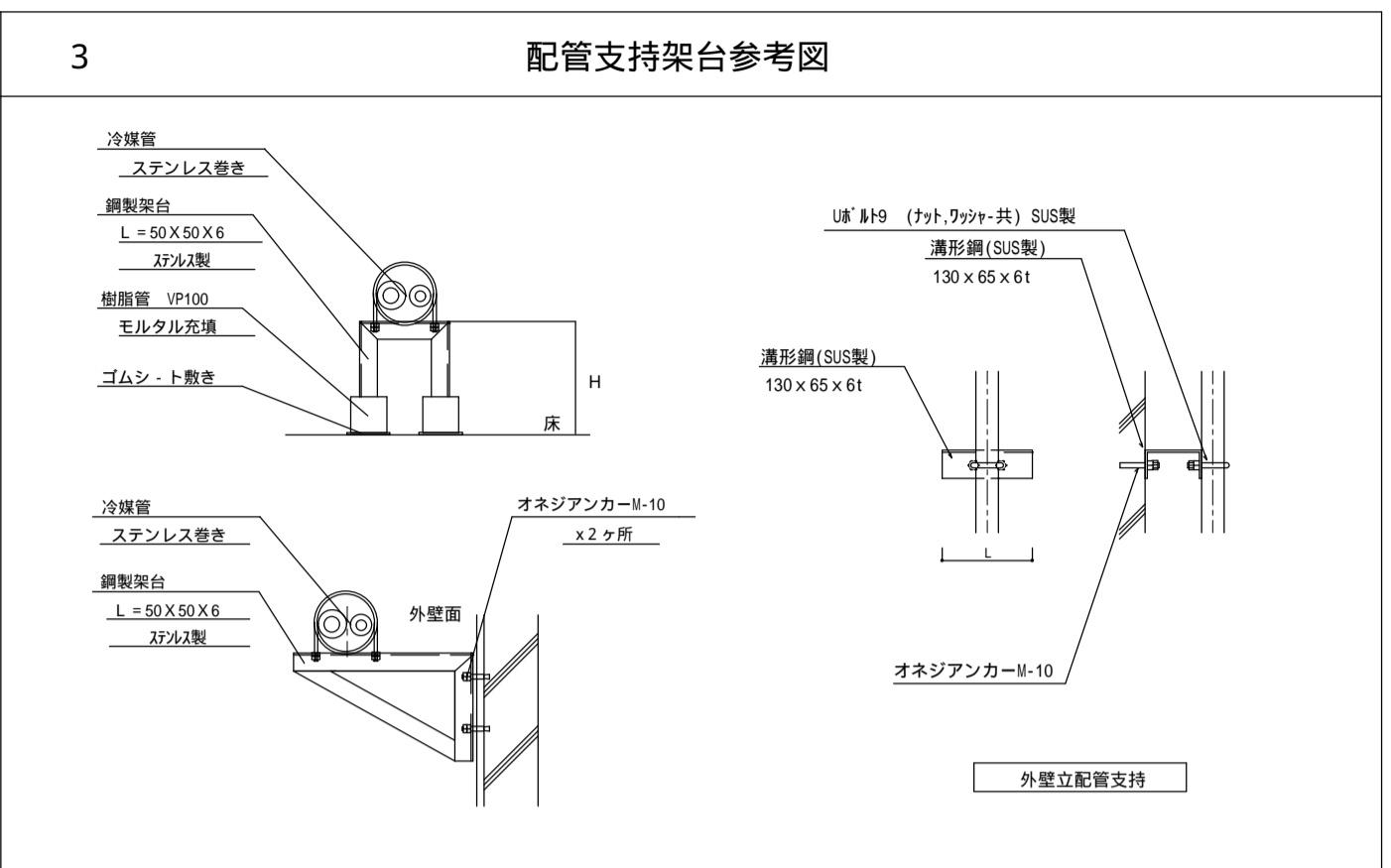
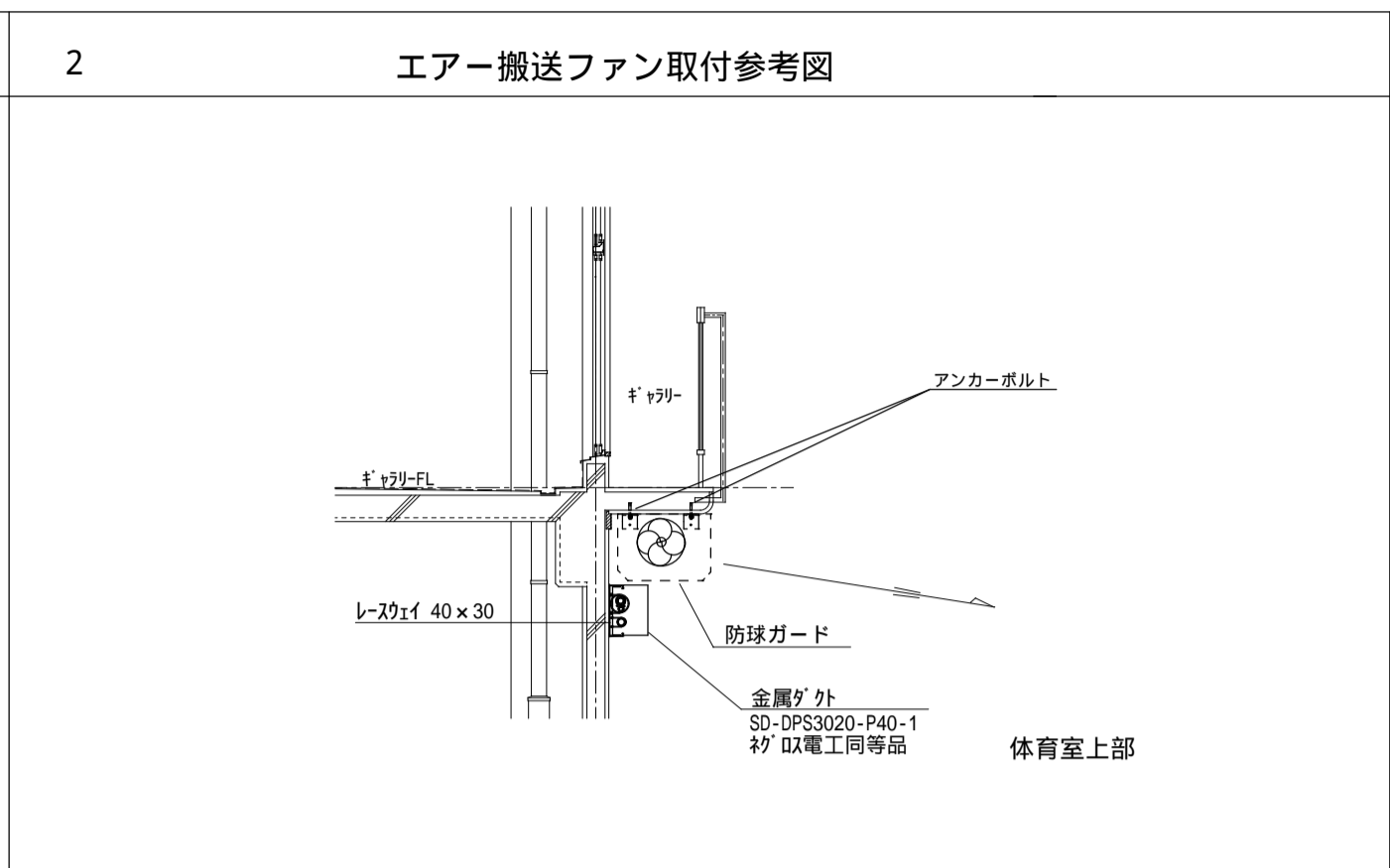
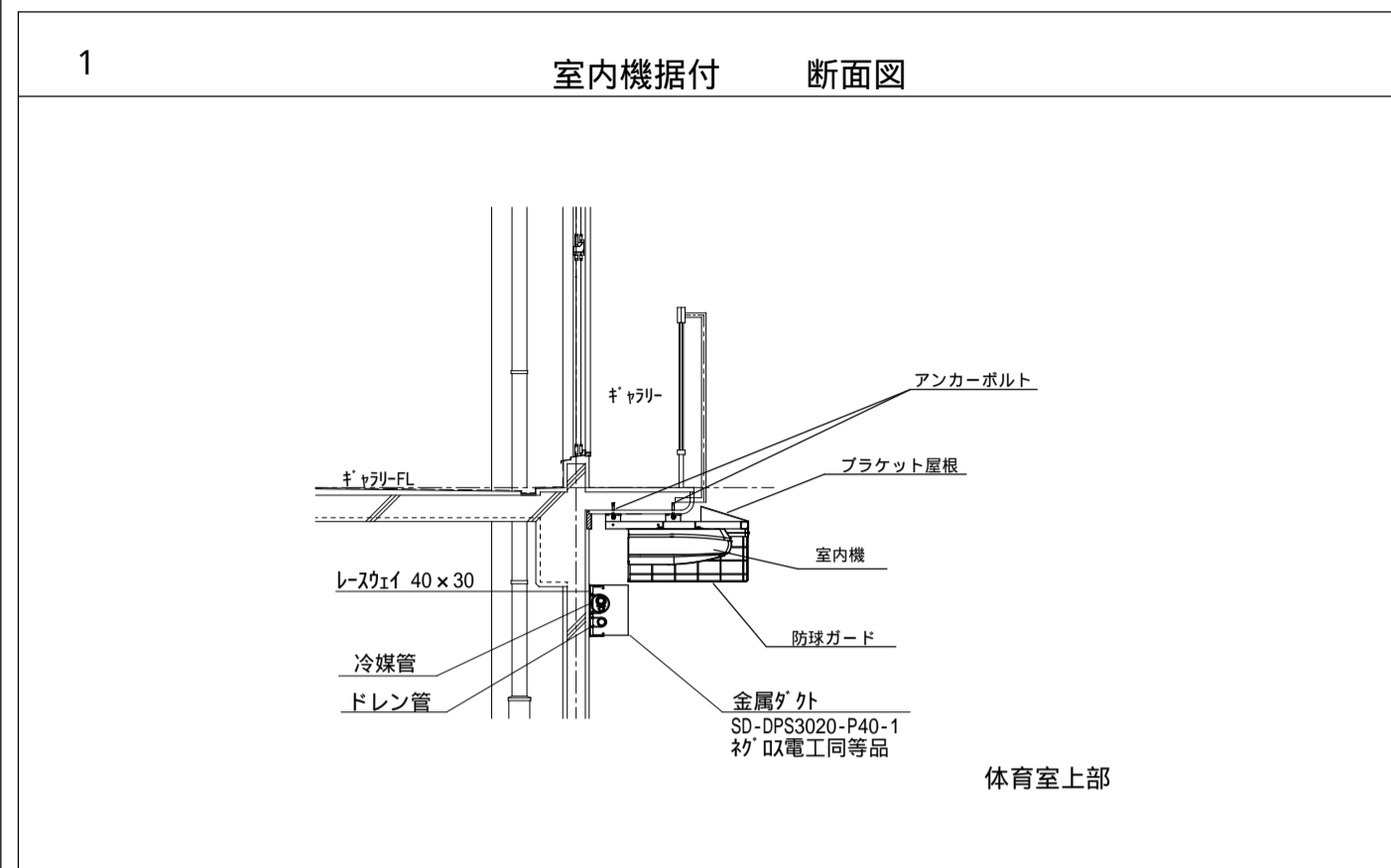


南側立面図 1/100



東側立面図 1/100

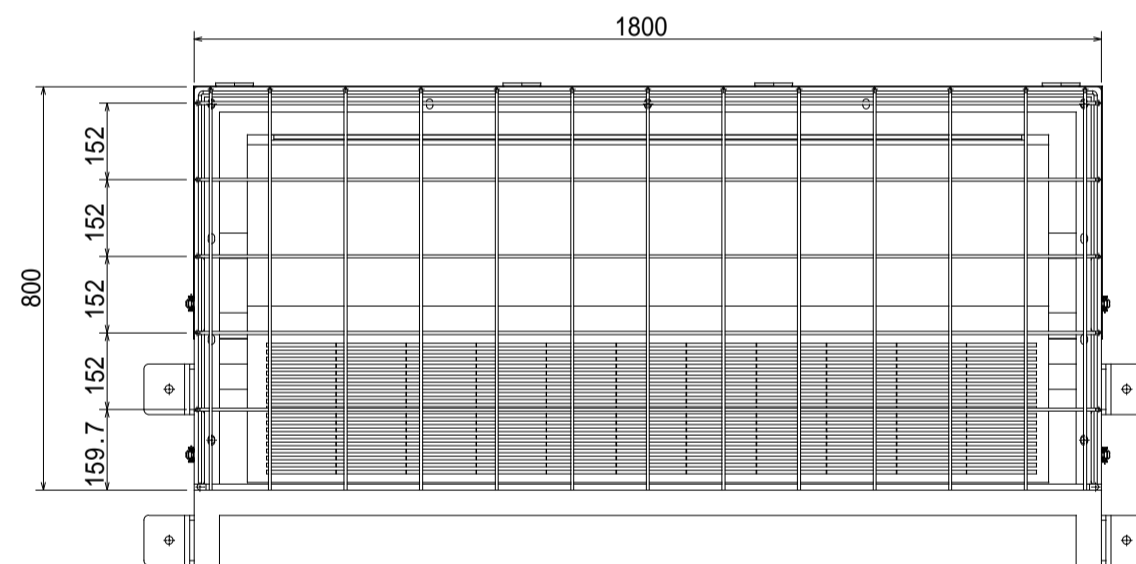
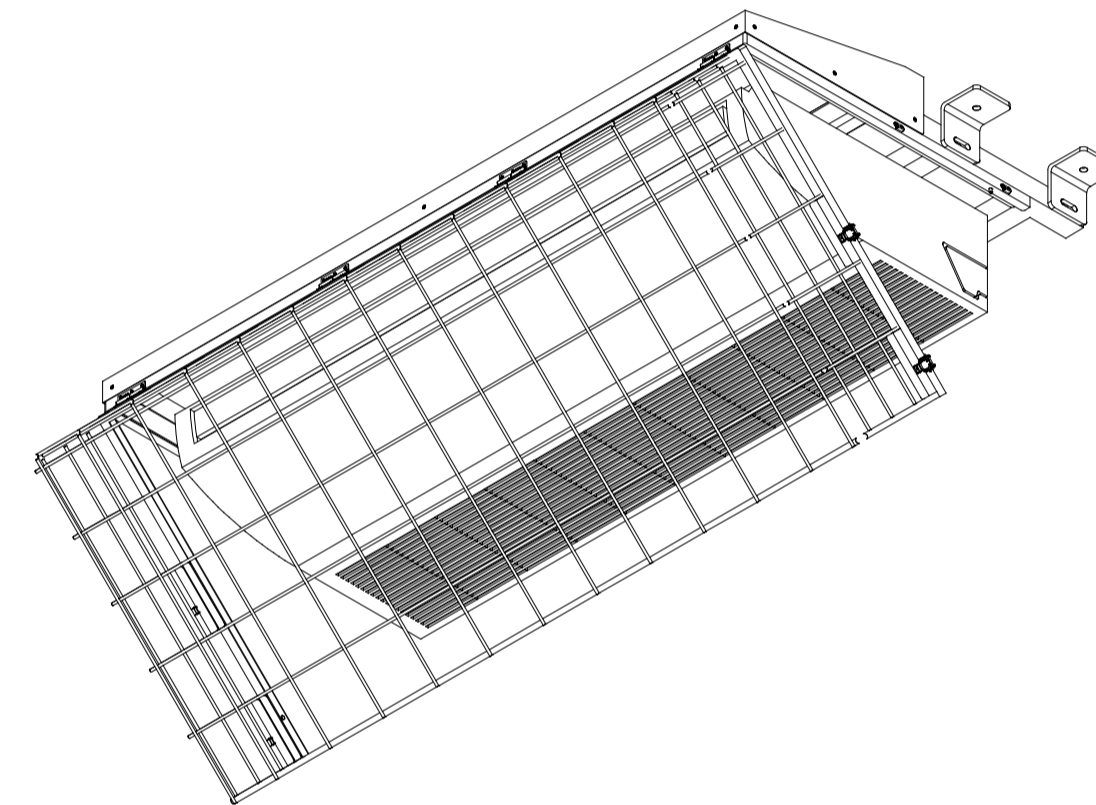
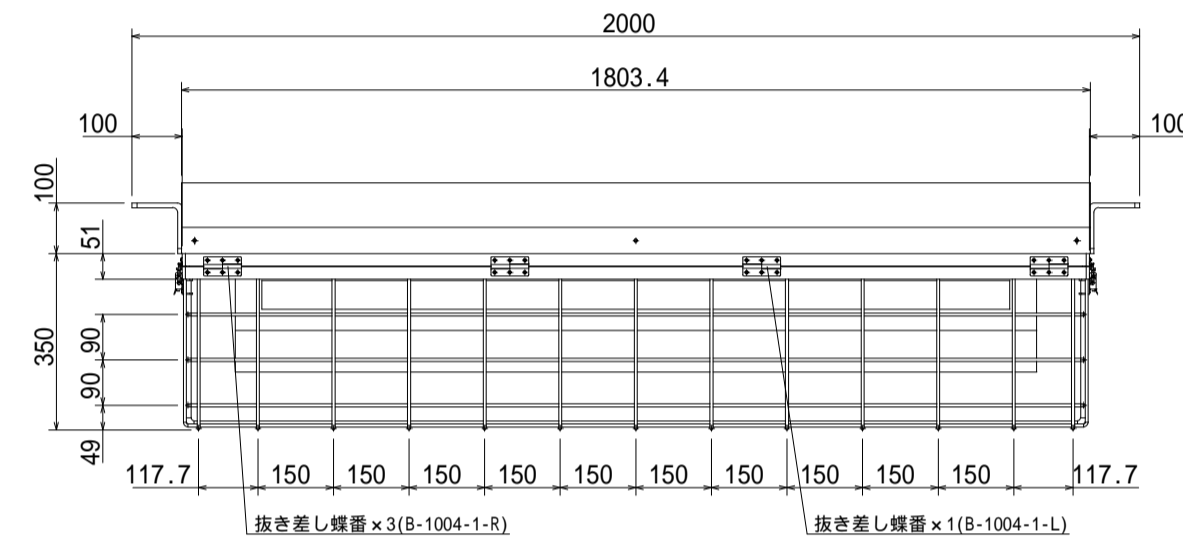
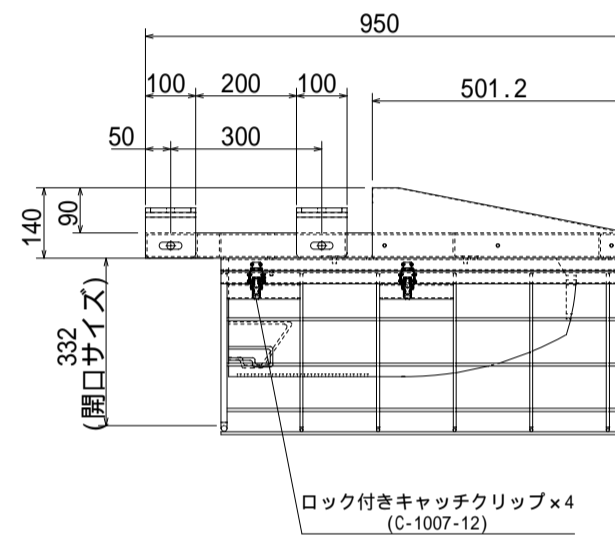
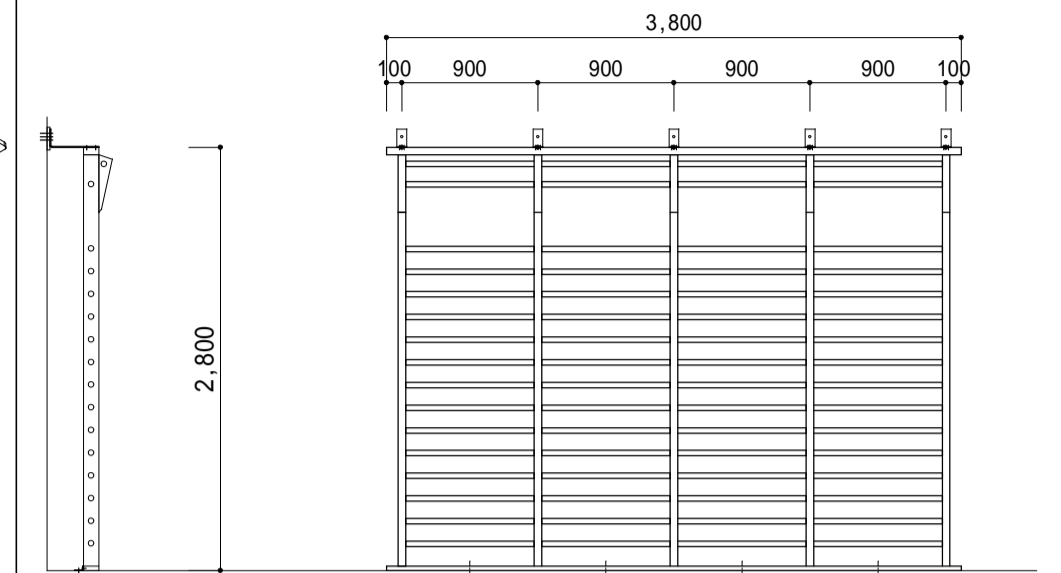
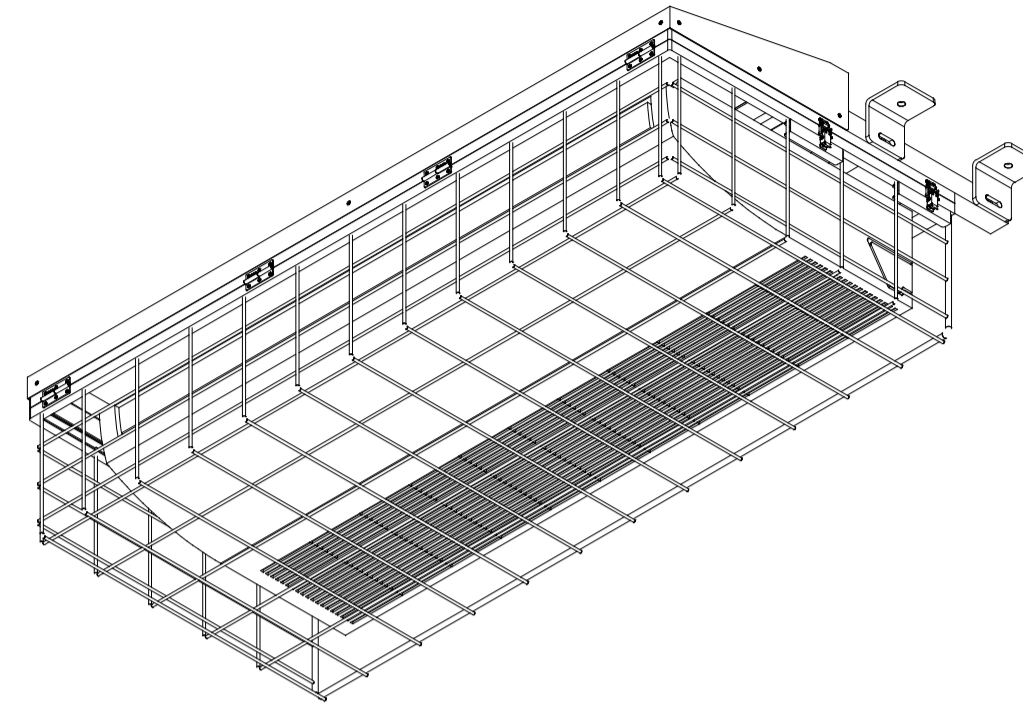
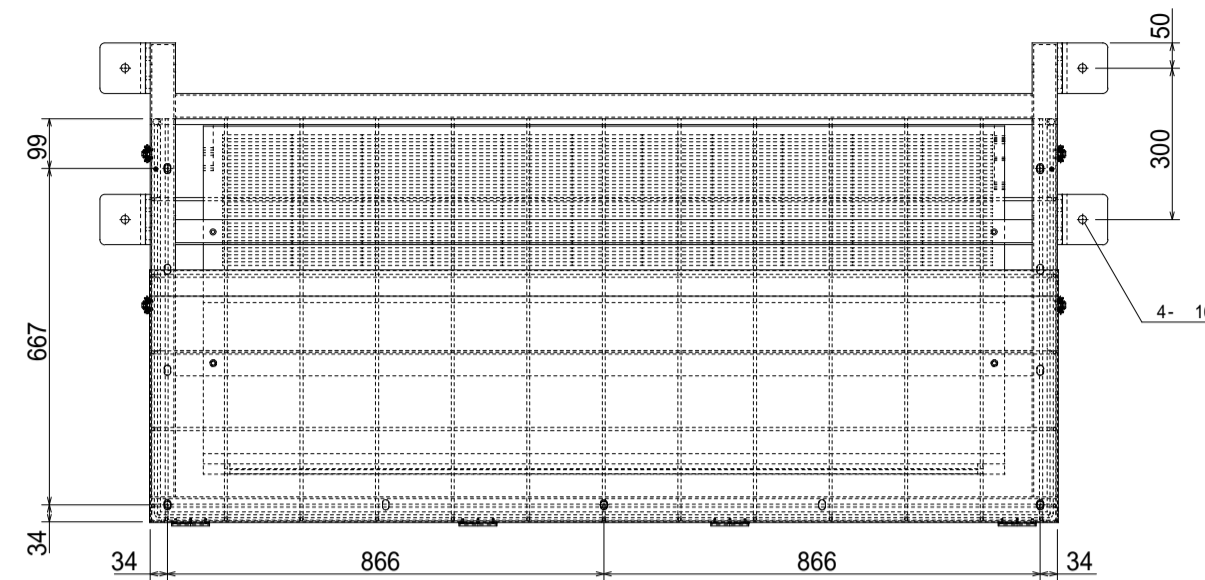
株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第L39号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号		構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. M - 07
			構造/設備関係規定 への法適合を確認した 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号 ()	図名 空調設備立面図	縮尺 A2: 1/100 A3: -



株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣() 構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号()	名称 小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. M-08
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した	図名 施工標準図・参考図	縮尺 A2: - A3: -

防球ガード仕様
 材質：SS400 t = 2.3mm
 6丸棒(一部 12丸棒)
 重量：本体約14.1kg ベース枠約5.4kg
 合計約20.6kg(金具含む)
 蝶番：B-1004-1-R×3(抜き差し式)
 B-1004-1-L×1(抜き差し式)
 キャッチクリップ：C-1007-12×4(ロック付き)
 仕上：2.5Y9/1半艶粉体焼付塗装
 室内機参考サイズ：1590×690×235(幅×奥行×高さ)(mm)
 吊り下げアンカーボルトは、
 1/4又はM6ボルト以上のボルト
 4本で固定。RC面にはケミカルアンカー使用のこと。

注意事項
 ・抜き差し蝶番は3個がRタイプ、
 1個(右から2番目)が、Lタイプを使用。
 そのLタイプの下側のネジ3本を外し、
 ガード全体を右側へずらすと、
 枠金具とガード部は分離できる。
 通常時は外すことの無いように。



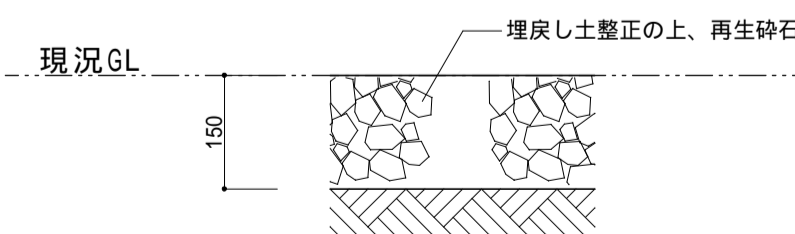
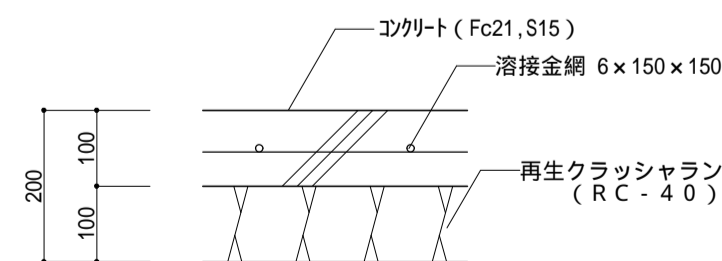
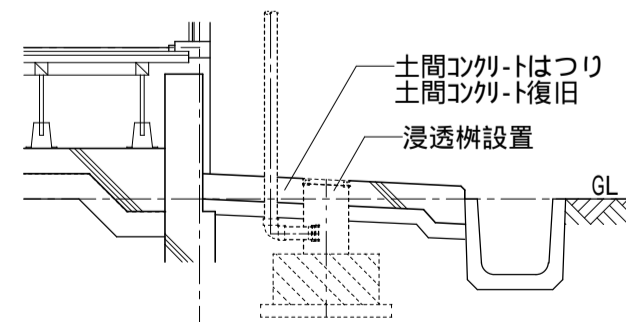
天井固定ブラケット仕様
 材質：SS400 -50×50×3.2
 t = 9.0mm
 L-50×50×4
 重量：約40.4kg
 仕上：2.5Y9/1半艶粉体焼付塗装

アッププレート仕様
 材質：SS400 t = 1.2mm
 重量：約10.9kg
 仕上：2.5Y9/1半艶粉体焼付塗装

浸透柵設置(土間コンクリートはつり・復旧)

土間コンクリート

掘削跡砕石敷き



株式会社 丸山建築事務所
 一級建築士事務所登録第139号

板橋 晶一
 一級建築士登録 第213806号

構造設計

一級建築士登録
 大臣()

構造設計
 一級建築士登録
 交付番号()

名称

小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事

No.

M-09

構造/設備関係規定
 への法適合を確認した

一級建築士登録
 大臣()

構造設計/設備設計
 一級建築士登録
 交付番号()

図名

部分詳細図

縮尺

A2: 図示

A3: -

建築改修工事 特記仕様書

【1】 工事概要

1. 工事場所 _____

2. 敷地面積 _____ m²

3. 建築物概要

棟名	構造	階数	建築面積(m ²)	延べ面積(m ²)	備考
					執務並行改修 全館無人改修
					執務並行改修 全館無人改修
					執務並行改修 全館無人改修

4. その他 _____

【2】 適用範囲

現場説明書（質疑回答書を含む）、本特記仕様書、図面、改修標準仕様書に示す範囲とする。すべての設計図書は相互に補充するものとし、相違がある場合は、上記の順番を優先順位とする。上記の標準仕様書とは、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）をいう。（以下、これを「改修標仕」という。）本書に特に記載のない事項であっても、すべて、「改修標仕」の適用を受けるものとする。

【3】 工事区分

設計図書による。
別契約の施工上密接に関連する工事との取合い部分が発生する場合は、別紙工事区分表による。

【4】 工事仕様

- 設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「改修標仕」のほか別記の適用基準による。
- 項目は、番号に印の付いたものを適用する。
- 特記事項は、印の付いたものを適用する。印の付かない場合は、印の付いたものを適用する。印と印の付いた場合は、共に適用する。印が抹消された場合は、印のみ適用する。
- 項目及び特記事項に記載の（ ）内表示番号は「改修標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項目	特記事項
1	適用基準等	公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） 令和7年版（監修：国土交通省） 建築工事標準詳細図 令和4年改定（監修：国土交通省） 敷地調査共通仕様書 令和4年改定（監修：国土交通省） 建築構造設計基準、同資料 令和3年改定（監修：国土交通省） 公共建築工事標準仕様書（建築工事編） 令和7年版（監修：国土交通省） 公共建築木造工事標準仕様書 令和7年版（監修：国土交通省） 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編） 令和7年版（監修：国土交通省） 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編） 令和7年版（監修：国土交通省） <small>（注：監修欄「国土交通省」は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修を示す）</small>
	建築材料等	本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は監督職員の承諾を受ける。 下記材料品目は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（最新版）」にある材料とする。 また、同評価事業の評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとしてすることができる。（評価名簿によるもの） 床型枠用鋼製デッキプレート（フットプレート）、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材（プレミックス形、現場調合形）、押出成形セメント板、成形伸縮目地材、乾式保護材（防水立上部）、陶磁器質タイル、既製調合モルタル（タイル工用）、既製調合目地材、ルーフトレン、吸水調整材（防水用）、アルミニウム製建具、鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具、錠前類（シリンダ錠、レバー錠、シリンダ本錠り錠）、クローザー類（ドアガード、ドアガード、ドアガード）、自動扉機構（制御装置・駆動装置、検出装置、検出装置、制御装置・駆動装置・検出装置）、自閉式上吊り引戸機構（手動開き式）、重量シャッター、軽量シャッター、オートヘッドア、ガラス（フロート板ガラス、型板ガラス、網入板ガラス、線入板ガラス、熱線吸収板ガラス、倍強度ガラス、熱線反射ガラス）、ガラスブロック（中空）、防水剤、現場発泡断熱材、アリアクリル（3000N、5000N）、可動間仕切、移動間仕切（スライディングドア）、トイレス、煙突成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム（屋上緑化システム、屋上緑化軽量システム）、トップライト、エポキシ樹脂、タイル部分張替用接着剤、ポリマーセメントモルタル、鋳鉄製ふた（マンホールふた・弁拵ふた）

章	項目	特記事項																																		
1	特別な材料の工法	設計図書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。																																		
	風圧力及び積雪に対する性能	建築基準法に基づき定められた風速及び地表面粗度区分等 風速 (Vo) 3 2 (平成12年5月31日建設省告示第1454号) 地表面粗度区分 多雪地帯の指定 なし あり																																		
	現場代理人	本工事の施工にあたっては、工事請負契約書第10条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任しなければならない。																																		
	工事工程報告	月報は毎月末日に、翌月5日までに提出する。 日報は監督職員の指示による。 週報は毎週（ ）曜日に提出する。																																		
	工事実績情報の登録 (1.1.4)	適用する（適用事項は、現場説明書による）																																		
	設備工事との取合い	施工範囲 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 駆動装置が電動による建具類の二次配線及び操作スイッチ 自動閉鎖装置取付け箇所切込み及び補強 施工図 設備機器の位置、取合等の検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。 施工図等の取扱い (1.2.3) 施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲される。 工事写真 (1.2.4) 工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編（最新版）（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）によるほかは監督職員の指示による。 下記のものに監督職員に提出する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>部数</th> <th>ネガ1枚につき</th> <th>分類・規格</th> <th>原版の大きさ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>着工前</td> <td>1</td> <td></td> <td>カラーサービス版</td> <td>24×36以上</td> </tr> <tr> <td>工事中</td> <td>1</td> <td></td> <td>カラーサービス版</td> <td>24×36以上</td> </tr> <tr> <td>屋内</td> <td>2</td> <td></td> <td>カラーサービス版</td> <td>24×36以上</td> </tr> <tr> <td>完成時</td> <td>2</td> <td></td> <td>カラーサービス版</td> <td>60×70以上</td> </tr> <tr> <td>外観</td> <td>2</td> <td></td> <td>カラーサービス版</td> <td>24×36以上</td> </tr> <tr> <td>（ ）箇所</td> <td></td> <td></td> <td>カラーパネル半切</td> <td>60×70以上</td> </tr> </tbody> </table> 写真をデジタル写真で撮影する場合には、完成写真については有効画素数300万画素程度、工事写真は有効画素数130万画素程度とし、黒板の文字等の内容が判読できる精度を確保するものとする。 完成写真撮影場所は、監督職員の指示による。 完成写真撮影者は、監督職員の承諾する撮影業者（建築写真専門業者）とする。		部数	ネガ1枚につき	分類・規格	原版の大きさ (mm)	着工前	1		カラーサービス版	24×36以上	工事中	1		カラーサービス版	24×36以上	屋内	2		カラーサービス版	24×36以上	完成時	2		カラーサービス版	60×70以上	外観	2		カラーサービス版	24×36以上	（ ）箇所			カラーパネル半切
	部数	ネガ1枚につき	分類・規格	原版の大きさ (mm)																																
着工前	1		カラーサービス版	24×36以上																																
工事中	1		カラーサービス版	24×36以上																																
屋内	2		カラーサービス版	24×36以上																																
完成時	2		カラーサービス版	60×70以上																																
外観	2		カラーサービス版	24×36以上																																
（ ）箇所			カラーパネル半切	60×70以上																																

章	項目	特記事項																																								
1	石綿含有建材の調査 (1.5.1)	PCB含有シーリング材の分析調査 行う（ ）箇所） 行わない PCB含有シーリング材の撤去・処分方法は「建築物の解体等に伴う有害物質等の適切な取扱」による。 次の建設廃棄物は再資源化する。 蛍光灯ランプ H I Dランプ 硬質塩化ビニル管・継手 再生資源利用【促進】計画書、実施書の提出 詳細は現場説明書による。 マニフェスト制度 産業廃棄物管理票（マニフェスト）制度により、適正な処理を行うこと。 産業廃棄物の処理を委託する場合は、運搬と処分についてそれぞれの許可業者と処理委託料を記載した「処理委託契約書」により委託契約すること。 調査 行う 石綿の除去に当たり、あらかじめ関係法令等に基づき、石綿含有建材の事前調査を下記により行い、結果を取りまとめ、監督職員に提出するとともに、その写しを工事の現場に備え置く。 調査範囲 図示による 調査事項 石綿使用部位の確認 石綿層の厚さの確認 施工範囲と工事管理区分の確認 更衣施設等の仮設計画 廃棄物等の搬出方法 行わない 石綿含有分析方法 行う（分析結果を監督職員に提出する） JIS A 1481に基づくこと <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>定性分析</th> <th>定量分析</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>（ ）箇所数</td> <td>（ ）箇所数</td> </tr> <tr> <td></td> <td>（ ）箇所数</td> <td>（ ）箇所数</td> </tr> <tr> <td></td> <td>（ ）箇所数</td> <td>（ ）箇所数</td> </tr> <tr> <td></td> <td>（ ）箇所数</td> <td>（ ）箇所数</td> </tr> </tbody> </table> サンプル数 1箇所あたり3サンプル 行わない 既存の石綿含有建材の調査報告書の写し あり なし	材 料 名	定性分析	定量分析		（ ）箇所数	（ ）箇所数		（ ）箇所数	（ ）箇所数		（ ）箇所数	（ ）箇所数		（ ）箇所数	（ ）箇所数																									
	材 料 名	定性分析	定量分析																																							
	（ ）箇所数	（ ）箇所数																																								
	（ ）箇所数	（ ）箇所数																																								
	（ ）箇所数	（ ）箇所数																																								
	（ ）箇所数	（ ）箇所数																																								
14	調査のための破壊部分の補修 (1.6.3)	既存破壊部分の補修方法 図示による																																								
16	技能士 (1.7.2)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>工事種別</th> <th>適用する技能士の技能検定における選択作業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設工事</td> <td>とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>鉄筋組立作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>左官作業 型枠工事作業</td> </tr> <tr> <td>鉄骨工事</td> <td>構造物鉄工作業 とび作業</td> </tr> <tr> <td>ブロッカ及びALCA補工事</td> <td>コンクリートブロック工事作業 ALCA補工事作業</td> </tr> <tr> <td>カーポット工事</td> <td>金属製カーポット工事作業 ビル用カーポット工事作業</td> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td>アクリル防水工事作業 シーリング防水工事作業 外気ガス系塗膜防水工事作業 セメント系防水工事作業 アクリル系塗膜防水工事作業 FRP防水工事作業 合成ゴム系シート防水工事作業 塩化ビニルシート防水工事作業 改質アクリルシート工法防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>石張り作業</td> </tr> <tr> <td>タイル工事</td> <td>タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>木工事</td> <td>大工工事作業</td> </tr> <tr> <td>屋根及びとい工事</td> <td>内外装板金作業 かわらぶき作業 スレート工事作業</td> </tr> <tr> <td>金属工事</td> <td>鋼製下地工事作業 内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>左官工事</td> <td>左官作業</td> </tr> <tr> <td>塗装工事</td> <td>建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>建具工事</td> <td>ビル用カーポット工事作業 ガラス工事作業 自動ドア工事作業</td> </tr> <tr> <td>内装工事</td> <td>ブロッカ系床仕上げ工事作業 壁・天井仕上げ工事作業 家具手加工作業 壁装作業</td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td>建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>溶融ベントリッドマーカ工事作業 加熱ベントリッドマーカ工事作業</td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td>造園工事作業</td> </tr> </tbody> </table> ただし技能士に代わる者による施工の場合は監督職員の承諾を得ること。	工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業	仮設工事	とび作業	鉄筋工事	鉄筋組立作業	コンクリート工事	左官作業 型枠工事作業	鉄骨工事	構造物鉄工作業 とび作業	ブロッカ及びALCA補工事	コンクリートブロック工事作業 ALCA補工事作業	カーポット工事	金属製カーポット工事作業 ビル用カーポット工事作業	防水工事	アクリル防水工事作業 シーリング防水工事作業 外気ガス系塗膜防水工事作業 セメント系防水工事作業 アクリル系塗膜防水工事作業 FRP防水工事作業 合成ゴム系シート防水工事作業 塩化ビニルシート防水工事作業 改質アクリルシート工法防水工事作業	石工事	石張り作業	タイル工事	タイル張り作業	木工事	大工工事作業	屋根及びとい工事	内外装板金作業 かわらぶき作業 スレート工事作業	金属工事	鋼製下地工事作業 内外装板金作業	左官工事	左官作業	塗装工事	建築塗装作業	建具工事	ビル用カーポット工事作業 ガラス工事作業 自動ドア工事作業	内装工事	ブロッカ系床仕上げ工事作業 壁・天井仕上げ工事作業 家具手加工作業 壁装作業	排水工事	建築配管作業	舗装工事	溶融ベントリッドマーカ工事作業 加熱ベントリッドマーカ工事作業	植栽工事	造園工事作業
工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業																																									
仮設工事	とび作業																																									
鉄筋工事	鉄筋組立作業																																									
コンクリート工事	左官作業 型枠工事作業																																									
鉄骨工事	構造物鉄工作業 とび作業																																									
ブロッカ及びALCA補工事	コンクリートブロック工事作業 ALCA補工事作業																																									
カーポット工事	金属製カーポット工事作業 ビル用カーポット工事作業																																									
防水工事	アクリル防水工事作業 シーリング防水工事作業 外気ガス系塗膜防水工事作業 セメント系防水工事作業 アクリル系塗膜防水工事作業 FRP防水工事作業 合成ゴム系シート防水工事作業 塩化ビニルシート防水工事作業 改質アクリルシート工法防水工事作業																																									
石工事	石張り作業																																									
タイル工事	タイル張り作業																																									
木工事	大工工事作業																																									
屋根及びとい工事	内外装板金作業 かわらぶき作業 スレート工事作業																																									
金属工事	鋼製下地工事作業 内外装板金作業																																									
左官工事	左官作業																																									
塗装工事	建築塗装作業																																									
建具工事	ビル用カーポット工事作業 ガラス工事作業 自動ドア工事作業																																									
内装工事	ブロッカ系床仕上げ工事作業 壁・天井仕上げ工事作業 家具手加工作業 壁装作業																																									
排水工事	建築配管作業																																									
舗装工事	溶融ベントリッドマーカ工事作業 加熱ベントリッドマーカ工事作業																																									
植栽工事	造園工事作業																																									

章	項目	特記事項																														
1	17 施工の検査等 (1.7.5)	見本施工の実施 適用する（ ） 適用しない																														
	18 化学物質の濃度測定 (1.7.9)	適用する（適用事項は、現場説明書による）																														
1	完成図 (1.9.2)	作成する（提出部数 2部 ） 詳細は監督職員の指示による。 完成図等の電子データによる提出については、現場説明書による。																														
	保全に関する資料 (1.9.3)	作成する（提出部数 2部 ） 敷地、建物の構造規模、主要な設備構成等の建物概要 建物を使用する上での注意事項 建物に設置されている家具、機器等及び部位毎の仕上げの概要説明 建物、工作物、植栽等を管理する上での保全業務の要点 主要材料の製造所名、所在地、連絡先、非常時の連絡体制一覧表 建設大臣官房官庁営繕部監修「管理者のための建築物保全の手引き」及び「建築保全業務共通仕様書」を参考として作成すること。																														
1	① 足場その他 (2.1.3) (2.2.1)	労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令に従い、適切な材料及び構造のものとし、適切な保守管理を行う。 外部足場 施行箇所面に柱組足場を設ける。 施行箇所面にくさび緊結式足場を設ける。 施行箇所面に単管本足場を設ける。 仮設ゴンドラを使用する。 移動式足場を使用する。 内部足場 脚立、足場板等 柱組欄足場 防護シート等 防音パネル 防音シート 養生シート ネット及び養生シート 材料、撤去材等の運搬方法 A種 B種 C種 D種 E種 (表2.2.1) 足場は、「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省 基発第0424001号）」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づき「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中核及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立、解体又は変更の作業は「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式を採用すること。 屋根工事及び小屋組の建方工事における墜落事故防止対策は、JIS A 8971（屋根工事用足場及び施工方法）の施工標準に基づく足場及び装備機材を設置すること。																														
	② 既存部分の養生 (2.3.1)	既存部分の養生 行う（ ビニールシート、合板 t = 12mm ） 行わない 既存家具・既存設備等の養生 行う（ ビニールシート ） 行わない 既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管 行う 行わない 養生の方法 取り外しのうえ清掃 保管場所 室内にてカバー掛の上、適切保管 家具の移動 行う（ 図示 ） 行わない 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。																														
3	仮設間仕切り (2.3.2)	設ける（ 図示 ） <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>仕上げ（厚さmm）</th> <th>塗装</th> <th>充填</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A種</td> <td>せっこうボード</td> <td>なし</td> <td>グラスウール</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">B種</td> <td>種類 G8-R</td> <td>片面</td> <td>24kg/m²</td> </tr> <tr> <td>厚さ mm 9.5mm</td> <td></td> <td>厚さ 50mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">C種</td> <td>合板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>材質 珪藻合板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>厚さ mm 9mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td>全面シート張り</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 設けない	種別	仕上げ（厚さmm）	塗装	充填	A種	せっこうボード	なし	グラスウール	B種	種類 G8-R	片面	24kg/m ²	厚さ mm 9.5mm		厚さ 50mm	C種	合板			材質 珪藻合板			厚さ mm 9mm				C種	全面シート張り		
	種別	仕上げ（厚さmm）	塗装	充填																												
A種	せっこうボード	なし	グラスウール																													
B種	種類 G8-R	片面	24kg/m ²																													
	厚さ mm 9.5mm		厚さ 50mm																													
C種	合板																															
	材質 珪藻合板																															
厚さ mm 9mm																																
C種	全面シート張り																															
4	監督職員事務所 (2.4.1)	規模 10㎡程度 20㎡程度 35㎡程度 65㎡程度 100㎡程度 仕上 床 合板張り素地 ビニル床シート敷き パンチペーパー敷き 内壁、天井 合板又はせっこうボード張り、合成樹脂珪藻合板塗り 屋根 塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り 鉄板張り鋼合板塗り 休憩室 設けない 設ける（敷数） 備品 机 いす 保護帽 ゴム長靴 雨がっぱ 衣類ボックス（上記6品、 人分程度） 書棚 黒板 製図板 掛時計 温度計 消火器 掃除機 懐中電灯 湯沸器 加入電話機 冷暖房機器 コピー機 ネット回線 流し台 改修標仕（令和4年版） 建築改修工事監理指針（令和4年版） 建築工事施工チェックシート 建築工事標準詳細図（令和4年改定） 工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編（最新版）																														

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項			
2 仮設工事	5 工用水 6 工用電力 7 仮囲い等 8 設計 G L	⑩ 構造体強度補正值 (6.3.2)	気温による構造体強度補正值 (S) (表6.3.2) 予想平均気温 () 補正值 (S) 期 間 (打 設 日) 普通 早強 8以上 5以上 3 3/6 ~ 6/30 3/11 ~ 7/20 3/11 ~ 7/10 N/mm2 9/11 ~ 11/15 9/1 ~ 11/5 9/1 ~ 10/31 0以上 0以上 6 11/16 ~ 3/5 11/ 6 ~ 3/10 11/ 1 ~ 3/10 8未満 5未満 N/mm2 南部地域 (京都市(一部を除く)、旧八木町、旧園部町以南の市町村) 北部地域 (宮津市、旧加悦町以北の市町) 中部地域 (上記以外の市町、旧美山町及び旧京北町含む)	③ 防水改修工事	断熱材 (屋根保護防水断熱工法) 厚さ _____ mm 断熱材 (屋根露出防水断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____ ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 図示による _____ 絶縁用シート ポリエチレンフィルム厚0.15mm以上 (保護防水工法) フラットヤークロス (70g/m程度) 立上り部の押え金物 アルミニウム製 L-30×15×2.0 立上がり部の保護 乾式保護材 窯業系パネル 類 (寒冷地仕様) 厚さ _____ 幅 _____ 窯業系パネル 類 (一般地仕様) 厚さ _____ 幅 _____ 普通れんが (JIS R 1250) 化粧れんが (JIS R 1250) コンクリート (工法 _____) 保護層 平場の保護コンクリート厚さ _____ mm こて仕上げ _____ mm 床タイル張り等仕上げ _____ mm コンクリート仕上りの平たんさ a種 b種 c種 (表8.1.5) 脱気装置 設ける 材 種 () 設置数量 (1箇所 / _____ m ²) 伸縮目地 成形伸縮目地材 _____ 成形継ぎ目材 ル-フing 類製造所の指定品 _____ 屋上排水溝 図示による _____ 屋根露出防水密着工法 種 別 防水層 施工箇所 仕上塗料 種類 使用量 M 4 A S 工法 AS-T1 AS-T2 表3.4.1 AS-J2 屋根露出防水絶縁工法 種 別 防水層 施工箇所 仕上塗料 種類 使用量 M 3 A S 工法 AS-T3 AS-T4 表3.4.2 P 0 A S 工法 AS-J1 AS-J3 屋根露出防水絶縁断熱工法 種 別 防水層 施工箇所 仕上塗料 種類 使用量 M 3 A S I 工法 AS1-T1 表3.4.3 M 4 A S I 工法 AS1-J1 P 0 A S I 工法 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm)程度 _____ 断熱材 (屋根露出防水絶縁断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____ 脱気装置 (絶縁工法) 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所 / _____ m ²) 防湿層 (屋根露出防水絶縁断熱工法) 設ける 設けない S-F1、S-M1、S-M2の仕様 非歩行仕様 軽歩行仕様 断熱材 (断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____ 機械的固定工法の場合 接着工法の場合 S I - M 1 及び S I - M 2 の場合の防湿用フィルム 設置する	② 土・鉄筋・コンクリート工事	⑪ コンクリートの試験 (6.9.2) ~ (6.9.5) 12 軽量コンクリート (6.10.1) ~ (6.10.3) 13 寒中コンクリート (6.11.1) ⑭ 暑中コンクリート (6.12.2)	④ 改質アスファルトシート防水 (3.4.2) ~ (3.4.4) ⑤ 合成高分子系ル-フingシート防水 (3.5.2) ~ (3.5.4)	③ 塗膜防水 (3.6.2) ~ (3.6.3) 7 漏水試験 ⑧ 保証書 9 施工協議 ⑩ シーリング (3.1.4) (3.7.2) ~ (3.7.8) 11 とい(雨水) (3.8.2) (3.8.3)	接着工法の場合で、P Cコンクリート部材下地の場合 目地処理 図示による _____ 入隅部の増張り (S-F1、S-I-F1の場合) 図示による _____ 絶縁用シート及び可塑性移行防止用シート 発泡ポリエチレンシート _____ 仕上げ塗料 珪酸エステル系 _____ 脱気装置 (絶縁工法) 設ける 材種 (SUS製) 設置数量 (1箇所 / _____ m ²) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定めること。 固定金具の材質及び寸法形状 防錆処理した鋼板、スルス鋼板又はそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工した鋼板で、厚さ0.4mm以上のもの 種 別 及び 工 程 防水層 施工箇所 仕上塗料 種類 使用量 P 0 X 工法 X-1 X-2 表3.6.1 X-1H X-2H L 4 X 工法 X-1 X-2 表3.6.2 X-1H X-2H P 1 Y 工法 Y-2 表3.6.3 P 2 Y 工法 _____ 脱気装置 (X-1) 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所 / _____ m ²) 保護層 設ける 設けない 水張り試験を行う (屋内 屋外) 受注者、防水施工業者、防水材料メーカーの運名による保証書を提出すること。 (保証年限は工事事目引渡しより10年間以上とする。) 工事完了後に監督職員の指示する位置へ取り付ける。 材質 真鍮製エッチング仕上 150×100 _____ 設置数量 () 箇所 シーリング材の種類 改修標仕 表3.7.1による シーリング改修工法及び施工箇所 改 修 工 法 の 種 別 施 工 箇 所 シーリング充填工法 シーリング再充填工法 金属建具廻り、金属(水切)廻り 拡幅シーリング再充填工法 ブリッジ工法 仕上げを行わない施工箇所 (図示による) _____ 目地寸法 コンクリートの打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 幅20mm以上、深さ10mm以上 _____ ガラス回りの目地 幅5mm以上、深さ5mm以上 _____ その他の目地 幅10mm以上、深さ10mm以上 _____ シーリングの試験 簡易接着性試験 (部位 _____) 引張接着性試験 (部位 _____) 外とい(外気に接するとい) 材 種 そ の 他 ルーフトレン ルーフトレン (JCV 301) 取付け 水はけ良く、床面より 下げ、周囲の隙間に モルタルを充填する 軒どい 硬質塩化ビニル製 (角形) (前高) 巾120mm (カラー) 巾150mm たてとい 硬質塩化ビニル管 (VP) (カラー) 径 75mm 谷どい とい受け金物、足金物 改修標仕 表 3.8.2 により溶融 多雪地域の軒どい 垂鉛めつきを行ったもの 取付間隔 0.5m 以下
② 土・鉄筋・コンクリート工事	① 埋め戻し及び盛土 (3.2.3) (表3.2.1) ② 建設発生土の処理 (3.2.5) ③ 鉄筋の種類 (5.2.1) (表5.2.1) ④ 溶接金網 (5.2.2) ⑤ コンクリートの種類 (6.2.1) (表6.2.1) ⑥ コンクリートの強度 (6.2.2) (6.2.4) (6.10.2) (6.14.1) ⑦ セメントの類別 (6.3.1) ⑧ 骨材 (6.3.1) ⑨ 混和材料 (6.3.1)	① 既存防水の処理 (3.1.4) (3.2.3) ~ (3.2.5) ② 既存下地の処理 (3.2.6) 3 アスファルト防水 (3.3.2) ~ (3.3.5)	① 埋め戻し及び盛土 (3.2.3) (表3.2.1) ② 建設発生土の処理 (3.2.5) ③ 鉄筋の種類 (5.2.1) (表5.2.1) ④ 溶接金網 (5.2.2) ⑤ コンクリートの種類 (6.2.1) (表6.2.1) ⑥ コンクリートの強度 (6.2.2) (6.2.4) (6.10.2) (6.14.1) ⑦ セメントの類別 (6.3.1) ⑧ 骨材 (6.3.1) ⑨ 混和材料 (6.3.1)	① 既存防水の処理 (3.1.4) (3.2.3) ~ (3.2.5) ② 既存下地の処理 (3.2.6) 3 アスファルト防水 (3.3.2) ~ (3.3.5)	① 埋め戻し及び盛土 (3.2.3) (表3.2.1) ② 建設発生土の処理 (3.2.5) ③ 鉄筋の種類 (5.2.1) (表5.2.1) ④ 溶接金網 (5.2.2) ⑤ コンクリートの種類 (6.2.1) (表6.2.1) ⑥ コンクリートの強度 (6.2.2) (6.2.4) (6.10.2) (6.14.1) ⑦ セメントの類別 (6.3.1) ⑧ 骨材 (6.3.1) ⑨ 混和材料 (6.3.1)	① 埋め戻し及び盛土 (3.2.3) (表3.2.1) ② 建設発生土の処理 (3.2.5) ③ 鉄筋の種類 (5.2.1) (表5.2.1) ④ 溶接金網 (5.2.2) ⑤ コンクリートの種類 (6.2.1) (表6.2.1) ⑥ コンクリートの強度 (6.2.2) (6.2.4) (6.10.2) (6.14.1) ⑦ セメントの類別 (6.3.1) ⑧ 骨材 (6.3.1) ⑨ 混和材料 (6.3.1)	① 埋め戻し及び盛土 (3.2.3) (表3.2.1) ② 建設発生土の処理 (3.2.5) ③ 鉄筋の種類 (5.2.1) (表5.2.1) ④ 溶接金網 (5.2.2) ⑤ コンクリートの種類 (6.2.1) (表6.2.1) ⑥ コンクリートの強度 (6.2.2) (6.2.4) (6.10.2) (6.14.1) ⑦ セメントの類別 (6.3.1) ⑧ 骨材 (6.3.1) ⑨ 混和材料 (6.3.1)			

株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第39号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 () 構造/設備関係規定 への法適合を確認した 一級建築士登録 大臣 ()	名称 小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事 図名 建築改修工事特記仕様書 (2)	No. A - 0 2 縮尺 A2: - A3: -
--------------------------------	---------------------------	---	---	--

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																											
③ 防水改修工事	<p>内とい（V.P管は使用しない）</p> <table border="1"> <tr> <th>材 質</th> <th>そ の 他</th> </tr> <tr> <td>たてとい及び横走り管 SGP</td> <td>径 75mm</td> </tr> <tr> <td>とい受け金物、足金物</td> <td>改修標仕 表 3.8.2 により溶融垂鉛めっきを行ったもの 多雪地域の軒といの取付間隔 0.5m 以下</td> </tr> <tr> <td>防露巻き</td> <td>改修標仕表3.8.3による F</td> </tr> </table> <p>掃除口を設ける（開放性のある自転車置き場のといを除く） 養生鉄管を設ける（径 厚さ 長さ ） 既存といの撤去及び養生（ ） 鋼管製といの防露巻（ 改修標仕表3.8.4による ） たてとい受金物（ ）</p> <p>(表3.9.1)(表5.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>幅</th> <th>板厚(mm)</th> <th>表 面 処 理</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>250 形</td> <td>250</td> <td>1.6</td> <td>AB-1種 AB-2種</td> <td rowspan="5">隅角部及び突出り部等の役物は本体製所造の仕様による。</td> </tr> <tr> <td>300 形</td> <td>300</td> <td>1.8</td> <td>AC-1種 AC-2種</td> </tr> <tr> <td>350 形</td> <td>350</td> <td>2.0</td> <td>BA-1種 BA-2種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>BB-1種 BB-2種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>BC-1種 BC-2種</td> </tr> <tr> <td>曲げ材</td> <td>2.0</td> <td></td> <td>C種</td> <td></td> </tr> </table> <p>既存笠木等の撤去 行う（範囲 図示 ） 行わない</p> <p>下地補修の工法 図示</p> <p>板材折曲げ形の笠木取付方法 図示</p> <p>建築基準法に基づく風圧力・積雪荷重に対応した工法 図示による</p>	材 質	そ の 他	たてとい及び横走り管 SGP	径 75mm	とい受け金物、足金物	改修標仕 表 3.8.2 により溶融垂鉛めっきを行ったもの 多雪地域の軒といの取付間隔 0.5m 以下	防露巻き	改修標仕表3.8.3による F	種 類	幅	板厚(mm)	表 面 処 理	備 考	250 形	250	1.6	AB-1種 AB-2種	隅角部及び突出り部等の役物は本体製所造の仕様による。	300 形	300	1.8	AC-1種 AC-2種	350 形	350	2.0	BA-1種 BA-2種				BB-1種 BB-2種				BC-1種 BC-2種	曲げ材	2.0		C種		4 外壁改修工事	<p>(4.1.4) (4.3.5) ~ (4.3.8)</p> <p>モルタル塗り仕上げ 樹脂注入方法</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> <tr> <td>自動式低圧I^{B} 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>200~300</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>手動式I^{B} 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>機械式I^{B} 樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>130</td> </tr> </table> <p>コア抜き検査 行う 行わない 抜き回数 長さ500mごと及びその端数につき1個</p> <p>抜き部の補修方法 図示</p> <p>Uカットシール材充填方法</p> <p>シーリング材</p> <p>充填材料 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 行う 行わない</p> <p>可とう性エポキシ樹脂</p> <p>シール工法</p> <p>パテ状エポキシ樹脂</p> <p>可とう性エポキシ樹脂</p>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	自動式低圧 I^{B} 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130	手動式 I^{B} 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40	機械式 I^{B} 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70		0.5以上1.0未満	150~250	130	4 外壁改修工事	<p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 改修標準仕様書4.4.2による タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着力試験 行う 行わない</p> <p>抜き部の補修方法 図示 セメントモルタルによるタイル張り 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ○ 目荒し工法（4.3.10(3)による）○ タイル張りの工法 外装タイル 密着張り 改良圧着張り 外装ユニットタイル マスク張り モザイクタイル張り 有機系接着剤によるタイル張り モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ○ 目荒し工法（4.3.10(3)による）○ シーリング材の種類 打継ぎ目地 ひび割れ誘発目地 ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 変性シリコーン系 タイルの種類 外装タイル ユニットタイル</p>	4 外壁改修工事	<p>(4.2.4) (4.4.7) ~ (4.4.8)</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>1箇所の面積 (㎡)</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>タイル部分張替え工法</td> <td>0.25未満</td> <td>ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系接着剤(JIS A 5557による)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイル張替え工法</td> <td></td> <td>張付けモルタル 現場調査材料 既調査モルタル 一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系接着剤(JIS A 5557による)</td> <td></td> </tr> </table> <p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 改修標準仕様書4.5.1による タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着力試験 行う 行わない</p> <p>抜き部の補修方法 図示 セメントモルタルによるタイル張り 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ○ 目荒し工法（4.3.10(3)による）○ タイル張りの工法 外装タイル 密着張り 改良圧着張り 外装ユニットタイル マスク張り モザイクタイル張り 有機系接着剤によるタイル張り シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 変性シリコーン系 タイルの種類 外装タイル ユニットタイル</p>	工 法	1箇所の面積 (㎡)	材 料	施 工 箇 所	タイル部分張替え工法	0.25未満	ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系接着剤(JIS A 5557による)		タイル張替え工法		張付けモルタル 現場調査材料 既調査モルタル 一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系接着剤(JIS A 5557による)																																																																																																																																					
	材 質	そ の 他																																																																																																																																																																																																																
たてとい及び横走り管 SGP	径 75mm																																																																																																																																																																																																																	
とい受け金物、足金物	改修標仕 表 3.8.2 により溶融垂鉛めっきを行ったもの 多雪地域の軒といの取付間隔 0.5m 以下																																																																																																																																																																																																																	
防露巻き	改修標仕表3.8.3による F																																																																																																																																																																																																																	
種 類	幅	板厚(mm)	表 面 処 理	備 考																																																																																																																																																																																																														
250 形	250	1.6	AB-1種 AB-2種	隅角部及び突出り部等の役物は本体製所造の仕様による。																																																																																																																																																																																																														
300 形	300	1.8	AC-1種 AC-2種																																																																																																																																																																																																															
350 形	350	2.0	BA-1種 BA-2種																																																																																																																																																																																																															
			BB-1種 BB-2種																																																																																																																																																																																																															
			BC-1種 BC-2種																																																																																																																																																																																																															
曲げ材	2.0		C種																																																																																																																																																																																																															
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																																																																																																																																																															
自動式低圧 I^{B} 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130																																																																																																																																																																																																															
手動式 I^{B} 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40																																																																																																																																																																																																															
機械式 I^{B} 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70																																																																																																																																																																																																															
	0.5以上1.0未満	150~250	130																																																																																																																																																																																																															
工 法	1箇所の面積 (㎡)	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																															
タイル部分張替え工法	0.25未満	ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系接着剤(JIS A 5557による)																																																																																																																																																																																																																
タイル張替え工法		張付けモルタル 現場調査材料 既調査モルタル 一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系接着剤(JIS A 5557による)																																																																																																																																																																																																																
12 アルミニウム製 笠木 (3.9.2) (3.9.3)	<p>調査範囲 外壁改修範囲 図示の範囲</p> <p>調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を確認する。 モルタル塗り仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規塗材との適合性を確認する。</p> <p>既存部分の破壊を行った場合の補修方法 図示</p> <p>調査報告書の部数 2部</p> <p>施工に先立ち、建築士診断技術者（BELCA）による外壁劣化状況調査報告書を監督職員に提出し承諾を得ること。</p>	<p>(4.1.4) (4.4.5) ~ (4.4.6)</p> <p>タイル張り仕上げ 樹脂注入方法</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> <tr> <td>自動式低圧I^{B} 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>200~300</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>手動式I^{B} 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>機械式I^{B} 樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>130</td> </tr> </table> <p>ひび割れ部の注入状況の確認 コア抜き検査 抜き回数 長さ500mごと及びその端数につき1個 抜き部の補修方法 図示</p> <p>タイル撤去後の補修</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>タイル部分張替え工法</td> <td>ポリマーセメントモルタル 変成シリコーン樹脂 ウレタン樹脂</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイル張替え工法</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	自動式低圧 I^{B} 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130	手動式 I^{B} 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40	機械式 I^{B} 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70		0.5以上1.0未満	150~250	130	工 法	材 料	施 工 箇 所	タイル部分張替え工法	ポリマーセメントモルタル 変成シリコーン樹脂 ウレタン樹脂		タイル張替え工法			<p>(4.1.4) (4.2.4) (4.2.7)</p> <p>モルタル塗り仕上げ 樹脂注入方法</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入口間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> <tr> <td>自動式低圧I^{B} 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>200~300</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>手動式I^{B} 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>機械式I^{B} 樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>130</td> </tr> </table> <p>コア抜き検査 行う 行わない（注入状況確認方法 ） 抜き回数 長さ500mごと及びその端数につき1個 抜き部の補修方法 図示</p> <p>Uカットシール材充填方法</p> <p>シーリング材</p> <p>充填材料 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 行う 行わない</p> <p>可とう性エポキシ樹脂</p> <p>シール工法</p> <p>パテ状エポキシ樹脂</p> <p>可とう性エポキシ樹脂</p>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	自動式低圧 I^{B} 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130	手動式 I^{B} 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40	機械式 I^{B} 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70		0.5以上1.0未満	150~250	130	<p>4 外壁改修工事</p> <p>1 施工数量調査 (1.6.2)</p> <p>2 ひび割れ部改修 (4.1.4) (4.2.4) ~ (4.2.7)</p> <p>3 欠損部改修 (4.1.4) (4.2.4) (4.2.7)</p> <p>(4.1.4) (4.4.5) ~ (4.4.8)</p> <p>4 浮き部改修工法 (4.1.4) (4.3.11) ~ (4.3.16)</p> <p>5 目地改修工法 (4.1.4) (4.4.5) (4.4.16)</p> <p>6 樹脂注入工法 (4.2.4) (4.2.5)</p> <p>7 Uカットシール材充填工法 (4.2.6)</p> <p>8 アカビツコング注入工法 (4.3.5)</p> <p>9 注入口付アカビツコング注入工法 (4.3.5)</p> <p>10 モルタル塗替え工法 (4.3.5)</p>	<p>アンカーピン ステンレス鋼（SUS304）呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>注入口付アンカーピン ステンレス鋼（SUS304）呼び径6mm程度</p> <p>注入工法用材料 ポリマーセメントスラリー</p> <table border="1"> <tr> <th>広がり速度 (cm/s)</th> <th>長さ変化率 (収縮) (%)</th> <th>引張接着性 (材齢28日) (N/mm²)</th> <th>曲げ性能 (材齢28日) (N/mm²)</th> <th>吸水性 (72時間) (%)</th> <th>耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm²)</th> </tr> <tr> <td>3以上</td> <td>3以下</td> <td>0.5以上</td> <td>5.0以上</td> <td>15以上</td> <td>5.0以上</td> </tr> </table> <p>保水係数 0.35~0.55 粘調係数 0.50~1.00</p> <p>充填工法用材料 エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル モルタル塗替え工法用材料 既製目地材 使用する（形状 ） 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示</p> <p>タイル張り仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>アカビツコング (本/㎡) 一般部 指定部</th> <th>注入口 (箇所/㎡) 一般部 指定部</th> <th>充填量 (箇所/㎡)</th> <th>注入量 (箇所/㎡)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>アカビツコング 部分I^{B} 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカビツコング 全面I^{B} 樹脂注入工法</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカビツコング 全面I^{B} 樹脂注入工法</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>50</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカビツコング 全面I^{B} 樹脂注入工法</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>50</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカビツコング 全面I^{B} 樹脂注入工法</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカビツコング 部分I^{B} 樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカビツコング 全面I^{B} 樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカビツコング 全面I^{B} 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>50</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカビツコング 全面I^{B} 樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>50</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカビツコング 全面I^{B} 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>25</td> <td>25</td> <td></td> </tr> </table> <p>アンカーピン ステンレス鋼（SUS304）呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>注入口付アンカーピン ステンレス鋼（SUS304）呼び径6mm程度</p> <p>注入工法用材料 ポリマーセメントスラリー</p> <table border="1"> <tr> <th>広がり速度 (cm/s)</th> <th>長さ変化率 (収縮) (%)</th> <th>引張接着性 (材齢28日) (N/mm²)</th> <th>曲げ性能 (材齢28日) (N/mm²)</th> <th>吸水性 (72時間) (%)</th> <th>耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm²)</th> </tr> <tr> <td>3以上</td> <td>3以下</td> <td>0.5以上</td> <td>5.0以上</td> <td>15以上</td> <td>5.0以上</td> </tr> </table> <p>保水係数 0.35~0.55 粘調係数 0.50~1.00</p> <p>充填工法用材料 エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル モルタル塗替え工法用材料 既製目地材 使用する（形状 ） 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示</p> <p>タイル張り仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>アカビツコング (本/㎡) 一般部 指定部</th> <th>注入口 (箇所/㎡) 一般部 指定部</th> <th>充填量 (箇所/㎡)</th> <th>注入量 (箇所/㎡)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>アカビツコング 部分I^{B} 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカビツコング 全面I^{B} 樹脂注入工法</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカビツコング 全面I^{B} 樹脂注入工法</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>50</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカビツコング 全面I^{B} 樹脂注入工法</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>50</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカビツコング 全面I^{B} 樹脂注入工法</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカビツコング 部分I^{B} 樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカビツコング 全面I^{B} 樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカビツコング 全面I^{B} 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>50</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカビツコング 全面I^{B} 樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>50</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカビツコング 全面I^{B} 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>25</td> <td>25</td> <td></td> </tr> </table> <p>アンカーピンの材質 ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mm、全ネジ切り丸棒</p> <p>注入口付アンカーピンの材質 ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度</p> <p>モルタル 現場調査材料 既調査材料（ ） 既製目地材 使用する（形状 ）</p>	広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm ²)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm ²)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm ²)	3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以上	5.0以上	工 法	アカビツコング (本/㎡) 一般部 指定部	注入口 (箇所/㎡) 一般部 指定部	充填量 (箇所/㎡)	注入量 (箇所/㎡)	施工箇所	アカビツコング 部分 I^{B} 樹脂注入工法	16		25			アカビツコング 全面 I^{B} 樹脂注入工法	13	12	25			アカビツコング 全面 I^{B} 樹脂注入工法	20	20	50			アカビツコング 全面 I^{B} 樹脂注入工法	13	12	50			アカビツコング 全面 I^{B} 樹脂注入工法	20	20	25			注入口付アカビツコング 部分 I^{B} 樹脂注入工法	9		25			注入口付アカビツコング 全面 I^{B} 樹脂注入工法	9	9	25			注入口付アカビツコング 全面 I^{B} 樹脂注入工法	16	16	50			注入口付アカビツコング 全面 I^{B} 樹脂注入工法	9	9	50			注入口付アカビツコング 全面 I^{B} 樹脂注入工法	16	16	25	25		広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm ²)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm ²)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm ²)	3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以上	5.0以上	工 法	アカビツコング (本/㎡) 一般部 指定部	注入口 (箇所/㎡) 一般部 指定部	充填量 (箇所/㎡)	注入量 (箇所/㎡)	施工箇所	アカビツコング 部分 I^{B} 樹脂注入工法	16		25			アカビツコング 全面 I^{B} 樹脂注入工法	13	12	25			アカビツコング 全面 I^{B} 樹脂注入工法	20	20	50			アカビツコング 全面 I^{B} 樹脂注入工法	13	12	50			アカビツコング 全面 I^{B} 樹脂注入工法	20	20	25			注入口付アカビツコング 部分 I^{B} 樹脂注入工法	9		25			注入口付アカビツコング 全面 I^{B} 樹脂注入工法	9	9	25			注入口付アカビツコング 全面 I^{B} 樹脂注入工法	16	16	50			注入口付アカビツコング 全面 I^{B} 樹脂注入工法	9	9	50			注入口付アカビツコング 全面 I^{B} 樹脂注入工法	16	16	25	25	
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																																																																																																																																																															
自動式低圧 I^{B} 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130																																																																																																																																																																																																															
手動式 I^{B} 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40																																																																																																																																																																																																															
機械式 I^{B} 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70																																																																																																																																																																																																															
	0.5以上1.0未満	150~250	130																																																																																																																																																																																																															
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																
タイル部分張替え工法	ポリマーセメントモルタル 変成シリコーン樹脂 ウレタン樹脂																																																																																																																																																																																																																	
タイル張替え工法																																																																																																																																																																																																																		
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																																																																																																																																																															
自動式低圧 I^{B} 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130																																																																																																																																																																																																															
手動式 I^{B} 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40																																																																																																																																																																																																															
機械式 I^{B} 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70																																																																																																																																																																																																															
	0.5以上1.0未満	150~250	130																																																																																																																																																																																																															
広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm ²)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm ²)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm ²)																																																																																																																																																																																																													
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以上	5.0以上																																																																																																																																																																																																													
工 法	アカビツコング (本/㎡) 一般部 指定部	注入口 (箇所/㎡) 一般部 指定部	充填量 (箇所/㎡)	注入量 (箇所/㎡)	施工箇所																																																																																																																																																																																																													
アカビツコング 部分 I^{B} 樹脂注入工法	16		25																																																																																																																																																																																																															
アカビツコング 全面 I^{B} 樹脂注入工法	13	12	25																																																																																																																																																																																																															
アカビツコング 全面 I^{B} 樹脂注入工法	20	20	50																																																																																																																																																																																																															
アカビツコング 全面 I^{B} 樹脂注入工法	13	12	50																																																																																																																																																																																																															
アカビツコング 全面 I^{B} 樹脂注入工法	20	20	25																																																																																																																																																																																																															
注入口付アカビツコング 部分 I^{B} 樹脂注入工法	9		25																																																																																																																																																																																																															
注入口付アカビツコング 全面 I^{B} 樹脂注入工法	9	9	25																																																																																																																																																																																																															
注入口付アカビツコング 全面 I^{B} 樹脂注入工法	16	16	50																																																																																																																																																																																																															
注入口付アカビツコング 全面 I^{B} 樹脂注入工法	9	9	50																																																																																																																																																																																																															
注入口付アカビツコング 全面 I^{B} 樹脂注入工法	16	16	25	25																																																																																																																																																																																																														
広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm ²)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm ²)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm ²)																																																																																																																																																																																																													
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以上	5.0以上																																																																																																																																																																																																													
工 法	アカビツコング (本/㎡) 一般部 指定部	注入口 (箇所/㎡) 一般部 指定部	充填量 (箇所/㎡)	注入量 (箇所/㎡)	施工箇所																																																																																																																																																																																																													
アカビツコング 部分 I^{B} 樹脂注入工法	16		25																																																																																																																																																																																																															
アカビツコング 全面 I^{B} 樹脂注入工法	13	12	25																																																																																																																																																																																																															
アカビツコング 全面 I^{B} 樹脂注入工法	20	20	50																																																																																																																																																																																																															
アカビツコング 全面 I^{B} 樹脂注入工法	13	12	50																																																																																																																																																																																																															
アカビツコング 全面 I^{B} 樹脂注入工法	20	20	25																																																																																																																																																																																																															
注入口付アカビツコング 部分 I^{B} 樹脂注入工法	9		25																																																																																																																																																																																																															
注入口付アカビツコング 全面 I^{B} 樹脂注入工法	9	9	25																																																																																																																																																																																																															
注入口付アカビツコング 全面 I^{B} 樹脂注入工法	16	16	50																																																																																																																																																																																																															
注入口付アカビツコング 全面 I^{B} 樹脂注入工法	9	9	50																																																																																																																																																																																																															
注入口付アカビツコング 全面 I^{B} 樹脂注入工法	16	16	25	25																																																																																																																																																																																																														
4 外壁改修工事	<p>1 施工数量調査 (1.6.2)</p> <p>2 ひび割れ部改修 (4.1.4) (4.2.4) ~ (4.2.7)</p> <p>3 欠損部改修 (4.1.4) (4.2.4) (4.2.7)</p> <p>(4.1.4) (4.4.5) ~ (4.4.8)</p>	<p>4 外壁改修工事</p> <p>1 施工数量調査 (1.6.2)</p> <p>2 ひび割れ部改修 (4.1.4) (4.2.4) ~ (4.2.7)</p> <p>3 欠損部改修 (4.1.4) (4.2.4) (4.2.7)</p> <p>(4.1.4) (4.4.5) ~ (4.4.8)</p>	<p>4 外壁改修工事</p> <p>1 施工数量調査 (1.6.2)</p> <p>2 ひび割れ部改修 (4.1.4) (4.2.4) ~ (4.2.7)</p> <p>3 欠損部改修 (4.1.4) (4.2.4) (4.2.7)</p> <p>(4.1.4) (4.4.5) ~ (4.4.8)</p>	<p>4 外壁改修工事</p> <p>1 施工数量調査 (1.6.2)</p> <p>2 ひび割れ部改修 (4.1.4) (4.2.4) ~ (4.2.7)</p> <p>3 欠損部改修 (4.1.4) (4.2.4) (4.2.7)</p> <p>(4.1.4) (4.4.5) ~ (4.4.8)</p>	<p>4 外壁改修工事</p> <p>1 施工数量調査 (1.6.2)</p> <p>2 ひび割れ部改修 (4.1.4) (4.2.4) ~ (4.2.7)</p> <p>3 欠損部改修 (4.1.4) (4.2.4) (4.2.7)</p> <p>(4.1.4) (4.4.5) ~ (4.4.8)</p>	<p>4 外壁改修工事</p> <p>1 施工数量調査 (1.6.2)</p> <p>2 ひび割れ部改修 (4.1.4) (4.2.4) ~ (4.2.7)</p> <p>3 欠損部改修 (4.1.4) (4.2.4) (4.2.7)</p> <p>(4.1.4) (4.4.5) ~ (4.4.8)</p>	<p>4 外壁改修工事</p> <p>1 施工数量調査 (1.6.2)</p> <p>2 ひび割れ部改修 (4.1.4) (4.2.4) ~ (4.2.7)</p> <p>3 欠損部改修 (4.1.4) (4.2.4) (4.2.7)</p> <p>(4.1.4) (4.4.5) ~ (4.4.8)</p>																																																																																																																																																																																																											
		株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号		板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号		構造設計 一級建築士登録 大臣 ()		構造設計 一級建築士登録 大臣 ()		名称 小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事		No. A-03																																																																																																																																																																																																						
						構造/設備関係規定 への法適合を確認した		構造設計/設備設計 一級建築士登録 大臣 ()		図名 建築改修工事特記仕様書 (3)		縮尺 A2: - A3: -																																																																																																																																																																																																						

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																																																																																											
4	外壁改修工事	11 外壁部分張替え工法及び外壁張替え工法 (4.4.5) (4.4.7) (4.4.8)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所及び工法の種別</th> <th>形状寸法(mm)</th> <th>生地</th> <th>釉薬</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐滑り性</th> <th>工法その他</th> </tr> <tr> <td>図示</td> <td></td> <td>磁器 せつ器 陶器</td> <td>無釉</td> <td>有り 無し</td> <td>標準 特注</td> <td>有り 無し</td> <td></td> </tr> </table> <p>既調合モルタル () タイルの試験張り 行わない 行う (施工箇所) タイルの見本焼 行わない 行う (範囲、仕様は図示による) 施工後の確認及び試験 (タイル部分張替え工法を除く) 浮きの確認 全面打診による確認を行う 接着力の試験 接着力試験機による接着力試験を行う 行わない</p>	施工箇所及び工法の種別	形状寸法(mm)	生地	釉薬	役物	色	耐凍害性	耐滑り性	工法その他	図示		磁器 せつ器 陶器	無釉	有り 無し	標準 特注	有り 無し		4	外壁改修工事	15 マスチック塗材塗り (4.1.5) (4.6.2)	種別 A種 B種 (表4.6.1) 塗り (4.1.5) (4.6.2)	5	建具改修工事	8 網戸等 (5.2.3) (5.3.3)	防虫網 網の種類 合成樹脂製 ガラス繊維入り合成樹脂製 ステンレス製 (SUS316) 外部可動式 固定式 線径、網目 0.25mm以上、16-18メッシュ 防鳥網 設置する	5	建具改修工事	12 窓下人研面台の補修	タイル張替え工法の伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 改修仕様表4.4.2による 図示による	5	建具改修工事	9 樹脂製建具 (5.3.2) (5.3.5)	外部に面する樹脂製建具の性能等級 (表5.3.1) <table border="1"> <tr> <th>性能等級</th> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>C種</th> </tr> <tr> <td>耐風圧性</td> <td>S - 4</td> <td>S - 5</td> <td>S - 6</td> </tr> <tr> <td>気密性</td> <td colspan="3">A - 4</td> </tr> <tr> <td>水密性</td> <td>W - 4</td> <td colspan="2">W - 5</td> </tr> <tr> <td>特見込み(mm)</td> <td colspan="3">図示</td> </tr> </table> <p>防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 T-1 T-2) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 H-4 H-5 H-6 H-7 H-8)</p> <p>ガラス 複層ガラス 単板ガラス 三重ガラス 表面色 標準色 特注色 水切り、ぜん板等 図示による ○ ステンレス製のくつずりの仕上げ HL</p>	性能等級	A種	B種	C種	耐風圧性	S - 4	S - 5	S - 6	気密性	A - 4			水密性	W - 4	W - 5		特見込み(mm)	図示			5	建具改修工事	13 仕上塗材 (4.1.5) (4.5.2) (4.5.6)	シール工法 (仕上げ塗材は外壁仕上塗材の上塗り材とする。) 塗膜防水 (弾性ウレタン系 エポキシ系)	5	建具改修工事	10 鋼製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.4.4)	外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 (○) (表5.2.1) 簡易気密庫の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1) 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級) 耐震ドアとする場合 (面内変形追従性の等級)	5	建具改修工事	14 既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	防火材料の指定 なし 下地補修後の打放しコンクリート壁面の仕上げ補修 行う (参考工法: 製造所:) 行わない 仕上塗材の耐候性 耐候形3種 仕上塗材の上塗材 溶媒 水系 樹脂 アクリル系 外観 つや有 つやなし メタリック 既存塗膜の除去方法 試験施工実施 サンダー工法 高圧水洗工法 (試験施工実施) (加圧力 30Mpa) 塗膜はく離工法 (製造所:) 水洗い工法 (テットラ 高圧洗浄機 10-15pa) 既存塗膜の除去範囲 既存仕上げ面全体 既存壁面の (%) 別図に示す範囲	5	建具改修工事	11 鋼製軽量建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.4.4)	鋼板類の厚さ 表5.4.2 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) ステンレス製のくつずりの仕上げ HL 標準型钢製建具の形式及び寸法 建具表による	5	建具改修工事	12 ステンレス製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.6.2) (5.6.5)	外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 (○) (表5.2.1) 簡易気密庫の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1) 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 T-1 T-2 T-3) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 H-2 H-3) 耐震ドアとする場合 (面内変形追従性の等級 D-1 D-2)	5	建具改修工事	13 建具用金物 (5.8.2) (5.8.4)	マスターキーの製作 作成する (グループ、各グループ 個) 作成しない 在来マスターキーに合わせる 鍵の制作本数 3本1組 (室名札付き) 鍵箱 無 有 開き戸 (表5.8.1) <table border="1"> <tr> <th>金物の種類</th> <th>見え掛り部の材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>シリンダー錠</td> <td>握り玉: スズ レバー・ノド: 7%ニッケル合金、 (スズ、黄銅)</td> <td>取付位置 () 実用性能項目 グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、スズ建具) 耐じん性能のグレード</td> </tr> <tr> <td>本締り錠</td> <td>シリンダー・キー: スズ</td> <td>実用性能項目 グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、スズ建具) 耐じん性能のグレード</td> </tr> <tr> <td>空錠</td> <td>握り玉: スズ レバー・ノド: 7%ニッケル合金、 (スズ、黄銅)</td> <td>取付位置 ()</td> </tr> <tr> <td>グレモン錠</td> <td>レバー・ノド: 亜鉛合金、 (スズ)</td> <td>取付位置 ()</td> </tr> <tr> <td>ケースハンドル錠</td> <td>ステンレス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>点検口錠</td> <td>亜鉛合金程度、 (スズ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>丁番</td> <td>スズ、 (黄銅)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ピボットヒンジ</td> <td>加-部: スズ、 (亜鉛合金)</td> <td>亜鉛合金は木製建具用のみ</td> </tr> <tr> <td>点検口軸吊りヒンジ</td> <td>建具製作所の仕様による</td> <td>自閉装置付き</td> </tr> <tr> <td>フロアヒンジ</td> <td>加-部: スズ、 (本体は鋼)</td> <td>ドアクローザー</td> </tr> <tr> <td>ヒンジ・クローザー (丁番型)</td> <td>鋼 (焼付け塗装)</td> <td>遅延閉り機能付き</td> </tr> <tr> <td>ヒンジ・クローザー (ビット型)</td> <td>加-部: スズ、 (本体は鋼)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ドアクローザー</td> <td>本体: 7%ニッケル合金 7-A部: 鋼 (焼付け塗装)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>閉鎖順位調整器</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>押棒・押板</td> <td>(スズ、黄銅、合成樹脂)</td> <td>取付位置 ()</td> </tr> <tr> <td>上げ落し (フランス落し)</td> <td>亜鉛合金程度、 (スズ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7-A部トガ</td> <td>鋼 (加-めっき)、 (スズ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>戸当り</td> <td>亜鉛合金程度、 (スズ、黄銅)</td> <td>あおり止め付き</td> </tr> </table>	金物の種類	見え掛り部の材質	その他	シリンダー錠	握り玉: スズ レバー・ノド: 7%ニッケル合金、 (スズ、黄銅)	取付位置 () 実用性能項目 グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、スズ建具) 耐じん性能のグレード	本締り錠	シリンダー・キー: スズ	実用性能項目 グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、スズ建具) 耐じん性能のグレード	空錠	握り玉: スズ レバー・ノド: 7%ニッケル合金、 (スズ、黄銅)	取付位置 ()	グレモン錠	レバー・ノド: 亜鉛合金、 (スズ)	取付位置 ()	ケースハンドル錠	ステンレス		点検口錠	亜鉛合金程度、 (スズ)		丁番	スズ、 (黄銅)		ピボットヒンジ	加-部: スズ、 (亜鉛合金)	亜鉛合金は木製建具用のみ	点検口軸吊りヒンジ	建具製作所の仕様による	自閉装置付き	フロアヒンジ	加-部: スズ、 (本体は鋼)	ドアクローザー	ヒンジ・クローザー (丁番型)	鋼 (焼付け塗装)	遅延閉り機能付き	ヒンジ・クローザー (ビット型)	加-部: スズ、 (本体は鋼)		ドアクローザー	本体: 7%ニッケル合金 7-A部: 鋼 (焼付け塗装)		閉鎖順位調整器			押棒・押板	(スズ、黄銅、合成樹脂)	取付位置 ()	上げ落し (フランス落し)	亜鉛合金程度、 (スズ)		7-A部トガ	鋼 (加-めっき)、 (スズ)		戸当り	亜鉛合金程度、 (スズ、黄銅)	あおり止め付き	5	建具改修工事	14 自動ドア開閉装置 (5.9.2) (5.9.3)	駆動装置及び検出装置の性能 引き戸用駆動装置性能値 改修仕様表5.9.1による (SSLD-1 SSLD-2 DSLD-1 DSLD-2) <table border="1"> <tr> <th>種類・開閉方式</th> <th>耐電圧</th> <th>温度上昇</th> <th>耐久性(サイクル)</th> <th>防錆</th> <th>電源</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置性能値 改修仕様表5.9.2による 耐電圧 温度上昇 耐久性(サイクル) 防錆 電源</p>	種類・開閉方式	耐電圧	温度上昇	耐久性(サイクル)	防錆	電源																			
		施工箇所及び工法の種別	形状寸法(mm)	生地	釉薬	役物	色	耐凍害性	耐滑り性	工法その他																																																																																																																																																												
		図示		磁器 せつ器 陶器	無釉	有り 無し	標準 特注	有り 無し																																																																																																																																																														
		性能等級	A種	B種	C種																																																																																																																																																																	
		耐風圧性	S - 4	S - 5	S - 6																																																																																																																																																																	
		気密性	A - 4																																																																																																																																																																			
		水密性	W - 4	W - 5																																																																																																																																																																		
		特見込み(mm)	図示																																																																																																																																																																			
		金物の種類	見え掛り部の材質	その他																																																																																																																																																																		
		シリンダー錠	握り玉: スズ レバー・ノド: 7%ニッケル合金、 (スズ、黄銅)	取付位置 () 実用性能項目 グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、スズ建具) 耐じん性能のグレード																																																																																																																																																																		
		本締り錠	シリンダー・キー: スズ	実用性能項目 グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、スズ建具) 耐じん性能のグレード																																																																																																																																																																		
		空錠	握り玉: スズ レバー・ノド: 7%ニッケル合金、 (スズ、黄銅)	取付位置 ()																																																																																																																																																																		
		グレモン錠	レバー・ノド: 亜鉛合金、 (スズ)	取付位置 ()																																																																																																																																																																		
		ケースハンドル錠	ステンレス																																																																																																																																																																			
点検口錠	亜鉛合金程度、 (スズ)																																																																																																																																																																					
丁番	スズ、 (黄銅)																																																																																																																																																																					
ピボットヒンジ	加-部: スズ、 (亜鉛合金)	亜鉛合金は木製建具用のみ																																																																																																																																																																				
点検口軸吊りヒンジ	建具製作所の仕様による	自閉装置付き																																																																																																																																																																				
フロアヒンジ	加-部: スズ、 (本体は鋼)	ドアクローザー																																																																																																																																																																				
ヒンジ・クローザー (丁番型)	鋼 (焼付け塗装)	遅延閉り機能付き																																																																																																																																																																				
ヒンジ・クローザー (ビット型)	加-部: スズ、 (本体は鋼)																																																																																																																																																																					
ドアクローザー	本体: 7%ニッケル合金 7-A部: 鋼 (焼付け塗装)																																																																																																																																																																					
閉鎖順位調整器																																																																																																																																																																						
押棒・押板	(スズ、黄銅、合成樹脂)	取付位置 ()																																																																																																																																																																				
上げ落し (フランス落し)	亜鉛合金程度、 (スズ)																																																																																																																																																																					
7-A部トガ	鋼 (加-めっき)、 (スズ)																																																																																																																																																																					
戸当り	亜鉛合金程度、 (スズ、黄銅)	あおり止め付き																																																																																																																																																																				
種類・開閉方式	耐電圧	温度上昇	耐久性(サイクル)	防錆	電源																																																																																																																																																																	
15 部分改修工法 (4.5.7)	仕上げ塗材の種類 薄付け仕上塗材 厚付け仕上塗材又は複層仕上塗材 防水形複層仕上塗材 マスチック塗材 施工箇所 別図に示す範囲	16 部分改修工法 (4.5.7)	外壁用塗膜防水材塗り (4.1.5) (4.7.2) (4.7.3)	17 外壁用塗膜防水材塗り (4.1.5) (4.7.2) (4.7.3)	外壁用塗膜防水塗り 仕上げの形状 工法 外壁用仕上げ塗材の耐候性 下地挙動緩衝材の適用 適用する 適用しない 吹付け工法の模様材の種類 所要量 (kg/m ²) 外壁用仕上げ塗材の種類 所要量 (kg/m ²)	1 性能 (5.2.2) (5.4.2) (5.4.4)	「第1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。	2 施工数量調査 (1.6.2)	行う (建具金物 ガラス ガラス止め材) 施工に先立ち、施工数量調査報告書を監督職員に提出し承諾を得ること。 行わない	3 改修工法 (5.1.3)	既存建具を新規建具に改修する場合 かぶせ工法 (カバー工法 持出し工法 ノンシール工法) 撤去工法 (はつり工法 引き抜き工法) 庫のみ 新規に建具を設置する場合 新規建具を設ける壁の開口方法 図示による 既存枠存置 新規建具周囲の補修工法及び範囲 図示による 周囲補修なし	4 防火戸 (5.1.4)	図示による 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 運動させる (建具表による) 運動させない	5 見本の製作等 (5.1.5) (5.1.6)	建具見本の製作 行う (建具番号) 特殊な建具の仮組 行う (建具番号) ブラインドボックス等の再使用 ()	6 防犯建物部品 (5.1.7)	開口部の侵入防止対策上有効な措置が講じられた「防犯建物部品」を適用する箇所 ・ ドア 適用箇所 () ・ サッシ 適用箇所 () ・ シャッター 適用箇所 ()	7 アルミニウム製建具 (5.2.2) (5.2.5)	外部に面するアルミニウム製建具の性能等級 (表5.2.1) <table border="1"> <tr> <th>性能等級</th> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>C種</th> </tr> <tr> <td>耐風圧性</td> <td>S - 4</td> <td>S - 5</td> <td>S - 6</td> </tr> <tr> <td>気密性</td> <td>A - 3</td> <td colspan="2">A - 4</td> </tr> <tr> <td>水密性</td> <td>W - 4</td> <td colspan="2">W - 5</td> </tr> <tr> <td>特見込み(mm)</td> <td>図示 70</td> <td>100</td> <td>図示</td> </tr> </table>	性能等級	A種	B種	C種	耐風圧性	S - 4	S - 5	S - 6	気密性	A - 3	A - 4		水密性	W - 4	W - 5		特見込み(mm)	図示 70	100	図示	表面処理 (表5.2.2)	<table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>色</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>B B - 1種</td> <td>標準 特注</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>B B - 2種</td> <td>標準 特注</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>標準 特注</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>標準 特注</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>標準 特注</td> <td></td> </tr> </table> <p>防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級)</p> <p>結露水の処理方法 ○ 水貯め式 ○ 排水式 図示による ○ 水切り、ぜん板等 図示による ○ ステンレス製のくつずりの仕上げ HL</p>	種別	色	施工箇所	B B - 1種	標準 特注	図示による	B B - 2種	標準 特注	図示による		標準 特注			標準 特注			標準 特注		8 網戸等 (5.2.3) (5.3.3)	防虫網 網の種類 合成樹脂製 ガラス繊維入り合成樹脂製 ステンレス製 (SUS316) 外部可動式 固定式 線径、網目 0.25mm以上、16-18メッシュ 防鳥網 設置する	9 樹脂製建具 (5.3.2) (5.3.5)	外部に面する樹脂製建具の性能等級 (表5.3.1) <table border="1"> <tr> <th>性能等級</th> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>C種</th> </tr> <tr> <td>耐風圧性</td> <td>S - 4</td> <td>S - 5</td> <td>S - 6</td> </tr> <tr> <td>気密性</td> <td colspan="3">A - 4</td> </tr> <tr> <td>水密性</td> <td>W - 4</td> <td colspan="2">W - 5</td> </tr> <tr> <td>特見込み(mm)</td> <td colspan="3">図示</td> </tr> </table> <p>防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 T-1 T-2) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 H-4 H-5 H-6 H-7 H-8)</p> <p>ガラス 複層ガラス 単板ガラス 三重ガラス 表面色 標準色 特注色 水切り、ぜん板等 図示による ○ ステンレス製のくつずりの仕上げ HL</p>	性能等級	A種	B種	C種	耐風圧性	S - 4	S - 5	S - 6	気密性	A - 4			水密性	W - 4	W - 5		特見込み(mm)	図示			10 鋼製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.4.4)	外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 (○) (表5.2.1) 簡易気密庫の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1) 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級) 耐震ドアとする場合 (面内変形追従性の等級)	JISただし書き建具の寸法許容差 (これ以外は改修仕様による) 製造所標準製作規定寸法許容差による 鋼板類の厚さ 表5.4.2 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) ステンレス製のくつずりの仕上げ HL 標準型钢製建具の形式及び寸法 建具表による	11 鋼製軽量建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.4.4)	簡易気密型ドアセットの気密性 適用する (A - 3) 適用しない 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級) 耐震ドアとする場合 (面内変形追従性の等級)	鋼板 表面処理亜鉛めっき鋼板 ビニル被覆鋼板 カラー鋼板 鋼板類の厚さ 表5.5.1 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) 召合せ、縦小口包み板の材質 鋼板 ○ ステンレス製のくつずりの仕上げ HL 標準型钢製軽量建具の形式及び寸法 建具表による	12 ステンレス製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.6.2) (5.6.5)	外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 (○) (表5.2.1) 簡易気密庫の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1) 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 T-1 T-2 T-3) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 H-2 H-3) 耐震ドアとする場合 (面内変形追従性の等級 D-1 D-2)	ステンレス鋼板の種類 SUS304 SUS430J1L SUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ HL	JISただし書き建具の寸法許容差 製造所標準製作規定寸法許容差による 表面仕上げ HL 鏡面仕上げ 曲げ加工 普通曲げ 角出し曲げ	13 建具用金物 (5.8.2) (5.8.4)	マスターキーの製作 作成する (グループ、各グループ 個) 作成しない 在来マスターキーに合わせる 鍵の制作本数 3本1組 (室名札付き) 鍵箱 無 有 開き戸 (表5.8.1) <table border="1"> <tr> <th>金物の種類</th> <th>見え掛り部の材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>シリンダー錠</td> <td>握り玉: スズ レバー・ノド: 7%ニッケル合金、 (スズ、黄銅)</td> <td>取付位置 () 実用性能項目 グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、スズ建具) 耐じん性能のグレード</td> </tr> <tr> <td>本締り錠</td> <td>シリンダー・キー: スズ</td> <td>実用性能項目 グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、スズ建具) 耐じん性能のグレード</td> </tr> <tr> <td>空錠</td> <td>握り玉: スズ レバー・ノド: 7%ニッケル合金、 (スズ、黄銅)</td> <td>取付位置 ()</td> </tr> <tr> <td>グレモン錠</td> <td>レバー・ノド: 亜鉛合金、 (スズ)</td> <td>取付位置 ()</td> </tr> <tr> <td>ケースハンドル錠</td> <td>ステンレス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>点検口錠</td> <td>亜鉛合金程度、 (スズ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>丁番</td> <td>スズ、 (黄銅)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ピボットヒンジ</td> <td>加-部: スズ、 (亜鉛合金)</td> <td>亜鉛合金は木製建具用のみ</td> </tr> <tr> <td>点検口軸吊りヒンジ</td> <td>建具製作所の仕様による</td> <td>自閉装置付き</td> </tr> <tr> <td>フロアヒンジ</td> <td>加-部: スズ、 (本体は鋼)</td> <td>ドアクローザー</td> </tr> <tr> <td>ヒンジ・クローザー (丁番型)</td> <td>鋼 (焼付け塗装)</td> <td>遅延閉り機能付き</td> </tr> <tr> <td>ヒンジ・クローザー (ビット型)</td> <td>加-部: スズ、 (本体は鋼)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ドアクローザー</td> <td>本体: 7%ニッケル合金 7-A部: 鋼 (焼付け塗装)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>閉鎖順位調整器</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>押棒・押板</td> <td>(スズ、黄銅、合成樹脂)</td> <td>取付位置 ()</td> </tr> <tr> <td>上げ落し (フランス落し)</td> <td>亜鉛合金程度、 (スズ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7-A部トガ</td> <td>鋼 (加-めっき)、 (スズ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>戸当り</td> <td>亜鉛合金程度、 (スズ、黄銅)</td> <td>あおり止め付き</td> </tr> </table>	金物の種類	見え掛り部の材質	その他	シリンダー錠	握り玉: スズ レバー・ノド: 7%ニッケル合金、 (スズ、黄銅)	取付位置 () 実用性能項目 グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、スズ建具) 耐じん性能のグレード	本締り錠	シリンダー・キー: スズ	実用性能項目 グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、スズ建具) 耐じん性能のグレード	空錠	握り玉: スズ レバー・ノド: 7%ニッケル合金、 (スズ、黄銅)	取付位置 ()	グレモン錠	レバー・ノド: 亜鉛合金、 (スズ)	取付位置 ()	ケースハンドル錠	ステンレス		点検口錠	亜鉛合金程度、 (スズ)		丁番	スズ、 (黄銅)		ピボットヒンジ	加-部: スズ、 (亜鉛合金)	亜鉛合金は木製建具用のみ	点検口軸吊りヒンジ	建具製作所の仕様による	自閉装置付き	フロアヒンジ	加-部: スズ、 (本体は鋼)	ドアクローザー	ヒンジ・クローザー (丁番型)	鋼 (焼付け塗装)	遅延閉り機能付き	ヒンジ・クローザー (ビット型)	加-部: スズ、 (本体は鋼)		ドアクローザー	本体: 7%ニッケル合金 7-A部: 鋼 (焼付け塗装)		閉鎖順位調整器			押棒・押板	(スズ、黄銅、合成樹脂)	取付位置 ()	上げ落し (フランス落し)	亜鉛合金程度、 (スズ)		7-A部トガ	鋼 (加-めっき)、 (スズ)		戸当り	亜鉛合金程度、 (スズ、黄銅)	あおり止め付き	14 自動ドア開閉装置 (5.9.2) (5.9.3)	駆動装置及び検出装置の性能 引き戸用駆動装置性能値 改修仕様表5.9.1による (SSLD-1 SSLD-2 DSLD-1 DSLD-2) <table border="1"> <tr> <th>種類・開閉方式</th> <th>耐電圧</th> <th>温度上昇</th> <th>耐久性(サイクル)</th> <th>防錆</th> <th>電源</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置性能値 改修仕様表5.9.2による 耐電圧 温度上昇 耐久性(サイクル) 防錆 電源</p>	種類・開閉方式	耐電圧	温度上昇	耐久性(サイクル)	防錆	電源						
性能等級	A種	B種	C種																																																																																																																																																																			
耐風圧性	S - 4	S - 5	S - 6																																																																																																																																																																			
気密性	A - 3	A - 4																																																																																																																																																																				
水密性	W - 4	W - 5																																																																																																																																																																				
特見込み(mm)	図示 70	100	図示																																																																																																																																																																			
種別	色	施工箇所																																																																																																																																																																				
B B - 1種	標準 特注	図示による																																																																																																																																																																				
B B - 2種	標準 特注	図示による																																																																																																																																																																				
	標準 特注																																																																																																																																																																					
	標準 特注																																																																																																																																																																					
	標準 特注																																																																																																																																																																					
性能等級	A種	B種	C種																																																																																																																																																																			
耐風圧性	S - 4	S - 5	S - 6																																																																																																																																																																			
気密性	A - 4																																																																																																																																																																					
水密性	W - 4	W - 5																																																																																																																																																																				
特見込み(mm)	図示																																																																																																																																																																					
金物の種類	見え掛り部の材質	その他																																																																																																																																																																				
シリンダー錠	握り玉: スズ レバー・ノド: 7%ニッケル合金、 (スズ、黄銅)	取付位置 () 実用性能項目 グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、スズ建具) 耐じん性能のグレード																																																																																																																																																																				
本締り錠	シリンダー・キー: スズ	実用性能項目 グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、スズ建具) 耐じん性能のグレード																																																																																																																																																																				
空錠	握り玉: スズ レバー・ノド: 7%ニッケル合金、 (スズ、黄銅)	取付位置 ()																																																																																																																																																																				
グレモン錠	レバー・ノド: 亜鉛合金、 (スズ)	取付位置 ()																																																																																																																																																																				
ケースハンドル錠	ステンレス																																																																																																																																																																					
点検口錠	亜鉛合金程度、 (スズ)																																																																																																																																																																					
丁番	スズ、 (黄銅)																																																																																																																																																																					
ピボットヒンジ	加-部: スズ、 (亜鉛合金)	亜鉛合金は木製建具用のみ																																																																																																																																																																				
点検口軸吊りヒンジ	建具製作所の仕様による	自閉装置付き																																																																																																																																																																				
フロアヒンジ	加-部: スズ、 (本体は鋼)	ドアクローザー																																																																																																																																																																				
ヒンジ・クローザー (丁番型)	鋼 (焼付け塗装)	遅延閉り機能付き																																																																																																																																																																				
ヒンジ・クローザー (ビット型)	加-部: スズ、 (本体は鋼)																																																																																																																																																																					
ドアクローザー	本体: 7%ニッケル合金 7-A部: 鋼 (焼付け塗装)																																																																																																																																																																					
閉鎖順位調整器																																																																																																																																																																						
押棒・押板	(スズ、黄銅、合成樹脂)	取付位置 ()																																																																																																																																																																				
上げ落し (フランス落し)	亜鉛合金程度、 (スズ)																																																																																																																																																																					
7-A部トガ	鋼 (加-めっき)、 (スズ)																																																																																																																																																																					
戸当り	亜鉛合金程度、 (スズ、黄銅)	あおり止め付き																																																																																																																																																																				
種類・開閉方式	耐電圧	温度上昇	耐久性(サイクル)	防錆	電源																																																																																																																																																																	

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項															
⑤	建具改修工事	引き戸用検出装置性能値 改修仕様表5.9.3による 放射無線周波数 電磁界耐性	⑤	建具改修工事	20 ガラス留め材 (5.14.2)	揮発性有機化合物対策 (6.5.2) ~ (6.5.4) (6.8.2) (6.9.2) (6.10.2)(6.11.2) (6.11.4)(6.11.5) (6.13.2)(6.14.2) (6.16.4)(9.5.3) (9.5.4)	⑥	内装改修工事	木材、木れんが、ビニルシート・タイル、ゴム床材、カーペット、合成樹脂塗床、フローリング、ボード類、タイル、断熱材の接着に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 F 木材塗料、フローリング材、ボード類、壁紙、断熱材のホルムアルデヒド放散量 F 既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁、床の改修範囲 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 図示による 範囲() 仕上げ() 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 図示による 範囲() 仕上げ() 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 既存のまま 図示による 範囲() 仕上げ() コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外装改修工事による。 間仕切壁撤去に伴う構造体の補修 改修仕様4.3.10によるモルタル塗り (塗り厚25mmを超える場合の補修 行う 行わない) 材料のホルムアルデヒド放散量 F 又は改修仕様6.5.2(1)(ウ)(b)による 含水率 下地材 A種(15%以下) B種(20%以下) 造作材 A種(15%以下) B種(18%以下) 以下に規定されているものは、その規定による。 JAS 1083(製材)に基づく製材 下地用製材 使用箇所 樹種 寸法 等級 含水率 保存処理 根太・束 杉 45×36 1級 15%以下 頭繋ぎ材 杉 90×30 2級 造作用製材 使用箇所 樹種 寸法 等級 含水率 保存処理 巾木 ミツガ 15×45 無節 15%以下 床見切 ミツガ 45×60 上小節 天井見切 ミツガ 40×20 小節 防球ガード 取付下地 送風ファン 取付下地 壁上部見切 ミツガ 20×40 並 ミツガ 20×180 100×35 100×15 広葉樹製材 使用箇所 樹種 寸法 等級 含水率 保存処理 特等 10%以下 1等 2等 JAS 1083(製材)以外の製材 (表12.2.2) 使用箇所 樹種 寸法 材面の品質 防虫処理 含水率 A種 B種	使用木材のうち杉、ひのきについては京都府産木材とする。 工事完成までに、かつ「マレーズ」C02京都の木認証書(京都府産木材証明書及び「マレーズ」C02計算書)(注1)を提出する事を原則とする。当該認証を受けた木材の使用が困難な場合には、京都の木証明書(京都府産木材証明書)(注2)を提出すること。 証明書及び計算書の発行に係る手続きについては次の機関による。 一般財団法人京都府木材組合連合会 TEL: 075-802-2991 注1) 認証書 注2) 証明書は製材助、流通業者の全てが取扱事業者又は認証機関登録事業者でなければ発行されない。 詳細は上記法人のホームページを参照すること。 工事完成までに、京都府産木材の産地証明書を提出すること。 京都木材規格(KTS)材を使用する場合は、京都木材規格(KTS)材証明書(発行機関: (一社)京都府木材組合連合会)を提出すること。 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 造作用集成材 使用箇所 品名 樹種 見付材面数 寸法 見付材面の品質 1等 2等 化粧ばり造作用集成材 使用箇所 品名 樹種 寸法 化粧板厚 見付材面数 見付材面の品質 化粧材 芯材 1等 2等 「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 造作用集成材 使用箇所 樹種 寸法 見付材面の品質 含水率 15%以下 化粧ばり造作用集成材 使用箇所 化粧樹種名 芯材樹種名 寸法 化粧板厚 見付材面の品質 含水率 15%以下 JAS 0701(単板積層材)に基づく造作用単板積層材 造作用単板積層材 使用箇所 品名 寸法 表面の品質 防虫処理 表面化粧加工なし 1等 2等 3等 適用する 表面化粧加工あり 天然木化粧加工 塗装加工 適用しない JAS 0701(単板積層材)以外の造作用単板積層材 造作用単板積層材 使用箇所 寸法 表面の品質 含水率 防虫処理 表面化粧加工なし 14%以下 適用する 表面化粧加工あり 天然木化粧加工 塗装加工 適用しない JAS 3079(直交集成板) 施工箇所 品名 曲げ性能(強度等級) 種別 接着性能(使用環境) 樹種 寸法(mm) 「合板の日本農林規格」による普通合板 使用箇所 品名 厚さ 樹種名 接着程度 板面の品質 その他処理 押入れ、物入れ 5.5mm 1類 広葉樹 2等以上 針葉樹 C-D以上 防虫処理 難燃処理 防災処理 「合板の日本農林規格」による構造用合板 使用箇所 品名 等級 厚さ 樹種名 接着程度 板面の品質 保存処理 その他処理 畳床下地材、フローリング張り下地材 2級 12mm 以上 特等 以上 C-D 防虫処理 強度等級 「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 使用箇所 品名 厚さ 単板の樹種名 接着程度 防虫処理 1類 特等 「合板の日本農林規格」による天然化粧合板 使用箇所 品名 厚さ 接着程度 単板の樹種名 化粧加工の方法 防虫処理 1類 2類 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 使用箇所 品名 厚さ 接着程度 単板の樹種名 化粧加工の方法 防虫処理 1類 2類																
		15 自閉式上吊り引戸装置 (5.10.3)			性能値等の区分 (表5.10.1) 適用戸の総質量(kg) 40以下 40を超えるもの 手動開き力(N) 15以下 20以下 手動閉じ力(N) 15以下 20以下 性能等 品質・規格	21 ガラスブロック (5.14.5)			寸法(mm) 厚さ(mm) 色 調 パターン 防火認定 x 図示 乳白 熱線反射 なし あり 品質規格はJIS A5212による 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定めること。 壁用金属枠及び補強材 力骨 材質 SUS304 寸法・形状 径5.5mmのはしご形状複筋及び単筋 シーリング 表3.7.1による SR-1 PS-1 化粧目地モルタルの色 白 グレー 金属製化粧カバー 材質 SUS304 寸法・形状 図示による 目地幅の寸法 平積みの場合 8mm以上、15mm以下 曲面積みの場合 外側15mm以下、内側6mm以上 (曲率半径はガラスブロックの幅寸法の10倍以上) 伸縮調整目地の位置 6m以下ごとに幅10~25mmの伸縮調整目地を設ける。	② 他部分との取り合い等 (6.1.3)	22 木製建具 (5.7.2) ~ (5.7.4)	建具材の加工、組立時の含水率の種別 A種 B種 代用樹種の適用 可 不可 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量等 改修仕様5.7.2(2)(イ)(a)による 表面材の合板の種類 合板の種類 規格等 備考 普通合板 表面の樹脂 板面の品質(広葉樹1種) 接着の程度(1種 2種) 天然木化粧合板 樹種名() 接着の程度(1種 2種) 特殊加工化粧合板 化粧加工の方法 プリント ポリエステル化粧合板 メラミン化粧合板 接着の程度(1種 2種) MDF 表面板の厚さ 図示による (表5.7.6) 引き戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 適用しない 適用する かまち戸 かまち樹種() 鏡板樹種() 見込み寸法 36mm ふすま 張りの種別 型 型 上張り(押入等の裏側以外) 鳥の子 新鳥の子又はビニル紙程度 見込み寸法 19.5mm 戸ぶすま 表面板の仕上げ 図示による 見込み寸法 30mm 紙張り障子 見込み寸法 30mm	③ 既存床の撤去等 (6.2.2)	④ 既存壁の撤去等 (6.3.2)	⑤ 木下地等 (6.5.1) ~ (6.5.9)											
		16 重量シャッター (5.11.2) ~ (5.11.4)			種類 管理用シャッター(シャッターケース 設ける) 耐風圧強度() 外壁用防火シャッター(シャッターケース 設ける) 耐風圧強度() 屋内用防火シャッター(シャッターケース 設ける) 屋内用防煙シャッター(シャッターケース 設ける) 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 Pa 開閉方式 電動式(手動併用) 手動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 図示による スラット及びシャッターケース用鋼板 材質 めっきの付着量 JIS G 3302 Z12又はF12を満足するもの JIS G 3312 Z12又はF12を満足するもの	23 ポリカーボネイト樹脂板 種類 厚さ mm			17 軽量シャッター (5.12.2) ~ (5.12.4)	開閉方式 電動式(手動併用) 手動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 図示による 耐風圧強度 Pa スラット 材質 めっきの付着量 形状 JIS G 3312 Z06又はF06を満足するもの インターロック形 JIS G 3322 AZ90を満足するもの オーバーラッピング形	18 オーバーヘッドドア (5.13.2) ~ (5.13.4)	セクション材 スチールタイプ アルミニウムタイプ 鋼板タイプ 耐風圧性能 Pa 開閉方式 バランス式 チェーン式 電動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 図示による 収納形式 スタンダード形 ローヘッド形 ハイリフト形 パーチカル形 ガイドレール等 溶融亜鉛めっき鋼板 ステンレス鋼板	19 ガラス (5.14.2) ~ (5.14.4)	材料 種別 種類等 種別 種類等 加工板ガラス 強化ガラス 型板ガラス 熱線吸収板ガラス 網入板ガラス 複層ガラス 線入板ガラス 熱線反射ガラス 合わせガラス 倍強度ガラス ガラス溝の大きさ (図5.14.1) 種別 面クリアランス エッジクリアランス 掛け代 アルミニウム建具 建具製造所の仕様による 建具製造所の仕様による 建具製造所の仕様による 鋼製建具 ステンレス建具												
					株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号				板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号			構造設計 一級建築士登録 大臣() 構造/設備関係規定への法適合を確認した 一級建築士登録 大臣()			一級建築士登録 大臣() 構造設計/設備設計 一級建築士登録 大臣()			名称 小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事 図名 建築改修工事特記仕様書(5)			No. A-05 縮尺 A2: - A3: -					

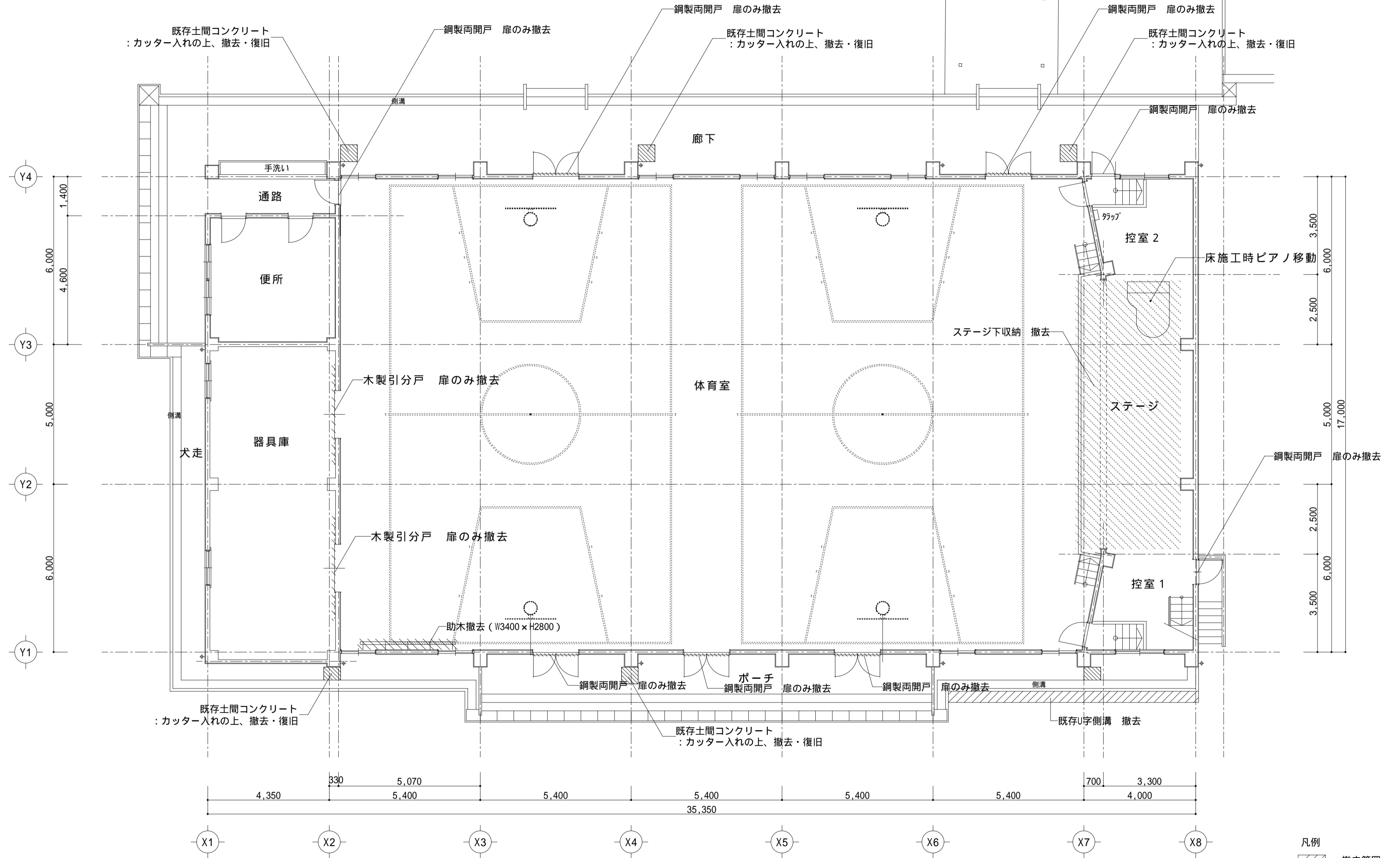
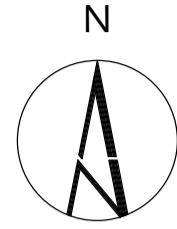
章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項																																																																																																																																						
6	内装 改修 工事	6	内装 改修 工事	<p>パーティクルボード</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>厚さ</th> <th colspan="2">各種区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>15mm</td> <td colspan="2">13Pタイプ又は13Mタイプ</td> </tr> </table> <p>JAS 0380 に基づく構造用パネル</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>等級</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>MDF</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>厚さ</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>造作材化粧面の釘打ち</p> <p>隠し釘打ち 釘頭埋め木 つぶし頭釘打ち 釘頭現し</p> <p>諸金物の形状、寸法及び材質</p> <p>かすがい、座金、箱金物及び短冊金物は、表6.5.3から表6.5.5までに示す程度の市販品で、木材の寸法に応じた適切なものとし、コンクリート埋込部を除き、表8.20.1【鉄鋼の垂鉛めっきの種類】のF程度程度の垂鉛めっきを施したもの</p> <p>防腐・防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位 _____</p> <p>薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th colspan="3">保存処理性能区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>K2</td> <td>K3</td> <td>K4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>K2</td> <td>K3</td> <td>K4</td> </tr> </table> <p>薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>処理の方法</th> <th>薬剤の種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td>薬剤の製造所の仕様による</td> <td>JIS K 1571に適合又は同等品</td> </tr> </table> <p>薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理 適用部位 _____</p> <p>合板等の加圧注入処理等の適用 適用部位 _____</p> <p>防虫処理 行う (範囲:ラワン材等「製材の日本農林規格」による保存処理 K1) 行わない</p> <p>6 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2) ~ (6.6.4)</p> <p>野縁等の種類 屋内 19型 25型 (表6.6.1)</p> <p>野縁受け・つりボルト・インサートの間隔 _____ mm</p> <p>周辺部の端からの寸法 _____ mm</p> <p>野縁の間隔 _____ mm</p> <p>はずれ留め補強 有り 無し</p> <p>既存の埋込みインサートの使用 再利用しない 再利用する</p> <p>あと施工アンカーの引抜き試験 行う(____箇所以上、 ____箇所) 行わない</p> <p>開口補強</p> <p>つりボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法 図示による _____</p> <p>天井のふところの補強 (1.5m以上3m以下) 改修標仕6.6.4(8)による _____ (3mを超える) 図示による _____</p> <p>天井下地材における耐震性を考慮した補強 行う 行わない</p> <p>屋外の軒天井、ピロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強 行う 行わない</p> <p>7 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3)</p> <p>スタッド、ランナ等の種類 (表6.7.1)</p> <p>表6.7.1におけるスタッドの高さによる区分に応じた種類 _____</p> <p>スタッドの高さが5mを超える場合 図示による _____</p> <p>8 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り (6.8.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>種類</th> <th>記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>色柄</th> <th>工法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">発泡層無</td> <td>単層ビニル床シート</td> <td>T S</td> <td rowspan="2">2.5 2.0</td> <td rowspan="2">無地 マーブル</td> <td rowspan="2">熱溶接</td> <td rowspan="2">仕上表による</td> </tr> <tr> <td>複層ビニル床シート</td> <td>F S</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">発泡層有</td> <td>発泡複層ビニル床シート</td> <td>H S</td> <td rowspan="2">2.0</td> <td rowspan="2">マーブル</td> <td rowspan="2">熱溶接</td> <td rowspan="2">仕上表による</td> </tr> <tr> <td>クッションフロア</td> <td>K S</td> </tr> </table>																使用箇所	厚さ	各種区分			15mm	13Pタイプ又は13Mタイプ		使用箇所	等級	厚さ				使用箇所	厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分							適用部材	保存処理性能区分				K2	K3	K4		K2	K3	K4	適用部材	処理の方法	薬剤の種類		薬剤の製造所の仕様による	JIS K 1571に適合又は同等品	区分	種類	記号	厚さ(mm)	色柄	工法	施工箇所	発泡層無	単層ビニル床シート	T S	2.5 2.0	無地 マーブル	熱溶接	仕上表による	複層ビニル床シート	F S	発泡層有	発泡複層ビニル床シート	H S	2.0	マーブル	熱溶接	仕上表による	クッションフロア	K S																																																																		
				使用箇所	厚さ	各種区分																																																																																																																																																				
					15mm	13Pタイプ又は13Mタイプ																																																																																																																																																				
				使用箇所	等級	厚さ																																																																																																																																																				
				使用箇所	厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分																																																																																																																																																	
				適用部材	保存処理性能区分																																																																																																																																																					
	K2	K3	K4																																																																																																																																																							
	K2	K3	K4																																																																																																																																																							
適用部材	処理の方法	薬剤の種類																																																																																																																																																								
	薬剤の製造所の仕様による	JIS K 1571に適合又は同等品																																																																																																																																																								
区分	種類	記号	厚さ(mm)	色柄	工法	施工箇所																																																																																																																																																				
発泡層無	単層ビニル床シート	T S	2.5 2.0	無地 マーブル	熱溶接	仕上表による																																																																																																																																																				
	複層ビニル床シート	F S																																																																																																																																																								
発泡層有	発泡複層ビニル床シート	H S	2.0	マーブル	熱溶接	仕上表による																																																																																																																																																				
	クッションフロア	K S																																																																																																																																																								
6	内装 改修 工事	6	内装 改修 工事	<p>ビニル床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>種類</th> <th>記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>色柄</th> <th>寸法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">接着形</td> <td>コンポジションビニル床タイル</td> <td>K T</td> <td>2.0 3.0</td> <td rowspan="3">無地 柄物</td> <td rowspan="3">300×300 ○450×450</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>単層ビニル床タイル</td> <td>T T</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>複層ビニル床タイル</td> <td>F T</td> <td>2.0 2.5 3.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">置敷形</td> <td>置敷きビニル床タイル</td> <td>F O A</td> <td>4.0</td> <td></td> <td>500×500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>薄型置敷きビニル床タイル</td> <td>F O B</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table> <p>帯電防止床シート 帯電防止タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>性能</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>体積抵抗値 1.0×10⁹ 以下</td> <td></td> </tr> </table> <p>視覚障害者用床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>塩化ビニル系</td> <td>300mm角</td> <td></td> </tr> <tr> <td>レジンコンクリート系</td> <td>150mm角</td> <td></td> </tr> <tr> <td>磁器又はセラミック系</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>耐荷重性床シート</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>防滑性床シート 防滑性床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>ビニル幅木</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>高さ (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>軟質</td> <td>60 75 100</td> <td>1.5 2.0</td> </tr> </table> <p>ゴム床タイル張り</p> <table border="1"> <tr> <th>色柄</th> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>寸法 (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>単層品 積層品</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>織じゅうたん</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>織り方</th> <th>バイル形状</th> <th>帯電性</th> <th>色柄</th> <th>接合方法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>A種</td> <td></td> <td></td> <td>適用</td> <td>無地</td> <td>ヒートド工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>つづり縫い</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>タフテッドカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>バイル形状</th> <th>バイル長さ(mm)</th> <th>工法</th> <th>帯電性</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>グリップ工法</td> <td>適用</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>全面接着工法</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>タイルカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>バイル形状</th> <th>寸法(mm)</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>一種</td> <td>ループバイル</td> <td>500×500</td> <td>6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>二種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>タイルカーペットの敷き方 平場部分 市松敷き _____</p> <p>階段部分 模様流し _____</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____</p> <p>下敷き材 JIS L 3204(反毛フェルト)の第2種2号 呼び厚さ8mm _____</p> <p>見切り、押さえ金物 材質、形状等 図示による _____</p> <p>10 合成樹脂塗床 (6.10.2)</p> <p>厚膜型塗床材</p> <p>弾性ウレタン樹脂系塗床材</p> <p>平滑仕上げ 防滑仕上げ つや消し仕上げ</p> <p>塗厚 (mm) _____</p> <p>エポキシ樹脂系塗床材</p> <p>薄膜流しのべ工法 (平滑 防滑) _____</p> <p>薄膜流しのべ工法 (平滑 防滑) _____</p> <p>樹脂モルタル工法 (平滑 防滑) _____</p> <p>薄膜型塗床材</p> <p>エポキシ樹脂系塗床材</p> <p>塗床材料のホルムアルデヒド放散量 F _____</p>																区分	種類	記号	厚さ(mm)	色柄	寸法	施工箇所	接着形	コンポジションビニル床タイル	K T	2.0 3.0	無地 柄物	300×300 ○450×450		単層ビニル床タイル	T T	2.0	複層ビニル床タイル	F T	2.0 2.5 3.0	置敷形	置敷きビニル床タイル	F O A	4.0		500×500		薄型置敷きビニル床タイル	F O B			○		種類	性能	厚さ (mm)		体積抵抗値 1.0×10 ⁹ 以下		種類	形状	備考	塩化ビニル系	300mm角		レジンコンクリート系	150mm角		磁器又はセラミック系			種類	厚さ (mm)	備考				種類	寸法	厚さ (mm)				種類	高さ (mm)	厚さ (mm)	軟質	60 75 100	1.5 2.0	色柄	種類	厚さ (mm)	寸法 (mm)		単層品 積層品			種別	織り方	バイル形状	帯電性	色柄	接合方法	施工箇所	A種			適用	無地	ヒートド工法		B種					つづり縫い		C種							バイル形状	バイル長さ(mm)	工法	帯電性	施工箇所			グリップ工法	適用				全面接着工法			種別	バイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施工箇所	一種	ループバイル	500×500	6.5		二種				
				区分	種類	記号	厚さ(mm)	色柄	寸法	施工箇所																																																																																																																																																
				接着形	コンポジションビニル床タイル	K T	2.0 3.0	無地 柄物	300×300 ○450×450																																																																																																																																																	
					単層ビニル床タイル	T T	2.0																																																																																																																																																			
					複層ビニル床タイル	F T	2.0 2.5 3.0																																																																																																																																																			
				置敷形	置敷きビニル床タイル	F O A	4.0		500×500																																																																																																																																																	
					薄型置敷きビニル床タイル	F O B			○																																																																																																																																																	
				種類	性能	厚さ (mm)																																																																																																																																																				
	体積抵抗値 1.0×10 ⁹ 以下																																																																																																																																																									
種類	形状	備考																																																																																																																																																								
塩化ビニル系	300mm角																																																																																																																																																									
レジンコンクリート系	150mm角																																																																																																																																																									
磁器又はセラミック系																																																																																																																																																										
種類	厚さ (mm)	備考																																																																																																																																																								
種類	寸法	厚さ (mm)																																																																																																																																																								
種類	高さ (mm)	厚さ (mm)																																																																																																																																																								
軟質	60 75 100	1.5 2.0																																																																																																																																																								
色柄	種類	厚さ (mm)	寸法 (mm)																																																																																																																																																							
	単層品 積層品																																																																																																																																																									
種別	織り方	バイル形状	帯電性	色柄	接合方法	施工箇所																																																																																																																																																				
A種			適用	無地	ヒートド工法																																																																																																																																																					
B種					つづり縫い																																																																																																																																																					
C種																																																																																																																																																										
バイル形状	バイル長さ(mm)	工法	帯電性	施工箇所																																																																																																																																																						
		グリップ工法	適用																																																																																																																																																							
		全面接着工法																																																																																																																																																								
種別	バイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施工箇所																																																																																																																																																						
一種	ループバイル	500×500	6.5																																																																																																																																																							
二種																																																																																																																																																										
6	内装 改修 工事	6	内装 改修 工事	<p>11 フローリング張り (6.11.2) ~ (6.11.6)</p> <p>フローリングのホルムアルデヒド放散量 改修標仕6.11.2(2)による _____</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____</p> <p>単層フローリング (表6.11.1) ~ (表6.11.6)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>樹種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>大きさ</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">70-リグ 8-ド1等</td> <td rowspan="3">なら</td> <td rowspan="3">15</td> <td rowspan="3">表6.11.1 表6.11.3 表6.11.5</td> <td>釘留め工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>根太張り工法</td> <td>A種 B種 C種</td> </tr> <tr> <td>直張り工法 接着工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">70-リグ 7-リグ1等</td> <td rowspan="2">なら</td> <td rowspan="2">8</td> <td rowspan="2"></td> <td>接着工法</td> <td>防水処理足金物付</td> </tr> <tr> <td>接着工法</td> <td></td> </tr> </table> <p>複合フローリング</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>樹種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">1×6タイプ フローリング ボードタイプ</td> <td rowspan="3">なら</td> <td rowspan="3">8 15</td> <td>釘留め工法</td> <td rowspan="3">A種 B種 C種</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>根太張り工法</td> </tr> <tr> <td>直張り工法 接着工法</td> </tr> </table> <p>接着工法のフローリング裏面の不陸緩衝材 合成樹脂発泡シート _____</p> <p>仕上げ塗装 ウレタン樹脂ワニス塗り (1液形) B種 _____</p> <p>オイルステインの上ワックス塗り 生地そのままワックス塗り _____</p> <p>12 畳敷き (6.12.2)</p> <p>種別 A種 B種 C種 D種 (KT- _____)</p> <p>衝撃緩和型畳 (畳表: C1 C2) _____</p> <p>13 セッコウボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2) (6.13.3)</p> <p>MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 F _____</p> <p>合板のホルムアルデヒド放散量 改修標仕6.13.2(2)の(a)~(d)のいずれか _____</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____</p> <p>表面への化粧張り等の加工 図示による _____</p> <p>種別 表6.13.1によるJIS規格品とする (表6.13.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格</th> <th>厚さ (mm) 等</th> </tr> <tr> <td>せっこうボード(GB-R)</td> <td>12.5(不燃)</td> <td>9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">化粧せっこうボード(GB-D)</td> <td>杉証模様</td> <td>12.5(不燃)</td> </tr> <tr> <td>トラバーチン模様 (軽鉄下地は専用のものとする)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不燃積層せっこうボード(GB-NC)</td> <td>トラバーチン模様 模様なし</td> <td>9.5(不燃)</td> </tr> <tr> <td>シーリングせっこうボード(GB-S)</td> <td>15(不燃)</td> <td>12.5(準不燃) 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>強化せっこうボード(GB-F)</td> <td>21(不燃)</td> <td>15(不燃) 12.5(不燃)</td> </tr> <tr> <td>ロックウール吸音ボード(RW-B)</td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>グラスウール吸音ボード(GW-B)</td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>吸音あなあきせっこうボード(GB-P)</td> <td>9.5(準不燃)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ロックウール化粧吸音板(DR)</td> <td>内部用</td> <td>フラット 12(不燃) 9(不燃)</td> </tr> <tr> <td>板面の品質</td> <td>立体模様 15(不燃) 12(不燃)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">軒天用</td> <td>フラット</td> <td>12(不燃) 9(不燃)</td> </tr> <tr> <td>立体模様</td> <td>15(不燃) 12(不燃)</td> </tr> <tr> <td>けい酸カルシウム板(0.8FK)</td> <td>タイプ2(無石綿)</td> <td>8.0 6.0</td> </tr> <tr> <td>メラミン樹脂化粧板</td> <td>JIS K 6903 による</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>難燃木毛セメント板</td> <td>30 25 20 15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>断熱木毛セメント板</td> <td>30 25 20 15</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">火山性ガラス質被覆板</td> <td>研磨品 (3 6 9 9.5)</td> <td>____</td> </tr> <tr> <td>無研磨品 (3 6 9 9.5)</td> <td>____</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">普通合板</td> <td>厚さ</td> <td>接着の程度 表板樹種</td> </tr> <tr> <td>板面の品質</td> <td>防虫処理 行う</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">天然木化粧合板</td> <td>厚さ</td> <td>接着の程度</td> </tr> <tr> <td>化粧板樹種</td> <td>なら しおじ 防虫処理 行う</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">特殊加工化粧合板</td> <td>厚さ</td> <td>接着の程度 化粧加工の方法</td> </tr> <tr> <td>表面性能</td> <td>F FW W WS 防虫処理 行う</td> </tr> <tr> <td>その他下張り用合板</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>合板類の張付け (表6.13.3)</p> <p>A種 B種 _____</p> <p>せっこうボードの目地処理 (表6.13.5)</p> <p>継目処理 突付け 目透かし _____</p> <p>突付け工法及び目透し工法のエッジの種類 (表6.13.5)</p> <p>ヘベルエッジ スクエアエッジ _____</p>																種類	樹種	厚さ(mm)	大きさ	工法	備考	70-リグ 8-ド1等	なら	15	表6.11.1 表6.11.3 表6.11.5	釘留め工法		根太張り工法	A種 B種 C種	直張り工法 接着工法		70-リグ 7-リグ1等	なら	8		接着工法	防水処理足金物付	接着工法		種類	樹種	厚さ(mm)	工法	種別	備考	1×6タイプ フローリング ボードタイプ	なら	8 15	釘留め工法	A種 B種 C種		根太張り工法	直張り工法 接着工法	種類	規格	厚さ (mm) 等	せっこうボード(GB-R)	12.5(不燃)	9.5(準不燃)	化粧せっこうボード(GB-D)	杉証模様	12.5(不燃)	トラバーチン模様 (軽鉄下地は専用のものとする)		不燃積層せっこうボード(GB-NC)	トラバーチン模様 模様なし	9.5(不燃)	シーリングせっこうボード(GB-S)	15(不燃)	12.5(準不燃) 9.5(準不燃)	強化せっこうボード(GB-F)	21(不燃)	15(不燃) 12.5(不燃)	ロックウール吸音ボード(RW-B)	25		グラスウール吸音ボード(GW-B)	25		吸音あなあきせっこうボード(GB-P)	9.5(準不燃)		ロックウール化粧吸音板(DR)	内部用	フラット 12(不燃) 9(不燃)	板面の品質	立体模様 15(不燃) 12(不燃)	軒天用	フラット	12(不燃) 9(不燃)	立体模様	15(不燃) 12(不燃)	けい酸カルシウム板(0.8FK)	タイプ2(無石綿)	8.0 6.0	メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による	1.2	難燃木毛セメント板	30 25 20 15		断熱木毛セメント板	30 25 20 15		火山性ガラス質被覆板	研磨品 (3 6 9 9.5)	____	無研磨品 (3 6 9 9.5)	____	普通合板	厚さ	接着の程度 表板樹種	板面の品質	防虫処理 行う	天然木化粧合板	厚さ	接着の程度	化粧板樹種	なら しおじ 防虫処理 行う	特殊加工化粧合板	厚さ	接着の程度 化粧加工の方法	表面性能	F FW W WS 防虫処理 行う	その他下張り用合板																									
				種類	樹種	厚さ(mm)	大きさ	工法	備考																																																																																																																																																	
				70-リグ 8-ド1等	なら	15	表6.11.1 表6.11.3 表6.11.5	釘留め工法																																																																																																																																																		
								根太張り工法	A種 B種 C種																																																																																																																																																	
								直張り工法 接着工法																																																																																																																																																		
				70-リグ 7-リグ1等	なら	8		接着工法	防水処理足金物付																																																																																																																																																	
								接着工法																																																																																																																																																		
				種類	樹種	厚さ(mm)	工法	種別	備考																																																																																																																																																	
1×6タイプ フローリング ボードタイプ	なら	8 15	釘留め工法	A種 B種 C種																																																																																																																																																						
			根太張り工法																																																																																																																																																							
			直張り工法 接着工法																																																																																																																																																							
種類	規格	厚さ (mm) 等																																																																																																																																																								
せっこうボード(GB-R)	12.5(不燃)	9.5(準不燃)																																																																																																																																																								
化粧せっこうボード(GB-D)	杉証模様	12.5(不燃)																																																																																																																																																								
	トラバーチン模様 (軽鉄下地は専用のものとする)																																																																																																																																																									
不燃積層せっこうボード(GB-NC)	トラバーチン模様 模様なし	9.5(不燃)																																																																																																																																																								
シーリングせっこうボード(GB-S)	15(不燃)	12.5(準不燃) 9.5(準不燃)																																																																																																																																																								
強化せっこうボード(GB-F)	21(不燃)	15(不燃) 12.5(不燃)																																																																																																																																																								
ロックウール吸音ボード(RW-B)	25																																																																																																																																																									
グラスウール吸音ボード(GW-B)	25																																																																																																																																																									
吸音あなあきせっこうボード(GB-P)	9.5(準不燃)																																																																																																																																																									
ロックウール化粧吸音板(DR)	内部用	フラット 12(不燃) 9(不燃)																																																																																																																																																								
	板面の品質	立体模様 15(不燃) 12(不燃)																																																																																																																																																								
軒天用	フラット	12(不燃) 9(不燃)																																																																																																																																																								
	立体模様	15(不燃) 12(不燃)																																																																																																																																																								
けい酸カルシウム板(0.8FK)	タイプ2(無石綿)	8.0 6.0																																																																																																																																																								
メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による	1.2																																																																																																																																																								
難燃木毛セメント板	30 25 20 15																																																																																																																																																									
断熱木毛セメント板	30 25 20 15																																																																																																																																																									
火山性ガラス質被覆板	研磨品 (3 6 9 9.5)	____																																																																																																																																																								
	無研磨品 (3 6 9 9.5)	____																																																																																																																																																								
普通合板	厚さ	接着の程度 表板樹種																																																																																																																																																								
	板面の品質	防虫処理 行う																																																																																																																																																								
天然木化粧合板	厚さ	接着の程度																																																																																																																																																								
	化粧板樹種	なら しおじ 防虫処理 行う																																																																																																																																																								
特殊加工化粧合板	厚さ	接着の程度 化粧加工の方法																																																																																																																																																								
	表面性能	F FW W WS 防虫処理 行う																																																																																																																																																								
その他下張り用合板																																																																																																																																																										
6	内装 改修 工事	6	内装 改修 工事	<p>14 壁紙張り (6.14.2) (6.14.3)</p> <p>防火性能・種類・規格・施工箇所 図示による _____ 下表による _____</p> <table border="1"> <tr> <th>施行箇所</th> <th>防火性能</th> <th>品質</th> <th>規格</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>素地ごしらせ モルタル及びせっこうプラスター面 A種 B種 (表7.2.4)</p> <p>コンクリート面 A種 B種 (表7.2.5)</p> <p>せっこうボード面及びその他のボード面 A種 B種 (表7.2.7)</p> <p>15 天井廻り縁</p> <p>材質 アルミニウム製 塩化ビニル製 _____</p> <p>16 モルタル塗り (6.15.2) ~ (6.15.6)</p> <p>モルタル 現場調合材料 _____</p> <p>既調合材料 (_____)</p> <p>既製目地材 _____</p> <p>設ける (形状 _____)</p> <p>床目地 設ける 設けない _____</p> <p>目地の種類 押目地 _____</p> <p>目地割り 2m程度 _____</p> <p>最大目地間隔 3m程度 _____</p> <p>17 タイル張り (6.16.2) ~ (6.16.4)</p> <p>伸縮調整目地等 床面 縦・横とも4m以内ごと _____</p> <p>壁面 図示による _____</p> <p>タイルの試験張り 行わない 行う _____</p> <p>タイルの見本焼 行わない 行う _____</p> <p>施工後の確認及び試験</p> <p>浮きの確認 全面打診による確認を行う _____</p> <p>接着力の試験 接着力試験機による引張接着強度の測定を行う 行わない _____</p> <p>タイルの種類</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所・形状・タイルの種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>生地</th> <th>釉薬</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐滑り性</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>工法</th> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>磁器</td> <td>無釉</td> <td>有り</td> <td></td> <td>有り</td> <td>標準</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>陶器</td> <td>施釉</td> <td>無し</td> <td></td> <td>無し</td> <td>特注</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>磁器</td> <td>無釉</td> <td>有り</td> <td></td> <td>有り</td> <td>標準</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>陶器</td> <td>施釉</td> <td>無し</td> <td></td> <td>無し</td> <td>特注</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>磁器</td> <td>無釉</td> <td>有り</td> <td></td> <td>有り</td> <td>標準</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>陶器</td> <td>施釉</td> <td>無し</td> <td></td> <td>無し</td> <td>特注</td> </tr> </table> <p>壁タイル張りの工法</p> <p>内装タイル</p> <p>密着張り 改良圧着張り</p> <p>内装タイル以外のユニットタイル</p> <p>マスク張り モザイクタイル張り</p> <p>内装タイル接着張りの有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____</p> <p>既調合モルタル _____</p> <p>下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 目荒し工法 _____</p> <p>18 セルフレベリング材塗り (6.17.2) ~ (6.17.3)</p> <p>塗厚 (mm) 10 15 _____</p>																施行箇所	防火性能	品質	規格					施工箇所・形状・タイルの種類	寸法(mm)	生地	釉薬	耐凍害性	耐滑り性	役物	色	工法			磁器	無釉	有り		有り	標準		陶器	施釉	無し		無し	特注			磁器	無釉	有り		有り	標準		陶器	施釉	無し		無し	特注			磁器	無釉	有り		有り	標準		陶器	施釉	無し		無し	特注																																																																									
				施行箇所	防火性能	品質	規格																																																																																																																																																			
				施工箇所・形状・タイルの種類	寸法(mm)	生地	釉薬	耐凍害性	耐滑り性	役物	色	工法																																																																																																																																														
						磁器	無釉	有り		有り	標準																																																																																																																																															
						陶器	施釉	無し		無し	特注																																																																																																																																															
						磁器	無釉	有り		有り	標準																																																																																																																																															
						陶器	施釉	無し		無し	特注																																																																																																																																															
		磁器	無釉	有り		有り	標準																																																																																																																																																			
		陶器	施釉	無し		無し	特注																																																																																																																																																			
6	内装 改修 工事	6	内装 改修 工事	<p>① 塗装材料 (7.1.3)</p> <p>② 下地調整 (7.2.1) ~ (7.2.7)</p> <p>塗装改修工事</p> <p>塗料のホルムアルデヒド等の放散量 F _____</p> <p>塗替えて下地調整の種類がRB種の場合の既存塗膜の除去範囲</p> <p>劣化部分は除去し、活膜部分は残す 図示 _____ (表7.2.1) ~ (表7.2.7)</p> <table border="1"> <tr> <th>素地</th> <th>種別</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">木部</td> <td>RA種</td> <td rowspan="3">不透明塗料塗りの場合はRB種</td> </tr> <tr> <td>RC種</td> </tr> <tr> <td>RC種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鉄鋼面</td> <td>RA種</td> <td rowspan="2">RB種</td> </tr> <tr> <td>RC種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">亜鉛めっき鋼面</td> <td>RA種</td> <td rowspan="2">RB種</td> </tr> <tr> <td>RC種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">モルタル及びせっこうボード面</td> <td>RA種</td> <td rowspan="2">RB種</td> <td>ひび割れ部の補修</td> </tr> <tr> <td>RC種</td> <td>適用する 適用しない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート面及びALCパネル面</td> <td>RA種</td> <td rowspan="2">RB種</td> <td>ひび割れ部の補修</td> </tr> <tr> <td>RC種</td> <td>適用する 適用しない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート面及び押出成形面</td> <td>RA種</td> <td rowspan="2">RB種</td> <td>ひび割れ部の補修</td> </tr> <tr> <td>RC種</td> <td>適用する 適用しない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">せっこうボード及びその他ボード面</td> <td>RA種</td> <td rowspan="2">RB種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>RC種</td> <td></td> </tr> </table>																素地	種別	備考	木部	RA種	不透明塗料塗りの場合はRB種	RC種	RC種	鉄鋼面	RA種	RB種	RC種	亜鉛めっき鋼面	RA種	RB種	RC種	モルタル及びせっこうボード面	RA種	RB種	ひび割れ部の補修	RC種	適用する 適用しない	コンクリート面及びALCパネル面	RA種	RB種	ひび割れ部の補修	RC種	適用する 適用しない	コンクリート面及び押出成形面	RA種	RB種	ひび割れ部の補修	RC種	適用する 適用しない	せっこうボード及びその他ボード面	RA種	RB種		RC種																																																																																																
				素地	種別	備考																																																																																																																																																				
				木部	RA種	不透明塗料塗りの場合はRB種																																																																																																																																																				
					RC種																																																																																																																																																					
					RC種																																																																																																																																																					
				鉄鋼面	RA種	RB種																																																																																																																																																				
					RC種																																																																																																																																																					
				亜鉛めっき鋼面	RA種	RB種																																																																																																																																																				
RC種																																																																																																																																																										
モルタル及びせっこうボード面	RA種	RB種	ひび割れ部の補修																																																																																																																																																							
	RC種		適用する 適用しない																																																																																																																																																							
コンクリート面及びALCパネル面	RA種	RB種	ひび割れ部の補修																																																																																																																																																							
	RC種		適用する 適用しない																																																																																																																																																							
コンクリート面及び押出成形面	RA種	RB種	ひび割れ部の補修																																																																																																																																																							
	RC種		適用する 適用しない																																																																																																																																																							
せっこうボード及びその他ボード面	RA種	RB種																																																																																																																																																								
	RC種																																																																																																																																																									
株式会社 丸山建築事務所 丸山建築事務所登録第39号										板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号		構造設計		一級建築士登録 大臣 ()		構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()		名称 小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事 No. A-06																																																																																																																																								
構造設計/設備関係規定への法適合を確認した										一級建築士登録 大臣 ()		構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号 ()		図名 建築改修工事特記仕様書 (6)		編入 A2: - A3: -																																																																																																																																										

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	
7 塗装 改修 工事	③ 素地ごしらえ (7.3.2) ~ (7.3.7)	(表7.3.2) ~ (表7.3.7) 下地面等 種 別 木部 不透明塗料塗りの場合 透明塗料塗りの場合 鉄鋼面 (DP以外) 鉄鋼面 (DP) 亜鉛めっき鋼面 珪外面及びせっこうアクリル面 (DP) コンクリート面 (DP以外) 及びALCA [®] 珪面 押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP) コンクリート面 (DPのみ) せっこうボード面及び その他のボード面 目地: 継目処理工法 目地: 継目処理工法以外	種 別 A種 B種 A種 B種 A種 B種 C種 A種 B種 C種 A種 B種 A種 B種 A種 B種 A種 B種 A種 B種	⑥ 屋根用遮熱塗料 施工箇所 屋根・下屋根・お-り屋根 低汚染・超耐久型ふっ素樹脂系屋根用遮熱塗料 (下塗り:フラー1回、上塗り:2回) クールタイトF エスケー化研 または同等品	8 1 2 耐 震 補 強 工 事 (コ ン ク リ ー ト 工 事)	⑩ 無筋コンクリート (8.11.1) (8.11.2)	コンクリートの種類 普通コンクリート 設計基準強度 18N/mm ² スラブ 15cm又は18cm セメントの種類 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 高炉セメントB種 フライアッシュセメントB種 適用箇所 標準仕様書6.14.1(4)による箇所 図示による()	
	④ 錆止め塗料塗り (7.4.2) (7.4.3)	錆止め塗料の種類 素地面 鉄鋼面 亜鉛めっき鋼面	塗装の種類 塗料の種類 工程の種類 備考 SOP (工程の種類は表7.4.3) E P-G (工程の種類は表7.4.3) D P (工程の種類は表7.4.4) SOP (工程の種類は表7.4.5) 規 其他 E P-G (工程の種類は表7.4.5) D P (工程の種類は表7.4.6)	1 鉄筋の種類 (8.2.1) 異形鉄筋 種類 径 (mm) 備 考 S D 2 9 5 D 1 6 以下 S D 3 4 5 D 1 9 以上 SD295は F c :21以上の場合、壁筋及びスラブ筋に適用する	3 構造体強度補正值 (8.2.5) 気温による構造体強度補正值 (S) (表8.2.4) 予想平均気温 () 補正值 普通 早強 (S) 南部地域 中部地域 北部地域 8以上 5以上 3 3/6 ~ 6/31 3/11 ~ 7/20 3/11 ~ 7/10 N/mm ² 9/11 ~ 11/15 9/1 ~ 11/5 9/1 ~ 10/31 0以上 0以上 6 11/16 ~ 3/5 11/ 6 ~ 3/10 11/ 1 ~ 3/10 8未満 5未満 N/mm ² 南部地域 (京都市(一部を除く)、旧八木町、旧園部町以南の市町村) 北部地域 (宮津市、旧加悦町以北の市町) 中部地域 (上記以外の市町、旧美山町及び旧北町を含む)	4 構造体用モルタル (8.2.6) モルタル圧縮強度 フロー値	11 コンクリート物-車の 過積載防止対策等	受注者は、出荷伝票等を整理・保管し、監督職員の請求があった場合は、遅滞なく提出するとともに、検査時に提示しなければならない。また、ミキサー車 1 台毎の積載量が把握できる運搬管理表を検査時に提出しなければならない。
	⑤ 塗装工程 (7.5.2) ~ (7.13.2)	工程の種類 記号 名称 種 別 SOP 合成樹脂調査 ペイント塗り 種類 1種 C L 珪外面塗り A種 (着色塗料の種類) B種 屋根遮熱塗装: 超耐久型ふっ素樹脂系屋根用遮熱塗料 イカ-化研 (株) 及び同等品 下地処理は R B種とする	1 鉄筋の種類 (8.2.1) 2 溶接金網 (8.2.2) 網目の形状、寸法 鉄線の径 (mm) 3 鉄筋の継手 及び定着 (8.3.4) (8.4.2) (8.4.3) 4 鉄筋のかぶり厚さ 及び間隔 (8.3.5) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ 構造図による 表8.3.6による (次の2項目のかぶり厚さを除く。) 軽量コンクリートで土に接する部分の鉄筋のかぶり厚さは下表による。 塩害の受けるおそれのある部分等、耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。 5 圧接完了後の 試験 (8.3.8) 試験方法 超音波探傷試験を全圧接部で行う。 6 割製補強筋 (8.21.6) (8.22.7) 形状 種類 呼び径、曲げ直径、ピッチ 図示による ()	2 鉄筋の種類 (8.2.1) 2 溶接金網 (8.2.2) 網目の形状、寸法 鉄線の径 (mm) 3 鉄筋の継手 及び定着 (8.3.4) (8.4.2) (8.4.3) 4 鉄筋のかぶり厚さ 及び間隔 (8.3.5) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ 構造図による 表8.3.6による (次の2項目のかぶり厚さを除く。) 軽量コンクリートで土に接する部分の鉄筋のかぶり厚さは下表による。 塩害の受けるおそれのある部分等、耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。 5 圧接完了後の 試験 (8.3.8) 試験方法 超音波探傷試験を全圧接部で行う。 6 割製補強筋 (8.21.6) (8.22.7) 形状 種類 呼び径、曲げ直径、ピッチ 図示による ()	5 型枠 (せき板) (8.1.4) (8.2.7) (8.7.8) 合板の規格 「合板の日本農林規格」の「コンクリート用合板の規格」による合板 合板の材種 広葉樹合板、針葉樹合板又はこれらの複合合板 厚さ (mm) 1 2 打放し仕上げのせき板 合板せき板を用いる場合 (表8.1.4) 種 別 板 面 の 品 質 施 工 箇 所 A種 8.2.7 (2)(7) B種 8.2.7 (2)(4) C種 8.2.7 (2)(4) 合板せき板を用いない場合 せき板の材料 コンクリートの仕上げの平たんさ 種 別 適 用 箇 所 a種 b種 c種 スリーブの材種 (表8.2.6) 適 用 箇 所 材 種 (規 格 そ の 他) 水密を要する地中部分等 つば付き鋼管 (JIS G3452 の黒管に厚さ6 mm以上、つば幅50mm以上の鋼管を溶接したもの) 水密を要しない地中部分等 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K6741 の V U) 上記以外の円形スリーブ 溶融亜鉛めっき鋼板 (径200 mm以下は厚0.4 mm以上、径200 mmを超え350 mm以下は厚0.6 mm以上) 円形スリーブ (溶融亜鉛めっき鋼板) は、筒形の両側を外型に折り曲げてつばを設ける。硬質ポリ塩化ビニル管は、防災区画を貫通する場合には使用しない。外部に面する打放し仕上げの打増し厚さ 図示による 2 0 mm シアコネクタとセパレーターの兼用 可 不可	8 1 3 耐 震 補 強 工 事 (あ と 施 工 ア ン カ ー 工 事)	1 あと施工アンカー (8.2.4) (8.12.4)	金属系アンカー 引張耐力 せん断耐力 埋込み長さ セット方式 本体打込み式改良型 接合筋 種類 長さ 径 接着系アンカー 引張耐力 せん断耐力 種類 カプセル型回転・打撃式 アンカー筋 改修仕様表8.2.1の異形棒筋 種類 径 埋込み長さ 新設壁内への定着長さ
	⑥ 素地ごしらえ (7.3.2) ~ (7.3.7)	(表7.3.2) ~ (表7.3.7) 下地面等 種 別 木部 不透明塗料塗りの場合 透明塗料塗りの場合 鉄鋼面 (DP以外) 鉄鋼面 (DP) 亜鉛めっき鋼面 珪外面及びせっこうアクリル面 (DP) コンクリート面 (DP以外) 及びALCA [®] 珪面 押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP) コンクリート面 (DPのみ) せっこうボード面及び その他のボード面 目地: 継目処理工法 目地: 継目処理工法以外	種 別 A種 B種 A種 B種 A種 B種 C種 A種 B種 C種 A種 B種 A種 B種 A種 B種 A種 B種 A種 B種 A種 B種 A種 B種 A種 B種	1 鉄筋の種類 (8.2.1) 異形鉄筋 種類 径 (mm) 備 考 S D 2 9 5 D 1 6 以下 S D 3 4 5 D 1 9 以上 SD295は F c :21以上の場合、壁筋及びスラブ筋に適用する	3 構造体強度補正值 (8.2.5) 気温による構造体強度補正值 (S) (表8.2.4) 予想平均気温 () 補正值 普通 早強 (S) 南部地域 中部地域 北部地域 8以上 5以上 3 3/6 ~ 6/31 3/11 ~ 7/20 3/11 ~ 7/10 N/mm ² 9/11 ~ 11/15 9/1 ~ 11/5 9/1 ~ 10/31 0以上 0以上 6 11/16 ~ 3/5 11/ 6 ~ 3/10 11/ 1 ~ 3/10 8未満 5未満 N/mm ² 南部地域 (京都市(一部を除く)、旧八木町、旧園部町以南の市町村) 北部地域 (宮津市、旧加悦町以北の市町) 中部地域 (上記以外の市町、旧美山町及び旧北町を含む)	4 構造体用モルタル (8.2.6) モルタル圧縮強度 フロー値	11 コンクリート物-車の 過積載防止対策等	受注者は、出荷伝票等を整理・保管し、監督職員の請求があった場合は、遅滞なく提出するとともに、検査時に提示しなければならない。また、ミキサー車 1 台毎の積載量が把握できる運搬管理表を検査時に提出しなければならない。
	⑦ 塗装 改修 工事	③ 素地ごしらえ (7.3.2) ~ (7.3.7)	(表7.3.2) ~ (表7.3.7) 下地面等 種 別 木部 不透明塗料塗りの場合 透明塗料塗りの場合 鉄鋼面 (DP以外) 鉄鋼面 (DP) 亜鉛めっき鋼面 珪外面及びせっこうアクリル面 (DP) コンクリート面 (DP以外) 及びALCA [®] 珪面 押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP) コンクリート面 (DPのみ) せっこうボード面及び その他のボード面 目地: 継目処理工法 目地: 継目処理工法以外	種 別 A種 B種 A種 B種 A種 B種 C種 A種 B種 A種 B種 A種 B種 A種 B種 A種 B種 A種 B種 A種 B種 A種 B種 A種 B種	⑥ 屋根用遮熱塗料 施工箇所 屋根・下屋根・お-り屋根 低汚染・超耐久型ふっ素樹脂系屋根用遮熱塗料 (下塗り:フラー1回、上塗り:2回) クールタイトF エスケー化研 または同等品	8 1 2 耐 震 補 強 工 事 (コ ン ク リ ー ト 工 事)	⑩ 無筋コンクリート (8.11.1) (8.11.2)	コンクリートの種類 普通コンクリート 設計基準強度 18N/mm ² スラブ 15cm又は18cm セメントの種類 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 高炉セメントB種 フライアッシュセメントB種 適用箇所 標準仕様書6.14.1(4)による箇所 図示による()
⑧ 素地ごしらえ (7.3.2) ~ (7.3.7)	(表7.3.2) ~ (表7.3.7) 下地面等 種 別 木部 不透明塗料塗りの場合 透明塗料塗りの場合 鉄鋼面 (DP以外) 鉄鋼面 (DP) 亜鉛めっき鋼面 珪外面及びせっこうアクリル面 (DP) コンクリート面 (DP以外) 及びALCA [®] 珪面 押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP) コンクリート面 (DPのみ) せっこうボード面及び その他のボード面 目地: 継目処理工法 目地: 継目処理工法以外	種 別 A種 B種 A種 B種 A種 B種 C種 A種 B種 A種 B種 A種 B種 A種 B種 A種 B種 A種 B種 A種 B種 A種 B種 A種 B種	⑥ 屋根用遮熱塗料 施工箇所 屋根・下屋根・お-り屋根 低汚染・超耐久型ふっ素樹脂系屋根用遮熱塗料 (下塗り:フラー1回、上塗り:2回) クールタイトF エスケー化研 または同等品	8 1 2 耐 震 補 強 工 事 (コ ン ク リ ー ト 工 事)	3 構造体強度補正值 (8.2.5) 気温による構造体強度補正值 (S) (表8.2.4) 予想平均気温 () 補正值 普通 早強 (S) 南部地域 中部地域 北部地域 8以上 5以上 3 3/6 ~ 6/31 3/11 ~ 7/20 3/11 ~ 7/10 N/mm ² 9/11 ~ 11/15 9/1 ~ 11/5 9/1 ~ 10/31 0以上 0以上 6 11/16 ~ 3/5 11/ 6 ~ 3/10 11/ 1 ~ 3/10 8未満 5未満 N/mm ² 南部地域 (京都市(一部を除く)、旧八木町、旧園部町以南の市町村) 北部地域 (宮津市、旧加悦町以北の市町) 中部地域 (上記以外の市町、旧美山町及び旧北町を含む)	4 構造体用モルタル (8.2.6) モルタル圧縮強度 フロー値	11 コンクリート物-車の 過積載防止対策等	受注者は、出荷伝票等を整理・保管し、監督職員の請求があった場合は、遅滞なく提出するとともに、検査時に提示しなければならない。また、ミキサー車 1 台毎の積載量が把握できる運搬管理表を検査時に提出しなければならない。

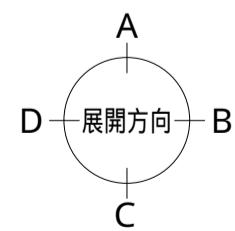
章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																	
8-4 耐震補強工事(鉄骨工事)	5 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合 (8.20.5)	<p>摩擦面の処理</p> <p>ブラスト処理(表面粗度50µmRz以上)</p> <p>りん酸塩処理</p> <p>図示による()</p> <p>すべり耐力等の確認方法</p> <p>試験方法等 図示による</p> <p>(対比試験片を作成し、摩擦面の処理状況を確認する)</p>	8-4 耐震補強工事(鉄骨工事)	15 耐火被覆 (8.18.2)~(8.18.9)	<p>種別</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材料・工法</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> <tr> <td>耐火材吹付け</td> <td>乾式吹付ロックウール 半乾式吹付ロックウール 湿式ロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火板張り</td> <td>繊維混入ケイ酸カルシウム板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火材巻付け</td> <td>高断熱ロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス張り珪藻土塗り</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火塗料</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする</p> <p>性能</p> <table border="1"> <tr> <th>性能</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> <tr> <td>30分耐火</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1時間耐火</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2時間耐火</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3時間耐火</td> <td></td> </tr> </table>	種類	材料・工法	適用箇所(部位・部分)	耐火材吹付け	乾式吹付ロックウール 半乾式吹付ロックウール 湿式ロックウール		耐火板張り	繊維混入ケイ酸カルシウム板		耐火材巻付け	高断熱ロックウール		ス張り珪藻土塗り	-		耐火塗料			性能	適用箇所(部位・部分)	30分耐火		1時間耐火		2時間耐火		3時間耐火		8-6 耐震補強工事(現場打ちRC壁の増設工事)	1 補強工法	<p>新設耐震壁 増打ち耐震壁 開口部閉鎖壁 新設袖壁</p> <p>製造所及び専門業者</p> <p>()</p>	8-7 耐震補強工事(鉄骨ブレース設置工事)	3 既存部分の処理 (8.22.3)	<p>目荒しの程度</p> <p>図示による</p> <p>本特記仕様書8-6-3による。</p>					
	種類	材料・工法		適用箇所(部位・部分)																																								
	耐火材吹付け	乾式吹付ロックウール 半乾式吹付ロックウール 湿式ロックウール																																										
	耐火板張り	繊維混入ケイ酸カルシウム板																																										
	耐火材巻付け	高断熱ロックウール																																										
	ス張り珪藻土塗り	-																																										
	耐火塗料																																											
	性能	適用箇所(部位・部分)																																										
	30分耐火																																											
	1時間耐火																																											
	2時間耐火																																											
	3時間耐火																																											
	6 溶接材料 (8.2.10)	<p>溶接材料</p> <p>改修標準仕様書8.2.10(1)(2)による</p> <p>図示による</p>		16 アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3)	<p>適用</p> <p>構造用アンカーボルト</p> <p>材質 SNR400B</p> <p>アンカーフレームの形状及び寸法</p> <p>図示による</p> <p>建方用アンカーボルト</p> <p>材質 SS400</p> <p>アンカーボルトの保持及び埋め込み工法 (表7.10.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>A種</th> <th>B種</th> </tr> <tr> <td>柱底均しモルタルの厚さ</td> <td>50mm</td> <td>30mm</td> </tr> </table>	種別	A種	B種	柱底均しモルタルの厚さ	50mm	30mm	4 既存部分の撤去 (8.21.2)	<p>既存仕上げの撤去範囲</p> <p>図示による</p> <p>本工事に支障となる最小限の範囲を撤去し既存構造体を露出させる。</p> <p>設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による</p> <p>既存構造体の撤去範囲 図示による</p> <p>はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置</p> <p>鉄筋は曲げることなく、必要に応じてウレタン等を巻き養生する。また鉄骨は発泡スチロール等で養生する。</p> <p>図示による</p>	4 既存構造体との取合い (8.22.7)	<p>割製補強筋</p> <p>以下のスバイラル筋とし、鉄骨ブレース設置後、アンカー筋とスタッドを交互に縫うように全周にわたり整然と配置する。</p> <p>直径6mm以上の鉄筋とし、ピッチは40~60mmの範囲でスタッド(アンカー)ピッチの1/3~1/6程度とする(箇所により内径が異なるので注意する)</p> <p>図示による</p>																													
	種別	A種		B種																																								
柱底均しモルタルの厚さ	50mm	30mm																																										
7 スタッド (8.2.11)	<p>種類等</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>呼び長さ(mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・16</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・19</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・22</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所	・16			・19			・22			1 グラウト材 (8.2.12)	<p>グラウト材</p> <p>早強型特殊セメント系無収縮モルタル</p> <p>無収縮モルタルの調査</p> <p>製造所で調査されたプレミックスタイプ</p> <p>現場調査</p> <p>無収縮グラウト材の品質</p> <table border="1"> <tr> <th>圧縮強度 (N/mm²)</th> <td>30以上</td> </tr> <tr> <td colspan="2">一般部コンクリートと同等以上の強度(鉄骨コンクリート壁増設工事の壁頭部)</td> </tr> <tr> <th>コシテック-J140-t値(秒)</th> <td>6~10</td> </tr> <tr> <th>乾燥収縮 (10⁻⁴)</th> <td>0</td> </tr> </table> <p>グラウト材の品質管理は次による</p> <table border="1"> <tr> <th>圧縮強度試験</th> <td>行う</td> <td>行わない</td> </tr> <tr> <th>コンシステンシー試験</th> <td>行う</td> <td>行わない</td> </tr> </table>	圧縮強度 (N/mm ²)	30以上	一般部コンクリートと同等以上の強度(鉄骨コンクリート壁増設工事の壁頭部)		コシテック-J140-t値(秒)	6~10	乾燥収縮 (10 ⁻⁴)	0	圧縮強度試験	行う	行わない	コンシステンシー試験	行う	行わない	3 既存部分の処理 (8.21.3)	<p>目荒しの程度</p> <p>既存柱・梁</p> <p>平均深さ2~5mm(max:5mm)程度の凹面を全体の15~30%の面積となるよう全体にわたって付ける。</p> <p>図示による</p> <p>壁(増打ち壁増設の場合)</p> <p>平均深さ2~5mm(max:5mm)程度の凹面を全体の10~15%の面積となるよう全体にわたって付ける。</p> <p>図示による</p> <p>割製補強筋</p> <p>「スバイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」、スライ筋は直径6mm以上とし、ピッチは40~60mmとする。</p> <p>図示による</p> <p>開口部増設壁の開口部鉄筋及び増設壁の端部横筋</p> <p>ダブル配筋=閉鎖型配筋、シングル配筋=フック(3d)付き</p> <p>図示による</p>	5 仕上げ (8.22.9)	<p>図示による</p>											
呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所																																										
・16																																												
・19																																												
・22																																												
圧縮強度 (N/mm ²)	30以上																																											
一般部コンクリートと同等以上の強度(鉄骨コンクリート壁増設工事の壁頭部)																																												
コシテック-J140-t値(秒)	6~10																																											
乾燥収縮 (10 ⁻⁴)	0																																											
圧縮強度試験	行う	行わない																																										
コンシステンシー試験	行う	行わない																																										
8 工作図 (8.13.2)	<p>高力ボルト、普通ボルト及びアカボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等</p> <p>図示による (図に無い場合は鉄骨設計基準による)</p>	2 柱底等の均しモルタル (8.2.12)	<p>モルタルの種別</p> <p>無収縮モルタル</p> <p>公共建築工事標準仕様書7.2.9(7)から(1)による。</p> <p>厚さ</p> <p>図示による</p> <p>工法</p> <table border="1"> <tr> <th>A種</th> <th>B種</th> </tr> </table>	A種	B種	4 鉄筋の加工及び組立て (8.21.6)	<p>割製補強筋</p> <p>「スバイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」、スライ筋は直径6mm以上とし、ピッチは40~60mmとする。</p> <p>図示による</p> <p>開口部増設壁の開口部鉄筋及び増設壁の端部横筋</p> <p>ダブル配筋=閉鎖型配筋、シングル配筋=フック(3d)付き</p> <p>図示による</p>	1 補強工法	<p>溶接金網巻き工法</p> <p>鋼板巻き工法</p> <p>連続繊維補強工法</p> <p>溶接閉鎖フープ巻き工法</p> <p>帯板巻き付け工法</p>																																			
A種	B種																																											
9 ボルト孔 (8.13.8)	<p>母屋又は剛縁の取付けに使用する普通ボルトの孔型</p> <p>ねじの呼び径 +1.0mm</p>	8-5 耐震補強工事(グラウト)	1 補強工法	<p>内側補強工法</p> <p>枠付き鉄骨K型ブレース 枠付き鉄骨X型ブレース</p> <p>枠付き鉄骨類杖付ブレース 枠付き鉄骨マンサード型ブレース</p> <p>枠付き有開口鉄板パネル 枠付き無開口鉄板パネル</p> <p>製造所及び専門業者</p> <p>()</p> <p>外側補強工法</p> <p>枠付き鉄骨ブレース直付け工法 枠付き鉄骨ブレース架構増設工法</p> <p>製造所及び専門業者</p> <p>()</p>	2 既存部分の撤去 (8.23.2)	<p>既存仕上げの撤去範囲</p> <p>図示による</p> <p>本特記仕様書8-6-2による。</p> <p>設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による</p> <p>本特記仕様書8-6-2による。</p> <p>既存構造体の撤去範囲 図示による</p> <p>本特記仕様書8-6-2による。</p> <p>はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置</p> <p>図示による</p> <p>本特記仕様書8-6-2による。</p>	2 既存部分の撤去 (8.23.2)	<p>既存仕上げの撤去範囲</p> <p>本特記仕様書8-6-2による他、下記による。</p> <p>垂れ壁・腰壁を撤去する場合には、風圧力等による安全性を確認の上、30mmのスリットを残して補強を行う。</p> <p>図示による</p> <p>設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による</p> <p>本特記仕様書8-6-2による</p> <p>既存構造体の撤去範囲 図示による</p> <p>本特記仕様書8-6-2による</p> <p>はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置</p> <p>図示による</p> <p>本特記仕様書8-6-2による。</p>																																				
10 仮組	<p>実施する 部位()</p> <p>実施しない</p>	2 柱底等の均しモルタル (8.2.12)	5 コンクリートの打込み工法 (8.21.8)	<p>流込み工法</p> <p>圧入工法</p>	3 既存部分の処理 (8.23.3)	<p>目荒し程度</p> <p>平均深さ2~5mm(max:5mm)程度の凹面を全体の15~30%の面積となるよう全体にわたって付ける。</p> <p>図示による</p> <p>柱及び梁の成型(連続繊維補強工法)</p> <p>支障となる表面の不陸を調整し、コーナー部をグラインダー等により曲面に成型する。(30R)</p> <p>図示による</p>	3 既存部分の処理 (8.23.3)	<p>目荒し程度</p> <p>平均深さ2~5mm(max:5mm)程度の凹面を全体の15~30%の面積となるよう全体にわたって付ける。</p> <p>図示による</p> <p>柱及び梁の成型(連続繊維補強工法)</p> <p>支障となる表面の不陸を調整し、コーナー部をグラインダー等により曲面に成型する。(30R)</p> <p>図示による</p>																																				
11 技能資格者	<p>溶接作業者の技量付加試験</p> <p>行わない</p> <p>行う 試験の要領 図示による</p>	2 柱底等の均しモルタル (8.2.12)	6 既存構造体との取合い (8.21.9)	<p>8.19.9の方法による他、以下に注意する</p> <p>開口周囲の既存壁をはつり、既存壁筋を露出させ、これに増設する壁筋をフレアー溶接又は重ね継ぎ手により接続する。</p> <p>開口周囲の既存壁にあと施工アンカーを打設し、これに増設する壁筋をフレアー溶接又は重ね継ぎ手により接続する。(壁が厚く配筋の場合)</p> <p>開口打設部全てについてグラウト剤を注入する。(壁が薄い場合)</p> <p>図示による</p>	4 溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 (8.23.5)	<p>柱頭のスリット 設ける</p> <p>柱脚のスリット 設ける</p> <p>打ち込むコンクリート又はグラウト材の厚さ mm</p> <p>打込みの工法 流込み工法 圧入工法</p>	4 溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 (8.23.5)	<p>柱頭のスリット 設ける</p> <p>柱脚のスリット 設ける</p> <p>打ち込むコンクリート又はグラウト材の厚さ mm</p> <p>打込みの工法 流込み工法 圧入工法</p>																																				
12 溶接接合 (8.15.4)(8.15.7)	<p>開先の形状</p> <p>図示による 構造関係共通図(鉄骨設計標準図)による</p> <p>鋼製エンドタブの切断</p> <p>有 無</p> <p>切断する箇所及び切断範囲</p> <p>図示による</p> <p>切断面の仕上げ</p> <p>グラインダーにより、粗さ100µm Rz程度以下及びノッチ深さ1mm程度以下に仕上げ</p> <p>スカラップの形状</p> <p>図示による 構造関係共通図(鉄骨設計標準図)による 改良型スカラップ</p>	2 柱底等の均しモルタル (8.2.12)	7 仕上げ (8.21.10)	<p>図示による</p>	5 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 (8.23.6)	<p>鋼板の加工</p> <p>柱頭のスリット 設ける</p> <p>柱脚のスリット 設ける</p> <p>柱脚スリットを設ける場合の外側剥離防止処理方法</p> <p>小口塞ぎ鉄板溶接 鋼板曲げ加工</p> <p>グラウト材</p> <p>グラウト材の仕様 本特記仕様書8-5-1による</p> <p>グラウト材の厚さ 20mm mm</p>	5 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 (8.23.6)	<p>鋼板の加工</p> <p>柱頭のスリット 設ける</p> <p>柱脚のスリット 設ける</p> <p>柱脚スリットを設ける場合の外側剥離防止処理方法</p> <p>小口塞ぎ鉄板溶接 鋼板曲げ加工</p> <p>グラウト材</p> <p>グラウト材の仕様 本特記仕様書8-5-1による</p> <p>グラウト材の厚さ 20mm mm</p>																																				
13 溶接部の試験 (8.15.12)	<p>H12建設省告示第1464号第二号に関する外観試験方法等</p> <p>「突合合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強」(独立行政法人建築研究所)3.5.2による受入検査</p> <p>抜き取り検査 抜き取り検査</p> <p>JASS 6 付則6 [鉄骨精度検査基準]の付則3「溶接」に関する試験方法等</p> <p>JASS 10.4 [受入検査] e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜き取り箇所は、超音波深傷試験の試験箇所と同一とする。</p> <p>外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。</p> <p>浸透探傷試験(JIS Z 2343-1)</p> <p>磁粉探傷試験(JIS Z 2320-1)</p> <table border="1"> <tr> <th>超音波探傷試験</th> <th>工場溶接</th> <th>平均出検査品質限界(AOQL)</th> <th>全数</th> </tr> <tr> <td>検査水準</td> <td>第6水準</td> <td>第__水準</td> <td>全数</td> </tr> <tr> <th>現場溶接</th> <th>平均出検査品質限界(AOQL)</th> <th>全数</th> </tr> </table>	超音波探傷試験	工場溶接	平均出検査品質限界(AOQL)	全数	検査水準	第6水準	第__水準	全数	現場溶接	平均出検査品質限界(AOQL)	全数	2 柱底等の均しモルタル (8.2.12)	8-7 耐震補強工事(鉄骨ブレース設置工事)	1 補強工法	<p>内側補強工法</p> <p>枠付き鉄骨K型ブレース 枠付き鉄骨X型ブレース</p> <p>枠付き鉄骨類杖付ブレース 枠付き鉄骨マンサード型ブレース</p> <p>枠付き有開口鉄板パネル 枠付き無開口鉄板パネル</p> <p>製造所及び専門業者</p> <p>()</p> <p>外側補強工法</p> <p>枠付き鉄骨ブレース直付け工法 枠付き鉄骨ブレース架構増設工法</p> <p>製造所及び専門業者</p> <p>()</p>	2 既存部分の撤去 (8.22.2)	<p>既存仕上げの撤去範囲</p> <p>図示による</p> <p>本特記仕様書8-6-2による。</p> <p>設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による</p> <p>本特記仕様書8-6-2による。</p> <p>既存構造体の撤去範囲 図示による</p> <p>本特記仕様書8-6-2による。</p> <p>はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置</p> <p>図示による</p> <p>本特記仕様書8-6-2による。</p>																										
超音波探傷試験	工場溶接	平均出検査品質限界(AOQL)	全数																																									
検査水準	第6水準	第__水準	全数																																									
現場溶接	平均出検査品質限界(AOQL)	全数																																										
14 錆止め塗料 (7.4.2)(8.17.2)(8.17.4)	<p>塗料の種別</p> <p>鉄鋼面の錆止め塗料</p> <table border="1"> <tr> <th>表7.4.1による</th> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>C種</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料</th> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>C種</th> </tr> <tr> <td>表7.4.2による</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る)</p> <table border="1"> <tr> <th>表7.4.1による</th> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>C種</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>耐火被覆材の接着する面への塗装</th> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>C種</th> </tr> <tr> <td>行わない 行う</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>耐火被覆材の接着する面以外への塗装</th> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>C種</th> </tr> <tr> <td>行わない 行う (塗装範囲 図示による)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	表7.4.1による	A種	B種	C種					亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料	A種	B種	C種	表7.4.2による				表7.4.1による	A種	B種	C種					耐火被覆材の接着する面への塗装	A種	B種	C種	行わない 行う				耐火被覆材の接着する面以外への塗装	A種	B種	C種	行わない 行う (塗装範囲 図示による)				2 柱底等の均しモルタル (8.2.12)	2 既存部分の撤去 (8.22.2)	<p>既存仕上げの撤去範囲</p> <p>図示による</p> <p>本特記仕様書8-6-2による。</p> <p>設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による</p> <p>本特記仕様書8-6-2による。</p> <p>既存構造体の撤去範囲 図示による</p> <p>本特記仕様書8-6-2による。</p> <p>はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置</p> <p>図示による</p> <p>本特記仕様書8-6-2による。</p>
表7.4.1による	A種	B種	C種																																									
亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料	A種	B種	C種																																									
表7.4.2による																																												
表7.4.1による	A種	B種	C種																																									
耐火被覆材の接着する面への塗装	A種	B種	C種																																									
行わない 行う																																												
耐火被覆材の接着する面以外への塗装	A種	B種	C種																																									
行わない 行う (塗装範囲 図示による)																																												

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
8-8	6 連続繊維補強工法 (8.2.13)	工法 (一財)日本建築防災協会の評価を受けた工法 材料 炭素繊維 アラミド繊維 ガラス繊維 性能 引張強度 N/mm ² ヤング係数 N/mm ² 製造所 製品名 柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ 炭素繊維シート 20mm以上 アラミド繊維シート 10mm以上 仕上げモルタルの除去 構造躯体まで除去する 砂外除去は行わない ひび割れ部改修 コンクリート打放し仕上げ 樹脂注入工法 砂外塗り仕上げ 樹脂注入工法 炭素繊維の目付量 図示による 炭素繊維シートの巻数 図示による 引張強度試験 行う 試験数量 () 行わない 付着強度試験 行う 試験数量 () 行わない	8-10	4 仕上げ (8.26.13)	図示による	8-12	1 既存部分の処理等 (8.28.2)	既存杭の撤去等 撤去範囲及び方法 図示による () 杭頭部の処理 図示による () 既存杭の補強 図示による () 既存杭の健全性を確認する試験 図示による ()	9	3 可動間仕切 (20.2.3)	種別 構造形式 構成基材 表面仕上 遮音性 パネル式 スタッド式 スクッド付 襜式 パネル材料のホルムアルデヒド放散量 F F ハンガーレールの取付け下地の補強 取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障ない耐力及び変形量となるように補強する。 パネルをランナーに取り付ける部品 ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの ハンガーレール及びランナー パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、体力及び変形量が使用上支障ないもの あと施工アンカー 材質 寸法 引抜耐力試験 行う
	7 仕上げ (8.23.7)	図示による		5 埋戻し及び盛土 (8.28.3)	埋戻し及び盛土の種類 改修標準仕様書8.28.1による A種 適用箇所 () B種 適用箇所 () C種 適用箇所 ()土質 ()受渡場所 () D種 (細粒分(75µm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする) 適用箇所 () その他(材料 工法) 地盤の変形を防止する適切な措置を講ずるための鋼平板等の抜き跡の処理 図示による 山留め壁等の存置箇所 (図示)		4 移動間仕切 (20.2.4)	パネル操作法による種類/パネル表面材・仕上/パネル圧接装置の操作法/遮音性能 ハンガーレールの取付け下地の補強 取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障ない耐力及び変形量となるように補強する。 パネルをランナーに取り付ける部品 ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの ハンガーレール及びランナー パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、体力及び変形量が使用上支障ないもの あと施工アンカー 材質 寸法 引抜耐力試験 行う			
8-9	1 耐震スリット新設工 (8.25.2)	方向 タイプ 耐火性能 防水性能 垂直方向 完全(全貫通型)スリット 耐火型 有り 水平方向 セン断型部分スリット 非耐火型 無し 品質・規格 既存仕上げの撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 既存鉄骨の処理 はつり出し 切断 存置(部分スリット) 耐震スリットの幅及び深さ 図示による 耐震スリットの充填材 耐火材の使用 使用する 使用しない 遮音材の使用 使用する 使用しない 適用箇所及び仕様 図示による 既存部分の撤去の補修 図示による	8-11	1 既存部分の撤去 (8.27.2)	既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造の場合 既存仕上げの撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 既存構造体の撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 既存部分が鉄骨造の場合 既存仕上げの撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 既存鉄骨の撤去 範囲 図示による 方法 図示による 既存鉄骨の処置方法	9	5 トイレブース (20.2.5)	表面材 メラミン樹脂系化粧板 ポリエステル樹脂系化粧板 脚部 幅木型 足金物型 パネル材料のホルムアルデヒド放散量 F ドアエッジの材質 トイレブース製造所の仕様による			
	2 既存部分の処理 (8.27.3)	既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造の場合の目荒しの程度 既存柱・梁 図示による 本特記仕様書8-6-3による。 壁(増打ち壁増設の場合) 図示による 本特記仕様書8-6-3による。		6 手すり (20.2.6)	SUS304(表面処理 HL程度) 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (表14.2.2)による種別()種) アルミニウム 表面処理 (表14.2.1)による種別()種) 種別 ()種 ()種) 色合等 標準色 () 特注色 () 手すりの握り部分 材種 表面仕上げ 直径(mm) 取付場所 備考 集成材 () ○クリアラッカー 35度 ビニル製 45度 45度						
8-10	1 既存部分の撤去 (8.26.5)	既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造・既存杭の場合の仕上げの撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 既存構造体の撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置 図示による 本特記仕様書8-6-2による。	8-12	3 減衰材 (8.27.4)	減衰材 材質 諸元 性能確認試験 項目 数量 製品検査 項目 内容 判定基準 検査頻度 防錆処置 設置位置の寸法許容差 既存部分が鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造の場合 割製補強筋 「スバイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」 スバイラル筋は直径6mm以上とし、ピッチは40-60mmとする。 図示による 既存部分が鉄骨造の場合 割製補強筋 以下のスバイラル筋とし、鉄骨ブレース設置後、アンカー筋とスタッドを交互に縫うように全周にわたり整然と配置する。 直径6mm以上の鉄筋とし、ピッチは40-60mmの範囲でスタッド(アンカー)ピッチの1/3-1/6程度とする(箇所により内径が異なるので注意する) 図示による	9	7 階段滑り止め (20.2.7)	材種 ステンレス製(SUS304) 幅 約3.5mm 形状 ビニルタイヤ入り 両端フット あり(ビニル SUS304) 取付工法 接着工法 埋込み工法			
	2 既存部分の処理 (8.26.6)	既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造・既存杭の場合の目荒しの程度 既存柱・梁 図示による 本特記仕様書8-6-3による。 壁(増打ち壁増設の場合) 図示による 本特記仕様書8-6-3による。		8 黒板及びホワイトボード (20.2.9)	黒板 区分 種類 色彩 備考 焼付け 鋼製黒板 緑 曲面 ほうろう黒板 黒 スクリーン付引分け ほうろう白板 白 曲面 スクリーン付引分け 耐摩耗性 鋼製黒板 アルミ製 (表面処理の種類 B-2 B-1) 品質・規格						
8-10	3 支保材・減衰材 (8.26.7)	支保材 材質 諸元 減衰材 材質 諸元 性能確認試験 項目 数量 製品検査 項目 内容 判定基準 検査頻度 防錆処置 設置位置の寸法許容差 既存部分が鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造の場合 割製補強筋 「スバイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」 スバイラル筋は直径6mm以上とし、ピッチは40-60mmとする。 図示による	8-12	4 仕上げ (8.27.8)	図示による	9	8 鏡 (20.2.10)	厚さ(mm) 5			
	5 検査 (8.27.9)	項目 数量		9 ユニット及びその他の工事	1 家具、工器等の揮発性有機化合物対策 収納家具その他ユニットに使用する材料で、合板類、MDF及び「ビニルシート」等のホルムアルデヒド等の放散量 F 収納家具その他ユニットに使用する合板等の接着剤 ホルムアルデヒド等の放散量 F 含まれる可塑剤 7%酸-7%等を含有しない、揮発性のもの 建設技術評価制度「耐震型フローアフロアの開発」の技術評価を取得した製品とする。 施工箇所 寸法 フロア 耐震性能 所定荷重 帯電防止性能 漏えい抵抗 スロープ及びボーダー コンセント等の取付け 製造所の標準仕様 図示による 配線用取出し用開口 製造所の標準仕様 (コンセント本体は別途設備工事) 空調用取出しパネル 対応品又は工場加工品 (施工箇所は図示) 表面仕上げ材の品質、規模等は、標仕19章内装工事による。 フリーアクセスフロアの試験方法 耐荷重性能 耐衝撃性能 ローリングロード性能 耐燃焼性能						

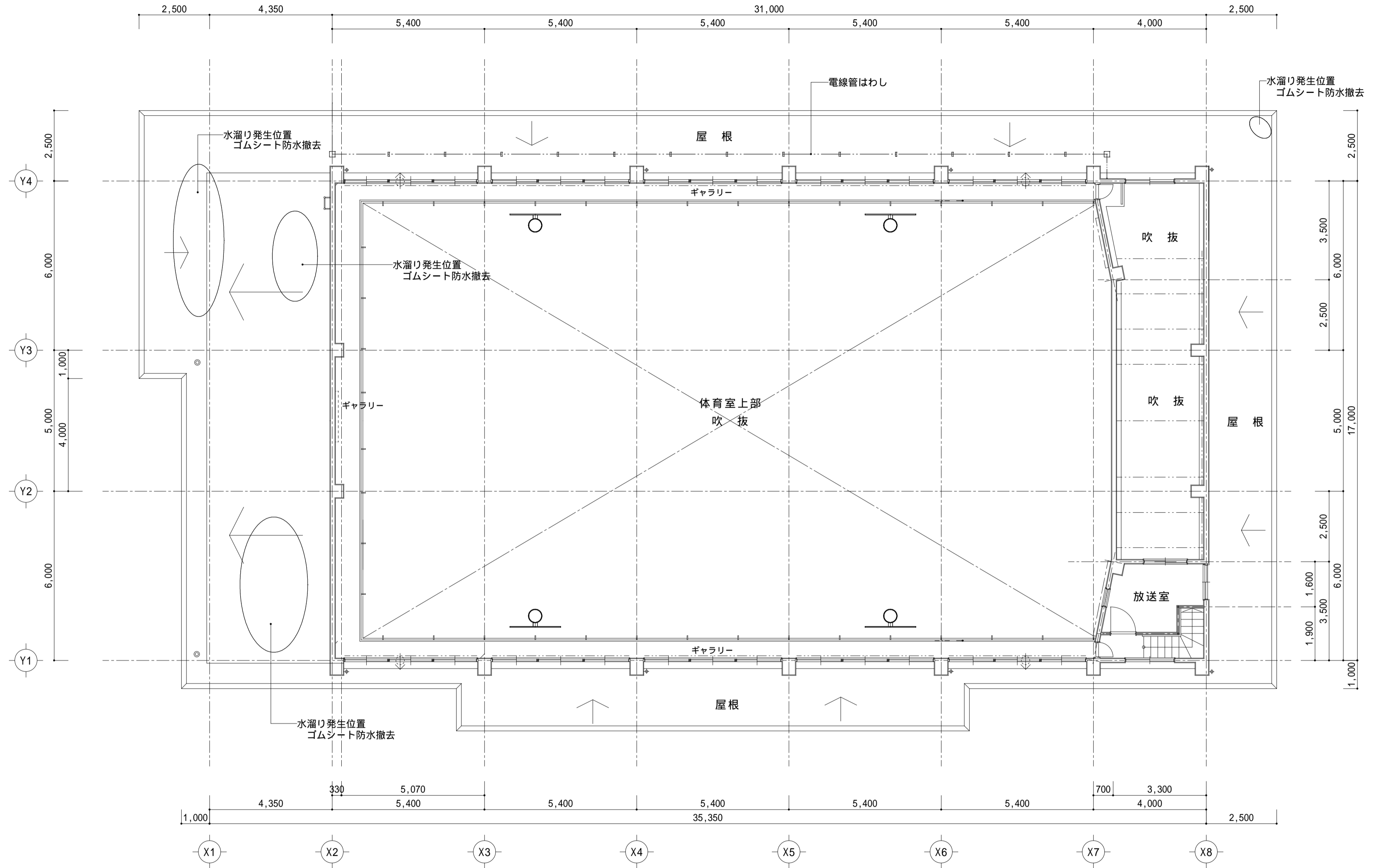
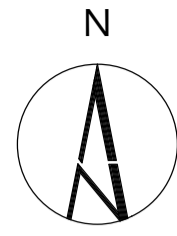
章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項		
9 ユニット及びその他の工事	10 表示・標識 (20.2.11)	衝突防止表示 図示による(市販品 ステンレス製 径 30 mm _____) なし 法令に基づく表示 非常用進入口表示等は消防法に適合する市販品とし、その他は標準詳細図による。	20 掲示板 種 類 材 質 表面の材質 照明器具 施 錠 品質・規格 屋内 アルミ製(B-2) _____ ステンレス製(SUS304) _____ 屋外 アルミ製(B-2) _____ ステンレス製(SUS304) _____	10 排水工事	3 緑石 (21.3.1)	歩車道境界ブロックのJIS による呼び名 A _____ 地先境界ブロックのJIS による呼び名 A C _____ 砂利地業の厚さ 100mm _____	11 舗装工事	5 カラー舗装 (22.6.2) ~ (22.6.4)	種 類 部 位 配合その他 加熱系アスファルト混合物 _____ 添加材 着色骨材 自然石 _____ 結合材 アスファルト 石油樹脂(添加量 _____) アスファルト混合物等の抽出試験 適用する 適用しない 舗装の厚さ _____ mm 常温系ニート工法 _____ 常温系塗布工法 _____ 着色部の下部 舗装の平たん性 アスファルト舗装 コンクリート舗装 通行の支障となる水たまりを生じない程度
	11 タラップ (20.2.12)	材質及び仕上げ ○ SUS304(スリップ止め加工 あり ○なし) ○ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (表14.2.2)による種別(C種 _____種)	21 カウンター 品質・規格 _____		4 コンクリート側溝 (21.2.1) (21.3.1)	鉄筋コンクリートL形のJIS による呼び名 250A 250B _____ コンクリートL形のJIS による呼び名 250A 250B _____ 鉄筋コンクリートU形のJIS による呼び名 240 300A 360A _____ 現場打ちコンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm ²) 1.8 _____ スランプ(cm) 1.5 1.8 _____ 現場打の鉄筋 種類の記号 SD295 _____		6 透水性アスファルト舗装 (22.7.2) ~ (22.7.6)	舗装構成及び厚さ 図示による _____ 表層の厚さの試験 行う 行わない 開粒度アスファルト混合物の抽出試験 行う 行わない
	12 ブラインド (20.2.14)	形式 種 類 スパットの材質 スパット幅(mm) ぶっかくレールの材質 横形 ギヤ式 アルミ合金 25 鋼製 コード式 _____ 35 _____ 縦形 2本操作コード式 アルミスット 80 アルミ合金 1本操作コード式 加工スット 100 _____	22 洗面カウンター 材 種 メラミン樹脂化粧板張り(芯材:集成材) 人工大理石(品質 図示) 奥行き(mm) 約450 約600 _____		1 路床 (22.2.2) (22.2.3) (22.2.5)	路床の構成 凍上抑制層 厚さ 図示による _____ 透水性舗装 フィルター層の厚さ 車道部 図示による 150mm _____ 歩道部 図示による 50mm _____ (凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験) 行う 行わない 盛土に用いる材料 A種 B種 C種 D種 (表3.2.1) 路床安定処理 行う 行わない 路床安定処理用材料 添加材料による安定処理 (表22.2.1) 種 類 地盤改良材 (_____) 高炉セメントB種 普通ポルトランドセメント 生石灰 特号 生石灰 1号 フライアッシュセメントB種 消石灰 特号 消石灰 1号 添加量 _____ kg/m ³ 路床土の支持力比(CBR)試験 行う(乱した土 乱さない土) 路床締固め度の試験 行う(埋戻し部、盛土部) 行わない		7 ブロック系舗装 (22.8.2) (22.8.3)	コンクリート平板舗装 種 類 寸法(mm) 厚さ(mm) 目 地 普通平板(N) カラー平板(C) 300角 60 砂 洗出平板(W) 擬石(S) _____ 品質・規格 _____ クッション材 砂 空練りモルタル インターロッキングブロック舗装 種 類 部位 形状寸法(mm) 厚さ(mm) 逃げ強度(N/mm ²) 色彩及び表面加工等 普通ブロック 車路 _____ 80 5.0 標準品 京Eロック 歩行者用通路 _____ 60 3.0 _____ 透水性ブロック _____ 80 _____ 植生ブロック _____ 60 _____ _____ 80 _____ _____ 100 _____ 品質・規格 _____ クッション材 砂 鋪石舗装 種 類 形状寸法(mm) 厚さ(mm) 工 法 基 層 基層の厚さ(mm) 花崗岩 _____ 80~100 うろこ張り ｺﾝｸﾘｰﾄ版 70 _____ _____ _____ _____ _____ _____ _____ _____ _____ _____ 品質・規格 _____ クッション材 砂 空練りモルタル
	13 ロールスクリーン (20.2.15)	操作方法 スクリーンの材種 その他の材料 幅・高さ 取付箇所 品質等 スプリング式 ガラス繊維製 製造所の仕様 図示による コード式 合成・天然繊維製 _____ 電動式 木製 _____	23 流し台ユニット 種 類 部品寸法(mm) 規 格 仕 様 流し台 _____ 優良住宅部品 トラップ付き コンロ台 _____ 優良住宅部品 バックガード有り 吊戸棚 _____ 優良住宅部品 高さ 約500 mm 水切り棚 _____ 優良住宅部品 ステンレス製1段式		2 路盤 (22.3.2) (22.3.3) (22.3.5)	路盤の厚さ _____ 150 _____ mm 材料 再生クラッシュラン(RC-40,30,20) クラッシュラン(C-40,30,20) ｸﾞﾗｯｼﾞﾝｸﾞ鉄鋼ｽﾗｸﾞ(CS-40) 路盤締固め度の試験 行う		8 砂利敷き (22.9.2)	通 路 A種 B種 建物周囲その他 A種 B種 下敷きの使用材料は再生クラッシュランとする
	14 カーテン (20.2.16)	取付箇所 形 式 開閉操作方法 カーテン用きれ地の ひだの種類 ｼﾝｸﾞﾙﾌﾞﾙｯｸ引 引分 電動 ひも引 手引 種別・品質・特殊加工等 つまみ 編み プレーン	24 非常用救助袋等 垂直降下式 傾斜式 垂直式 形式 _____ 品質・規格 _____ 市販品 形式 釣下式 差込式 (30 60 120 _____) 組用(_____) 個		3 アスファルト舗装 (22.4.2) ~ (22.4.6)	舗 装 の 種 類 表層(mm) 基層(mm) カラー舗装の種類 アスファルト舗装 50 _____ ○ 顔料混入加熱アスファルト混合物 アスファルト 再生アスファルト (60~80 80~100) ストレートアスファルト 再生加熱アスファルト混合物の種類 区分 一般地域 寒冷地域 表層 密粒度アスファルト混合物(13) 密粒度アスファルト混合物(13F) 細粒度アスファルト混合物(13)		9 白線引き 種 類 溶融式 ペイント式 幅 (cm) 15 _____	
	15 カーテンレール (20.2.16)	材料 アルミニウム又はアルミニウム合金の押し出し成形材 ステンレス 形式 片引き 引分け(暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする。) 形状 C型 D型 角型 強さによる区分 10-90 _____ 仕上げ アルマイト _____	25 非常用救助袋等 形式 傾斜式 垂直式 品質・規格 _____ 市販品 形式 釣下式 差込式 (30 60 120 _____) 組用(_____) 個		4 コンクリート舗装 (22.5.2) ~ (22.5.6)	構成 コンクリートの種類 部 位 厚さ(mm) 設計基準強度(N/m ²) スランプ(cm) 早強セメント 使用しない 使用する 目地 注入目地材料 低弾性タイプ 高弾性タイプ 種類 突合せ目地 収縮目地 伸縮調整目地 間隔 5m程度ごと 4m程度ごと 3m程度ごと コンクリート版厚さの試験 行う		1 一般事項 (9.1.1)	石綿含有吹付け材除去工事 除去工法 (_____) 封じ込め工法 (_____) 囲い込み工法 (_____) 石綿含有保温材除去工事 石綿含有成形板等除去工事 石綿含有仕上塗材除去工事
	16 ブラインドボックス カーテンボックス	図示による 市販品(アルミニウム製 押し出し型材) 仕様等 溝幅×深さ(mm) 90×150 150×80 120×80 _____ 表面処理 C-1(無着色) C-2(着色)	26 車止め 形 式 材 質 柱径・肉厚(mm) 高さ(mm) 上下式鎖内蔵型 アルミ製(SUS304) 76.3 t=2.0 GL+700 (スﾌﾟﾘﾝｸﾞ付) 114.3 t=2.5 GL+850		2 側塊、排水枘及びふた (21.2.1)	側塊の形状および寸法 図示による _____ 排水枘の種類 図示による _____		2 仕上げ工事 (9.1.1)	石綿含有建材除去後の仕上げ工事 図示による _____
	17 くつふきマット	材種 塩化ビニル製(コイル状 ステンレス製(SUS304)受枠) 硬質アルミニウム合金(受枠とも) ゴム製(ステンレス製(SUS304)受枠)	27 フェンス 固定式 材 質 厚さ(mm) 高さ(mm) 備 考 網入り磨き板ガラス 6.8 500 アルミ製枠付き 線入り磨き板ガラス _____ 可動式 種 類 材 質 高さ(mm) 備 考 垂直降下式(巻取り型) 不燃布 (不燃認定品) 500 ガイドレール 800 固定式(壁押込型) 可動式(天井収納型) 回転降下式 鋼板制又はアルミ製 500 表面仕上げ 800 天井材張り		鋼鉄製マンホールふたの種類 種 類 適 用 荷 重 (安全荷重) 水封形 密閉形(ﾎﾞｰﾙﾌｯｸ式) T-2用(5KN) T-6用(115KN) 中蓋付密閉形 簡易密閉形(ﾊﾞｯｸ式) T-20用(50KN)				
	18 鋼製書架及び棚	種類 規 格 等 JISによる種類 鋼製書架 JIS S 1039 の規格による 1種 2種 3種 鋼製物品棚 法務省型 4種 5種 6種	28 防煙垂れ壁 固定式 材 質 厚さ(mm) 高さ(mm) 備 考 網入り磨き板ガラス 6.8 500 アルミ製枠付き 線入り磨き板ガラス _____ 可動式 種 類 材 質 高さ(mm) 備 考 垂直降下式(巻取り型) 不燃布 (不燃認定品) 500 ガイドレール 800 固定式(壁押込型) 可動式(天井収納型) 回転降下式 鋼板制又はアルミ製 500 表面仕上げ 800 天井材張り						
	19 収納家具(木製)	材質、形状、寸法 図示による _____ 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 F _____	29 天吊型空調室内機取付用ブラケット 屋根・防球格子一体型室内機取付用ブラケット アッパープレート付ブラケット架台+防球ガード 日晴金属 KGG-WK18100T50-4L100D + BG-D1835E 又は同等品						



現況 1階平面図 1/100

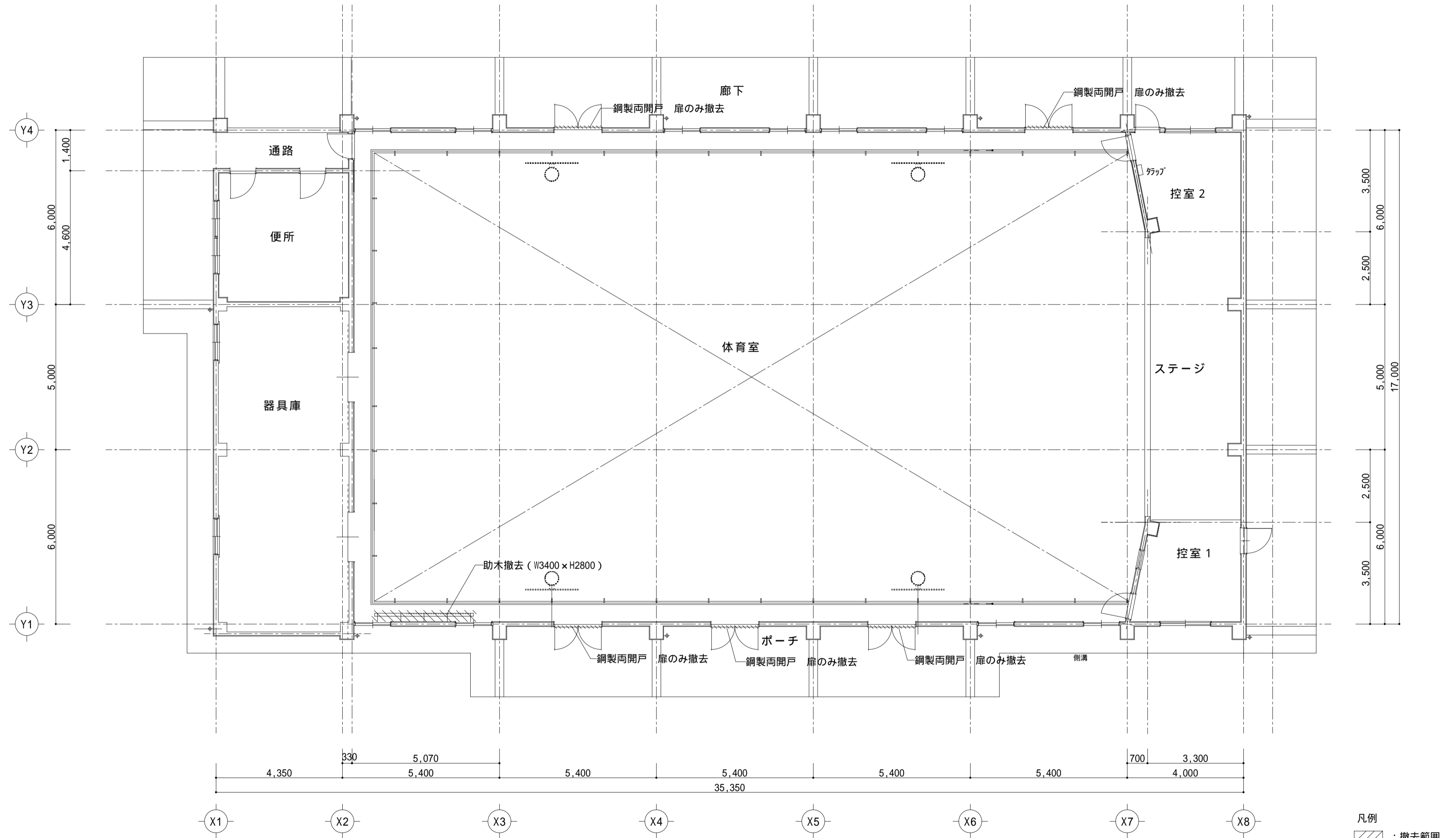
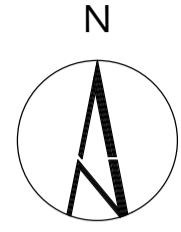


株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. A - 1 1
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した 大臣 ()	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号 ()	図名 現況 1階平面図	縮尺 A2: 1/100 A3: -

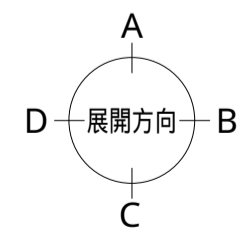


現況 2階平面図 1/100

株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号		構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. A - 1 2
			構造/設備関係規定 への法適合を確認した 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号 ()	図名 現況 2階平面図	縮尺 A2: 1/100 A3: -

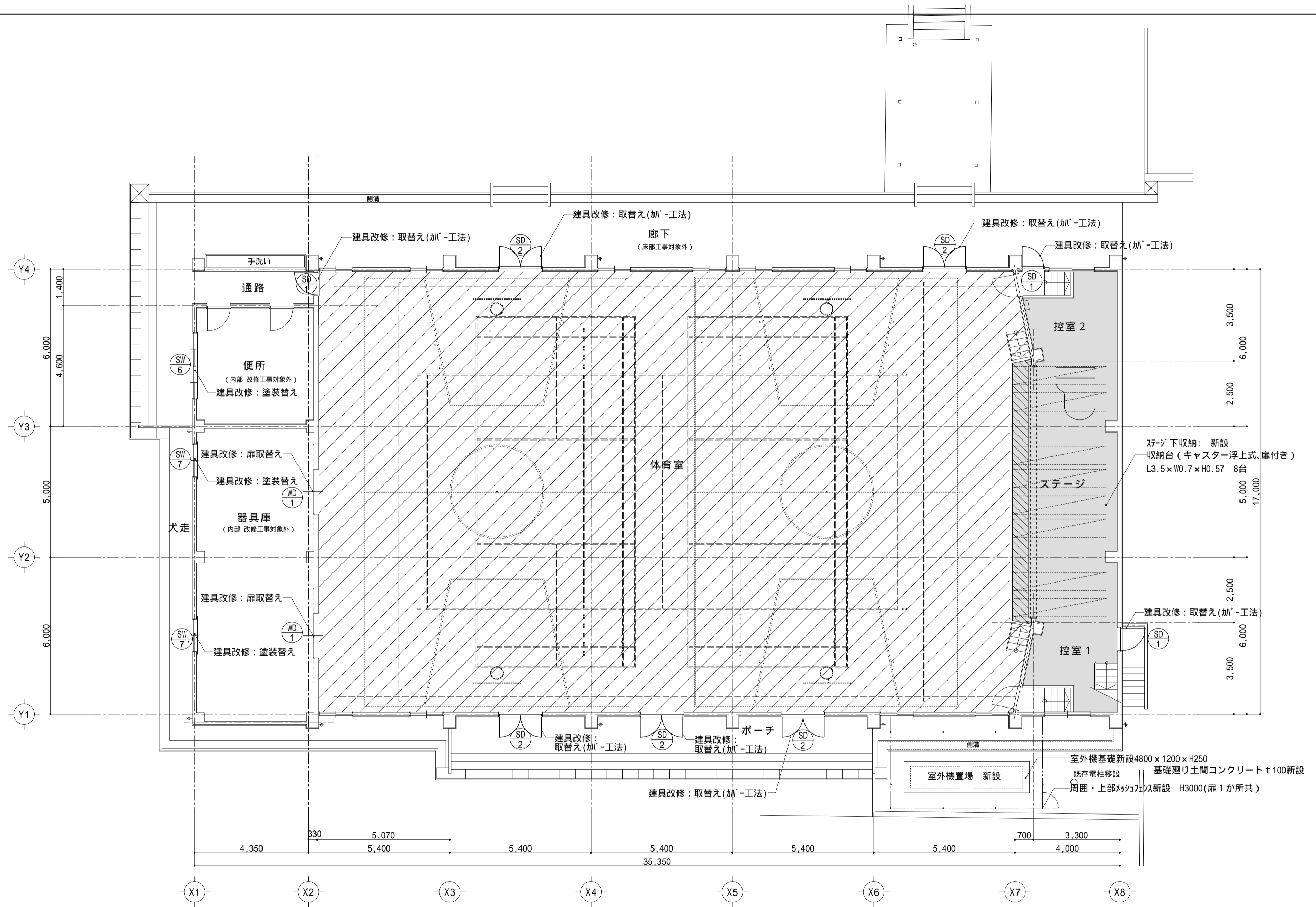
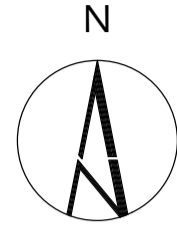


現況 1階天井伏図 1/100



凡例
 : 撤去範囲

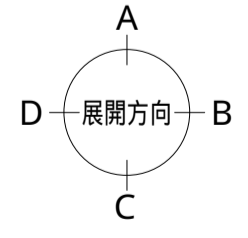
株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. A - 13
		構造/設備関係規定 への適合を確認した 大臣 ()	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号 ()	図名 現況 1階天井伏図	縮尺 A2: 1/100 A3: -



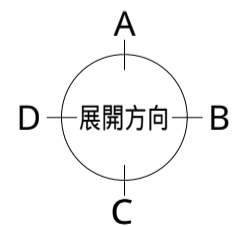
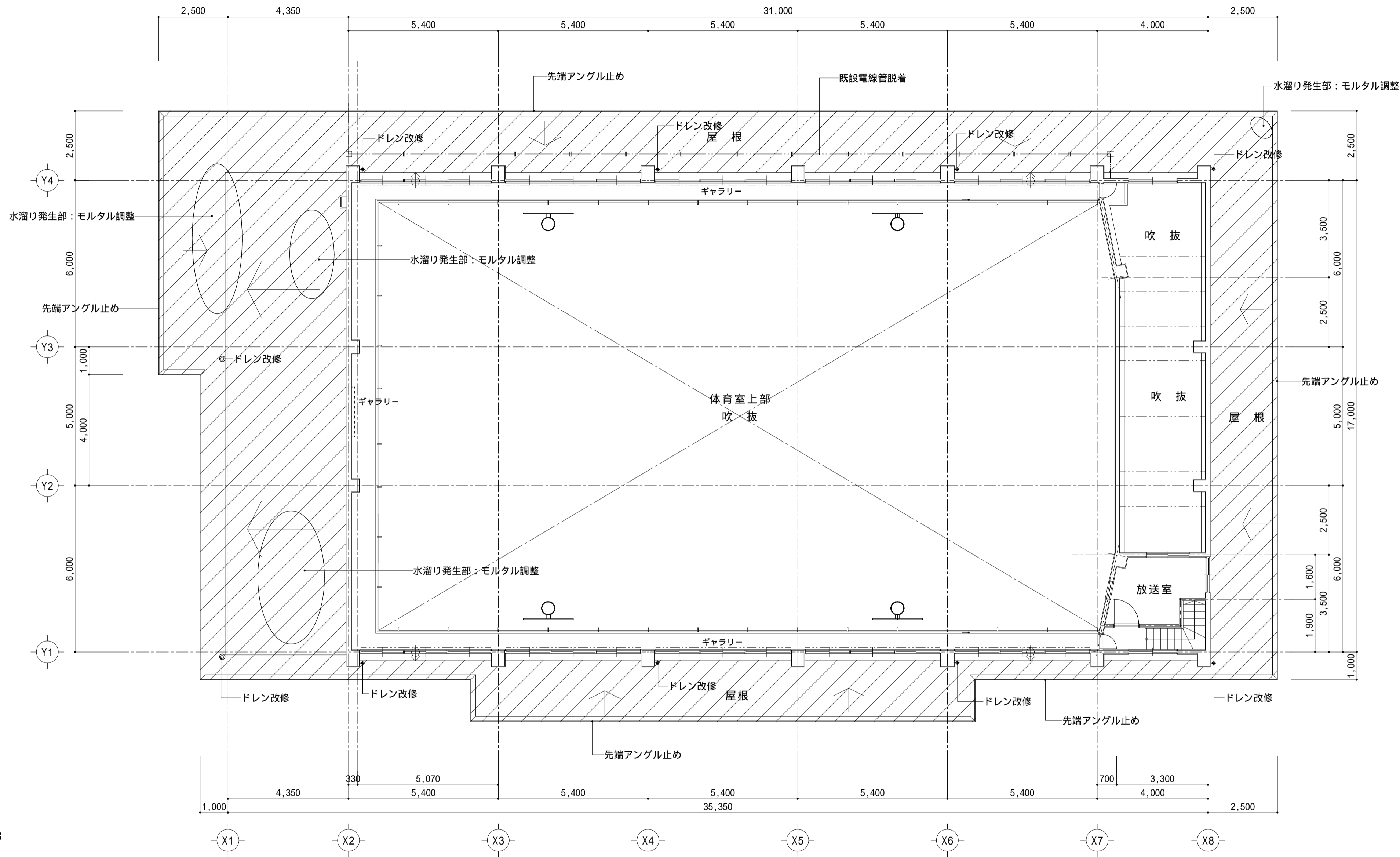
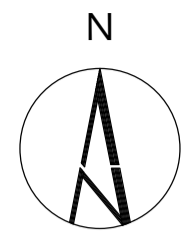
改修 1階平面図 1/100

凡例

- ステージ床改修範囲: サガ-掛け、ルタ塗装 (3回塗)
- フロア床改修範囲: サガ-掛け、ルタ塗装 (3回塗)、コートライン、階段
- 床シート改修範囲: 既存床シート撤去、塩ビ製床シート t2.5新設
- コートライン改修
- ・ミニバスケットボール: 実線50mm 16.3×10.0m×2面
- ・バトミントンダブルス: 実線50mm 13.4×6.1m×2面
- ・バレーボール6人制: 実線50mm 18.0×9.0m×1面
- ・シャトルラン用: 実線50mm L16.0m 2本



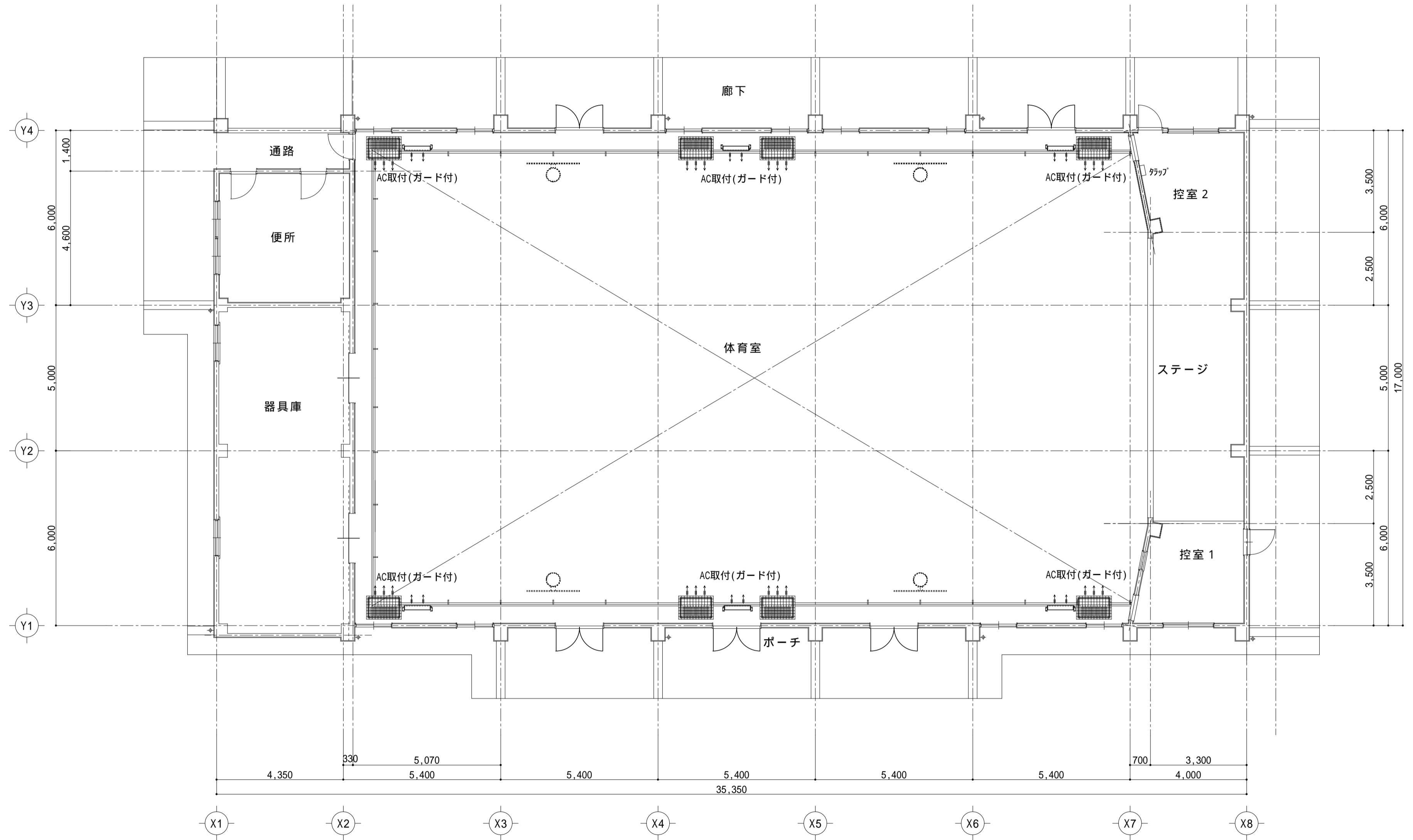
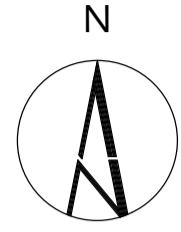
株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. A - 14
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した 大臣 ()	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号 ()	図名 改修 1階平面図	縮尺 A2: 1/100 A3: -



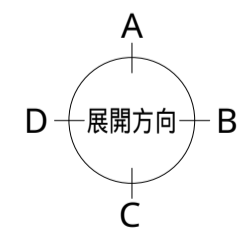
改修 2階平面図 1/100

凡例
 屋根：塩ビシート防水機械固定による改修(水溜り部下地モルタル補修)
 ドレン改修 10箇所
 脱気筒設置(平場) 5箇所

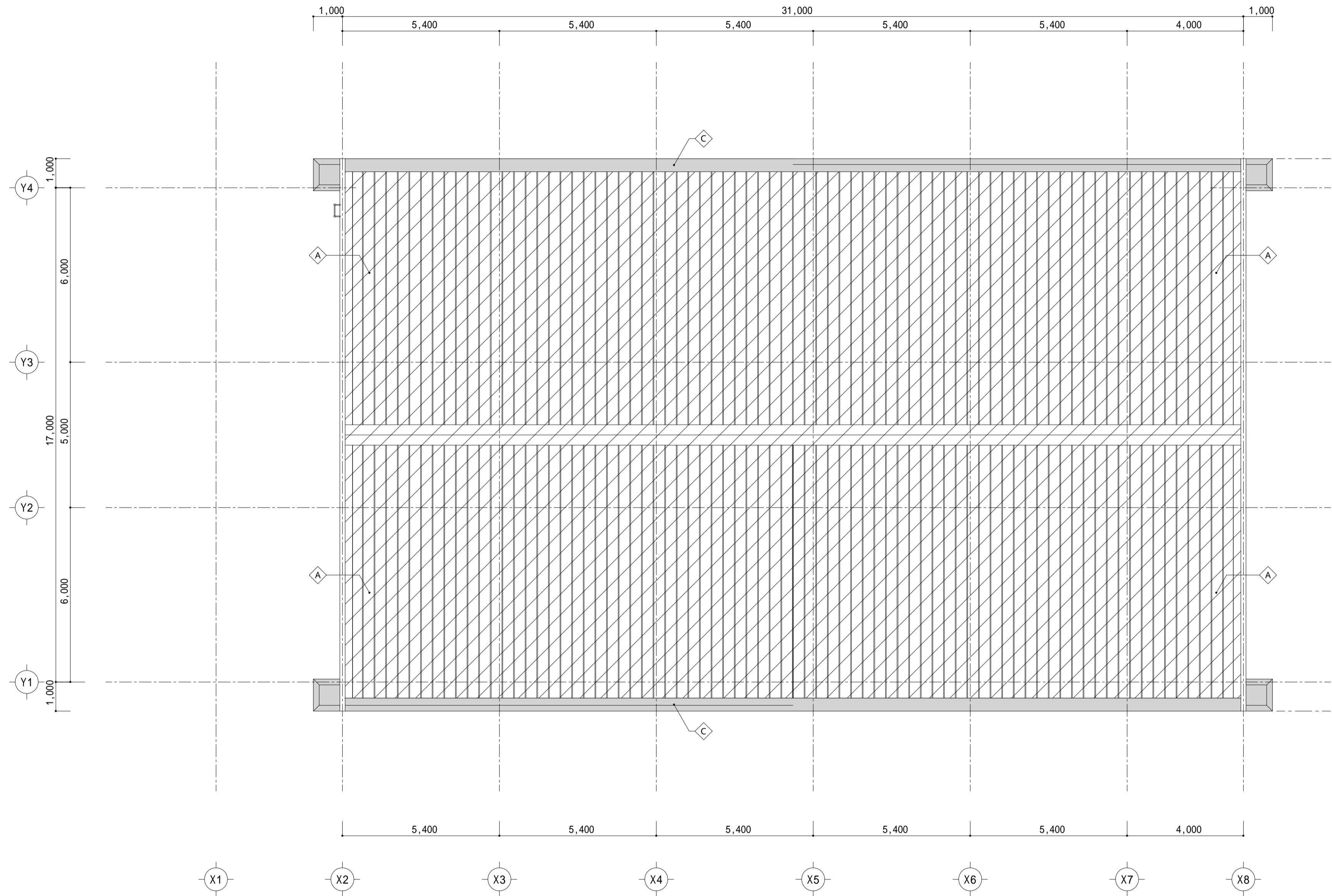
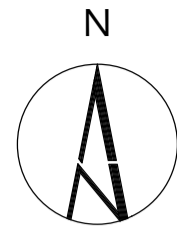
株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣()	構造設計 一級建築士登録 交付番号()	名称 小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. A - 15
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した	構造設計/設備設計 一級建築士登録 大臣() 交付番号()	図名 改修 2階平面図	縮尺 A2: 1/100 A3: -



改修 1階天井伏図 1/100



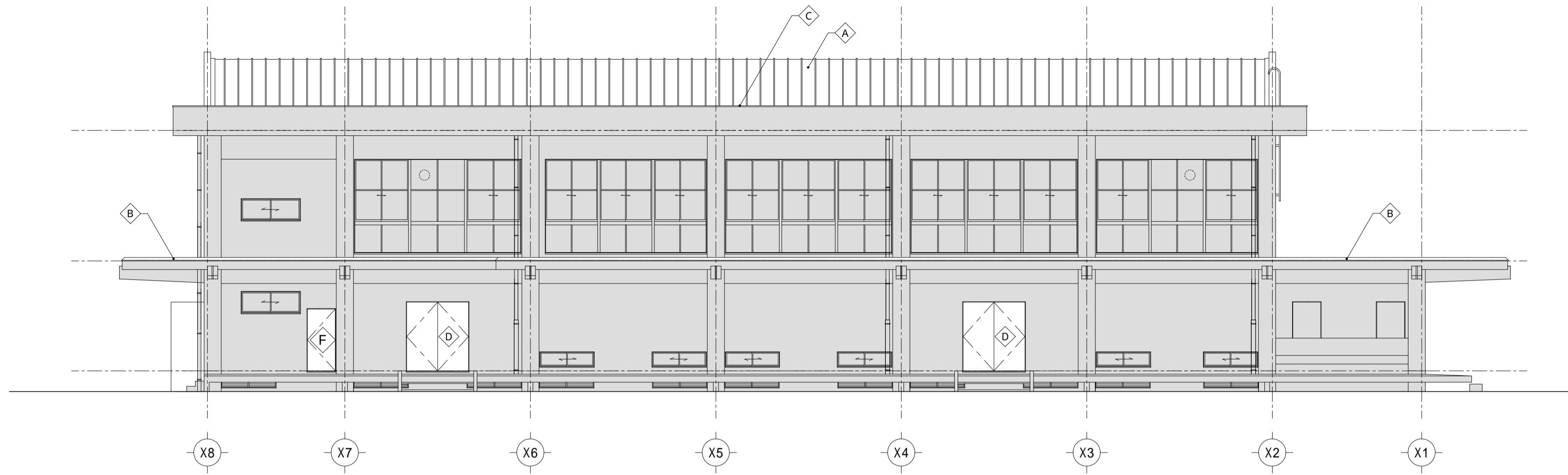
株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第レ39号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. A - 16
		構造/設備関係規定 への適合を確認した	構造設計/設備設計 一級建築士登録 大臣 () 交付番号 ()	図名 改修 1階天井伏図	縮尺 A2: 1/100 A3: -



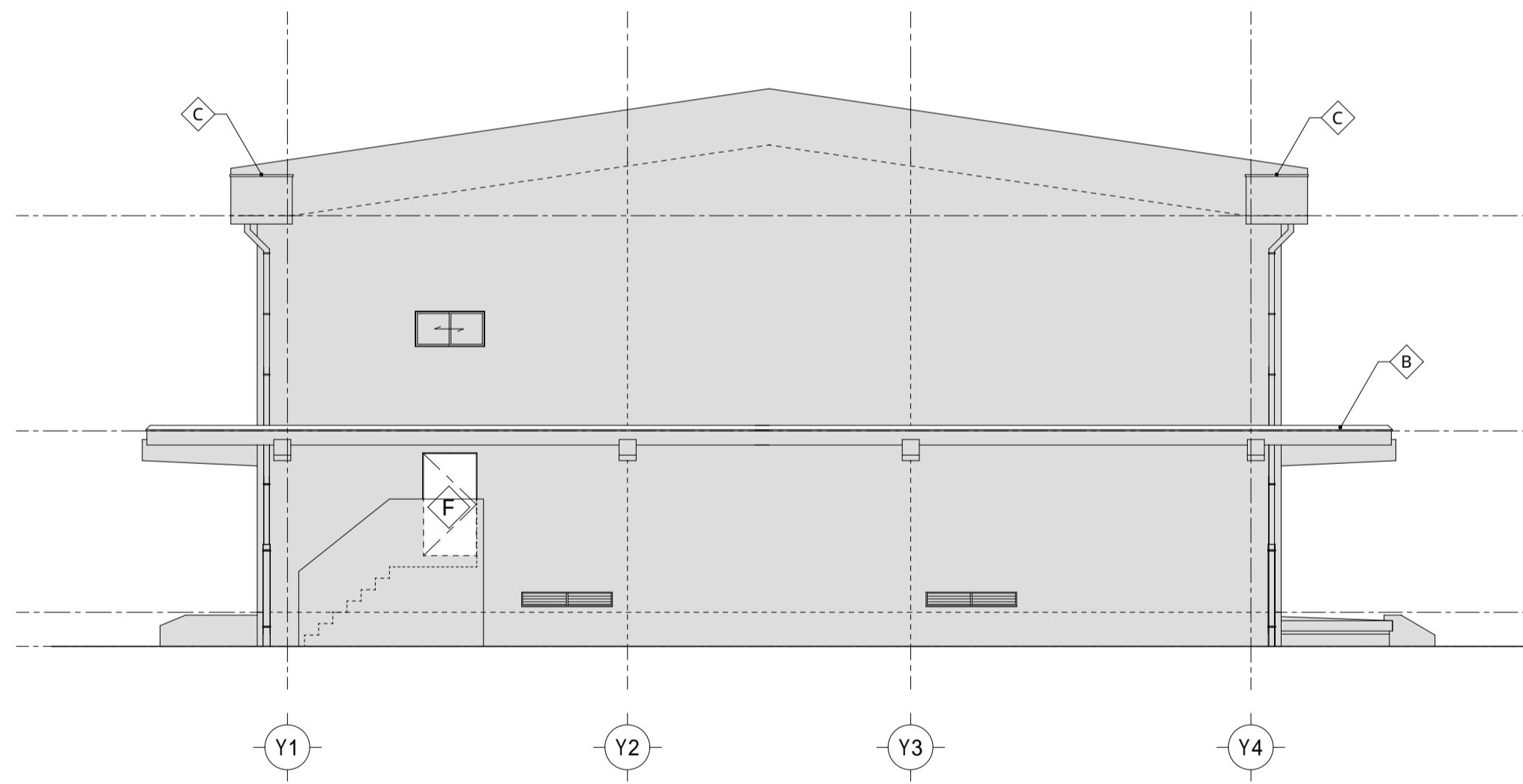
屋根伏図 1/100

- 凡例
- C 軒樋: 珪矽塗膜防水(X-2)
 - A 屋根: 珪矽・清掃・水洗い(10~15Mpa)、下地調整RB種
低汚染・超耐久型ふっ素樹脂系屋根用遮熱塗料塗(下塗り: プライマー1回、上塗り: 2回)

株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計	一級建築士登録 大臣 ()	構造設計	一級建築士登録 交付番号 ()	名称	小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事	No.	A - 17
		構造/設備関係規定 への適合を確認した	一級建築士登録 大臣 ()	構造設計/設備設計	一級建築士登録 交付番号 ()	図名	改修 屋根伏図	縮尺	A2: 1/100 A3: -



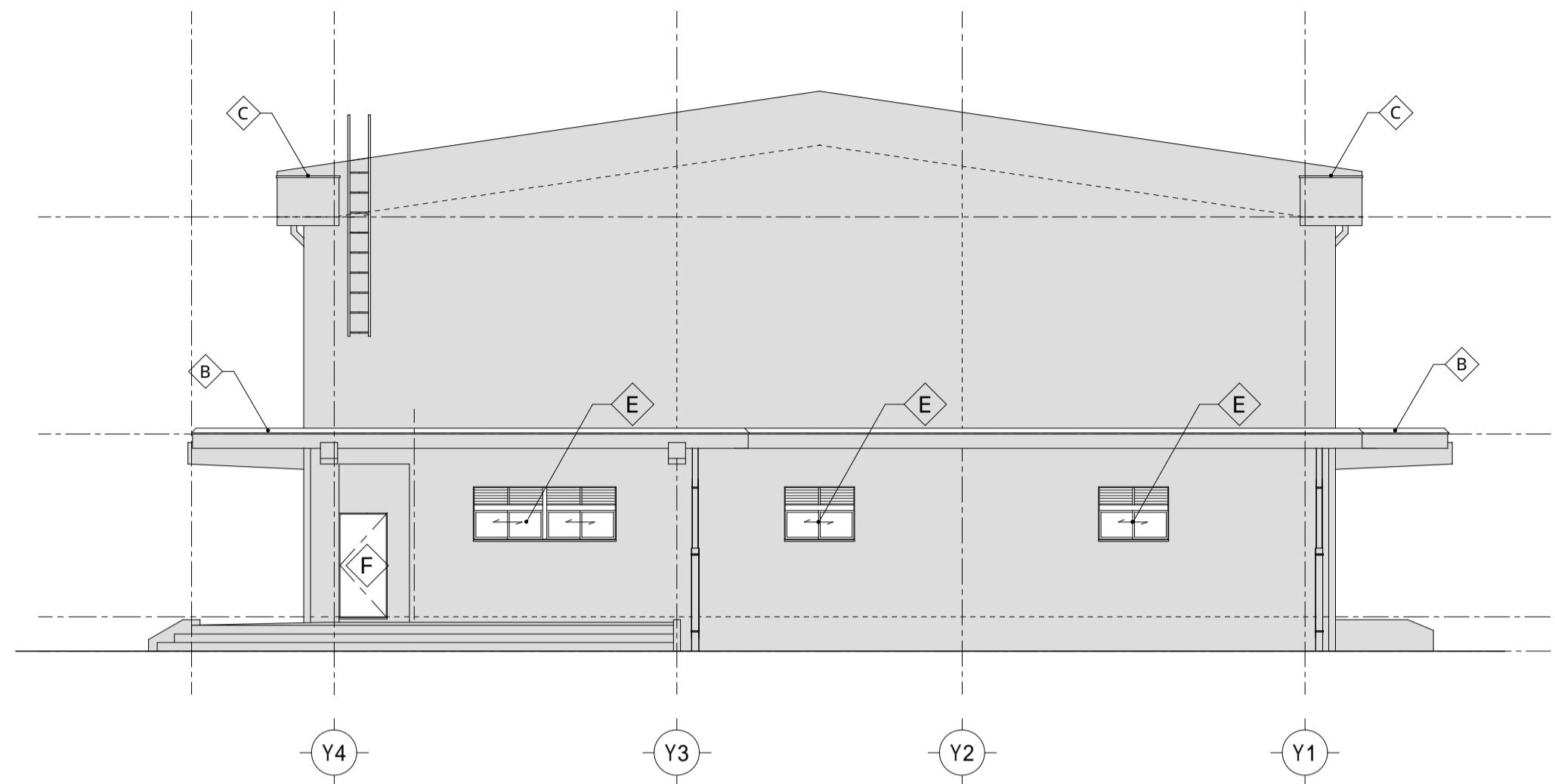
北側立面図 1/100



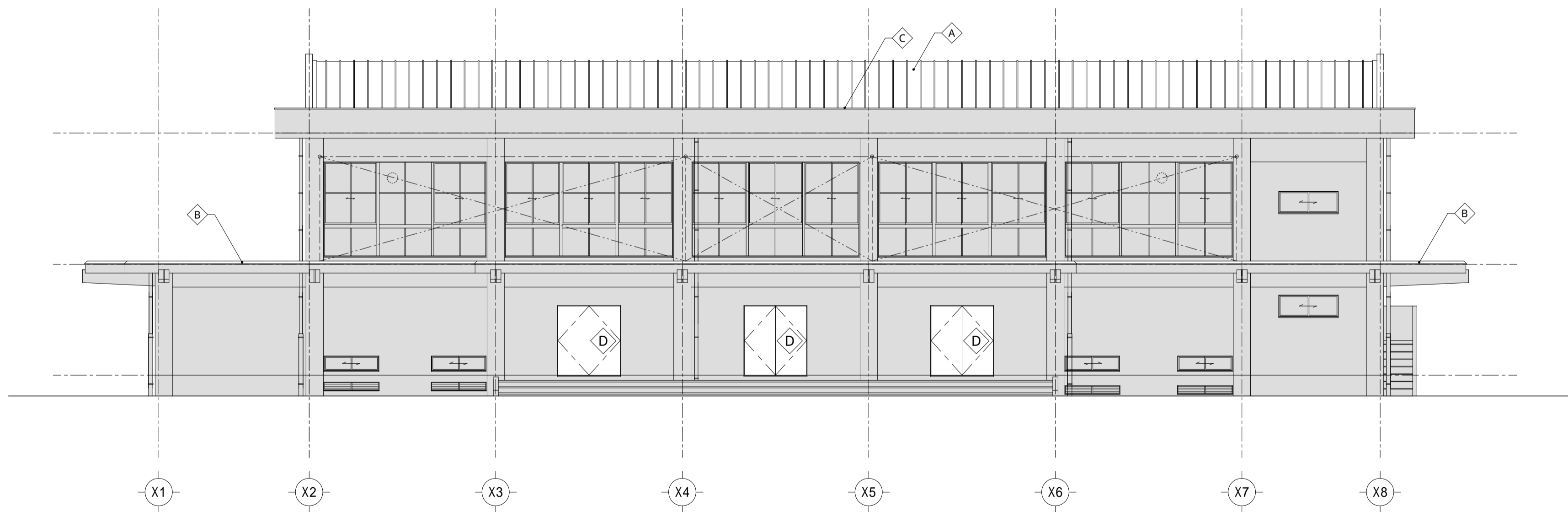
東側立面図 1/100

外部仕上 凡例	屋根	◇A	既存：加「ガ」リ鋼板(加「工」法)、長尺加「鉄」板瓦葺き、アスファルト敷き、木毛セメント板t25 VP塗装 改修：外シ「清」掃・水洗い(10~15Mpa)、下地調整RB種、低汚染・超耐久型ふっ素樹脂系屋根用遮熱塗料塗(下塗り：プライマー1回、上塗り：2回)	鋼製建具	◇D	既存：両開きス「ル」扉 改修：加「工」法	鋼製建具	◇F	既存：片開きス「ル」扉 改修：加「工」法
	庇	◇B	既存：防水材外の上塗膜防水、ゴ「ム」系シート防水 改修：塩ビシート防水機械固定 (水溜り部 下地材外補修)	鋼製建具	◇E	既存：引違いス「ル」窓 改修：塗装改修 DP塗			
	軒樋	◇C	既存：防水材外 改修：外シ「清」掃・水洗い(10~15Mpa)、外シ「塗」膜防水(X-2)			工事範囲外を示す。			

株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 () 交付番号 ()	構造設計 一級建築士登録 大臣 () 交付番号 ()	名称 小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. A - 18
		構造/設備関係規定 への適合を確認した	構造設計/設備設計 一級建築士登録 大臣 () 交付番号 ()	図名 改修立面図(1)	縮尺 A2: 1/100 A3: -



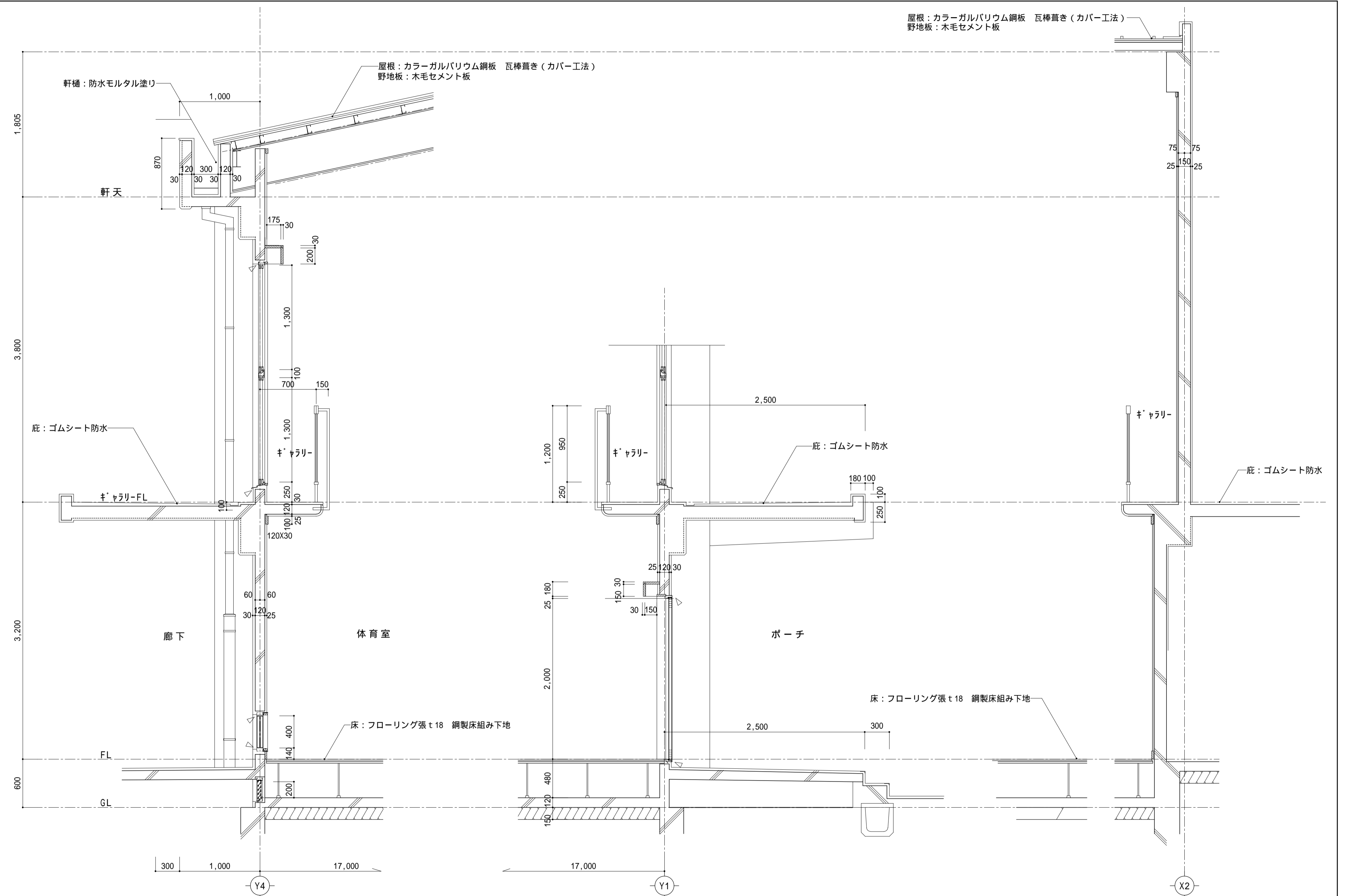
西側立面図 1/100



南側立面図 1/100

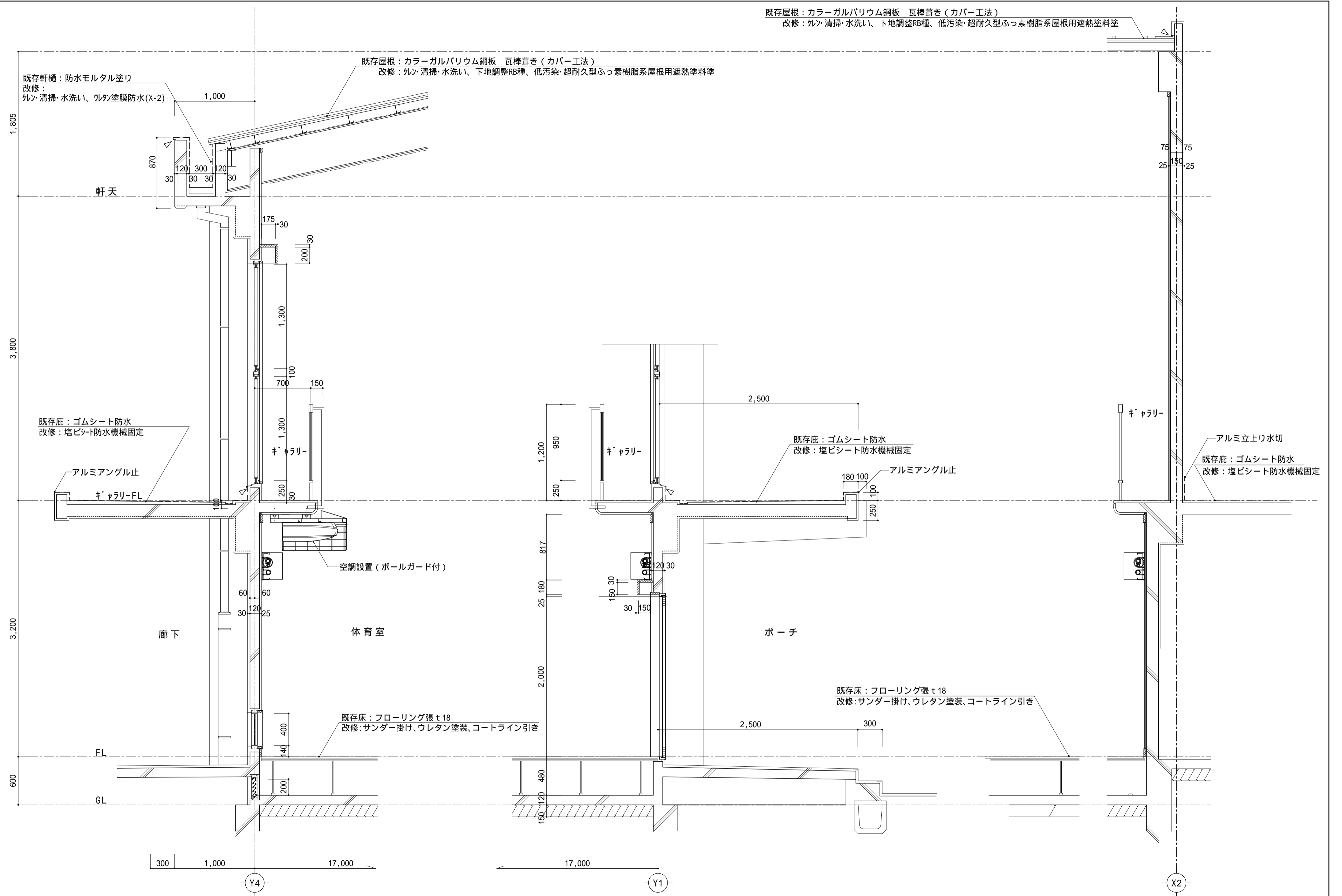
外部仕上 凡例	屋根	A	既存：加「ガ」リ鋼板(加「工」法)、長尺加「鉄」板瓦葺き、アスファルト敷き、木毛セメント板t25 VP塗装 改修：外「ン」清掃・水洗い(10~15Mpa)、下地調整RB種、低汚染・超耐久型ふっ素樹脂系屋根用遮熱塗料塗(下塗り：プライマー1回、上塗り：2回)	鋼製建具	D	既存：両開きス「ル」扉 改修：加「工」法	鋼製建具	F	既存：片開きス「ル」扉 改修：加「工」法
	庇	B	既存：防水材外の上塗膜防水、ゴ「ム」シート防水 改修：塩ビシート防水機械固定 (水溜り部 下地材外補修)	鋼製建具	E	既存：引違いス「ル」窓 改修：塗装改修 DP塗			
	軒樋	C	既存：防水材外 改修：外「ン」清掃・水洗い(10~15Mpa)、外「ン」塗膜防水(X-2)			工事範囲外を示す。			
			株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. A - 19	
					構造/設備関係規定 への法適合を確認した	一級建築士登録 大臣 ()	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号 ()	図名 改修立面図(2)	縮尺 A2: 1/100 A3: -

屋根：カラーガルバリウム鋼板 瓦棒葺き（カバー工法）
野地板：木毛セメント板

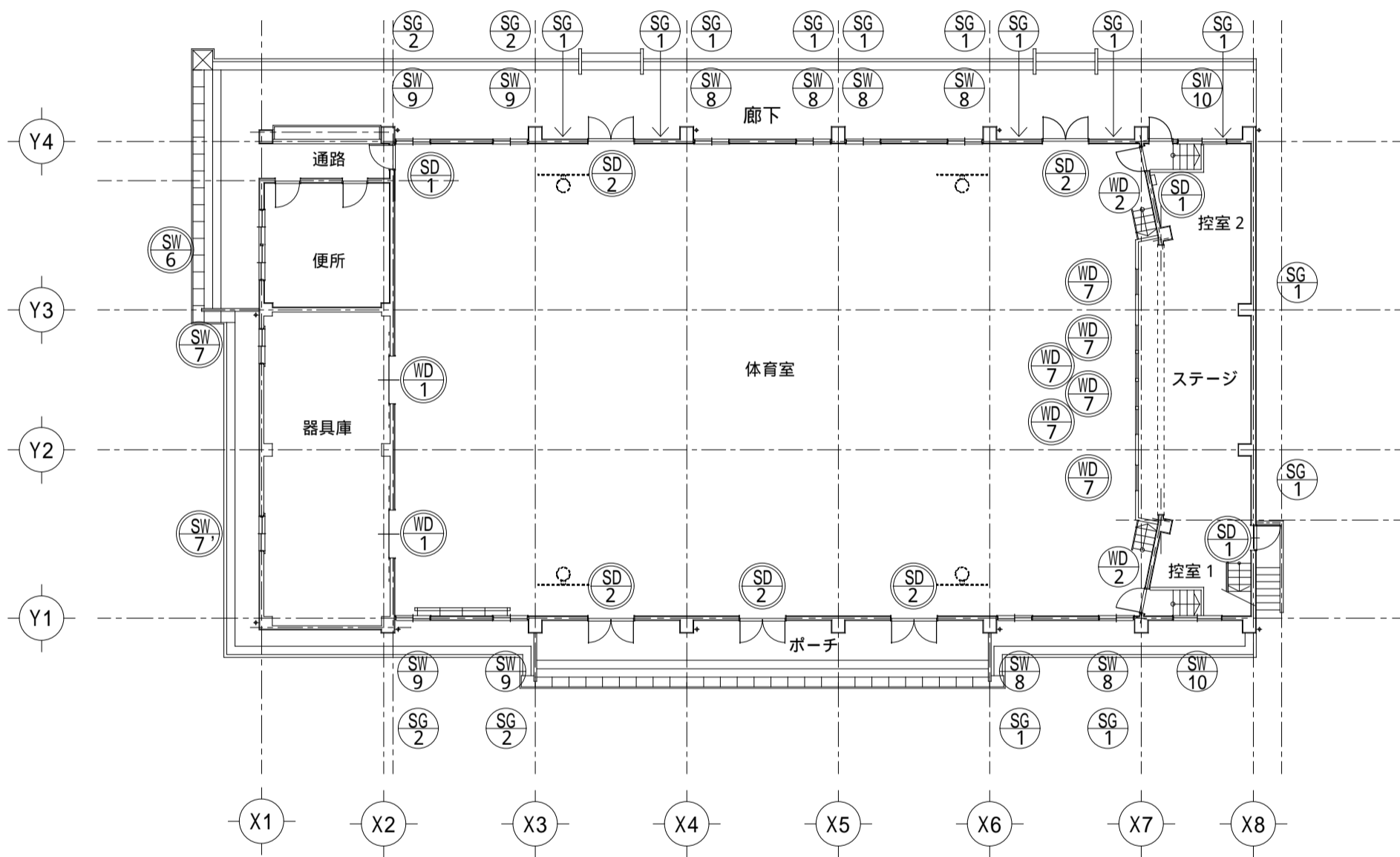
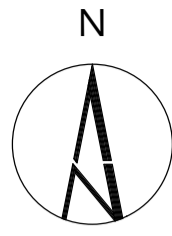


株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. A - 2 0
		構造/設備関係規定 への適合を確認した	構造設計/設備設計 一級建築士登録 大臣 () 交付番号 ()	図名 現況 矩計図	縮尺 A2: 1/30 A3: -

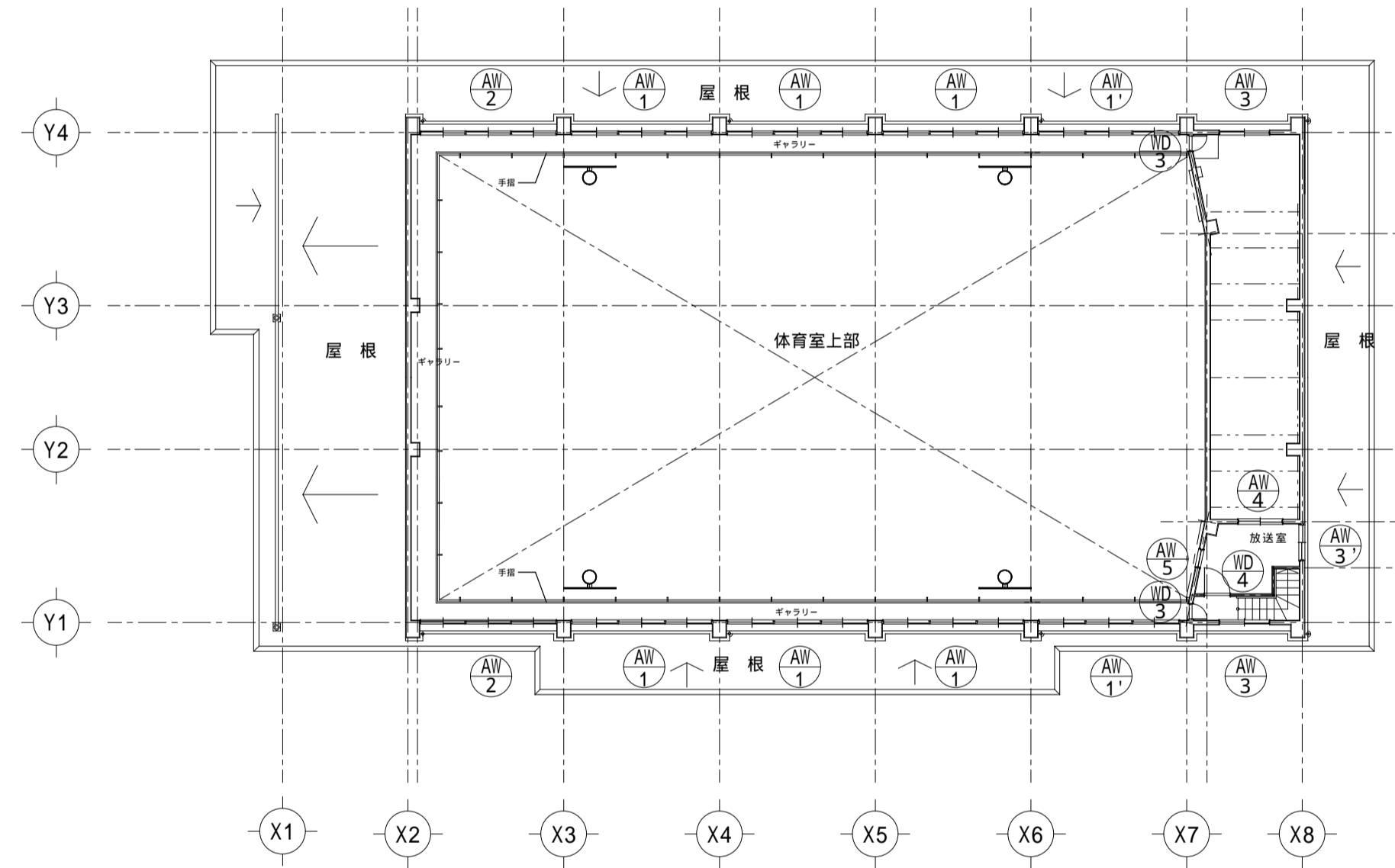
既存屋根：カラーガルバリウム鋼板 瓦棒葺き（カバー工法）
 改修：ケルン清掃・水洗い、下地調整RB種、低汚染・超耐久型ふっ素樹脂系屋根用遮熱塗料塗



株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. A - 2 1
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した	構造設計/設備設計 一級建築士登録 大臣 () 交付番号 ()	図名 改修 矩計図	縮尺 A2: 1/30 A3: -



1階平面図 1/200



2階平面図 1/200

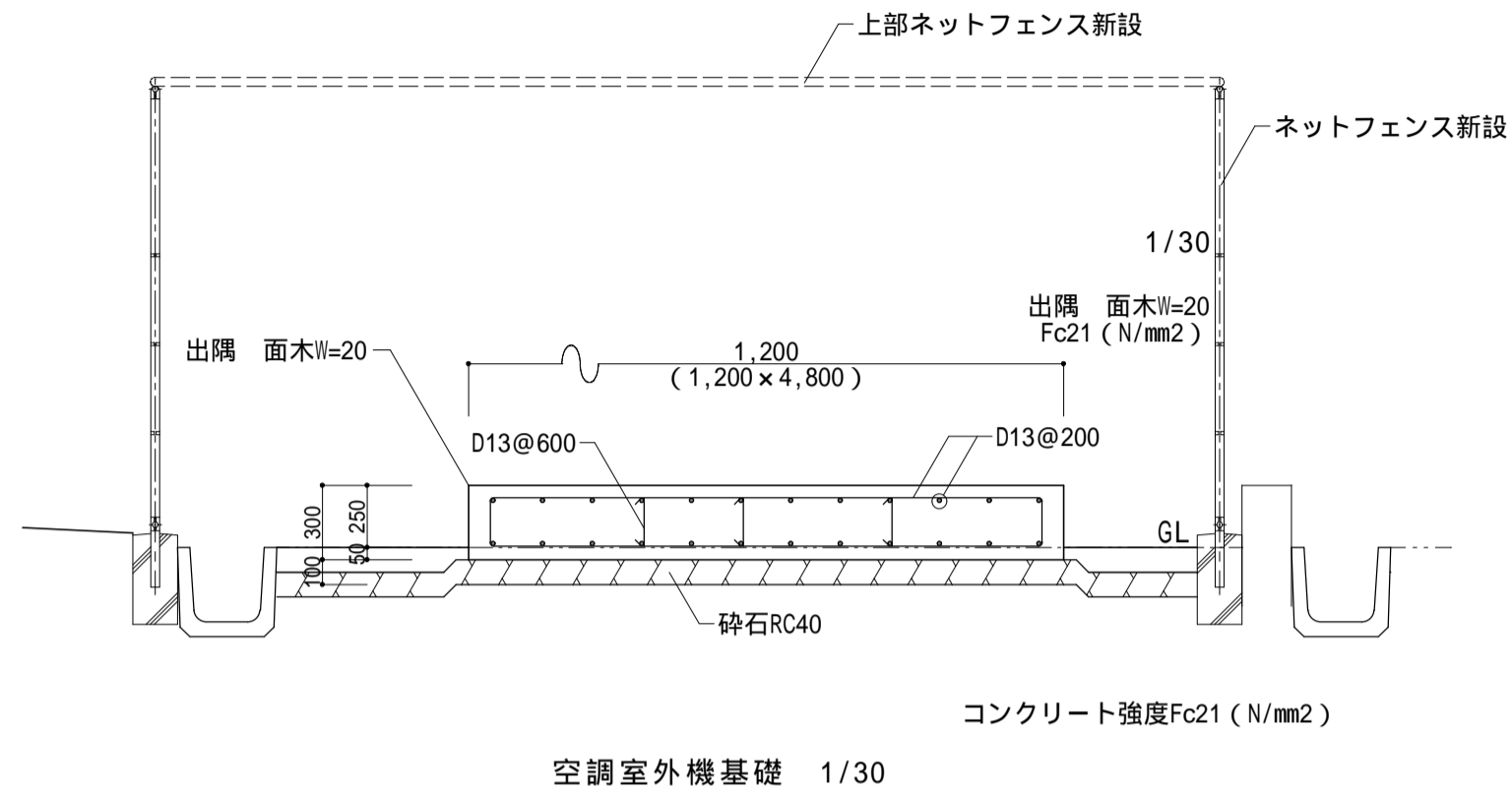
株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 () 交付番号 ()	構造設計 一級建築士登録 大臣 () 交付番号 ()	名称 小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. A - 2 2
		構造/設備関係規定 への適合を確認した	構造設計/設備設計 一級建築士登録 大臣 () 交付番号 ()	図名 建具符号図	縮尺 A2: 1/200 A3: -

寸法・姿図	記号	AW1	数量	6	見込	枠：70				記号	AW1	数量	2	見込	枠：70					記号	AW2	数量	2	見込	枠：70												
	位置	ギャラリー						ギャラリー						ギャラリー																							
	型式・種類	3連引き違い窓 (FIX窓)						3連引き違い窓 (FIX窓)						3連引き違い窓 (FIX窓)																							
	材料・仕上	アルミ製						アルミ製						アルミ製																							
硝子	透明強化硝子 ⑦ 5						透明強化硝子 ⑦ 5						透明強化硝子 ⑦ 5																								
金物	水切り金物						水切り金物						水切り金物																								
鍵	クレセント 換気扇取付サッシ部位：開放ストッパ-取付						クレセント 換気扇取付サッシ部位：開放ストッパ-取付						クレセント 換気扇取付サッシ部位：開放ストッパ-取付																								
備考	サッシ・ガラス内外クリーニング						サッシ・ガラス内外クリーニング						サッシ・ガラス内外クリーニング																								
寸法・姿図	記号	AW3	数量	2	見込	枠：70	記号	AW3	数量	1	見込	枠：70	記号	AW4	数量	1	見込	枠：70	記号	AW5	数量	1	見込	枠：70	記号	SW6	数量	1	見込	枠：100	記号	SW7	数量	1	見込	枠：100	
	位置	放送室・控室・踊場						放送室						放送室						放送室						便所						器具庫					
	型式・種類	アルミ製引き違い窓						アルミ製引き違い窓						アルミ製引き違い窓						アルミ製すべり出し窓						引き違い窓 (欄間：ガラリー)						引き違い窓 (欄間：ガラリー)					
	材料・仕上																									鋼製 改修：下地調整の上、DP塗装						鋼製 改修：下地調整の上、DP塗装					
硝子	透明強化硝子 ⑦ 5.0						透明強化硝子 ⑦ 5.0						透明強化硝子 ⑦ 5.0						透明強化硝子 ⑦ 5.0						型板強化 ⑦ 4.0						型板強化 ⑦ 4.0						
金物	水切り金物						水切り金物						水切り金物						水切り金物						カムラッチ												
鍵	クレセント						クレセント						クレセント						カムラッチ																		
備考	サッシ・ガラス内外クリーニング						サッシ・ガラス内外クリーニング						サッシ・ガラス内外クリーニング						サッシ・ガラス内外クリーニング						塗装改修 DP塗						塗装改修 DP塗						
寸法・姿図	記号	SW7	数量	1	見込	枠：100	記号	SW8	数量	6	見込	枠：100	記号	SW9	数量	4	見込	枠：100	記号	SW10	数量	2	見込	枠：100	記号	SG1	数量	13	見込	枠：50	記号	SG2	数量	4	見込	枠：50	
	位置	器具庫						体育室 (地窓)						体育室 (地窓)						控室1・控室2						体育室						体育室					
	型式・種類	引き違い窓 (欄間：ガラリー)						引き違い窓						引き違い窓						引き違い窓						ガラリー						ガラリー					
	材料・仕上	鋼製 改修：下地調整の上、DP塗装						鋼製						鋼製						鋼製						鋼製						鋼製					
硝子	アルミパネル						アルミパネル						アルミパネル						型板強化 ⑦ 4.0																		
金物																																					
鍵																																					
備考	塗装改修 DP塗						サッシ・ガラス内外クリーニング						サッシ・ガラス内外クリーニング						サッシ・ガラス内外クリーニング						サッシ・ガラス内外クリーニング						サッシ・ガラス内外クリーニング						

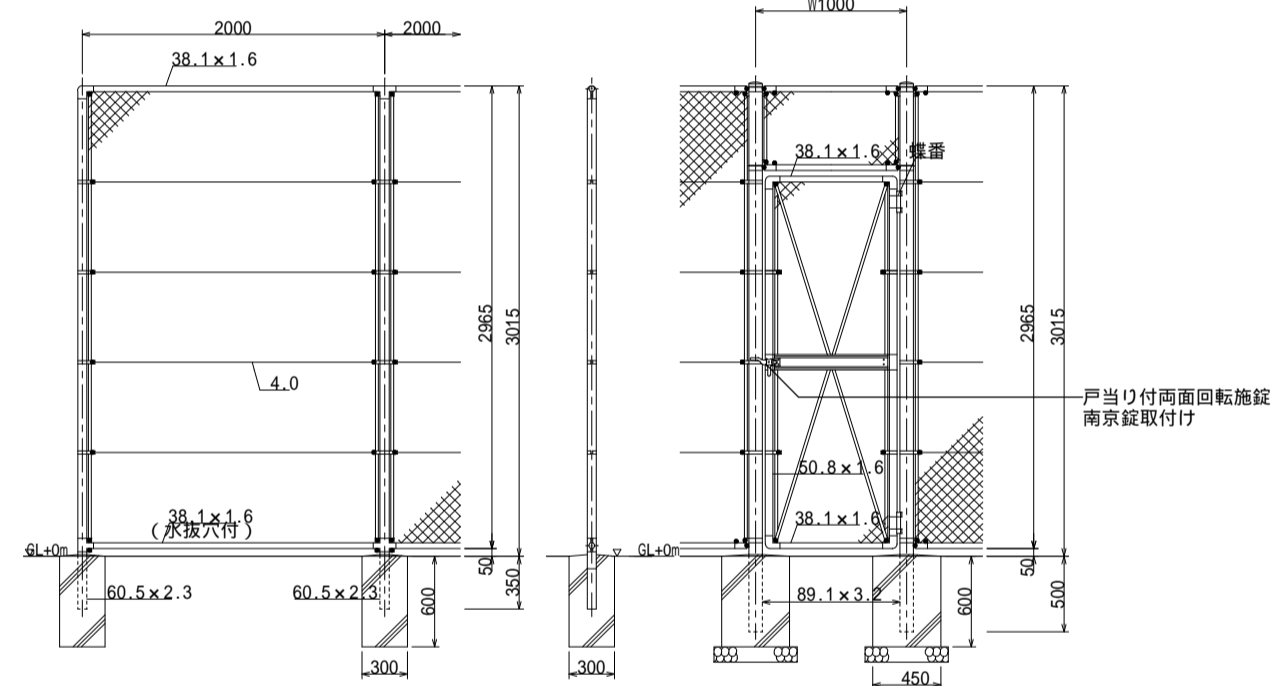
寸法・姿図	記号	SD 1	数量	3	見込	枠：86					見込	枠：100	記号	SD 2	数量	5	見込	枠：86				数量	2	見込	枠：100				数量	3	見込	枠：100							
	位置	控室						控室						体育室						体育室						体育室													
	型式・種類	片開きフラッシュ戸						片開きフラッシュ戸						両開きフラッシュ戸						窓付き両開きフラッシュ戸 (カバー工法)						小窓付き両開きフラッシュ戸 (カバー工法)													
	材料・仕上	鋼製						鋼製 焼付塗装						鋼製						鋼製 焼付塗装						鋼製 焼付塗装													
	硝子							型板網入りガラス t6.8												型板網入りガラス t6.8						型板網入りガラス t6.8													
金物	ビレット						ビレット、アームストッパー、握り玉錠 (内サムターン)						ビレット						ビレット、アームストッパー、フランス落とし						ビレット、アームストッパー、フランス落とし														
鍵																			レバーハンドル錠 (内サムターン)						レバーハンドル錠 (内サムターン)														
備考	カバー工法による改修												カバー工法による改修																										
寸法・姿図	記号	WD 1	数量	2	見込	扉：40							記号	WD 2	数量	2	見込	扉：36				記号	WD 3	数量	2	見込	扉：36	記号	WD 4	数量	1	見込	扉：36	記号	WD 7	数量	6	見込	扉：33
	位置	器具庫						控室1・2						ギャラリー						放送室						椅子収納庫													
	型式・種類	両引分戸						片開き戸						片開き戸						片開き戸						片開き戸													
	材料・仕上	木製 OP塗						改修：鋼製 焼付塗装						木製 OP塗						木製 OP塗						木製 OP塗													
	硝子																																						
金物	ハンガー金物一式、ガイドレール、彫り込み引手 (新設)						ビレット、ストッパ-金物						握り玉 サムターン付引手錠、ビレット						握り玉 サムターン付引手錠、ビレット						握り玉 サムターン付引手錠、ビレット														
鍵	引戸錠錠 (新設)																								回転把手														
備考	扉撤去・新設						既存のまま						既存のまま						既存のまま						撤去														
寸法・姿図																																							
	位置																																						
	型式・種類																																						
	材料・仕上																																						
	硝子																																						
	金物																																						
鍵																																							
備考																																							

株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. A - 24
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した	構造設計/設備設計 一級建築士登録 大臣 ()	図名 建具リスト2	縮尺 A2: 1/50 A3: -

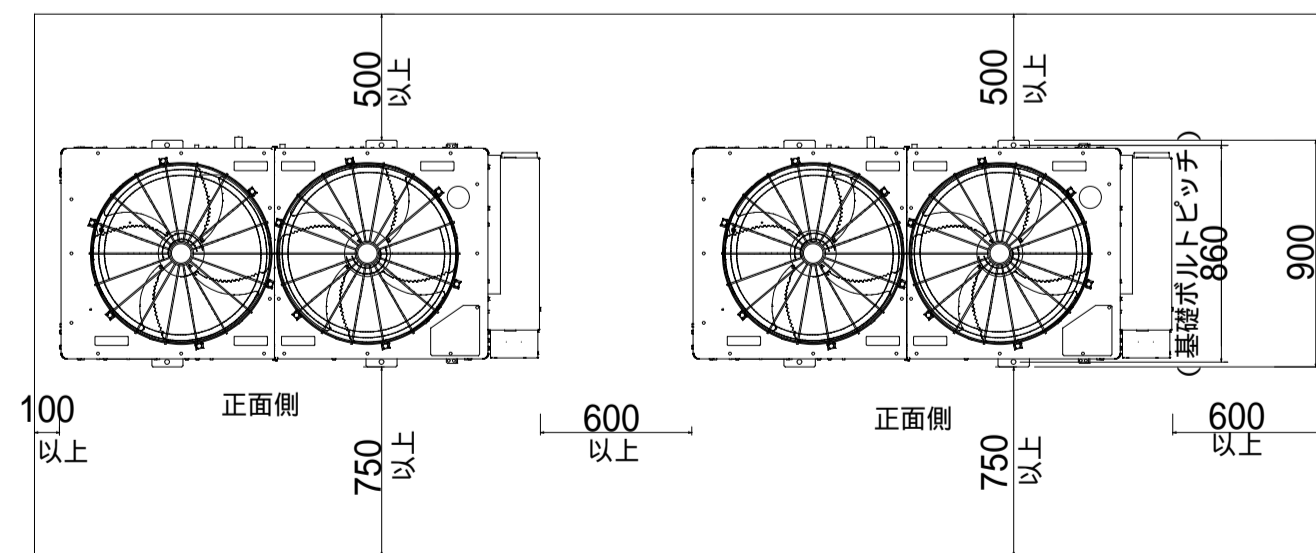
ネットフェンス参考品番
朝日スチール工業：PCフェンス（天井金網張）又は同等品



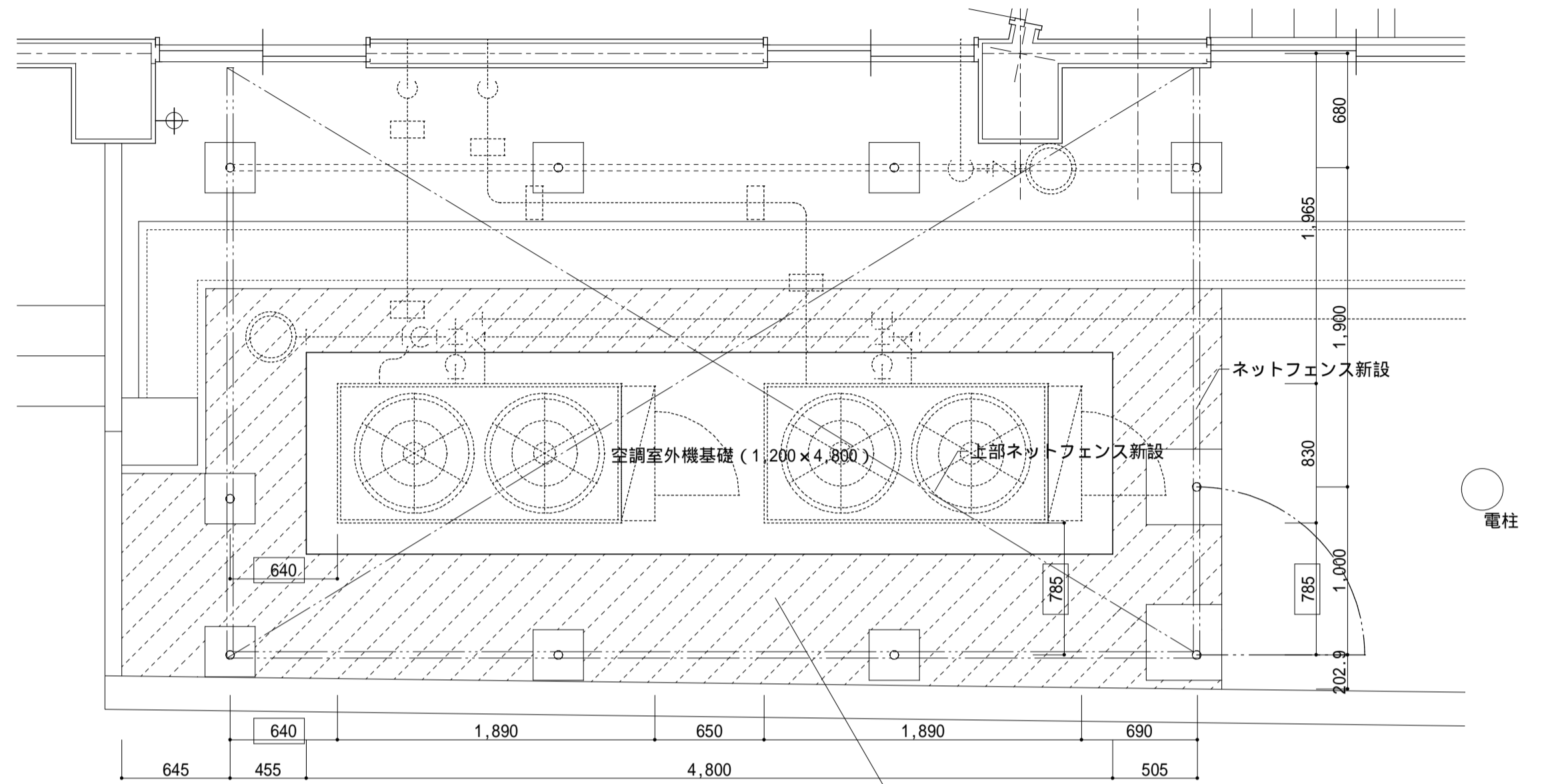
空調室外機基礎 1/30



ネットフェンス・門扉（片開き）詳細図 1/50

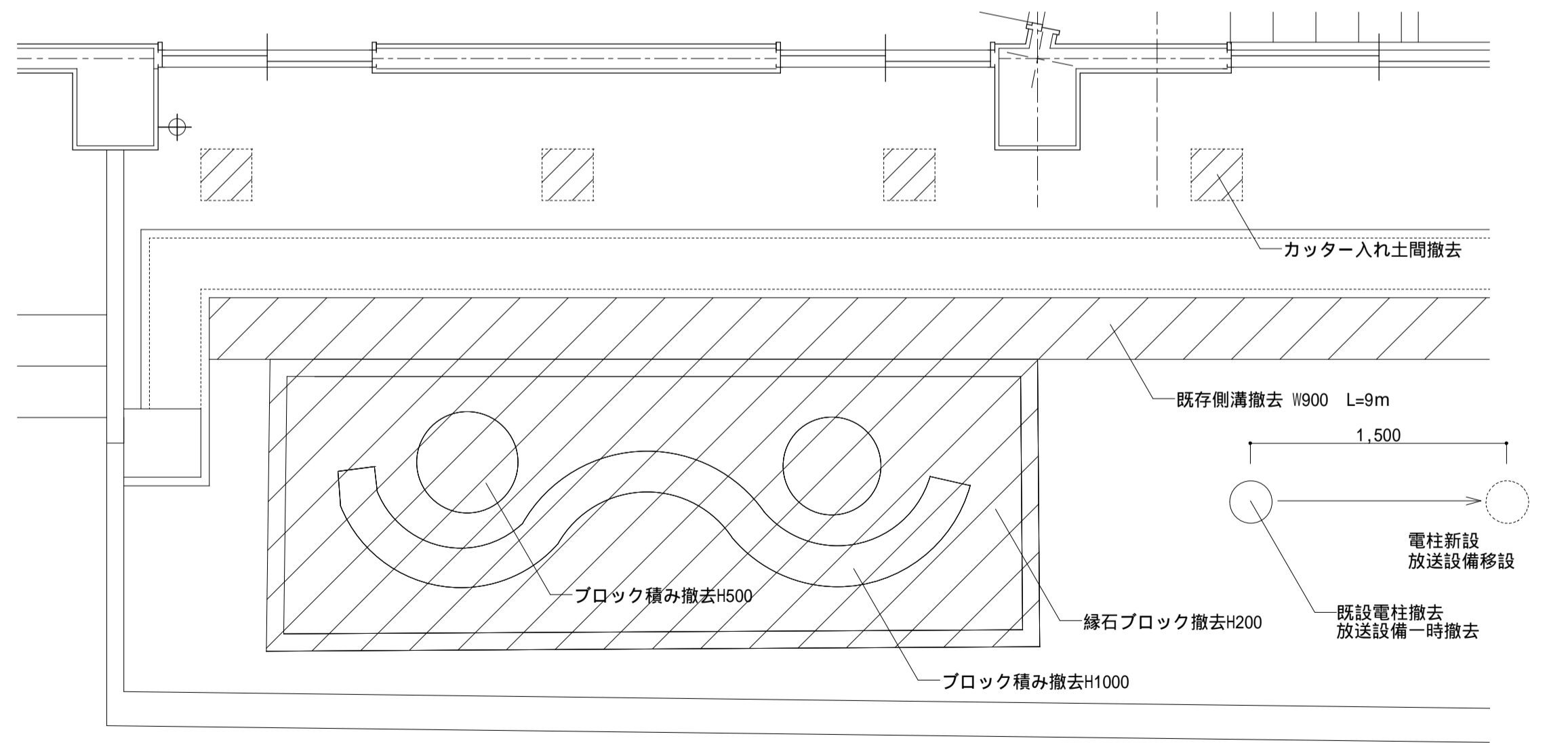


メンテナンススペース 1/30



改修平面図 1/30

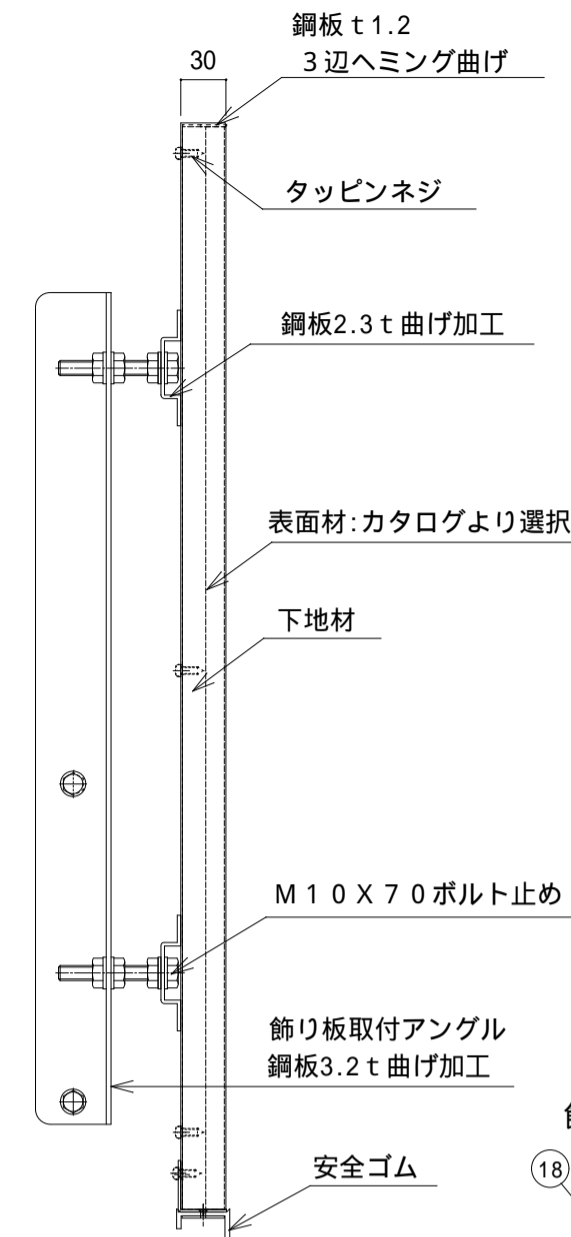
室外機の設置位置については、メンテナンススペースを参照とし、監督職員と協議の上決定する。



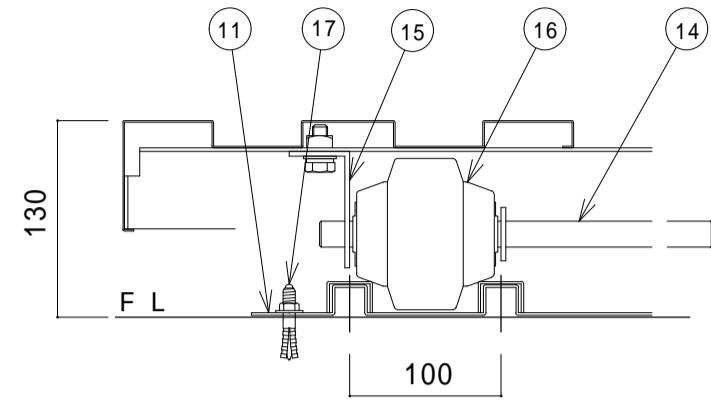
現況平面図 1/30

株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. A - 2 5
		構造/設備関係規定 への適合を確認した	構造設計/設備設計 一級建築士登録 大臣 ()	図名 空調室外機置場 部分詳細図	縮尺 A2: 図示 A3: -

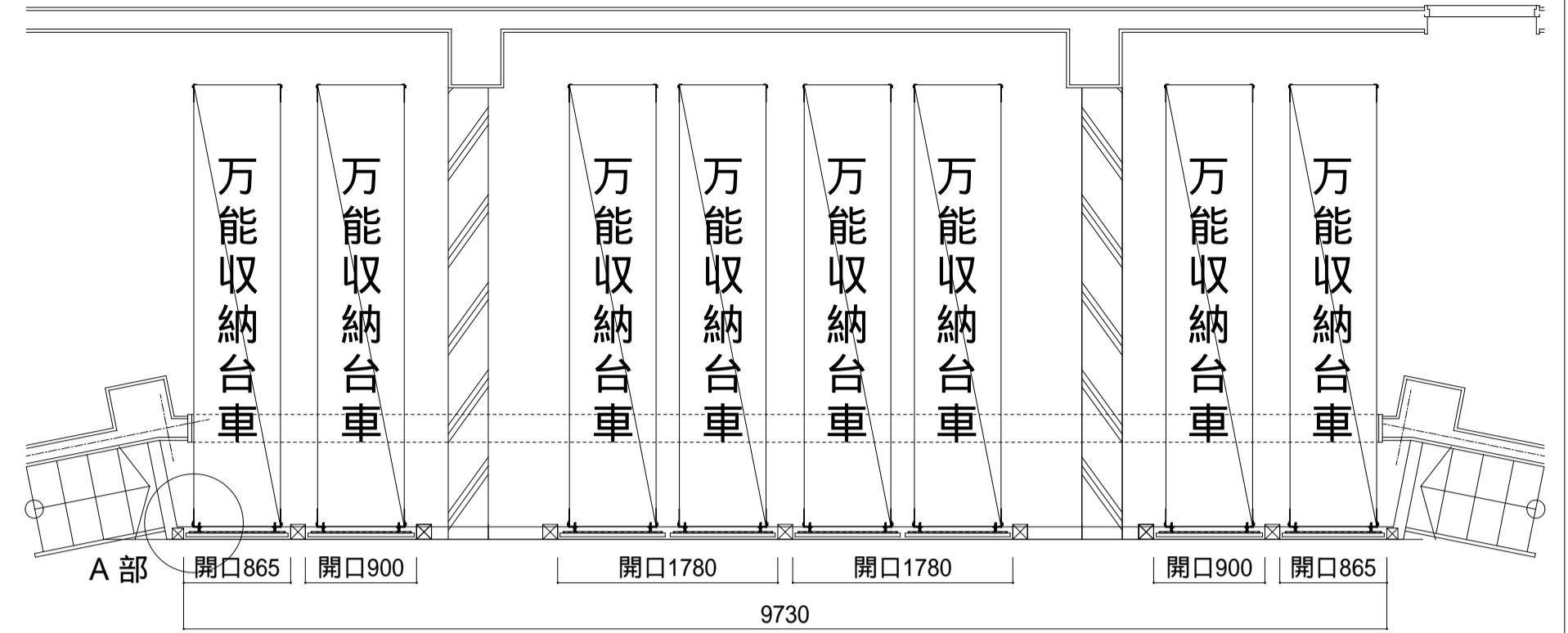
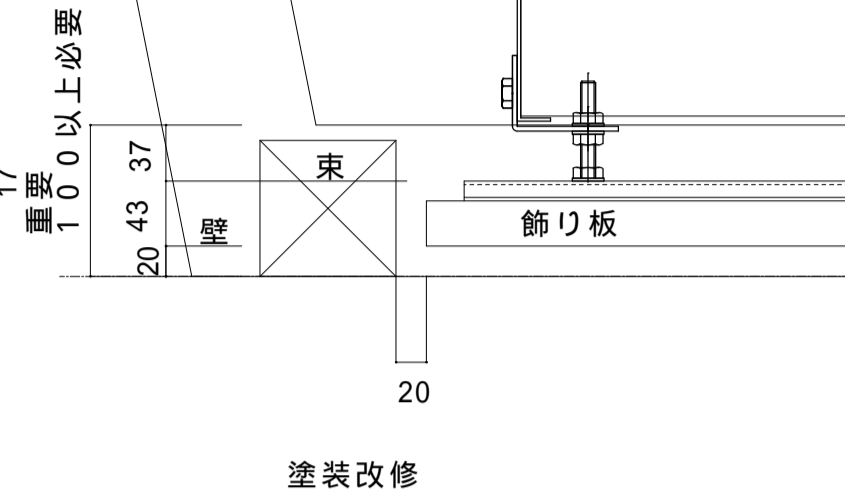
飾り板断面図 (S = 1 / 5)



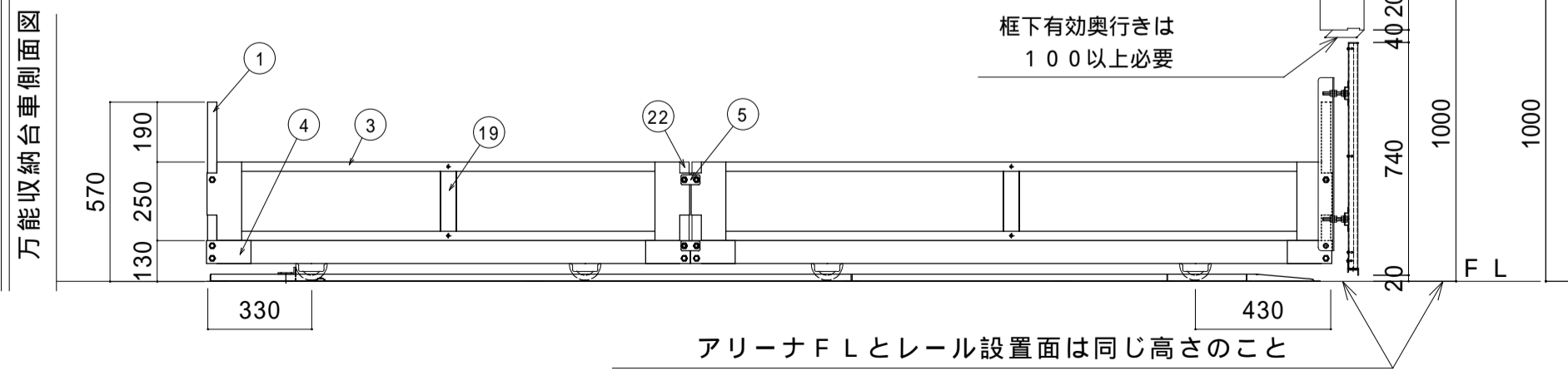
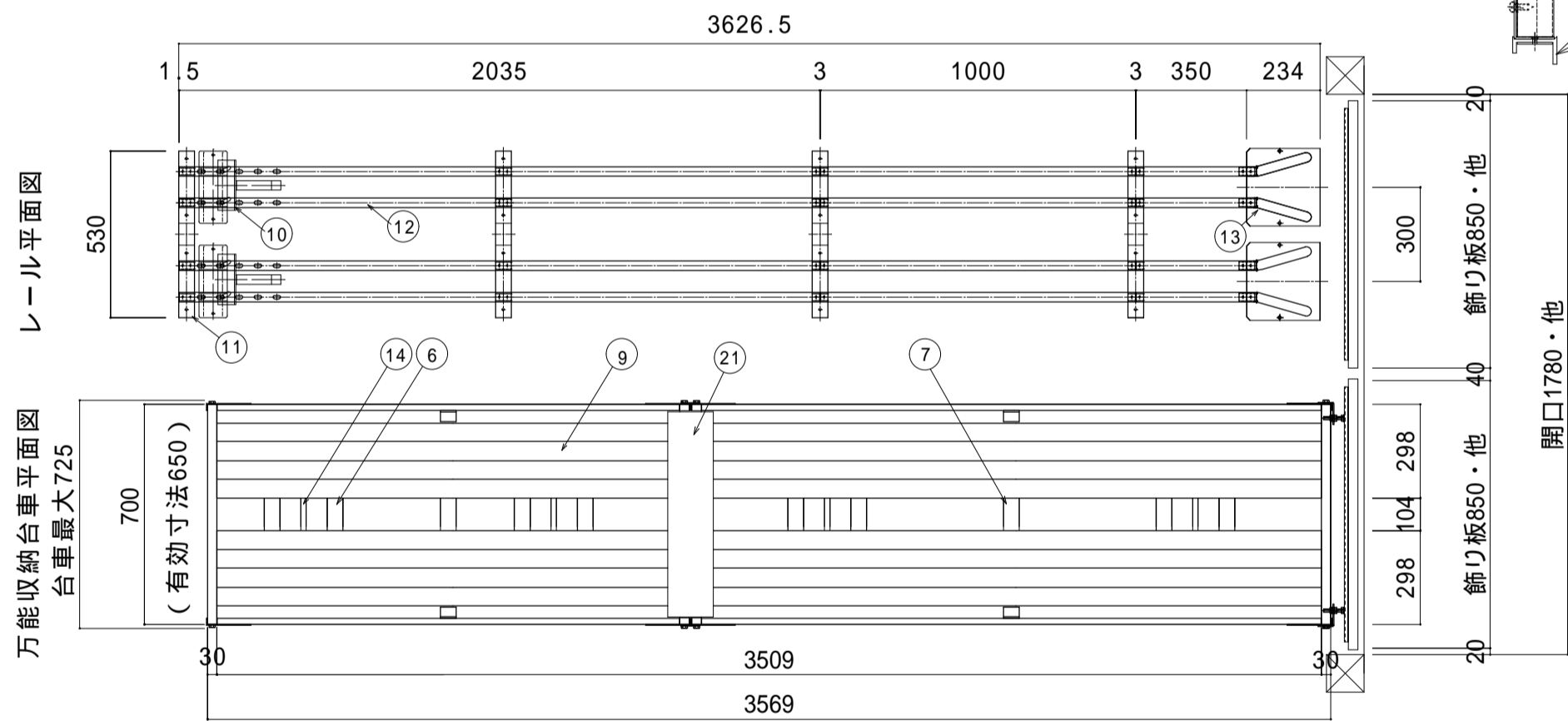
車輪部詳細 (S = 1 / 5)



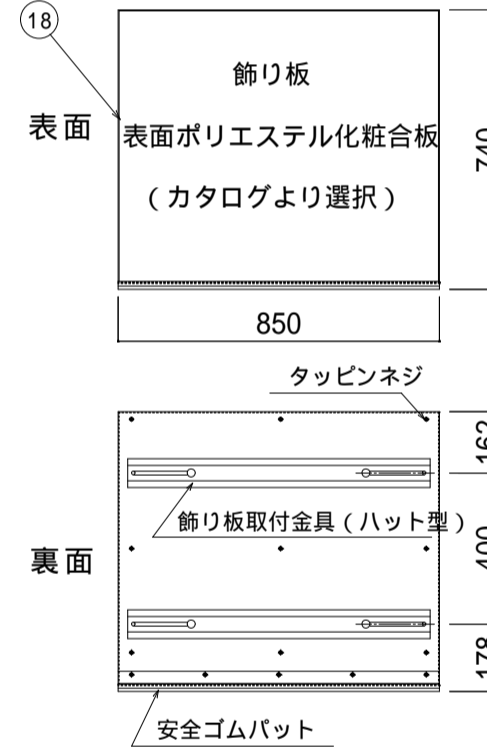
A部詳細図 (S = 1 / 5)



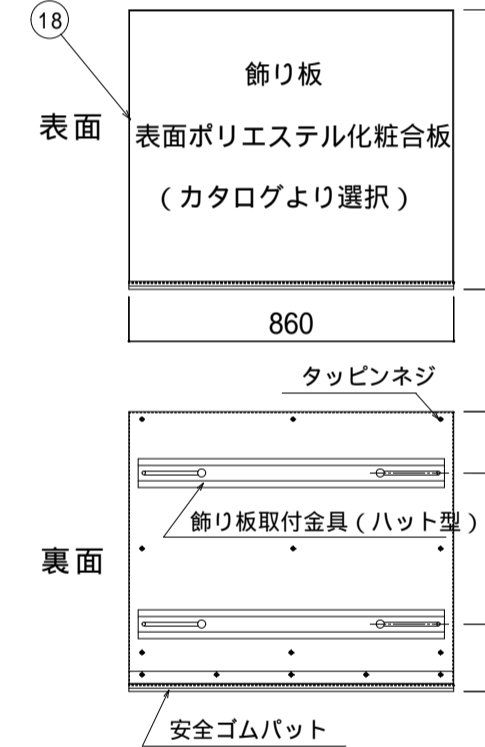
万能収納台車 (S = 1 / 2 0)



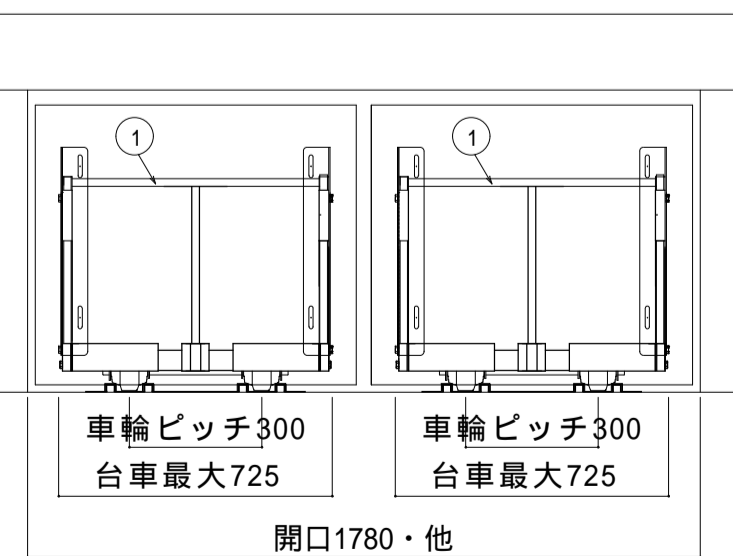
飾り板詳細図 (S = 1 / 2 0)



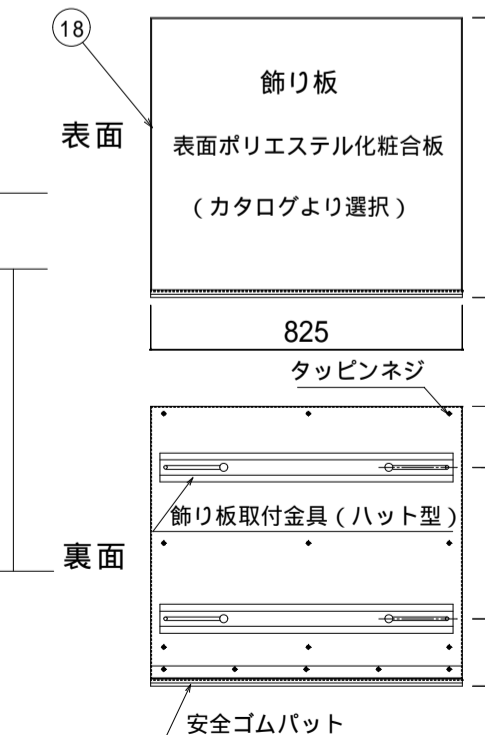
飾り板詳細図 (S = 1 / 2 0)



台車正面図 (S = 1 / 2 0)

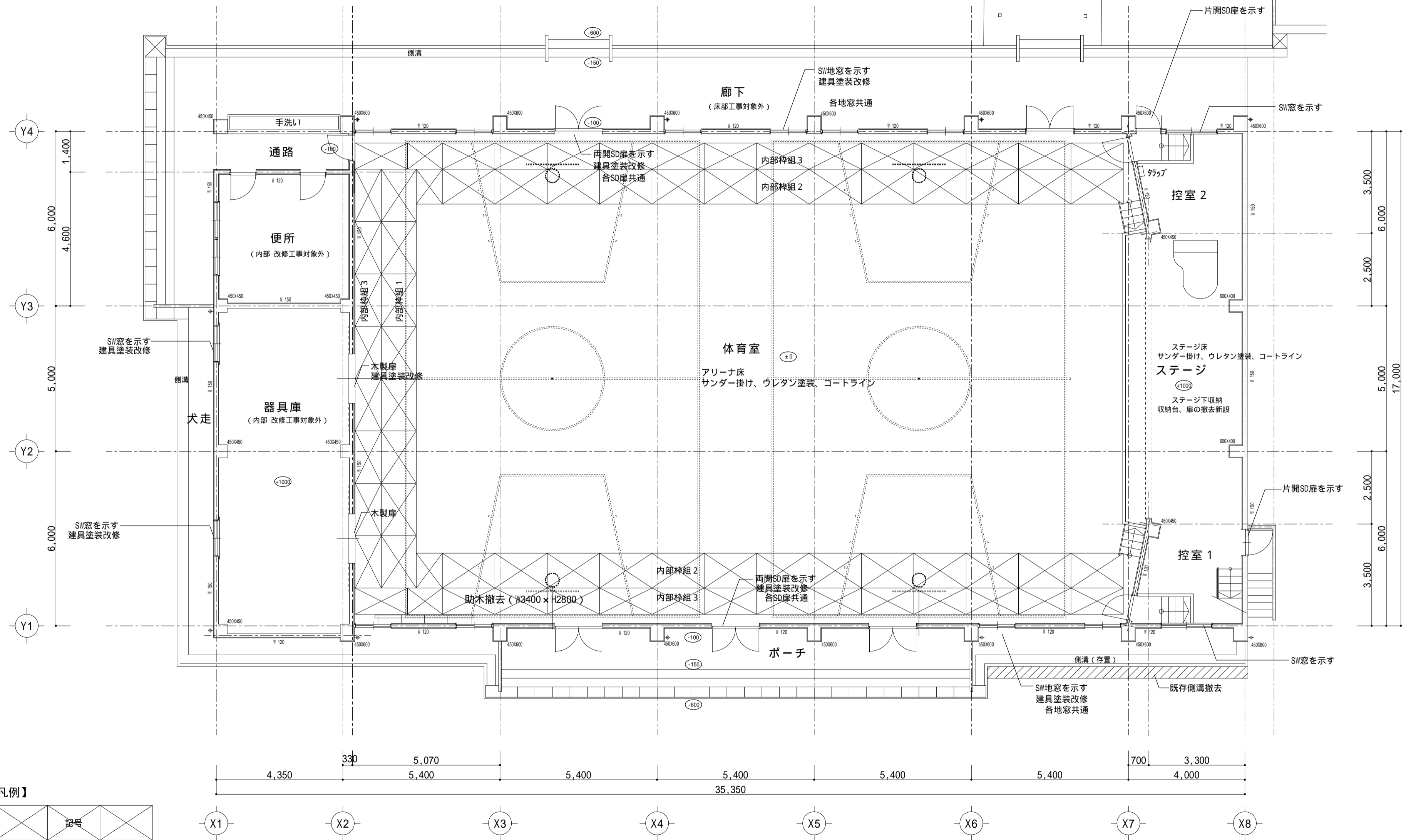
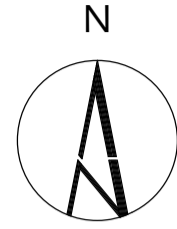


飾り板詳細図 (S = 1 / 2 0)

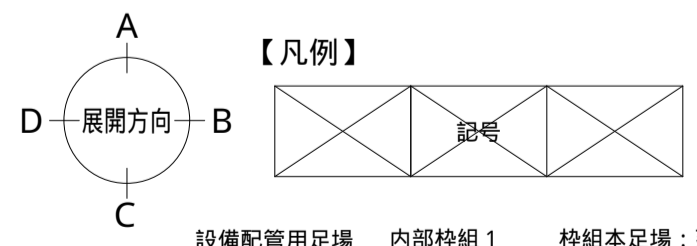


- 凡例 塗装改修
 束(見え掛かり面): SOP塗
 ステージ框(見え掛かり面(前面+下面)): SOP塗
 ステージ下 板面: SOP塗
- 仕様
 1. MTトラック 万能収納台車 8ビット8台
 寸法 W700×L3500×H570
 2. 飾り板 8ビット8枚
 3. レール下地(モルタル金ゴテ仕上げ)共

主要構成部品仕様書			
品番	品名	材料・加工等	表面処理
1	押手	角鋼管 30*20*1.6	シルバー
2			
3	サイド枠	角鋼管 30*20*1.2	亜鉛メッキ
4	コーナーガセット	鋼板 2.3t	黒色焼付
5	連結PLT1	鋼板 2.3t	亜鉛メッキ
6	車輪サポート	鋼板 2.3t	黒色焼付
7	補助サポート	鋼板 2.3t	黒色焼付
8			
9	床板	亜鉛メッキ鋼板 1.0t	亜鉛メッキ
10	ストッパー	鋼材 4.5t	黒色焼付
11	レールサポート	鋼板 1.6t	亜鉛メッキ
12	ガイドレール	鋼板 1.6t	亜鉛メッキ
13	車輪ガイドベース	鋼板 1.6t	亜鉛メッキ
14	車輪	丸棒 17	亜鉛メッキ
15	軸受	鋼材 4.5t	黒色焼付
16	車輪	車輪外径 100 MTトラック専用車輪	本体は 亜鉛メッキ
17	オールアンカ-	M8×40	亜鉛メッキ
18	飾り板	表面ポリエステル化粧合板(カタログより選択) 下地鋼板 1.2t	黒色焼付
19	サイド枠倒れ止	鋼材 4.5t	亜鉛メッキ
20	中床板	亜鉛メッキ鋼板 1.0t	亜鉛メッキ
21	連結PLT2	鋼板 2.3t	黒色焼付
22	パイプ	角鋼管 30*20*1.2	亜鉛メッキ



1階平面図 1/100 (参考図)

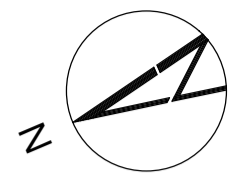


【凡例】

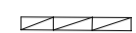
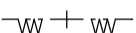


設備配管用足場 内部枠組1 枠組本足場：建地幅1200,延長約14.4m,高さ5400+最上部外周転落防止手摺H1000(2ヶ月)
 内部枠組2 枠組本足場：建地幅1200,延長約48.6m,高さ1800+最上部外周転落防止手摺H1000(2ヶ月)
 内部枠組3 枠組本足場：建地幅900,延長約67.2m,高さ1階部分1800+最上部外周転落防止手摺H1000(2ヶ月) 内部枠組1又は2と連結
 体育室アリーナについて、足場より外側1m程度の範囲について床養生をする。

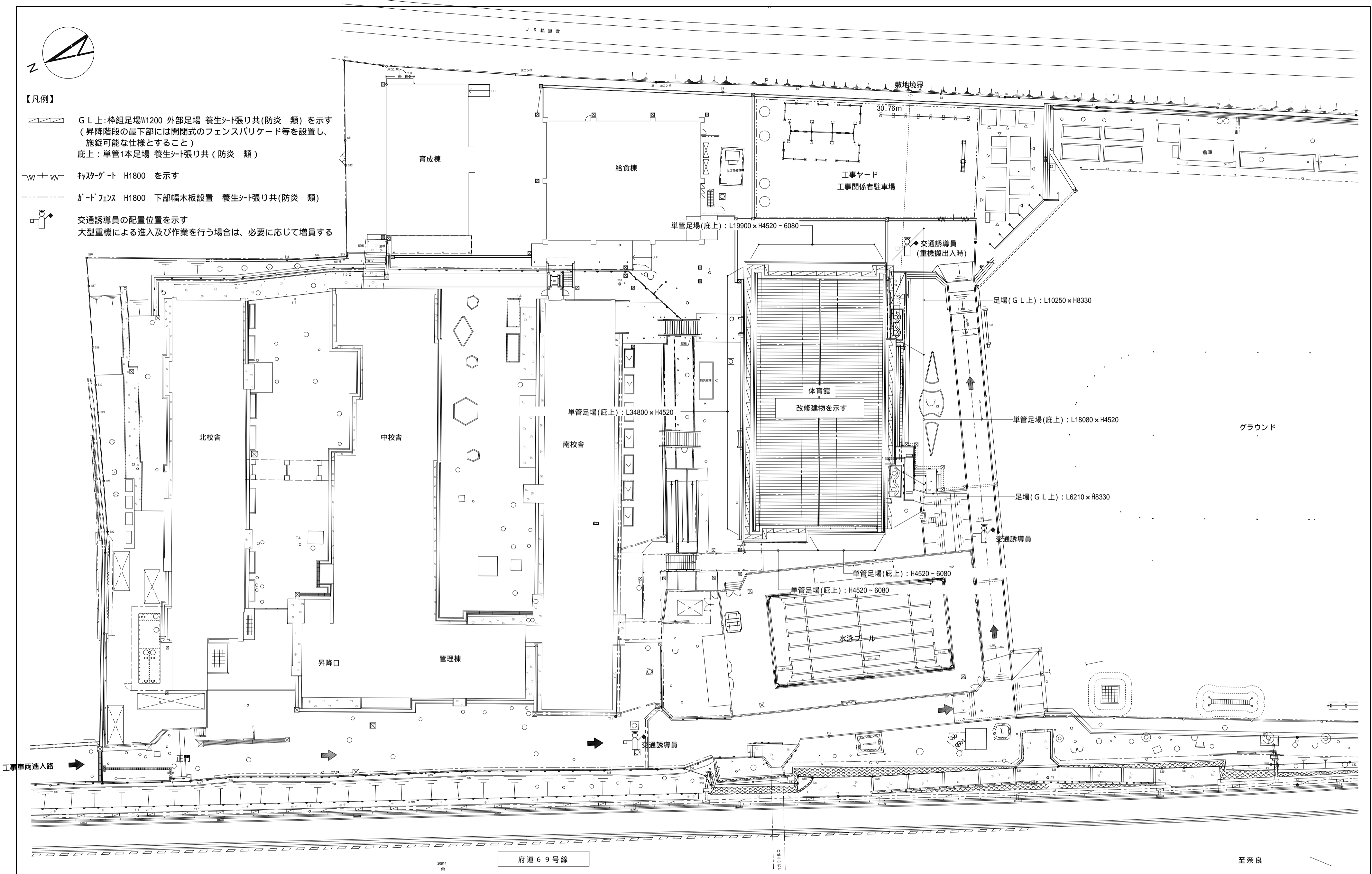
カテナール設置用足場 内部枠組欄足場(手すり先行方式)階高5.7m以上7.4m未満、内部階段仕上足場 共 設置 (1ヶ月)

株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣()	構造設計 一級建築士登録 交付番号()	名称 小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. A-27
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した 大臣()	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号()	図名 (参考図) 仮設計画 1階平面図	縮尺 A2: 1/100 A3: -



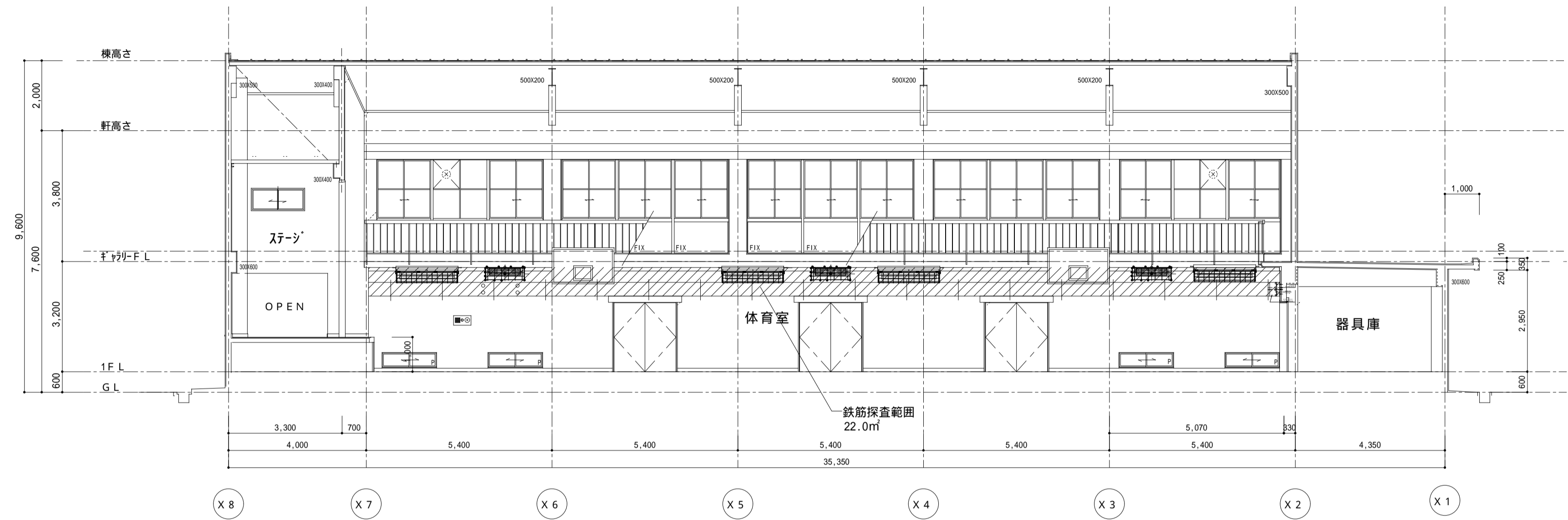
【凡例】

-  G L上: 枠組足場W1200 外部足場 養生シート張り共(防災 類) を示す
(昇降階段の最下部には開閉式のフェンスバリケード等を設置し、
施錠可能な仕様とすること)
底上: 単管1本足場 養生シート張り共(防災 類)
-  門: 門 H1800 を示す
-  門フェンス H1800 下部幅木板設置 養生シート張り共(防災 類)
-  交通誘導員の配置位置を示す
大型重機による進入及び作業を行う場合は、必要に応じて増員する

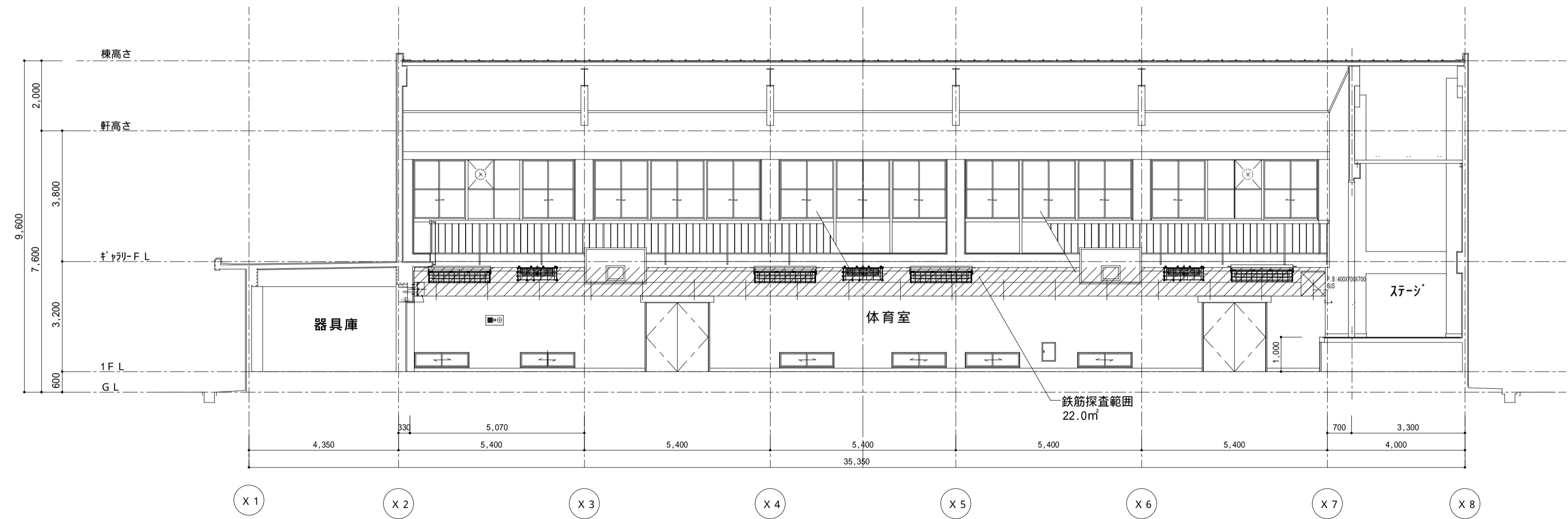


仮設計画図 1/500

株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第39号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. A - 2 8
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した	構造設計/設備設計 一級建築士登録 大臣 ()	図名 (参考図) 仮設計画図	縮尺 A2: 1/350 A3: -



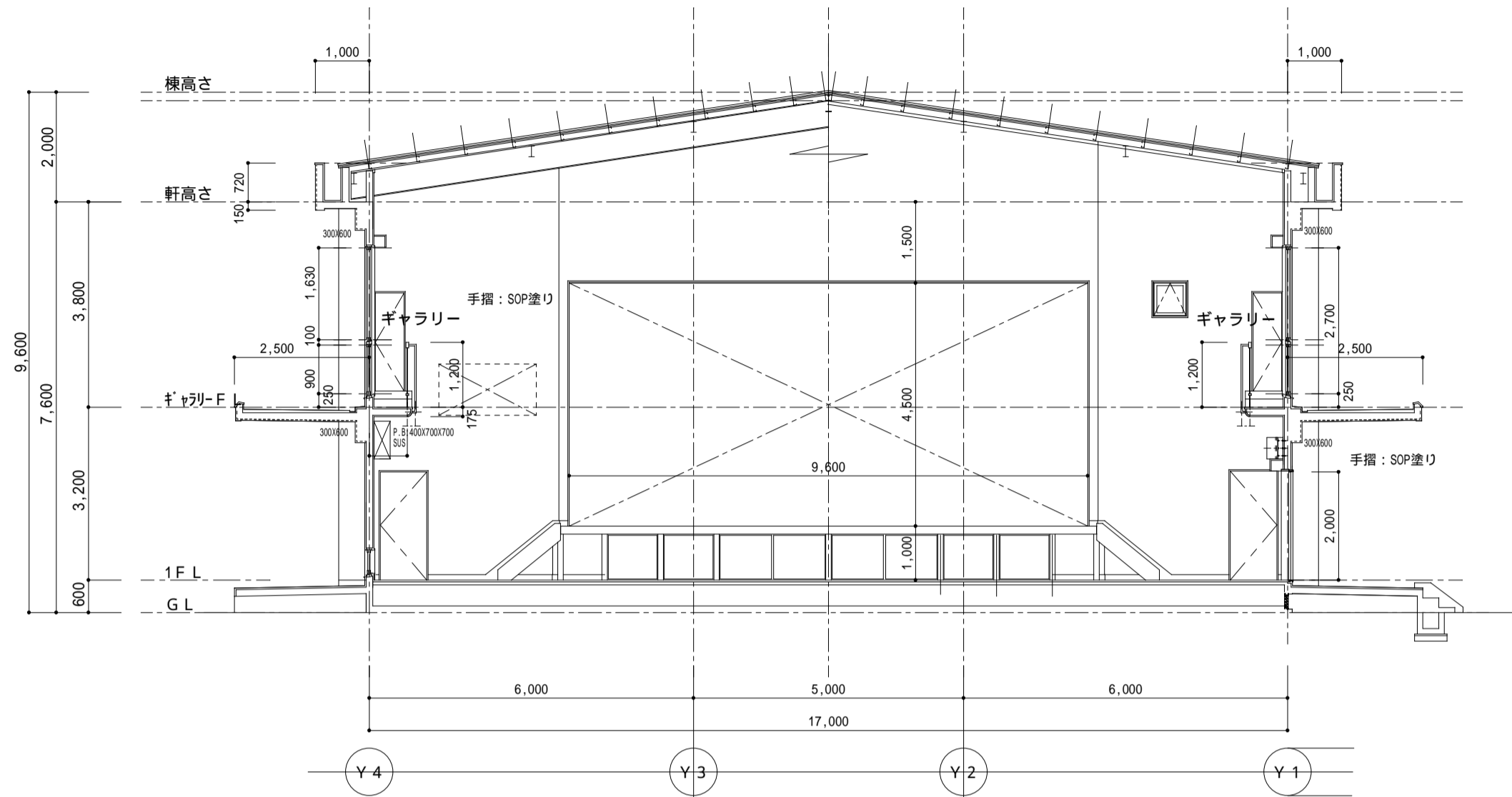
体育室 南面 展開図



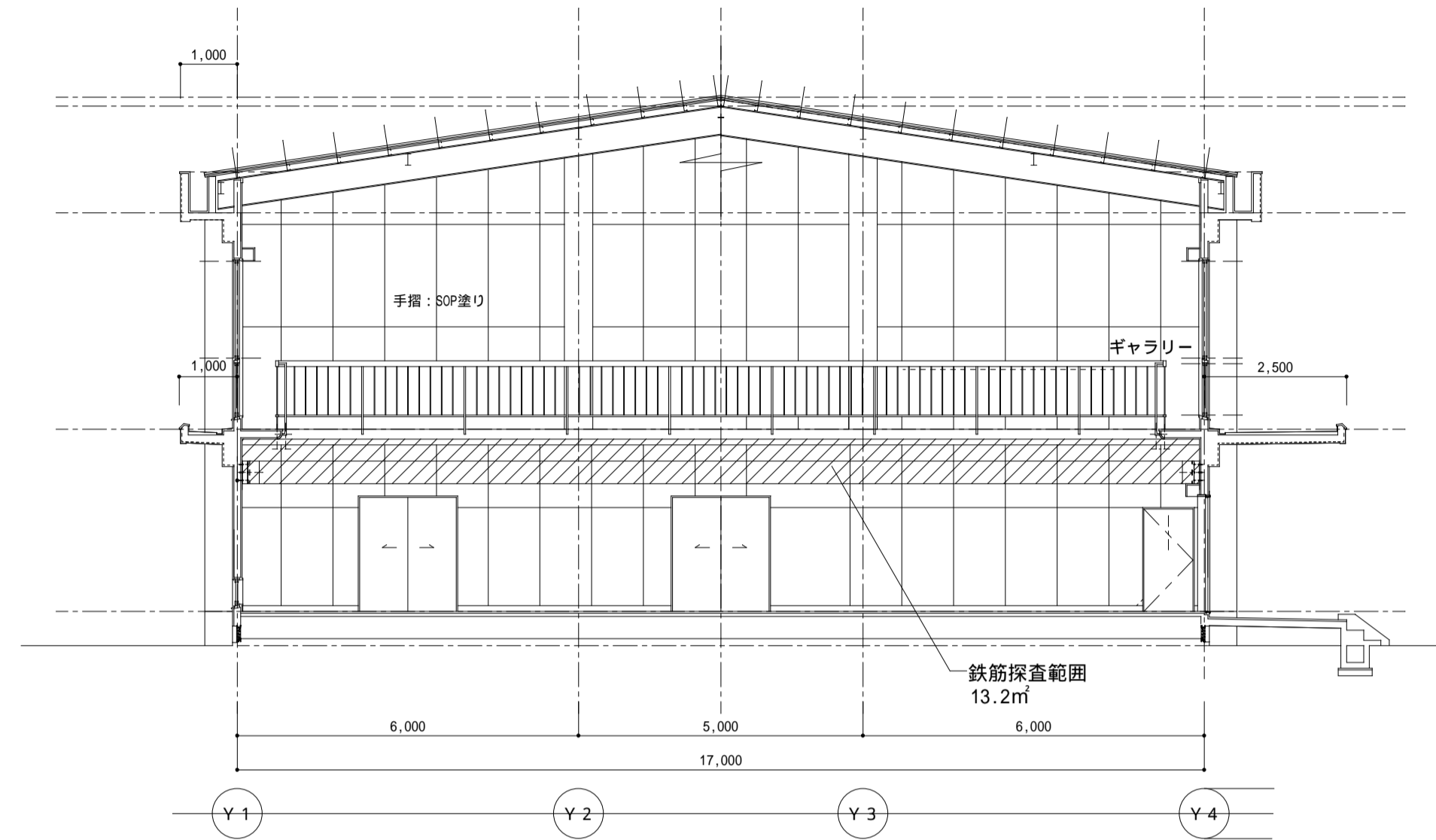
体育室 北面 展開図

図示範囲を鉄筋探査を行うこと。
結果を報告書として提出すること。

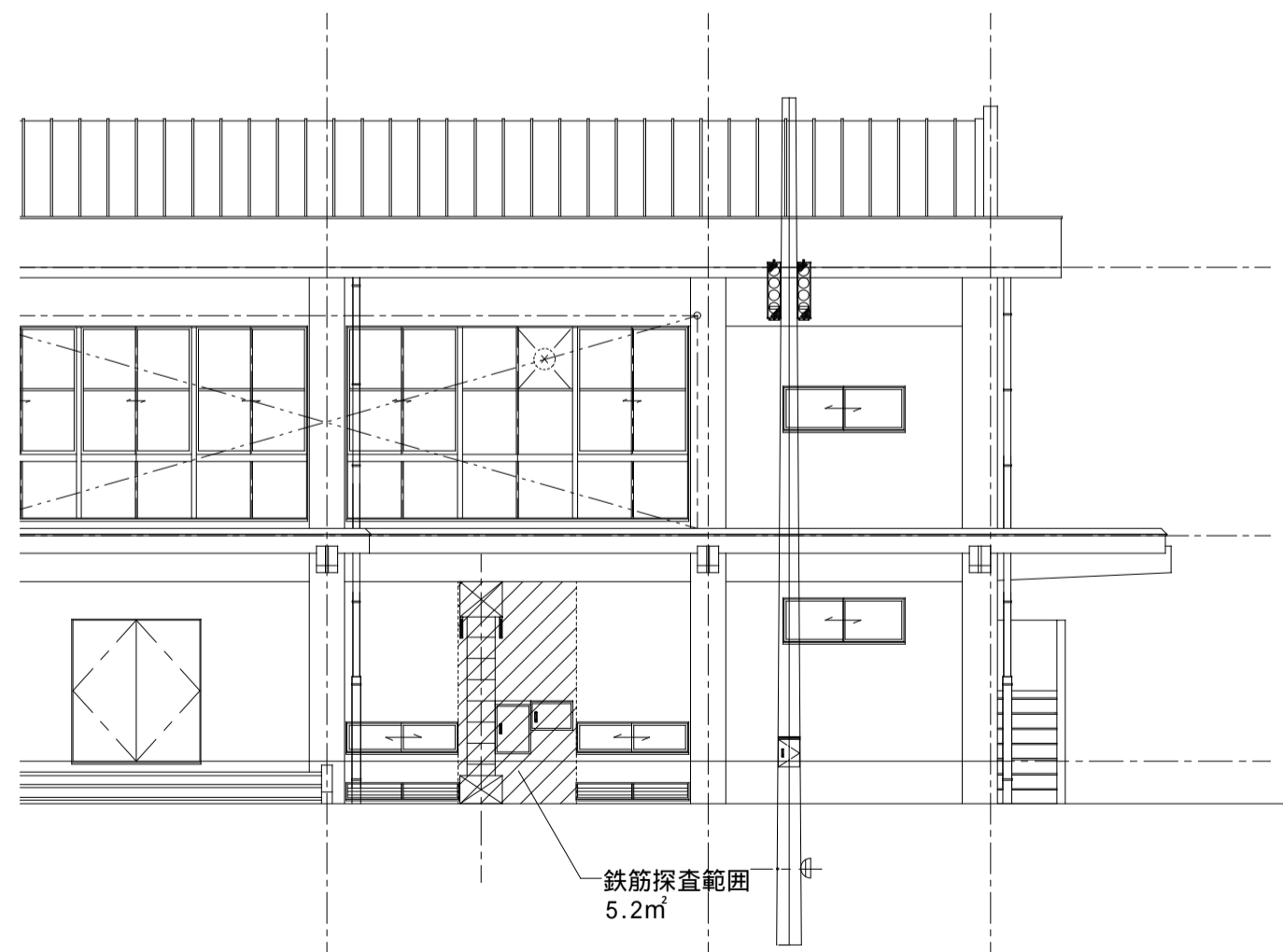
株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	構造設計	一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事 No. A - 29
	構造/設備関係規定 への法適合を確認した	一級建築士登録 大臣 ()	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号 ()	
図名 断面展開図(1)				




体育室 東面 展開図



体育室 西面 展開図



体育室 南面 立面図

 図示範囲を鉄筋探査を行うこと。
結果を報告書として提出すること。

株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	構造設計	一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称	小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事	No.	A - 3 0
	構造/設備関係規定 への適合を確認した	一級建築士登録 大臣 ()	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号 ()	図名	改修後 断面展開図 - 2	縮尺	A2: 1/100 A3: -

電気設備工事特記仕様書－1

【工事概要】

- 1 工事場所：宇治市小倉町西畑1番地4
- 2 建物概要

建物名	構造	階数	延床面積(m ²)	消防法令別第一耐震安全性の分類	備考
				甲	
				乙	
				甲	
				乙	
				甲	
				乙	

3 工事科目 印をついたものを適用し、各一式とする。

工事科目	建物名称	体育館
電灯設備		
動力設備		
雷保護設備		
受変電設備		
電力貯蔵設備		
発電設備		
構内情報通信設備	○	
構内交換設備		
情報表示設備		
映像・音響設備		
拡声設備		
誘導支援設備		
テレビ共同受信設備		
監視カメラ設備		
駐車場管制設備		
防犯・入退室管理設備		
火災報知設備	○	
中央監視制御設備		
医療関係設備		
構内配電線路	○	
構内通信線路		
電波障害調査		
撤去工事		

【特記事項】

- 1 一般事項
 - 1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和7年版」（以下、「標準仕様書」という。）、「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）令和7年版」（以下、「標準図」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和7年版」による。
 - 2) 工事種目に機械設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面及び標準仕様書による。
- 2 特記事項
 - 項目及び特記事項は、印をついたものを本工事に適用する。ただし、印のない場合は、印を適用する。

章	項目	特記事項
一	設備機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図面に規定するものまたは、これらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。
	機材の品質・性能証明	使用する機材が、（一社）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿（最新版）」による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2(2)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される製作図・試験成績書等は除く。
般	現場代理人	本工事の施工に当たっては、請負契約書第10条に規定する現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者との直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任する。
	電気工事事	契約電力500kW以上の場合も、第1種電気工事士による施工を行う。
	工用電力・水その他	本工事に必要な工用電力・水などの費用は、引き渡し時まですべて受注者の負担とする。
	官公署への手続き	官公署等への手続きは速やかに行い、それに要する費用は、すべて受注者の負担とする。
事	工用仮設物	構内につくることが できる できない
	足場・作業構台	別契約の関係者・受注者が定置したものは、無償で使用できる。
	監督職員事務所	設置しない 設置する（ 本工事 別途）
項	監督職員事務所に備え付ける図書	下記の図書を監督職員事務所に備え付ける。 ・公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編) ・電気設備工事監理指針 ・建築設備耐震設計施工指針 ・公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編) ・公共建築設備工事標準図(電気設備工事編) ・電気設備工事施工チェックシート ・工事写真撮影ガイドブック電気設備工事編
	建設副産物の処理及び建設発生土の処理	建設副産物の処理 右記のほか、現場説明書による。 建設発生土処分 右記のほか、現場説明書による。
	再生資源利用（促進）計画・実施書の提出	再生資源利用（促進）計画・実施書の提出 詳細は現場説明書による。
	1)「建設発生土処理計画書」及び「廃棄物処理計画書」を監督職員に提出する。 2)関係法令等に従い、適正に廃棄物等を処理し、「建設発生土処理計画書」及び「廃棄物処理報告書」により監督職員に報告する。	
項	アスベスト成形板の処理等（以下のほか、現場説明書による）	施工調査 アスベスト成形板の除去に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。調査結果は図面により記録し監督職員に提出する。 ・アスベスト成形板使用部位の確認 ・アスベスト成形板の種類、厚さ等の確認 ・アスベスト成形板使用数量の確認 ・施工範囲等の確認
	確認範囲	成形板の製造年等の確認 X線解析法
	処理方法	非飛散性アスベスト廃棄物の取扱いに関する技術指針」に従いあらかじめ処理計画書を作成し、適切に解体処分等を行うこと。

章	項目	特記事項																																																
一 般 事 項	工事関係書類	営繕工事契約関係提出書類書式集5 一覧表により提出。 宇治市$a\wedge -h\text{参照}$/www.city.uji.kyoto.jp>																																																
	履行報告	月報 2部 3部 毎月末に、翌月の5日までに提出する。																																																
	工事写真	1)国土交通省大臣官房官庁営繕部「営繕工事写真撮影要領（最新版）」による。 2)工事完成時、整理の上、1部提出する。 3)小黑板情報電子化については、現場説明書による。																																																
	完成図書	名称 内容 大きさ 部数 完成図 金文字製本 A4版 1部 完成図 背貼り製本(版) A4ファイル止め 2部 施工図 背貼り製本(版) A4ファイル止め 2部 機器完成図等 機器製作図 ファイル止め A4版 2部 保守指導案内書(機器取説書を含む) 機器性能試験成績書・保証書・施工の試験成績書 諸官庁提出書類 副本 1式 原因 完成図 1部 完成写真 アルバム綴り 2部																																																
	著作権等	電子納品については、現場説明書による。 当該建物において取得する、施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。																																																
	付属品及び予備品	標準仕様書による。																																																
	耐震施工	1)設備機器の固定は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」により計算を行い、監督職員に報告し承諾を得る。 2)下記の設計用水平震度(KH)により、機器製作固定を行う。 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th colspan="2">特定の施設</th> <th colspan="2">一般の施設</th> </tr> <tr> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上層階、屋上及び塔屋</td> <td>2.0(2.0)</td> <td>1.5(2.0)</td> <td>1.5(2.0)</td> <td>1.0(1.5)</td> </tr> <tr> <td>中間階</td> <td>1.5(1.5)</td> <td>1.0(1.5)</td> <td>1.0(1.5)</td> <td>0.6(1.0)</td> </tr> <tr> <td>1階及び地下階</td> <td>1.0(1.0)</td> <td>0.6(1.0)</td> <td>0.6(1.0)</td> <td>0.4(0.6)</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th colspan="2">特定の施設</th> <th colspan="2">一般の施設</th> </tr> <tr> <th>水</th> <th>槽</th> <th>水</th> <th>槽</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上層階、屋上及び塔屋</td> <td>2.0</td> <td></td> <td>1.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中間階</td> <td>1.5</td> <td></td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1階及び地下階</td> <td>1.5</td> <td></td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設置場所	特定の施設		一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、屋上及び塔屋	2.0(2.0)	1.5(2.0)	1.5(2.0)	1.0(1.5)	中間階	1.5(1.5)	1.0(1.5)	1.0(1.5)	0.6(1.0)	1階及び地下階	1.0(1.0)	0.6(1.0)	0.6(1.0)	0.4(0.6)	設置場所	特定の施設		一般の施設		水	槽	水	槽	上層階、屋上及び塔屋	2.0		1.5		中間階	1.5		1.0		1階及び地下階	1.5		1.0	
	設置場所	特定の施設		一般の施設																																														
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																													
	上層階、屋上及び塔屋	2.0(2.0)	1.5(2.0)	1.5(2.0)	1.0(1.5)																																													
中間階	1.5(1.5)	1.0(1.5)	1.0(1.5)	0.6(1.0)																																														
1階及び地下階	1.0(1.0)	0.6(1.0)	0.6(1.0)	0.4(0.6)																																														
設置場所	特定の施設		一般の施設																																															
	水	槽	水	槽																																														
上層階、屋上及び塔屋	2.0		1.5																																															
中間階	1.5		1.0																																															
1階及び地下階	1.5		1.0																																															
風圧力に対する性能	建築基準法に基づき定められた風速及び地表面粗度区分 Vo(30 32 34) 地表面粗度区分()																																																	
風圧力(耐風力)	建築基準法施行令第87条に定めるところによる風圧力(耐風力)検討(計算)書を監督職員に提出する。なお、検討(計算)範囲には、それぞれの取付部分を含めるものとする。 受雷部システム及び引下げ導線システム 太陽光アレイ及び接続箱 ○風力発電装置 テレビ共同受信用アンテナ及びアンテナマスト																																																	
電線類	1)特記なきものは、EM-I Eとする。 2)EM電線、EMケーブルで標準仕様書に規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとし、次の記号及び仕様による。 <table border="1"> <tr> <td>EM-アクセスフロア</td> <td>JCS4502(600Vアクセスフロア用耐火ポリエチレンスケーブル)による600Vアクセスフロア用ポリエチレン絶縁耐火ポリエチレンスケーブル(EM-E E)及び600Vアクセスフロア用架橋ポリエチレン絶縁耐火ポリエチレンスケーブル(EM-C E)を示す。</td> </tr> <tr> <td>EM-MEES</td> <td>JCS4271に準じ、絶縁材及びシースにJCS規格によるEMケーブルの耐火ポリエチレンを用いたもの</td> </tr> </table>	EM-アクセスフロア	JCS4502(600Vアクセスフロア用耐火ポリエチレンスケーブル)による600Vアクセスフロア用ポリエチレン絶縁耐火ポリエチレンスケーブル(EM-E E)及び600Vアクセスフロア用架橋ポリエチレン絶縁耐火ポリエチレンスケーブル(EM-C E)を示す。	EM-MEES	JCS4271に準じ、絶縁材及びシースにJCS規格によるEMケーブルの耐火ポリエチレンを用いたもの																																													
EM-アクセスフロア	JCS4502(600Vアクセスフロア用耐火ポリエチレンスケーブル)による600Vアクセスフロア用ポリエチレン絶縁耐火ポリエチレンスケーブル(EM-E E)及び600Vアクセスフロア用架橋ポリエチレン絶縁耐火ポリエチレンスケーブル(EM-C E)を示す。																																																	
EM-MEES	JCS4271に準じ、絶縁材及びシースにJCS規格によるEMケーブルの耐火ポリエチレンを用いたもの																																																	
電線管	3)長さ1m以上の通線を行わない配管には、導入線(樹脂被覆鉄線等)を挿入する。 電線管 P F管 ただし、露出部分はメタルモールとする。 分電盤等の2次側で第1ボックスまでは(鋼製電線管 P F管)とする。 ねじなし電線管 1)雨線外及び湿気が多い場所または水気のある場所に使用する露出電線管は、厚鋼電線管とする。 2)スラブ厚の1/4を超える外径の配管及び(P F 22)又は(E 25)相当を超えるものは、コンクリート埋設配管を行わない。 最上階の埋込配管 最上階のスラブでモルタル防水及び樹脂防水の場合、埋込配管は避けるのを原則とする。																																																	
電線本数、管路等	下記の露出配管は塗装(指定色塗装)を行う。 屋外(屋上を除く) 屋内居室 屋内機械室・電気室 ○廊下 分電盤、制御盤、端子盤等の2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径等は監督職員の承諾を受けて変更することができる。																																																	
ボックス	樹脂管で配管する場合は、合成樹脂製ボックスを使用する。																																																	
予備配管	分電盤の予備の配線用遮断器が4個以下の場合(25)を1本、5個以上の場合(25)を2本天井内まで立上げる。ケーブルラックの床の防火通部に(51)を1本以上立上げる。																																																	
フラッシュプレート	和室 樹脂製 金属製(新金属製 ステンレス製) その他 樹脂製 金属製(新金属製 ステンレス製)																																																	
床配線器具等	床用配線器具の形式は以下による。(図面特記のあるものを除く。) 二重床 インナー形 ○飛び出し形 ○内部固定形 ○外部固定形 二重床以外 飛び出し形 ○引出し形 ○内部固定形 ○外部固定形 (フロアベースは水平高低調整式(空転防止リフ付) 砲金製 ○アルミ製とする。)																																																	
機器	寸法 盤その他機器類について図示した寸法は、約寸法とする。 接続 電動機への接続は、本工事とする。 アンカーボルト アンカーボルト、全ネジ及びナットは、下記による。 屋外・多湿室等(溶融亜鉛メッキ SUS) その他(一般品 SUS)																																																	

章	項目	特記事項																																			
共 通 事 項	あと施工アンカー	施工後確認試験 行う 行わない 試験方法 引張試験機による引張試験とし、国土交通省大臣官房官庁営繕部の公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年度版)「8.12.7 施工確認試験」による。 確認強度 監督職員との協議による。																																			
	機器内配線等	下記の機器内配線及びケーブルには、EM電線及びEMケーブルを使用する。ただし、高圧主回路配線はこの限りでない。 分電盤 O A盤 実験盤 開閉器箱 制御盤 キュービクル式配電盤 直流電源装置 交流無停電電源装置(UPS)(簡易型を除く)																																			
電 灯 設 備	はつり	1)既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターを使用する。 2)復旧はモルタル補修までとする。																																			
	再使用機器	取り外した上再使用する機器は、清掃し絶縁抵抗測定の上取付ける。なお照明器具等の見え掛り部分は、洗剤を使用するなどして、十分に清掃する。																																			
電 気 設 備	その他	屋外の盤類・開閉器箱 SUS 鋼板製 屋内外のプルボックス SUS 鋼板製																																			
	工事範囲	配管 配線 機器取付																																			
	電気方式	幹線 単相3線式 100V/200V 直流2線式 100V 分岐 単相2線式 100V 200V 直流2線式 100V																																			
	照明制御による効果の評価	一般社団法人日本照明器具工業会技術資料130「照明制御装置による消費電力削減効果の評価手法」により、消費電力削減効果の評価を行い監督職員に提出する。																																			
	照明制御装置	照明制御装置の各センサー設定は、監督職員と協議する。センサー設定器を附属させる。																																			
	多重伝送制御システム	多重伝送制御システムの設定は、監督職員の指示による。システム設定器を附属させる。																																			
	LED制御装置の種類	図面特記があるものを除き、LED照明器具の制御装置の種類は、調光信号線が接続された器具にあてはれず、それ以外はLN又はL Jとする。																																			
	RP又はMP形照明器具	標準図において、防雨形または防湿形の器具本体の材質に、SUSを含む複数の材料が適用されている場合は、SUSを適用する。																																			
	○非常用照明の形式	○電池内蔵形 電池別置形																																			
	フロアコンセント	引出し形 飛び出し形 内部固定形 外部固定形 O Aフロア用																																			
備	分電盤等	1)本工事の分電盤、O A盤、実験盤で、分岐に用いる配線用遮断器及び漏電遮断器の寸法は、JISC 8201-2-1「回路遮断器」、同付属書JC「電灯分電盤用協約形回路遮断器」、JISC 8201-2-2「漏電遮断器」、同付属書JC「電灯分電盤用協約形漏電遮断器」による1極サイズのものとする。 2)SPD分離器(配線用遮断機)は(警報接点付 警報接点無)とする。 3)SPD分離器は、監督職員の承諾を受けて、SPD内蔵とすることができる。 O A盤の端子盤部に 通気口 冷却ファン を設ける																																			
	照明用ポール	開閉器を設ける(配線用遮断器 カットアウトスイッチ) 開閉器を設けない 一般照明の照度測定 実施 する しない																																			
動 力 設 備	工事範囲	配管 配線 ○機器取付																																			
	電気方式	幹線 三相3線式 200V 分岐 三相3線式 200V																																			
力 設 備	制御盤	1)制御回路に用いる変圧器は絶縁変圧器とする。 2)インバータ発熱対策用冷却装置を扉面に取り付けた場合、開閉時に冷却装置を休止させる。 3)インバータ発熱対策用冷却装置の故障を 盤面に表示(させる させない)																																			
	監視方法	警報盤による代表監視 中央監視制御装置による監視																																			
	インターロック	自動火災報知設備の受信機、連動制御器及びガス漏れ火災警報受信機と連動して、制御盤で空調機を停止させる。																																			
	インバータ装置の規約効率	三相可変電動機用インバータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。 <table border="1"> <tr> <td>電動機出力(kW)</td> <td>0.4</td> <td>0.75</td> <td>1.5</td> <td>2.2</td> <td>3.7</td> <td>5.5</td> <td>7.5</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>インバータ効率(%)</td> <td>86.0</td> <td>88.5</td> <td>92.0</td> <td>93.0</td> <td>94.0</td> <td>94.0</td> <td>94.5</td> <td>94.5</td> </tr> <tr> <td>電動機出力(kW)</td> <td>15</td> <td>18.5</td> <td>22</td> <td>30</td> <td>37</td> <td>45</td> <td>55</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>インバータ効率(%)</td> <td>95.0</td> <td>95.5</td> <td>95.5</td> <td>95.5</td> <td>95.5</td> <td>95.5</td> <td>95.5</td> <td>95.5</td> </tr> </table> 備考)1)電動機の供給電圧は100V又は200Vとする。 2)インバータ効率は、100%負荷時の値とする。	電動機出力(kW)	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	インバータ効率(%)	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5	94.5	電動機出力(kW)	15	18.5	22	30	37	45	55	75	インバータ効率(%)	95.0	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5
電動機出力(kW)	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11																													
インバータ効率(%)	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5	94.5																													
電動機出力(kW)	15	18.5	22	30	37	45	55	75																													
インバータ効率(%)	95.0	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5																													
雷 保 護 設 備	工事範囲	配管 配線 機器取付																																			
	保護レベル	受雷部システム 突針支持管 鋼製 ステンレス製																																			
	接地システム	A型接地極(一枚状接地極 垂直接地極 放射状接地極) B型接地極(環状接地極 網状接地極) 構造体利用接地極(構造体底部の大地抵抗率測定のための大地抵抗率測定用補助接地極を○設ける 設けない)																																			
受 変 電 設 備	工事範囲	配管 配線 機器取付																																			
	電気方式	高圧 三相3線式 6kV 低圧 三相3線式200V 単相3線式100V/200V 三相3線式 V 三相4線式 V / V																																			
電 気 設 備	配電盤形式	屋内キュービクル式配電盤 屋外キュービクル式配電盤 開放形配電盤 変圧器盤 コンデンサ盤 系統連系保護制御盤																																			
	変圧器の規格【グ】	高圧スイッチギア(C X形 C W形 P W形) 低圧スイッチギア(C X形 C S形 C W形 F W形)																																			
	監視方式	警報盤による代表監視 中央監視制御装置による監視																																			
	基礎	本工事 別途工事 既設																																			
付 属 品 等 其 他	付属品等	盤内に予備限流ヒューズを収納する。																																			
	その他	低圧配電盤の配線用遮断器は取付け板組込形で埋込形とする。 低圧配電盤の裏面に負荷側引出し用端子を設ける。 低圧配電盤に内部点検空間を設ける。(幅600mm以上・高さ1,800mm以上) 盤内照明器具はLEDとする。 換気扇を設ける場合は回転センサー付とする。(盤面警報ランプ共)																																			

	株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 品一 一級建築士登録 第213806号			構造設計 一級建築士登録 大臣() 交付番号()	構造設計 一級建築士登録 大臣() 交付番号()	名称 小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. E-01
					構造/設備関係規定 への法適合を確認した	構造設計/設備設計 一級建築士登録 大臣() 交付番号()	図名 電気設備工事特記仕様書 1	縮尺 A2: A3:

電気設備工事特記仕様書－2

章	項目	特記事項
電力貯蔵設備	工事範囲	配管 配線 機器取付
	直流電源装置	用途 建築基準法用 消防法用 受変電設備専用 その他 過放電防止保護装置（直流不足電圧継電器）の設定電圧は、90Vとする。
	交流無停電電源装置（UPS）	用途（一般形 簡易形） 方式
発電設備	工事範囲	配管 配線 機器取付
	形式	オープン形 簡易形 キュービクル
	連続運転可能時間	10時間（乙） 7.2時間（甲）
	発電機	電気方式 三相3線式 電圧 210V 6.6kV 415V 定格出力 kVA以上 力率 0.8
	原動機	種別 ガスタービン ディーゼル機関 ガスエンジン マイクロガスタービン 燃料電池 コージェネレーション kW（PS）以上
	定格出力	電気式 空気式 冷却方式 ラジエーター式 水循環式 現地負荷試験 行う 行わない
	燃料	種類 重油 軽油 灯油 ガス（ ） 燃料小出槽 主燃料槽
	監視方式	警報盤による代表監視 中央監視盤による監視
	太陽光発電装置	太陽電池 アレイ 公称最大出力 kW以上 設置可能建築面積 m ² 以下（長辺 m×短辺 m） 系統連系 受動 能動 パワーコンディショナ出力 相 線式 V kW以上 逆潮流 有 無 交流出力電圧 100V 200V 出力電気方式 三相3線式 単相3線式 単相2線式
	外部移報	有 無
通信設備	工事範囲	配管 配線 既設品取外し・再取付
	施工方法	金属管配線 ケーブル配線
構内交換設備	工事範囲	配管 配線 機器取付
	保安器用接地	本工事 別途工事
	形式	電子交換機 ボタン電話装置
情報表示設備	工事種類	マルチサイン装置 出退表示設備 時刻表示設備
	工事範囲	配管 配線 機器取付
	親時計及び付属装置	CR-P M CW-P M プログラムタイマ（カード式 キー式）
映像設備	工事範囲	配管 配線 機器取付
	施工方法	金属管配線 ケーブル配線 合成樹脂管配線
拡声設備	工事範囲	配管 配線 既設品取外し・再取付
	増幅器	用途 全館放送用（一般放送 非常放送） ローカル放送用 自動放送はアッテネーターを経由した回路とする。
	スピーカ	特記なきものは SC6Hi-1V3-M 撤去品再取付
誘導支援設備	工事範囲	配管 配線 既設品取外し・再取付
	工事内容	音声誘導装置 検出方式（磁気式 無線式 画像認識） インターホン 電話式 相互式 テレビインターホン トイレ等呼出し装置 1窓 3窓 5窓 呼出しボタン 壁付ボタン（プルスイッチの長さは0.2m程度とする） 壁付押しボタン（押しボタンの長さは1.2m程度とする） 通話機能 受付呼出し装置 誘導音
	工事範囲	配管 配線 機器取付
	アンテナ	UHF用 BS用 CS用 AM用 FM用 CATV
	アンテナマスト	壁面取付形 自立形 配管用ステンレス鋼管 一般構造用炭素鋼管（溶融亜鉛メッキ仕上げ） 圧力配管用炭素鋼管（溶融亜鉛メッキ仕上げ）
	電界強度測定	電界強度及び電界は、最上階が打上がったときに、アンテナ取付予定位置、またその周辺で測定し、その測定記録を監督職員に速やかに提出すること。 測定チャンネルは、監督職員と協議する。

章	項目	特記事項
監視カメラ	工事範囲	配管 配線 機器取付
	画像	カラー 白黒
	伝送方式	ネットワーク伝送方式 デジタル同軸伝送方式 ○
管制設備	工事範囲	配管 配線 機器取付
	車両検出方式	ループコイル方式 光線方式
防犯・入退室管理設備	工事範囲	配管 配線 機器取付
	工事種類	機械警備用配管 緊急通報設備用配管 防犯装置 入退室管理制御装置
火災報知設備	自動火災報知装置	工事範囲 配管 配線 既設品取外し・再取付
	受信機	形 級 回線 壁掛形 自立形 単独形 複合形 耐受信機 窓 盤面に消火ポンプ運転表示灯を設ける。
	光警報装置	消火栓箱内押ボタン 発信機と連動（総合盤に始動表示灯を設ける。）
	機器収容箱	消火栓一体形 単独形
	自動閉鎖装置	工事範囲 配管 配線 機器取付 連動制御器 回線 【予備電源（蓄電池）内蔵】 単独 自火報受信機と一体 自動閉鎖装置 防火戸用【DC24V 0.6A以下電磁式またはラッチ式】 防煙ダンパ用 【別途工事 瞬時通電式又は電動式 DC24V 0.6A以下 遠方復帰機構（電動式）DC24V 0.7A以下】 防火シャッター用 【別途工事 DC24V 0.6A以下】
	非常警報装置	工事範囲 配管 配線 機器取付 電気方式 DC24V 電源装置 非常電源（蓄電池） 自動火災報知設備と兼用
	ガス漏れ火災警報装置	工事範囲 配管 配線 機器取付 受信機 単独形 自火報受信機と一体
	ガスの種類	都市ガス（13A） 液化石油ガス
	諸警報表示	受信機に諸警報表示窓（窓）を設ける。
	中央監視	工事範囲 配管 配線 機器取付 監視方式 警報盤 監視制御装置
医療関係設備	工事範囲	配管 配線 機器取付
	非接地電源用分電盤	キャビネット 鋼製 ステンレス製
	ナースコール装置	トイレ及び浴室等の呼出押ボタン オプション等の試験は、監督職員の指示による。
構内配線	工事範囲	配管 配線 機器取付
	電気方式	高圧 三相3線式 6kV 三相3線式 200V 単相3線式 100/200V 単2線式（100V 200V）
	ふ設方式	地中線 管路式 波付硬質合成樹脂管（FEP） ポリエチレン被覆管（PLP） 埋設深さ 特記なきものはGL（舗装がある場合は、舗装下面）から300mm以上とする。
	架空線	電柱 遠心力プレストレストコンクリートポール
	区分閉閉器	高圧負荷閉閉器 7.2kV 300A
	用途	架空引込用 地中引込用
	構	耐中塩じん用 耐重塩じん用
	形式	引外し装置付き（SOG形） 引外し装置なし 避雷器内蔵 制御電源用変圧器内蔵
	マンホール及びハンドホール	構造・寸法 標準図による 図示による。 蓋の文字 蓋の用途表示は電力とする。 ハンドホールにおいてもケーブル支持材を設ける。 ケーブルが直接接触しない場合の金物は、接地を省略してもよい。
	高圧ケーブル	屋外に使用する高圧ケーブルはEM-高圧架構ポリエチレンケーブルは、JCS 4395「6600V 架構ポリエチレンケーブル（3層押出型）」に（よる ○よらない） 高圧ケーブルは、受変電設備までの配線経路中、1ヶ所以上で3m余長をとる。
余長	高圧ケーブルは、受変電設備までの配線経路中、1ヶ所以上で3m余長をとる。	
端子、高圧ケーブル端未処理	一般用 耐塩用 重耐塩用	
避雷器	屋外形 耐塩形	
表柱材	一般用 耐塩形	
外灯	基礎 本工事 別途工事 外灯ボールの材質が鋼製（SPC）の場合で特記がない場合は溶融亜鉛メッキとし、指定色塗装とする。	
構内通信線路	工事範囲	配管 配線 機器取付
	ふ設方式	地中線 管路式 波付硬質合成樹脂管（FEP） ポリエチレン被覆管（PLP） 埋設深さ 特記なきものはGL（舗装がある場合は、舗装（表層）下面）から300mm以上とする。 架空線 電柱 遠心力プレストレストコンクリートポール
マンホール及びハンドホール	構造・寸法 標準図による 図示による。 蓋の文字 蓋の用途表示は通信とする。 ハンドホールにおいてもケーブル支持材を設ける。 ケーブルが直接接触しない場合の金物は、接地を省略してもよい。	

章	項目	特記事項
調査	調査範囲	測定のみ 対策工事実施設計書作成まで
	測定時期	工事前 工事中 完成後
	測定箇所	箇所
	測定内容	受信可能な全チャンネルとし、結果報告書を提出する。

別表	付属品・予備品
イーザーキャビネット	箱 キーボックス テスター マンホールフック
工具箱（ドライバー、モンキーレンチ、組スパー、ハンマー）	
受変電設備・盤	ランプ及びヒューズの予備品は、2.0%とする。

試験・検査一覧

工事完成に際しては、各種試験、検査に合格の責任を持つ。

検査及び試験を行うべき機材等は標準仕様書による他下記の項目とする。

受変電機器 動力盤及び電灯盤 耐圧試験 絶縁抵抗測定 接地抵抗測定 機器機能試験 その他監督職員の指示するもの

工事着手に際し、事前に必要な機器（照明機器、空調機器、放送設備等）の機能確認を行い、確認結果報告書を提出する。

工事着工前に既設照明器具で床面照度を測定し、完成後の照度と比較する。（照度測定箇所は監督職員の指示する箇所とする。）

工事完成後、空調室外機の機能・調整確認を行い、確認結果報告書を提出する。

着工前・工事完成後、放送機器の機能・調整確認を行い、確認結果報告書を提出する。

後施工アソカ-の施工確認試験（引張試験機による引張試験）は、1日の施工本数の3%以上かつ3本以上とする。

例 盤・ケ-ブルラック・ケ-ブルダクト等

その他

試験機器類の校正記録を提出する。

停電工事の必要な時は、当該高圧受電設備の電気主任技術者と協議し、打合せ記録を提出する。

尚、電気主任技術者の立会費用は本工事に含む。

工事に係る申請手続き費、消防設備竣工検査費、高圧電気設備検査等の竣工に必要な費用は本工事に含む。

分電盤等の端子接続部施工管理手順は、電気設備工事監視指針（令和7年度版）の資料5（P1172）に基づき施工する。

鉄筋コンクリ-トをダイヤドリル等で貫通する時は、鉄筋探査機で開口位置を確認する。

整備不良の電動工具等持ち込まない。

構外搬出適切産廃処分とする（電線、電線管、器具、管球等報告書を提出する）。

交通誘導員は大型機器搬入時及び監督職員が必要と指示した時は、安全確保のため交通誘導員を2名以上配置する。

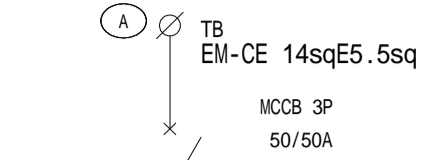
カラーコーン、コーンウェイト、コーンバーにて囲いながら掘削する。

機器取付高さ（参考寸法の為、盤の寸法・取付位置は監督員と協議する。）

名称	測点	取付高 (mm)	名称	測点	取付高 (mm)
取引用計器	地上-上端	2,000	電話	端子盤	床下-上端 1,900
引込開閉器	〃	1,800		保安器函	天井下-上端 200
				壁付位置ボックス	床下-中心 300
動力	壁掛型制御盤	床下-上端 1,900	拡声・時計	〃（和室）	〃 150
	手元開閉器	床下-中心 1,500		壁掛スピーカー	天井下-上端 200
	操作スイッチ	〃 1,300		アッテネーター	床下-中心 1,300
電灯	分電盤	床下-上端 1,900	インターホン	壁掛型親時計	床下-上端 1,900
	スイッチ（一般）	床下-中心 1,300		子時計	天井下-上端 200
	〃（身障者便所）	〃 900		壁掛インターホン	床下-中心 1,500
	コンセント（一般）	〃 300	〃（身障者）	〃 1,100	
	〃（和室）	〃 150	壁付位置ボックス	〃 300	
	〃（台上）	台上-中心 300	〃（和室）	〃 150	
	〃（土間）	床下-中心 1,300	テレビ共聴	機器収納函	天井下-上端 200
	ブラケット（一般）	〃 2,100		直列ユニット	床下-中心 300
	〃（踊場）	〃 2,500		〃（和室）	〃 150
	〃（鏡上）	鏡上端-中心 150			

株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣（ ） 交付番号（ ）	名称 小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. E-02
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した 大臣（ ） 交付番号（ ）	図名 電気設備工事特記仕様書 2	縮尺 A2: - A3: -

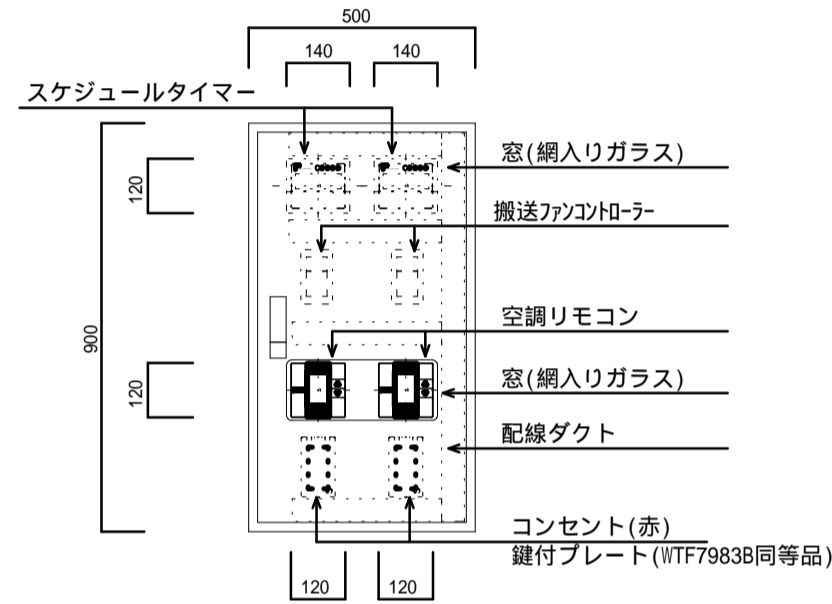
1 3W 105/210V 下部角部分にクッションガード取付



負荷名称	負荷容量 (VA)	分岐回路開閉器	電圧 (V)	回路記号	回路No	回路No	回路記号	電圧 (V)	分岐回路開閉器	負荷容量 (VA)	負荷名称
空調室外機電源	1260	ELCB 2P 50/30A	200		1	2		200	ELCB 2P 50/30A	1260	空調室外機電源
空調室内機電源	861	ELCB 2P 50/20A	200		3	4		200	ELCB 2P 50/20A	861	空調室内機電源
予備		ELCB 2P 50/20A	100		5	6		100	ELCB 2P 50/20A		予備
予備		ELCB 2P 50/20A	100		7	8		100	ELCB 2P 50/20A		予備

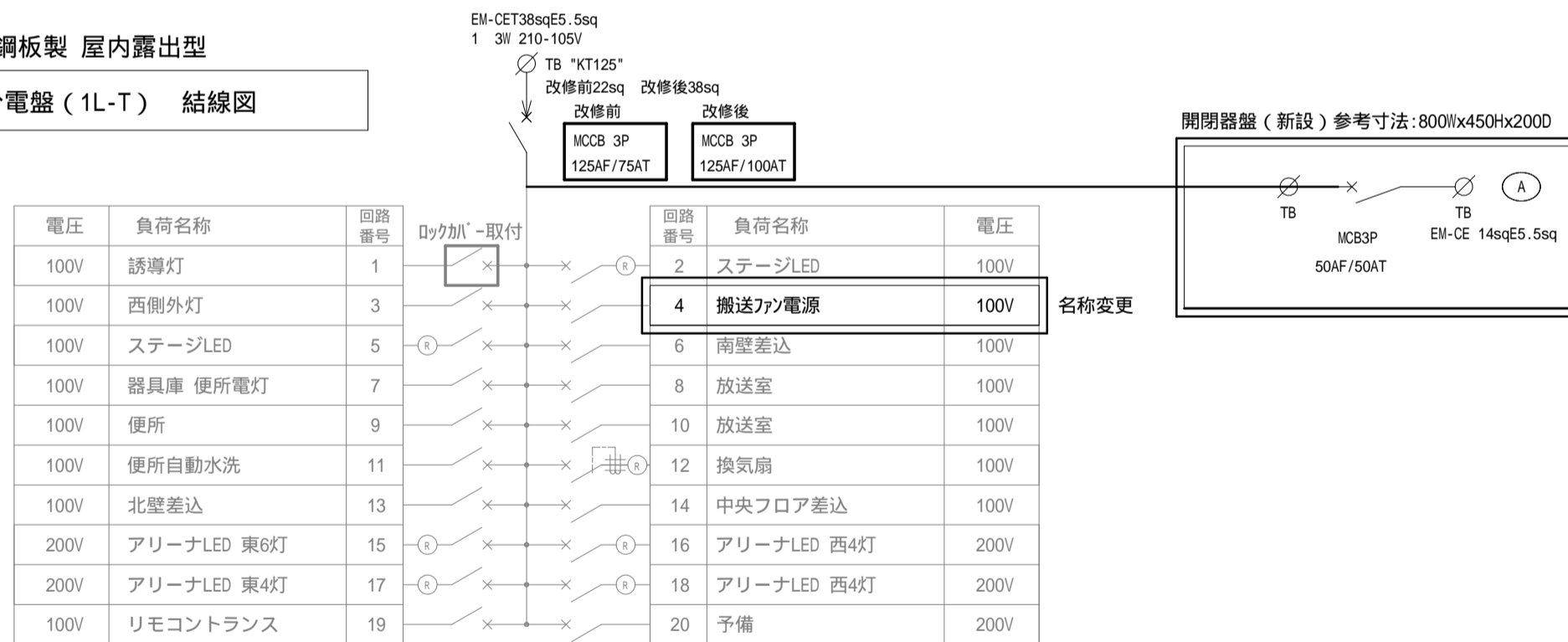
⊙ E_D ⊙ E_D(ELB)

下部角部分にクッションガード取付



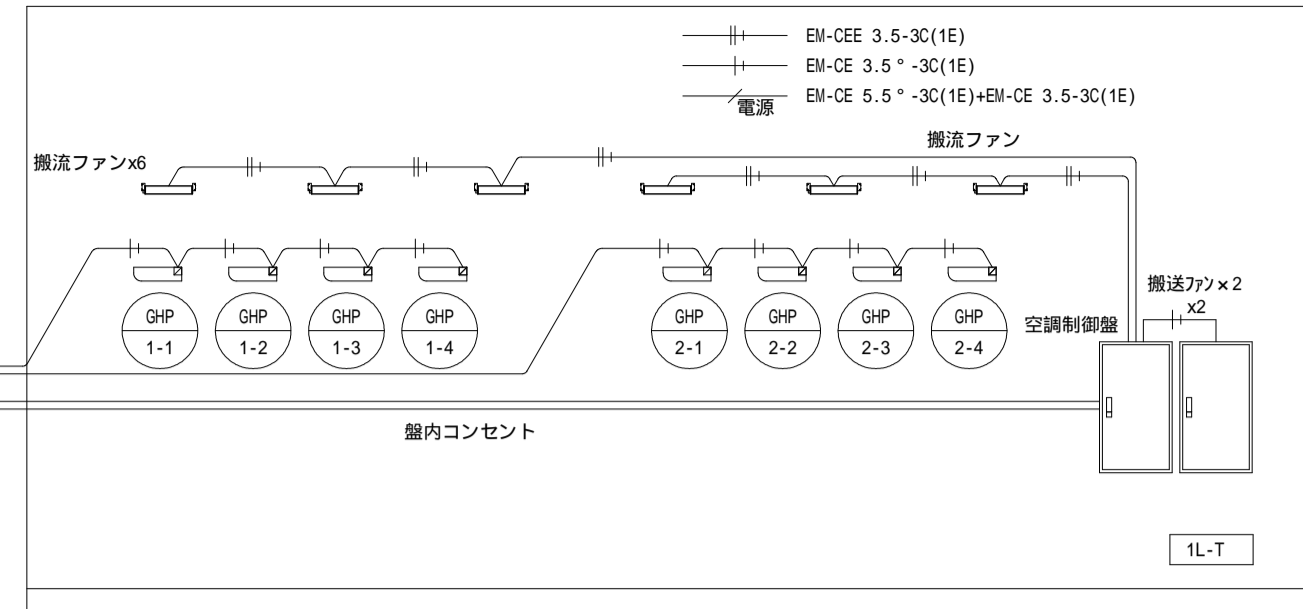
収納機器 非常用コンセントはアラで表記すること

名称	概要	備考
スケジュールタイマー(空調機用)	1種金属線び用ボックスに取付	
搬送ファンコントローラ	1種金属線び用ボックスに取付	
リモコン(空調機用)	1種金属線び用ボックスに取付	
コンセント(赤)	1種金属線び用ボックスに取付	2P15Ax2Ex 2 (確認プラグ付)W1318SRK同等品
配線ダクト		NDB56同等品

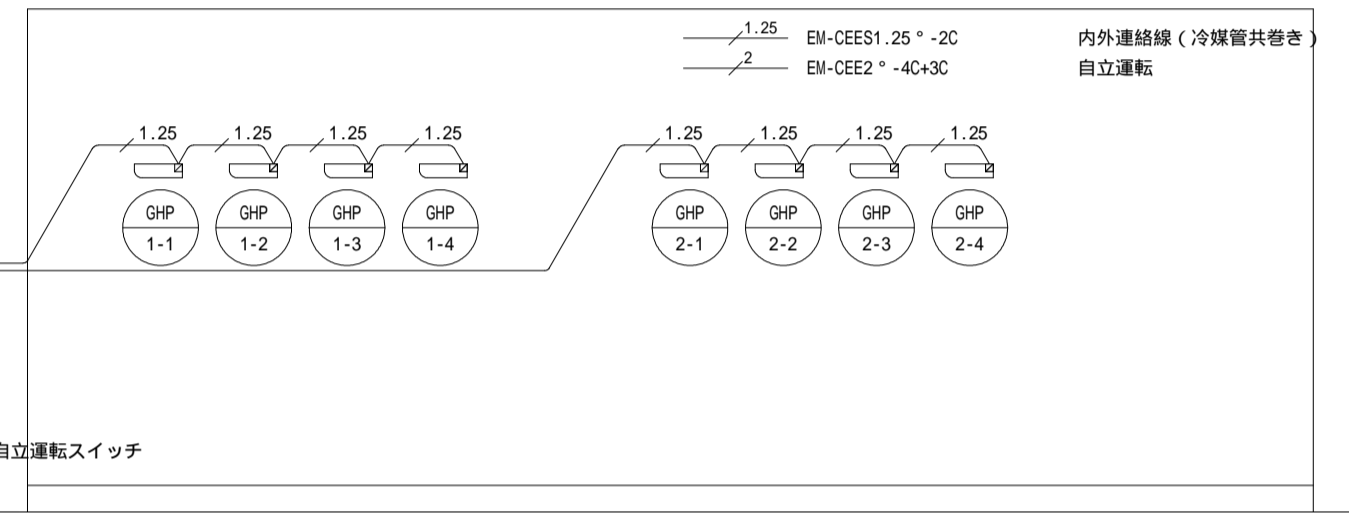


電圧	負荷名称	回路番号	クッションガード取付	回路番号	負荷名称	電圧
100V	誘導灯	1	×	2	ステーションLED	100V
100V	西側外灯	3	×	4	搬送ファン電源	100V
100V	ステーションLED	5	×	6	南壁差込	100V
100V	器具庫 便所電灯	7	×	8	放送室	100V
100V	便所	9	×	10	放送室	100V
100V	便所自動水洗	11	×	12	換気扇	100V
100V	北壁差込	13	×	14	中央フロア差込	100V
200V	アリーナLED 東6灯	15	×	16	アリーナLED 西4灯	200V
200V	アリーナLED 東4灯	17	×	18	アリーナLED 西4灯	200V
100V	リモコントランス	19	×	20	予備	200V

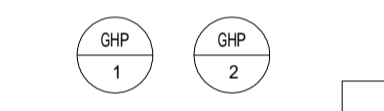
- M.S: MCCB 3P125/75AT x1 リモコントランス x1
 B.S: MCCB 2P50/20AT x5 (200V) リモコンアラ: 2P20A x7
 B.S: MCCB 2P50/20AT x14 (100V)
 B.S: ELCB 2P50/20AT x1 (100V)



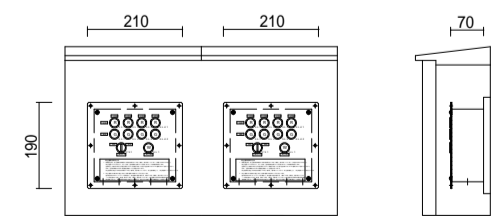
空調電源系統図

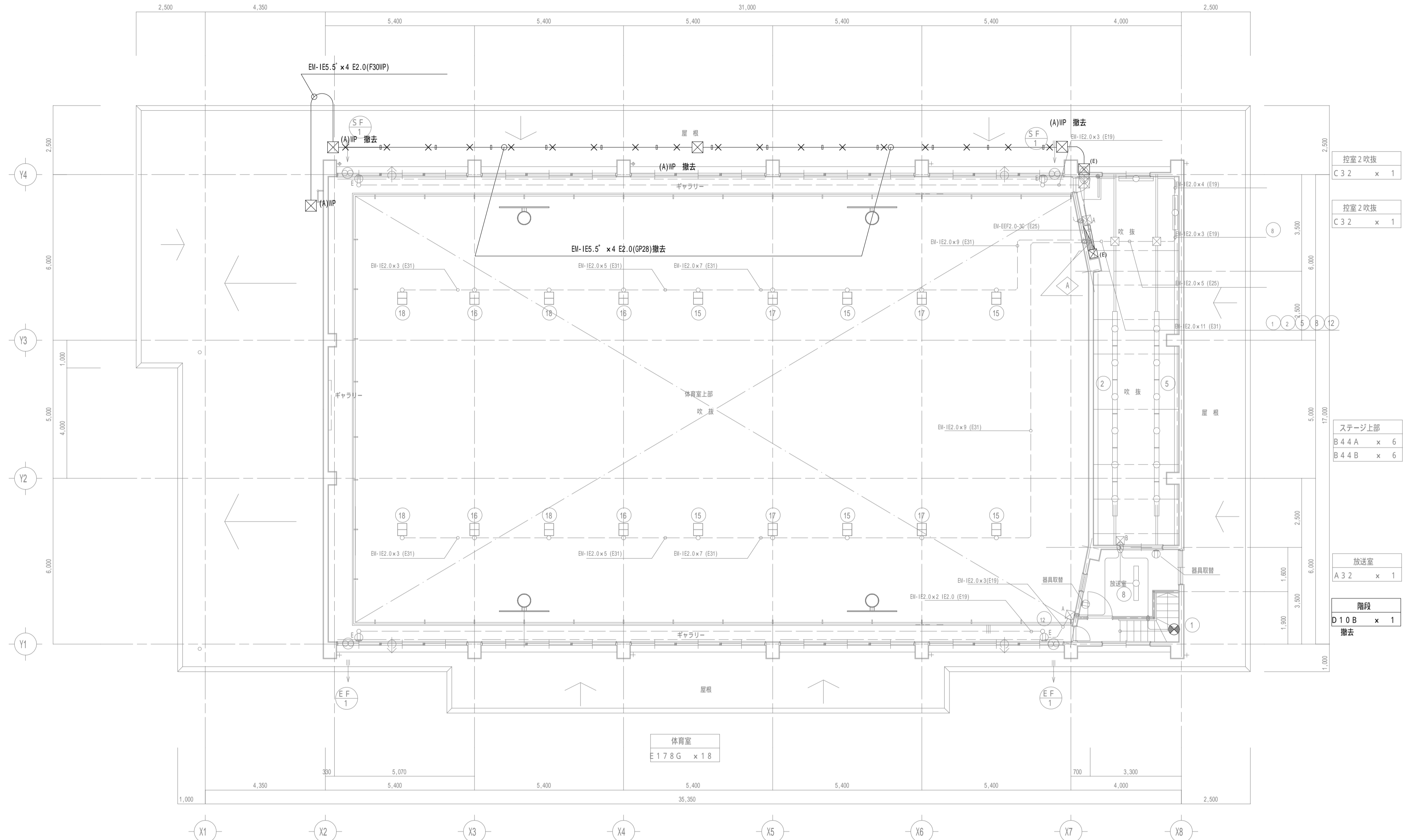
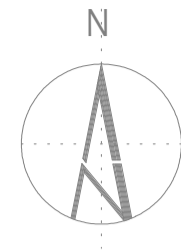


空調計装系統図



名称	概要	備考
自立運転スイッチ(停電用)	A O B 5 6 0 L (同等品)	





控室2吹抜
C32 x 1

控室2吹抜
C32 x 1

ステージ上部
B44A x 6
B44B x 6

放送室
A32 x 1

階段
D10B x 1
撤去

体育室
E178G x 18

改修前 2階平面図 1/100

凡例	記号	摘要	備考
	○	照明器具	既設
	□	照明器具	既設
	⊗	誘導灯・標識	撤去
	⊕	コンセント	既設
	⊗	有圧換気扇	既設

凡例	記号	摘要	備考
	●	埋込スイッチ 1P 15A x 1	
	○	1' 10'トランプ	
	●	埋込スイッチ 1P 4A x 1 1' 10'トランプ付	
	⊗(A)	P,BOX SS 150 x 150 x 100 SUS	WPは防水仕様
	⊗(D)	P,BOX SS 200 x 200 x 200 SUS	WPは防水仕様
	⊗(E)	P,BOX SS 300 x 300 x 300 SUS	
	⊗	RC壁貫通 50	
	⊗	ジョイントボックス	

薄標記の機器・配線は現状のままとする

注) 記載なき配管配線は下記の通り

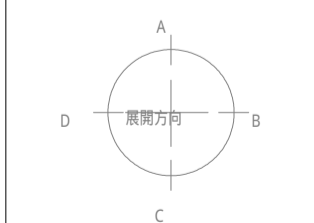
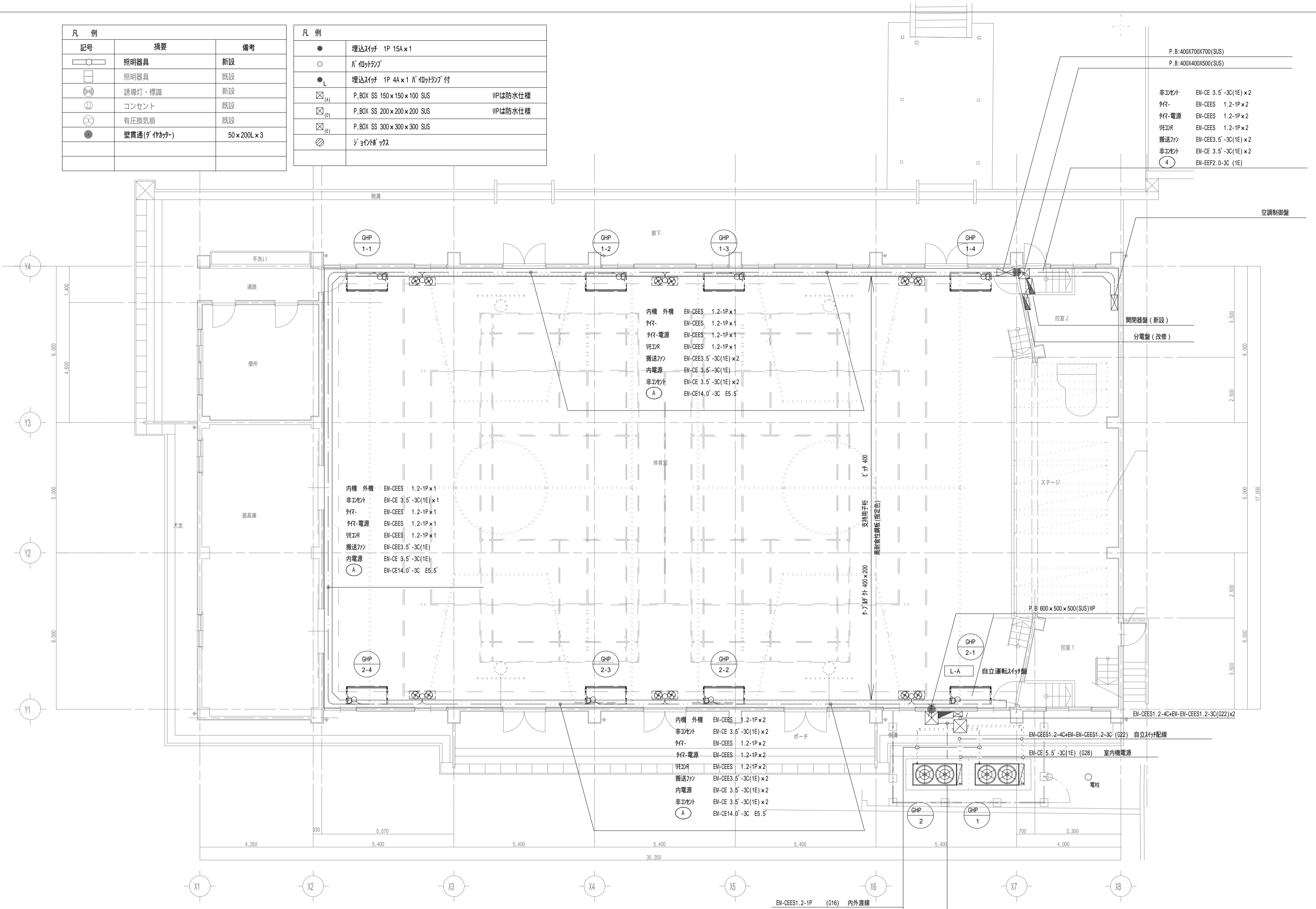
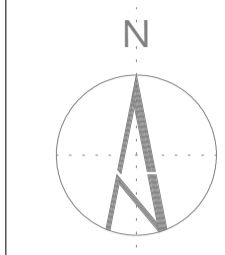
---	IE 2.0 - 2 (E19)
---	IE 2.0 - 2E2.0 (E19)

株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大庄 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. E-04
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号 ()	図名 改修前 2階平面図	縮尺 A2: 1/100 A3: -

凡例	記号	概要	備考
	○	照明器具	新設
	□	照明器具	既設
	⊗	誘導灯・標識	新設
	⊕	コンセント	既設
	⊖	有圧換気扇	既設
	●	壁貫通(ダクト)	50 x 200L x 3

凡例	記号	概要	備考
	●	埋込スイッチ 1P 15A x 1	
	○	1P 100Vプラグ	
	●	埋込スイッチ 1P 4A x 1 1P 100Vプラグ付	
	⊗(A)	P. BOX SS 150 x 150 x 100 SUS	WPは防水仕様
	⊗(B)	P. BOX SS 200 x 200 x 200 SUS	WPは防水仕様
	⊗(E)	P. BOX SS 300 x 300 x 300 SUS	
	⊗	30Vケーブル	

		P. B: 400X700X700(SUS)
		P. B: 400X400X500(SUS)
非コンセント	EM-CE 3.5'-3C(1E) x 2	
タイラ	EM-CEES 1.2-1P x 2	
タイラ電源	EM-CEES 1.2-1P x 2	
タイラ	EM-CEES 1.2-1P x 1	
搬送ファン	EM-CEES 5'-3C(1E) x 2	
非コンセント	EM-CE 3.5'-3C(1E) x 2	
4	EM-EEF2.0-3C (1E)	



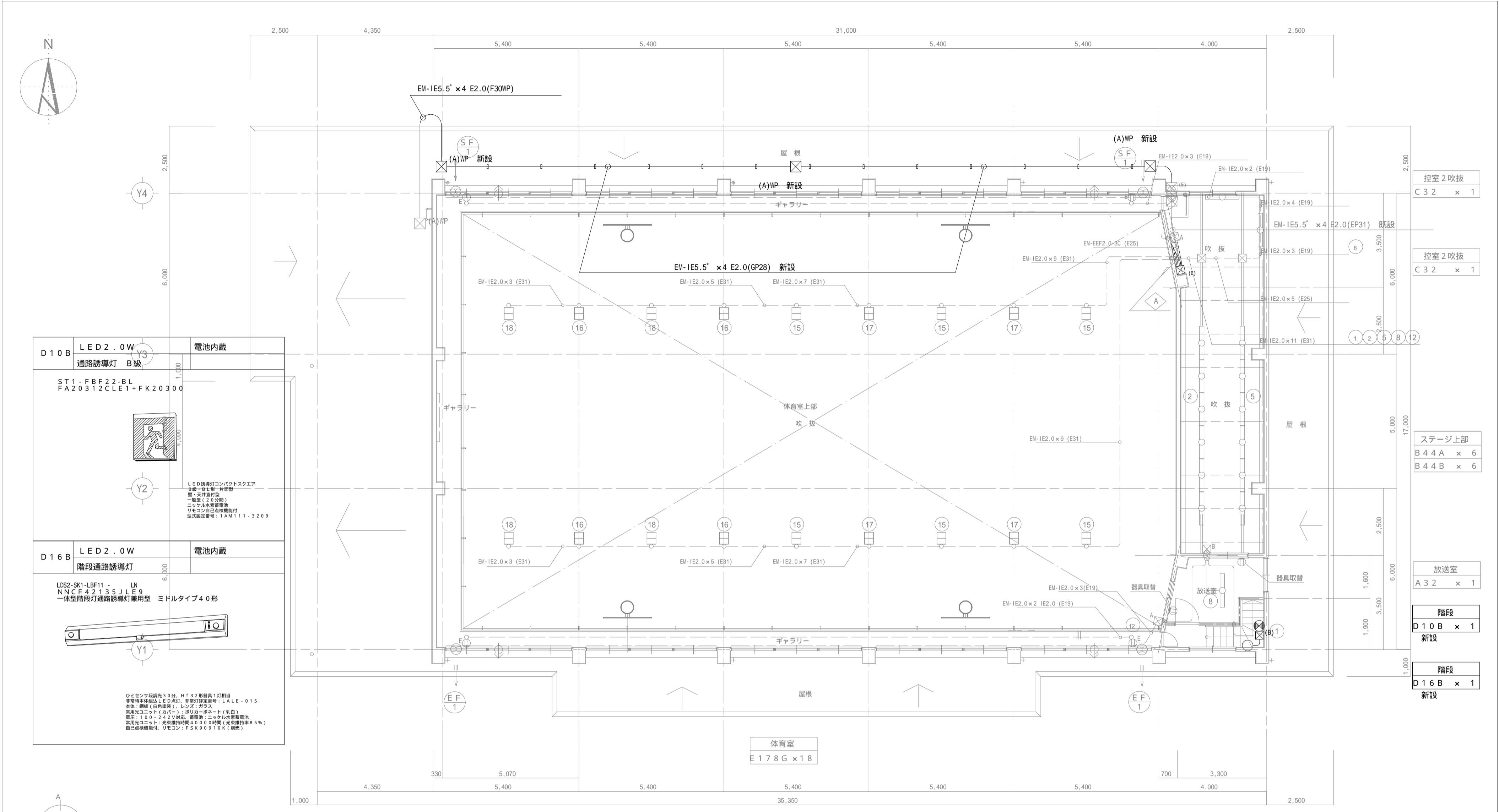
改修 1階平面図 1/100

EM-CEES1.2-1P (G16) 内外渡線
 EM-CE 3.5'-3C(1E)x2 (G36) 室内機電源(1・2次側)
 EM-CE 3.5'-3C(1E)x1 (G22) 非常用コンセント

EM-CEES 1.2-1P x 2 (G16) 内外渡線
 EM-CE 3.5'-3C(1E)x2 (G28) 非常用コンセント
 EM-CE 3.5'-3C(1E)x2 (G36) 室内機電源(1・2次側)
 EM-CE 3.5'-3C(1E)x2 (G36) 室内機電源(1・2次側)
 EM-CE 5.5'-3C(1E) (G28) 室外機電源
 EM-CE 5.5'-3C(1E) (G28) 室外機電源

室内機(1-1)(2-1)にタイラ1・タイラ電源を接続する。

株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大原 ()	構造設計 一級建築士登録 大原 ()	名称 小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. E-05
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した	構造設計/設備設計 一級建築士登録 大原 ()	図名 改修後 1階平面図	縮尺 A2: 1/100 A3: -



D10B	LED 2.0W	電池内蔵
通路誘導灯 B級		
ST1-FBF22-BL FA20312CLE1+FK20300		
<p>LED誘導灯コンパクトスクエア 形状・色七種一貫型 ■天球兼付型 一般型(20分間) ニッケル水素蓄電池 リモコン自立検出機能付 型式認定番号: 1AM111-3209</p>		
D16B	LED 2.0W	電池内蔵
階段通路誘導灯		
LDS2-SK1-LBF11 - LN NNCF42135JLE9 一体型階段通路誘導灯兼用型 ミドルタイプ40形		
<p>ひとセンサー検出光30分、Hf32形器具1灯相当 非常時本体発光LED色灯、非常時灯定電圧: LALE-015 本体: 鋼板(白色塗装)、レンズ: ガラス 常用光ユニット(カバー): ポリカーボネート(乳白) 電圧: 10.0 - 24.2V対応、蓄電池: ニッケル水素蓄電池 常用光ユニット: 光束維持時間4000時間(光束維持率85%) 自立検出機能付、リモコン: FSK90910K(別売)</p>		

- 控室2吹抜
C 3 2 × 1
- 控室2吹抜
C 3 2 × 1
- ステージ上部
B 4 4 A × 6
B 4 4 B × 6
- 放送室
A 3 2 × 1
- 階段
D 1 0 B × 1
新設
- 階段
D 1 6 B × 1
新設

改修前 2階平面図 1/100

凡例	記号	概要	備考
	○	照明器具	新設
	□	照明器具	既設
	⊗	誘導灯・標識	新設
	⊕	コンセント	既設
	⊗	有圧換気扇	既設
	●	壁貫通(グイカッター)	50×200L×3

凡例	記号	概要	備考
	●	埋込スイッチ 1P 15A×1	
	○	1" 10ットアップ	
	●L	埋込スイッチ 1P 4A×1 1" 10ットアップ付	
	⊗(A)	P,BOX SS 150×150×100 SUS	WPIは防水仕様
	⊗(B)	P,BOX SS 200×200×100 SUS	WPIは防水仕様
	⊗(E)	P,BOX SS 300×300×300 SUS	
	⊗	ジョイントボックス	

薄標記の機器・配線は現状のままとする

注) 記載なき配管配線は下記の通り

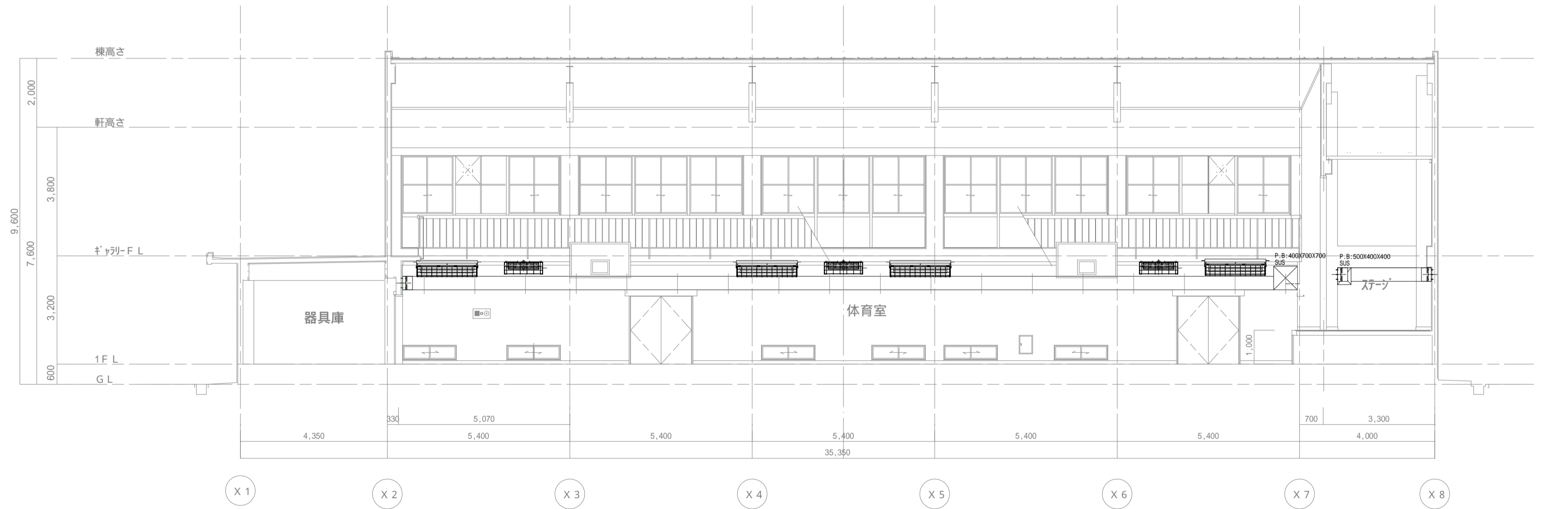
---	IE 2.0-2(E19)
---	IE 2.0-2E2.0(E19)

株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣()	構造設計 一級建築士登録 交付番号()	名称 小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. E-06
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した 大臣()	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号()	縮尺 A2: 1/100 A3: -	

改修図 体育室 A面 展開図



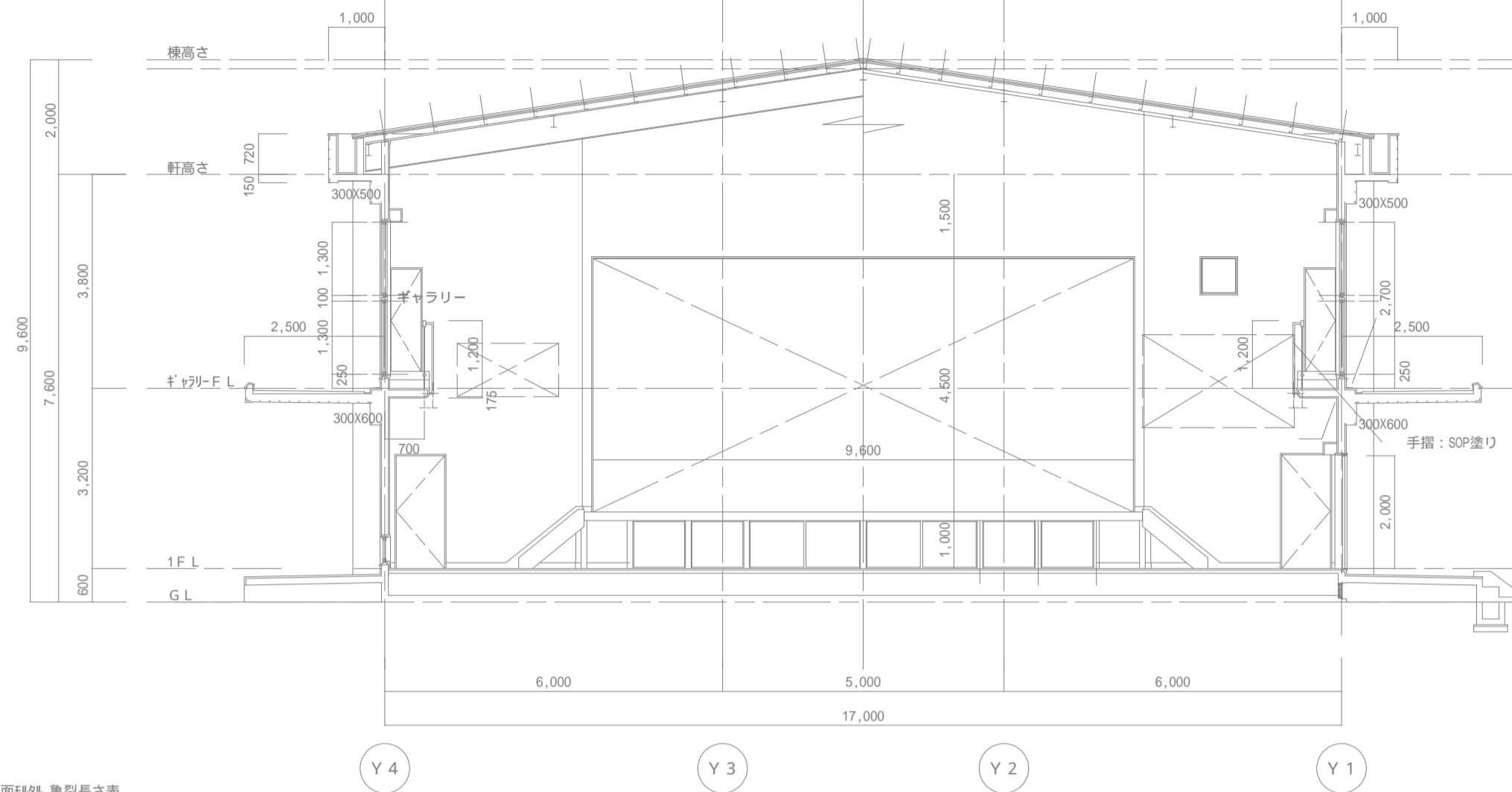
改修図 体育室 B面 展開図



株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第L39号	板橋 品一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 () 構造/設備関係規定 への適合を確認した	構造設計 一級建築士登録 大臣 () 構造設計/設備設計 一級建築士登録 大臣 ()	名称 小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事 図名 改修後 断面展開図-1	No. E - 07 縮尺 A2: 1/100 A3: -
---------------------------------	---------------------------	---	---	---	---

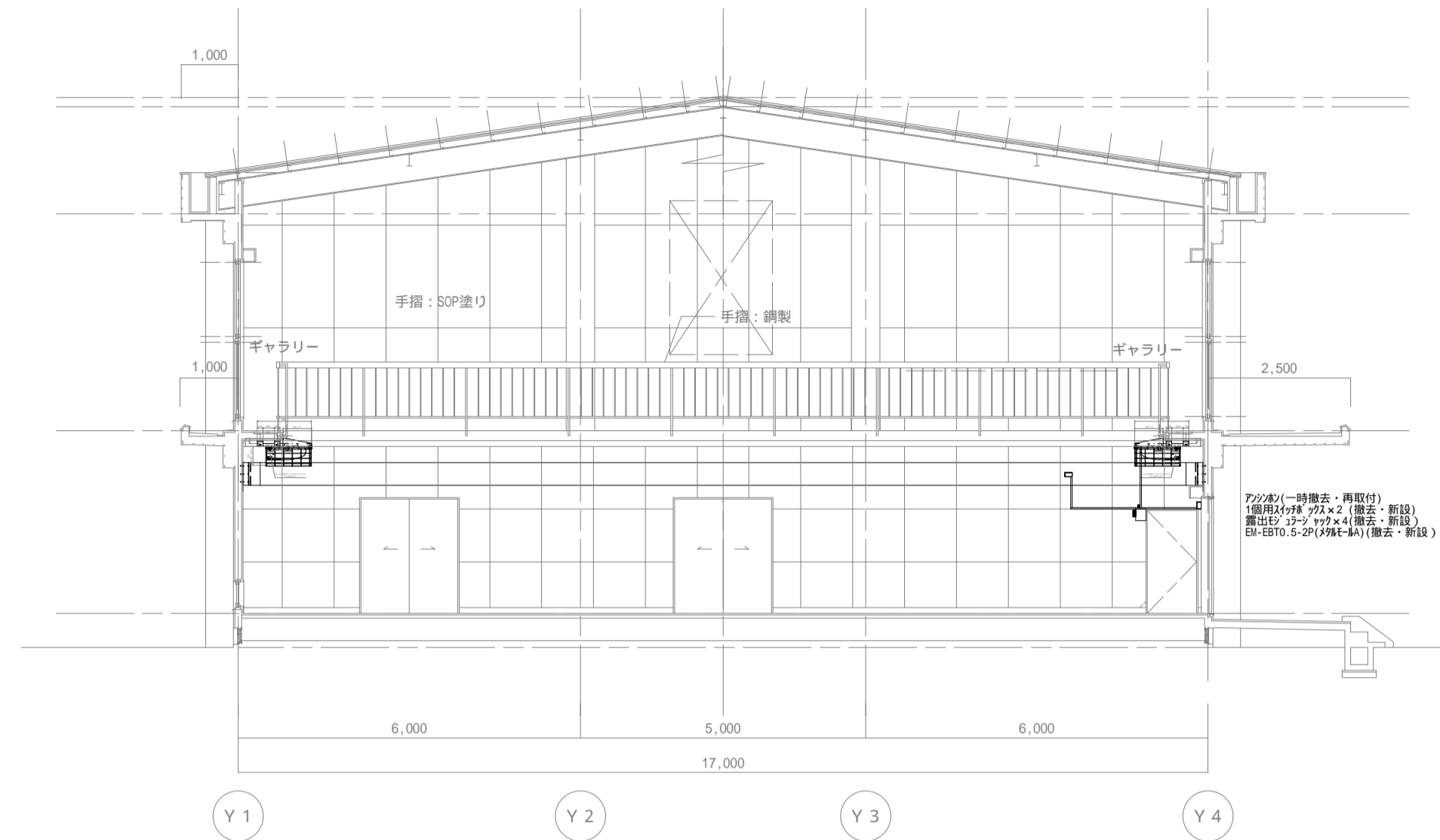
改修図

体育室 A面



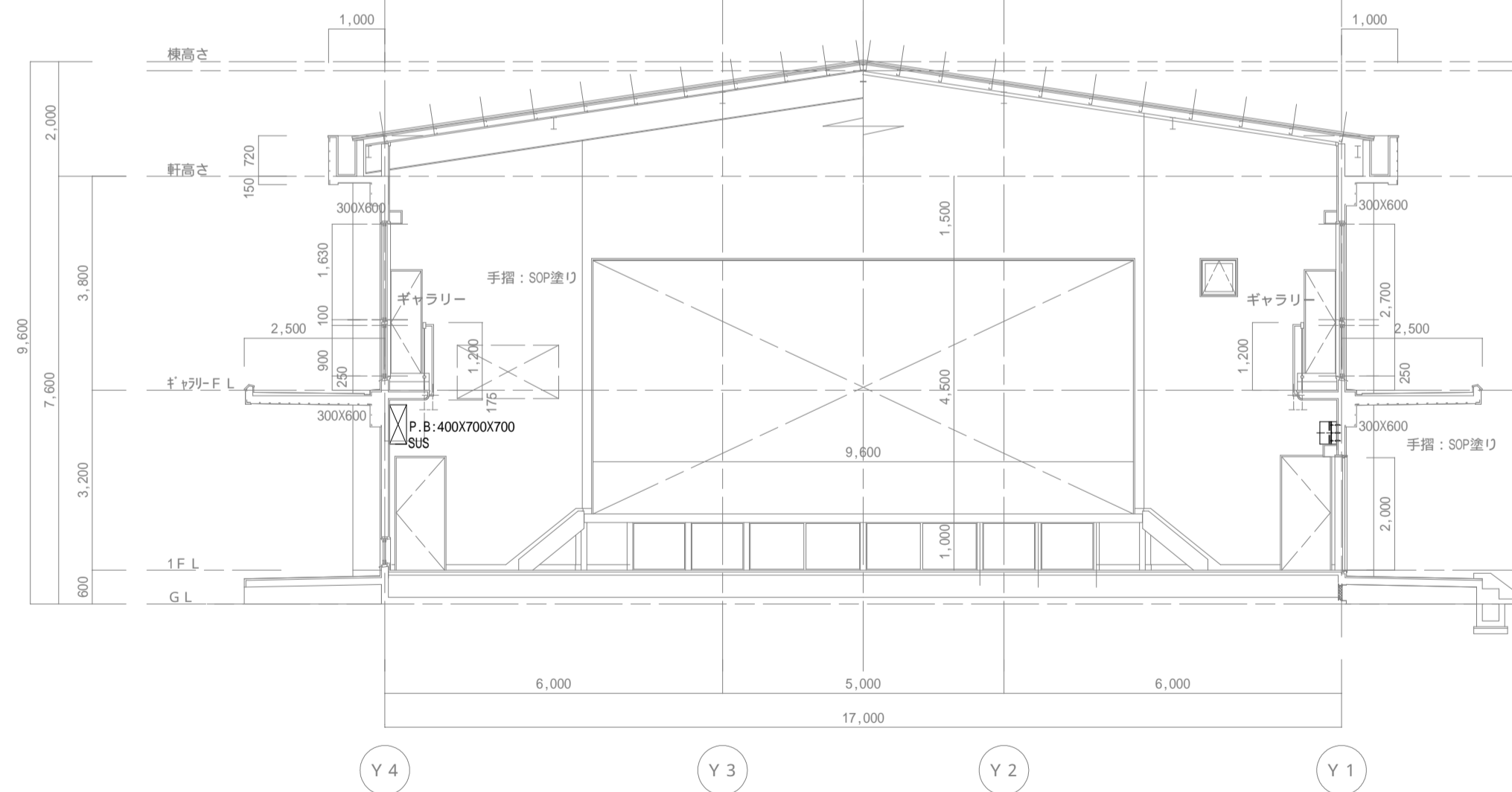
B面柱列 亀裂長さ表

a: 1.0m	計=2.4m
b: 1.4m	

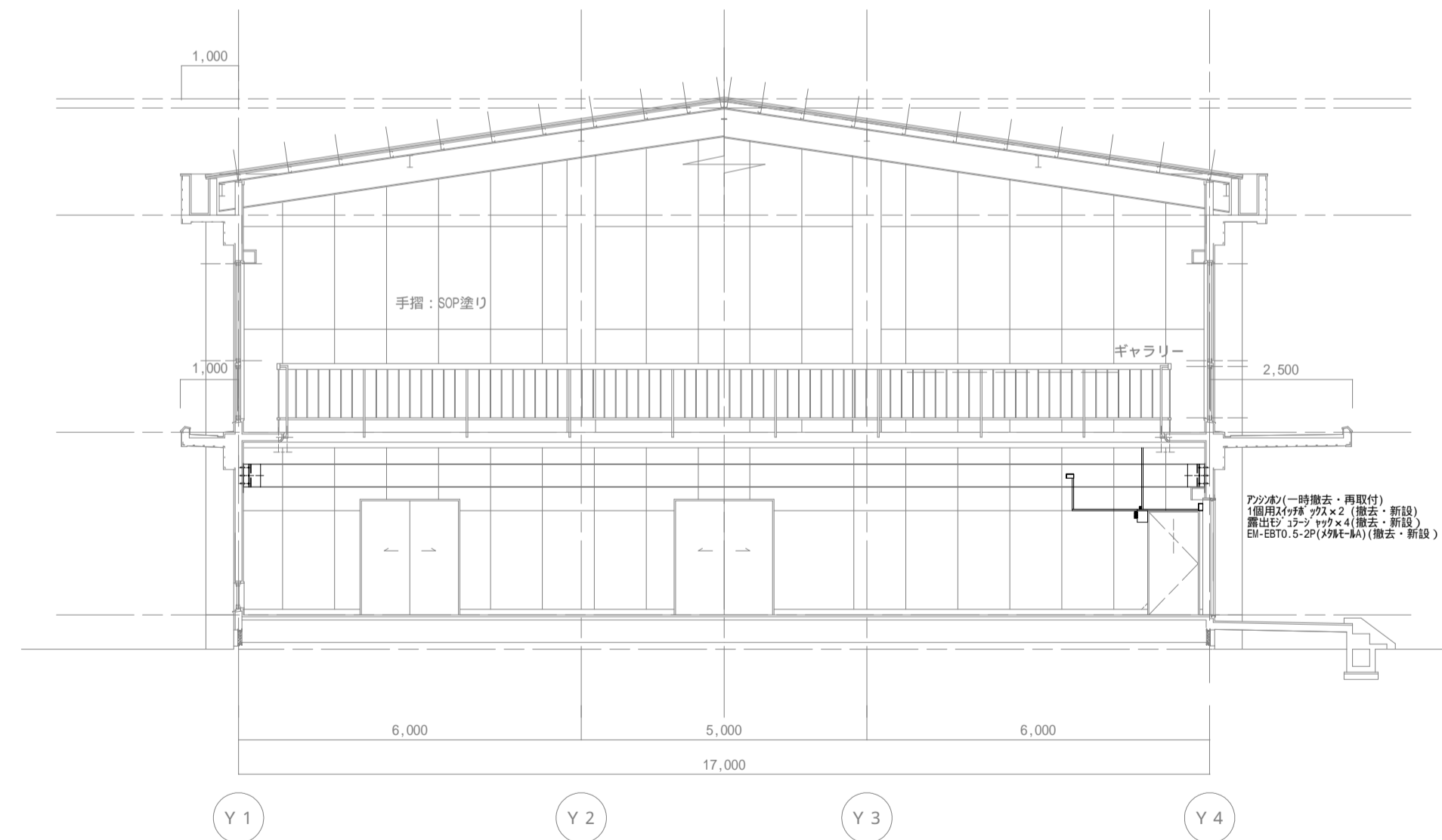


改修図

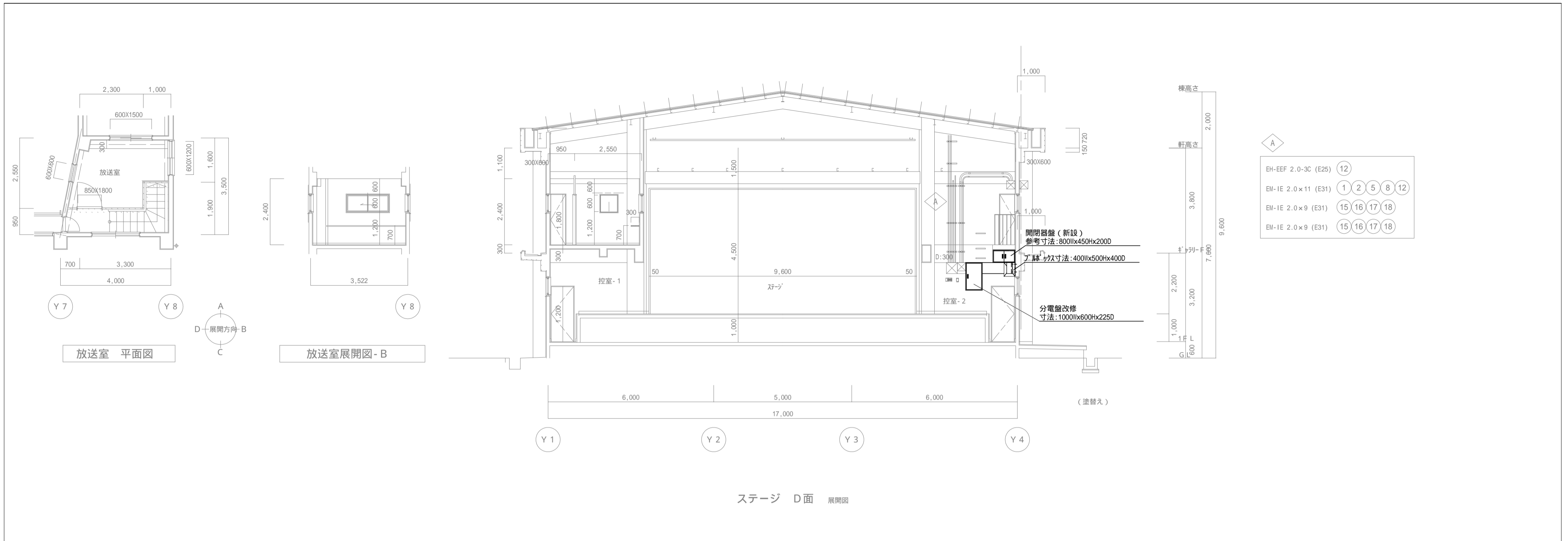
体育室 B面 展開図



体育室 D面 展開図



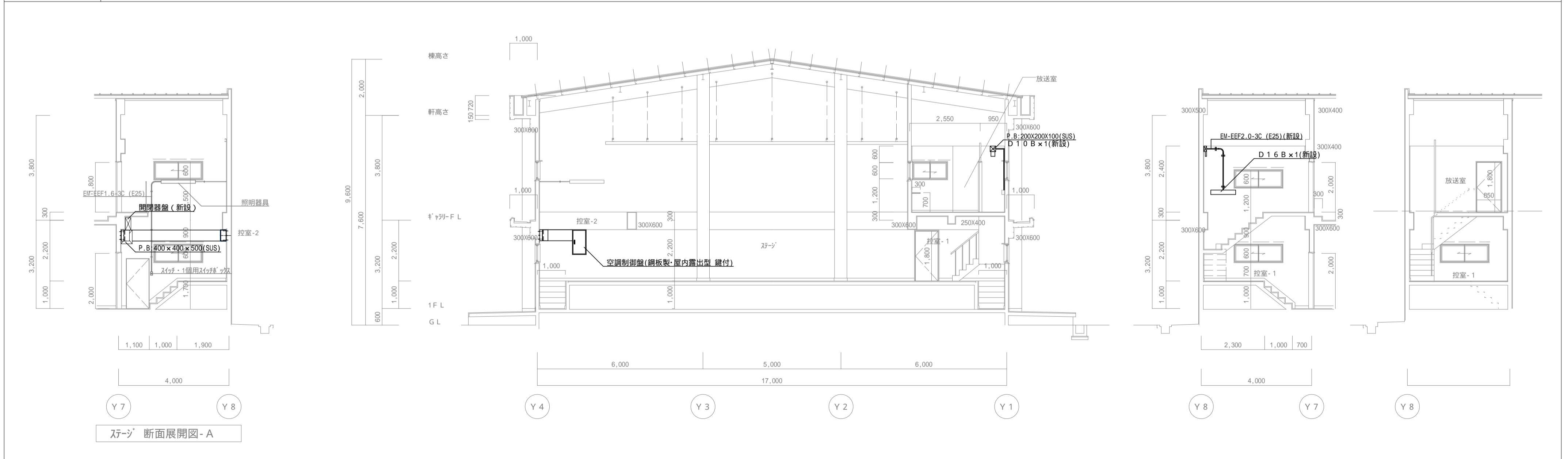
株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 品一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 () 交付番号 ()	構造設計 一級建築士登録 大臣 () 交付番号 ()	名称 小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. E-08
		構造/設備関係規定 への適合を確認した	構造設計/設備設計 一級建築士登録 大臣 () 交付番号 ()	図名 改修後 断面展開図-2	縮尺 A2: 1/100 A3: -



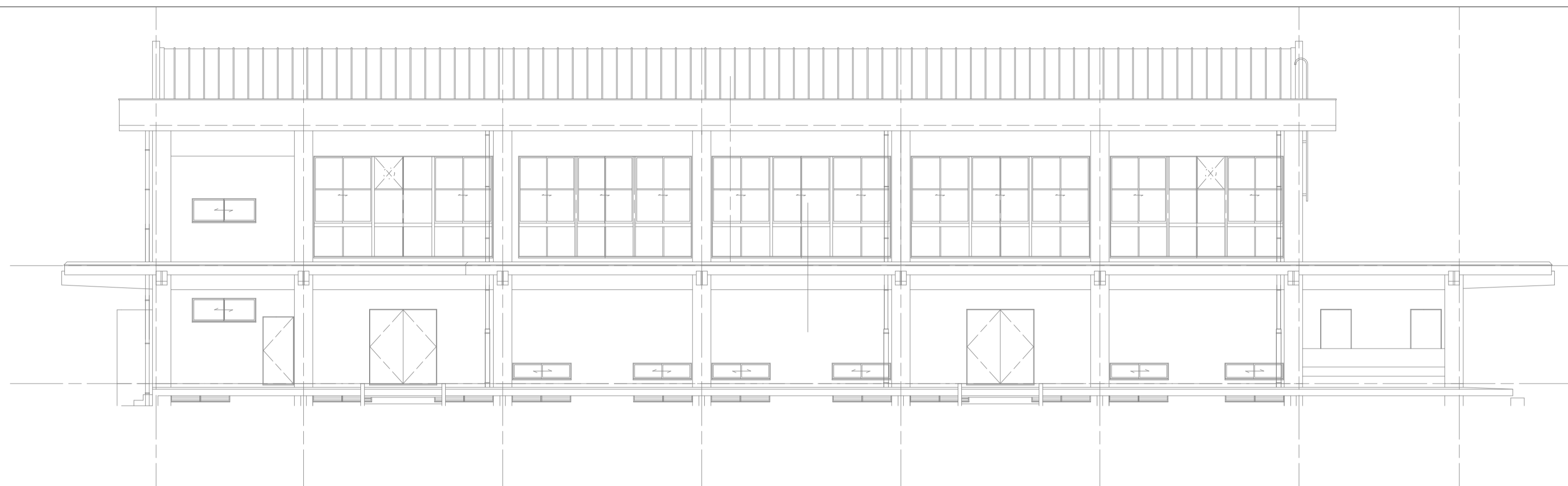
改修図 控室 - 2 A面 展開図

ステージ B面 展開図

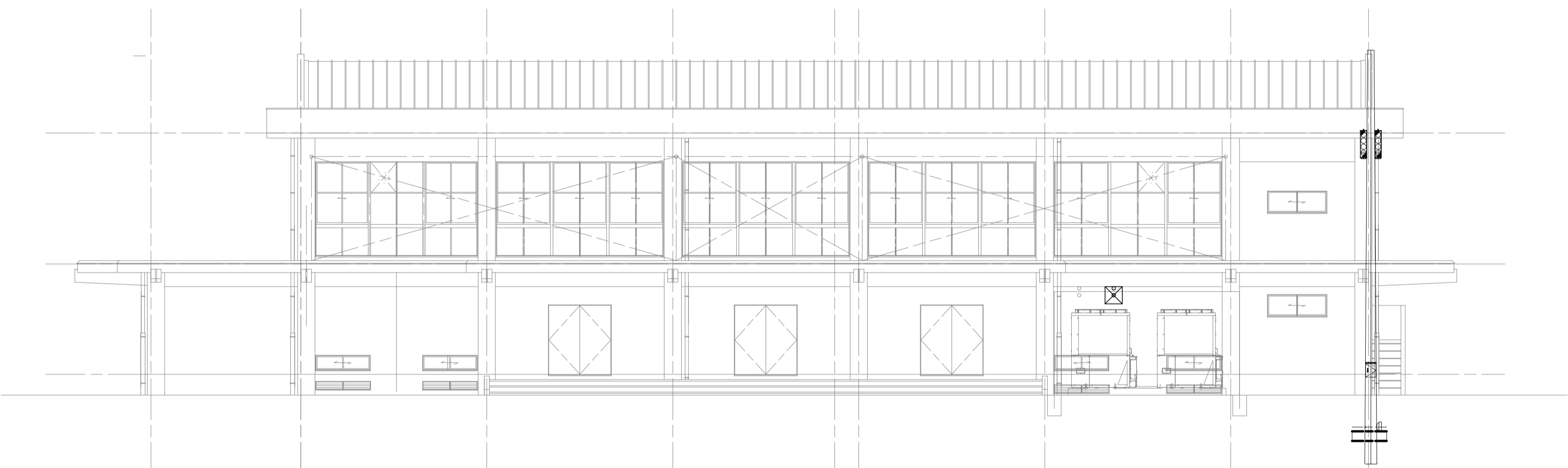
控室 - 1 C面 展開図




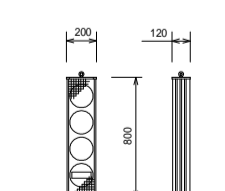
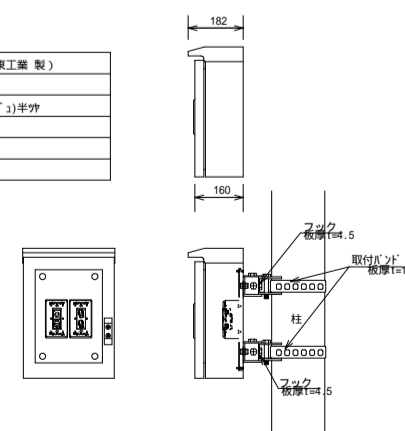
株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第L39号	板橋 品一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	名称 小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. E - 0 9
		構造/設備関係規定 への適合を確認した	構造設計/設備設計 一級建築士登録 大臣 ()	図名 改修後 断面展開図-3	縮尺 A2: 1/100 A3: -



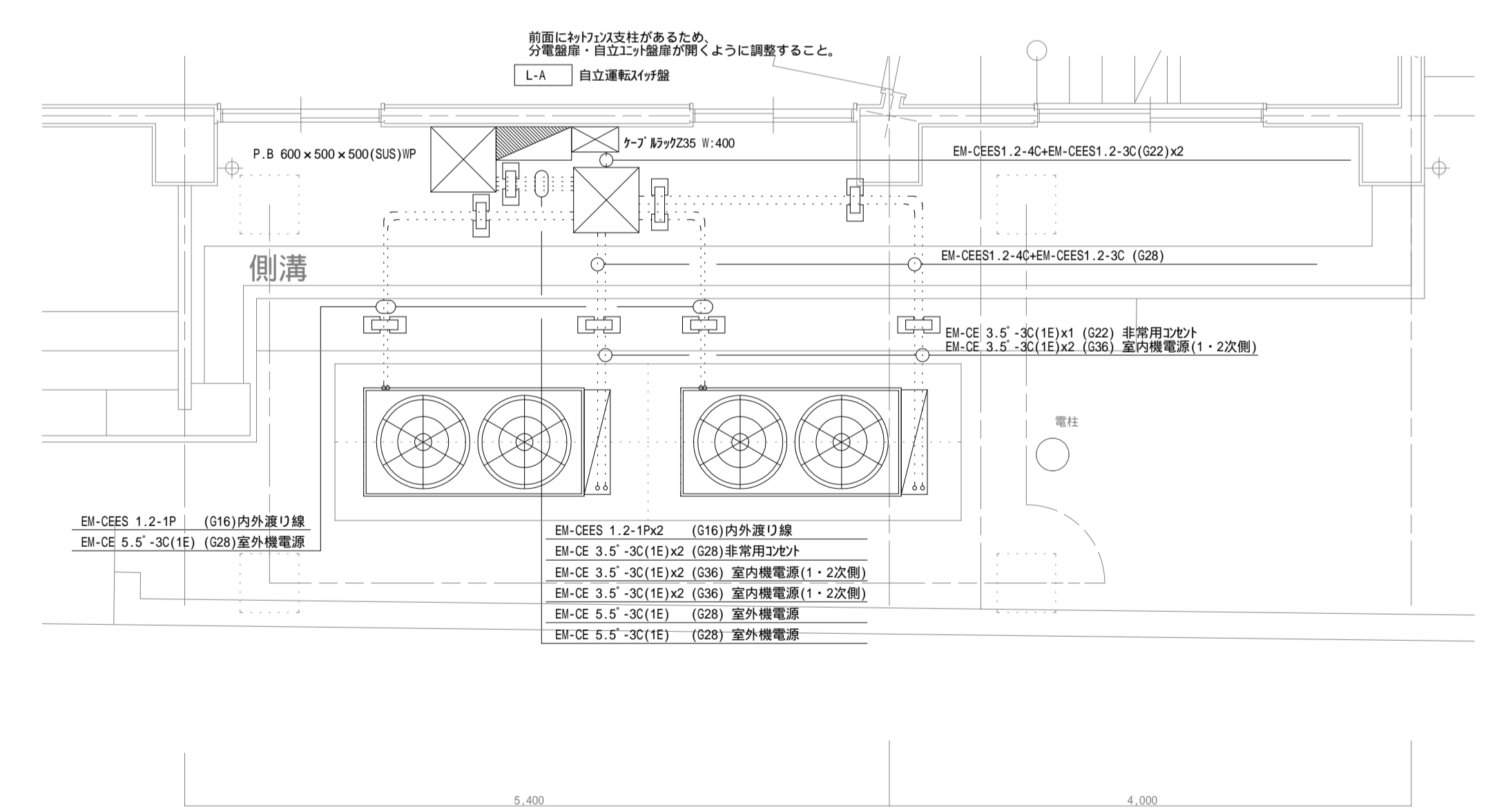
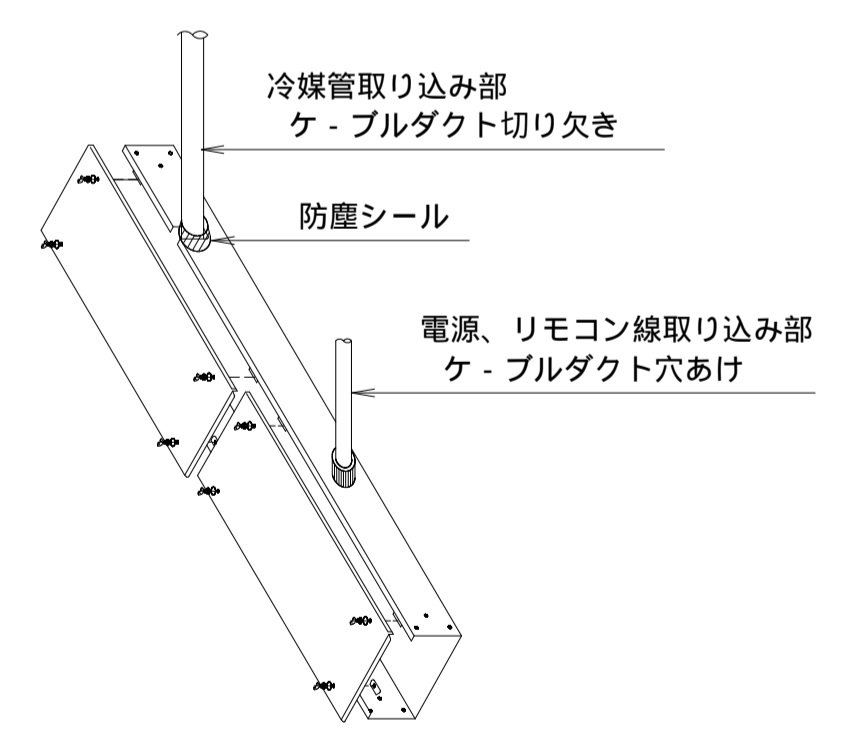
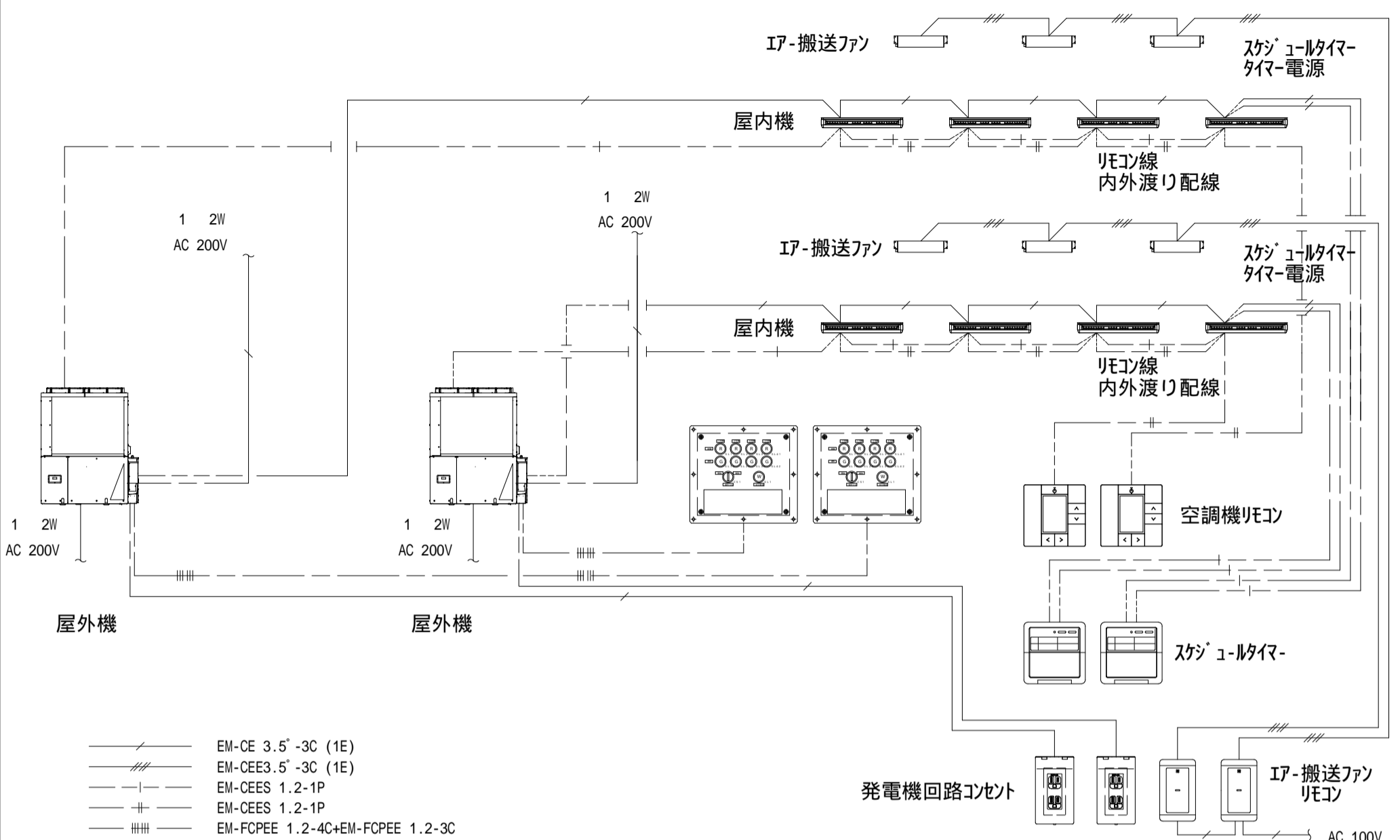
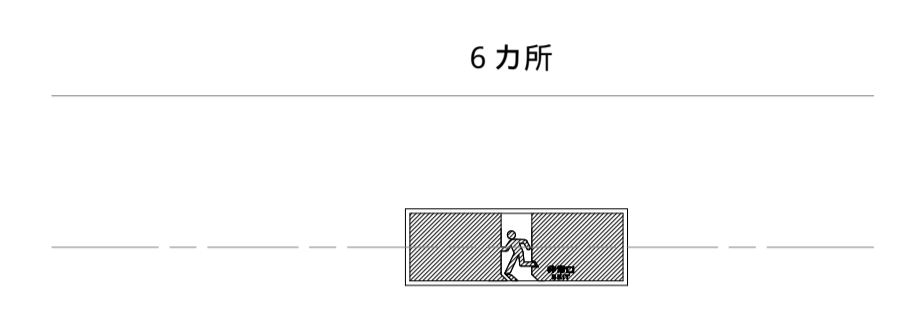
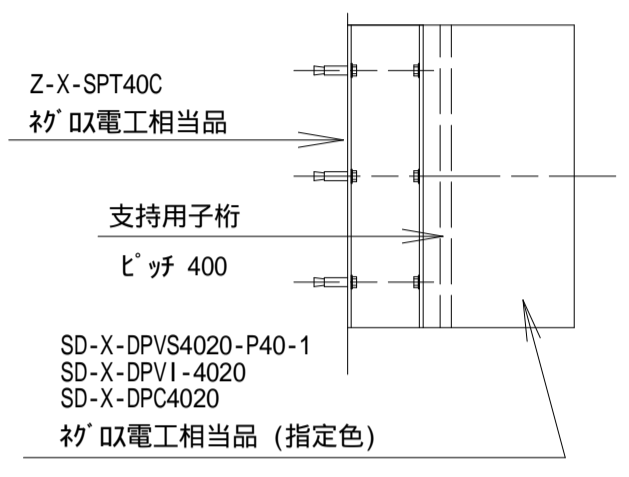
北立面図

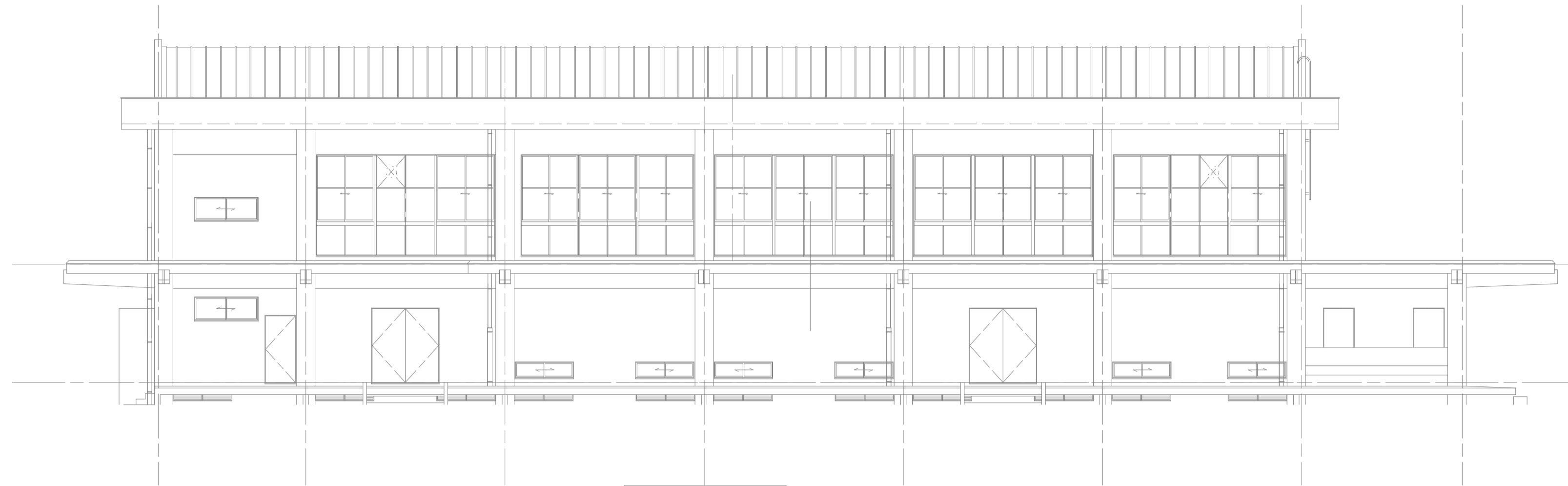


南立面図

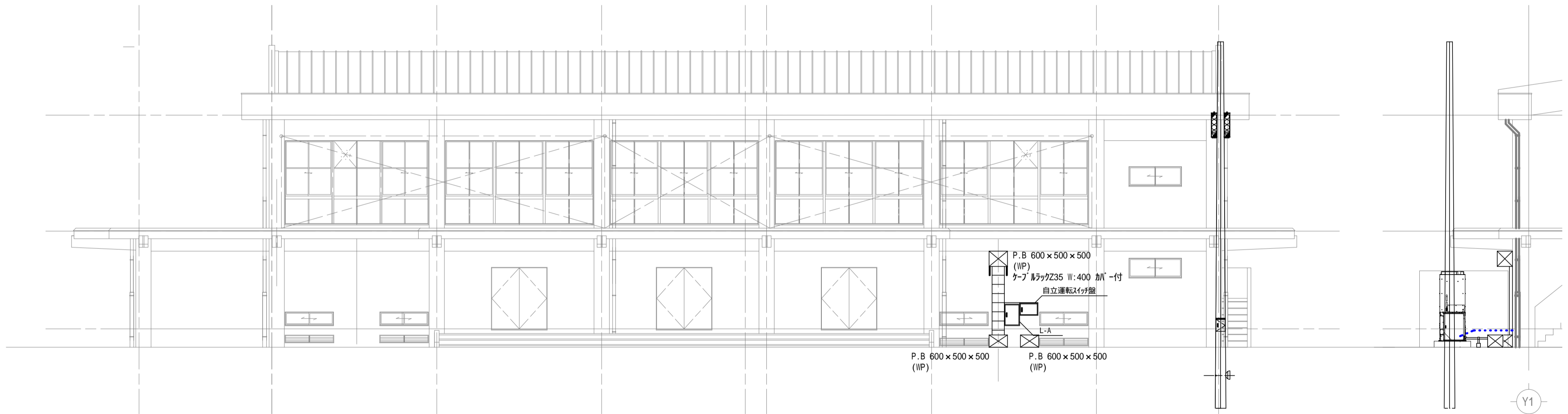
 アコースティックビームスピーカー (移設)	ビーター盤 (移設)																								
 <table border="1" data-bbox="1958 1795 2226 1890"> <tr><td>スピーカーユニット</td><td>18 cmダイナミック型 x4</td></tr> <tr><td>全高入り</td><td>20 x15 x10 (H/W/D) mm</td></tr> <tr><td>北方指向レベル</td><td>95 dB/1m (1kHz)</td></tr> <tr><td>周波数特性</td><td>130 - 10,000 Hz</td></tr> <tr><td>入力インピーダンス</td><td>500 Ω/70 Ω / 1 k Ω / 1.3 k Ω</td></tr> <tr><td>パワフル正電</td><td>パレンテックメタル</td></tr> </table>	スピーカーユニット	18 cmダイナミック型 x4	全高入り	20 x15 x10 (H/W/D) mm	北方指向レベル	95 dB/1m (1kHz)	周波数特性	130 - 10,000 Hz	入力インピーダンス	500 Ω/70 Ω / 1 k Ω / 1.3 k Ω	パワフル正電	パレンテックメタル	<table border="1" data-bbox="2433 1627 2671 1732"> <tr><td>ボックス</td><td>SOR16-34 (日東工業 製)</td></tr> <tr><td>ボデー ドア</td><td>SIS-304 11.5</td></tr> <tr><td>塗装色</td><td>S77/11(2付ノッ)半艶</td></tr> <tr><td>コネクタ</td><td>XL83-38777 x1</td></tr> <tr><td>入力インピーダンス</td><td>XL83-31877 x1</td></tr> <tr><td>AC電源</td><td>WH1162 x1</td></tr> </table> 	ボックス	SOR16-34 (日東工業 製)	ボデー ドア	SIS-304 11.5	塗装色	S77/11(2付ノッ)半艶	コネクタ	XL83-38777 x1	入力インピーダンス	XL83-31877 x1	AC電源	WH1162 x1
スピーカーユニット	18 cmダイナミック型 x4																								
全高入り	20 x15 x10 (H/W/D) mm																								
北方指向レベル	95 dB/1m (1kHz)																								
周波数特性	130 - 10,000 Hz																								
入力インピーダンス	500 Ω/70 Ω / 1 k Ω / 1.3 k Ω																								
パワフル正電	パレンテックメタル																								
ボックス	SOR16-34 (日東工業 製)																								
ボデー ドア	SIS-304 11.5																								
塗装色	S77/11(2付ノッ)半艶																								
コネクタ	XL83-38777 x1																								
入力インピーダンス	XL83-31877 x1																								
AC電源	WH1162 x1																								

株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第レ39号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 () 構造設計/設備設計 一級建築士登録 大臣 ()	名称 小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事 縮尺 A2: 1/100 A3: -
		構造/設備関係規定 への法適合を確認した	図名 改修後 室外機廻り立面図 No. E - 10





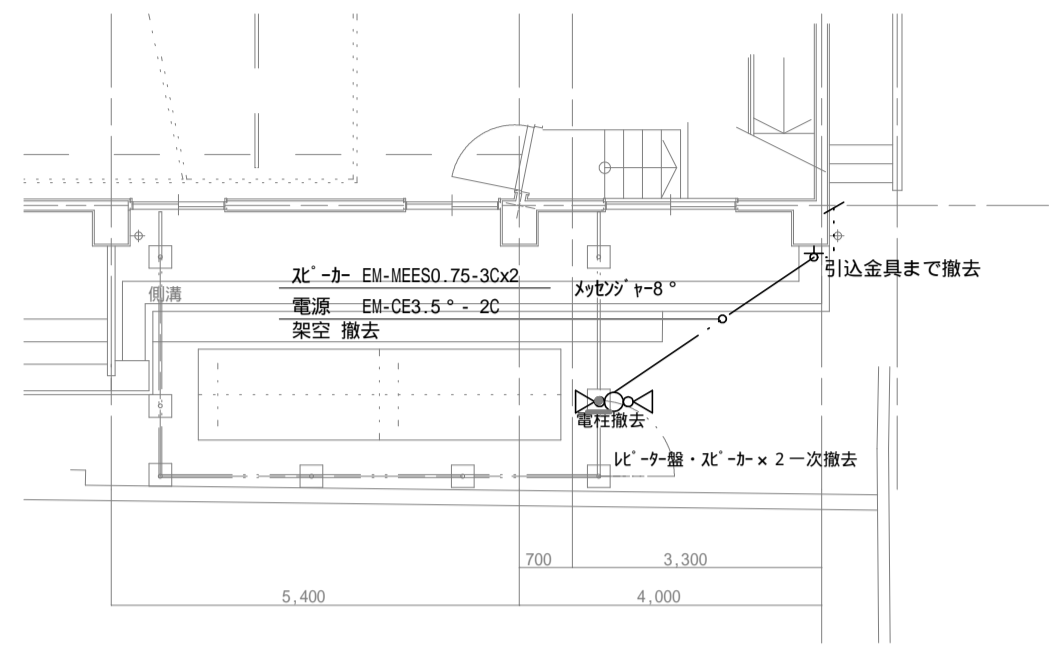
北立面図



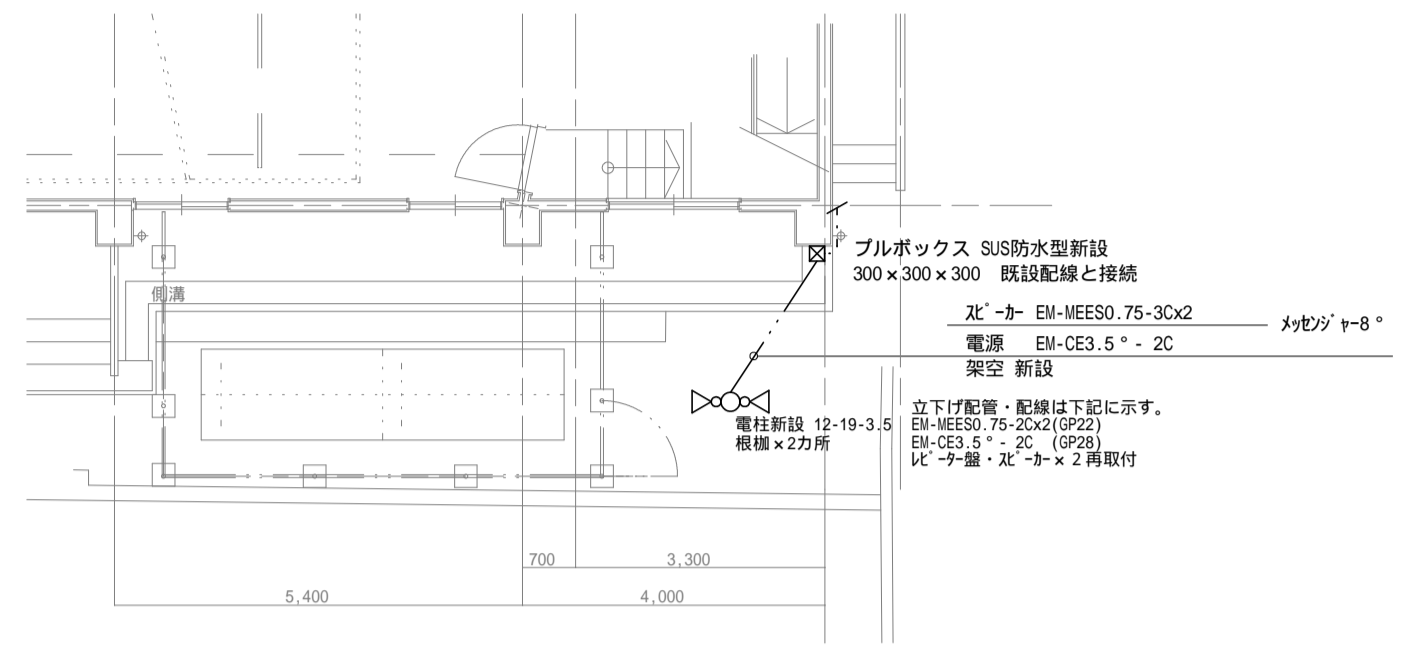
南立面図

東立面図

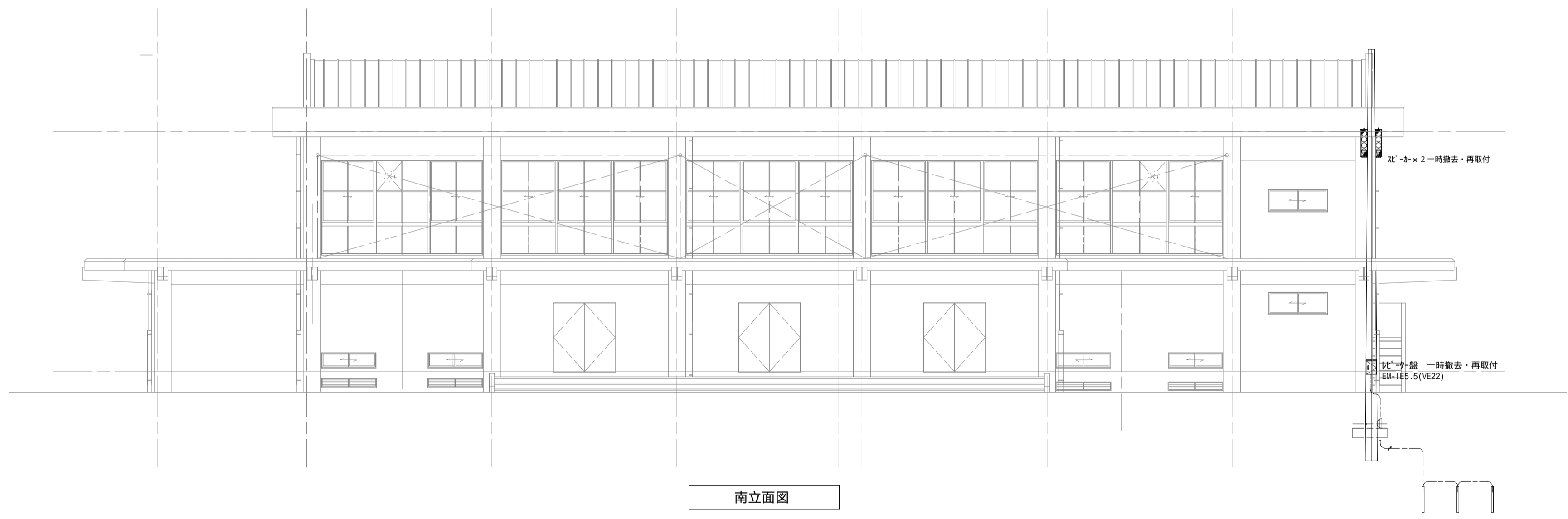
株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第L39号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号 ()	名称 小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. E - 1 2
		構造/設備関係規定 への法適合を確保した 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号 ()	図名 改修後外壁立面図	縮尺 A2: 1/100 A3: -



撤去平面図



改修平面図



南立面図

一次撤去・再取付

<p>アコースティックビームスピーカー</p>	<p>北'-カ-盤</p>																								
<table border="1"> <tr><td>スピーカーユニット</td><td>18cmダイナミック型 x4</td></tr> <tr><td>全輸入力</td><td>20 W/15 W/10 W/7.5 W</td></tr> <tr><td>出力再生レベル</td><td>95 dB/90 (1m)</td></tr> <tr><td>周波数特性</td><td>130-10,000 Hz</td></tr> <tr><td>入力インピーダンス</td><td>500 Ω/70 Ω/1 k Ω/1.3 k Ω</td></tr> <tr><td>パワフル正電</td><td>パンチングメタル</td></tr> </table>	スピーカーユニット	18cmダイナミック型 x4	全輸入力	20 W/15 W/10 W/7.5 W	出力再生レベル	95 dB/90 (1m)	周波数特性	130-10,000 Hz	入力インピーダンス	500 Ω/70 Ω/1 k Ω/1.3 k Ω	パワフル正電	パンチングメタル	<table border="1"> <tr><td>ボックス</td><td>SOR16-34 (日東工業製)</td></tr> <tr><td>ボデー ドア</td><td>SIS-304 11.5</td></tr> <tr><td>塗装色</td><td>S77/112(付'-'-)半艶</td></tr> <tr><td>コネクタ</td><td>XL83-3877 x1</td></tr> <tr><td>AC配線</td><td>XL83-3177 x1</td></tr> <tr><td>AC配線</td><td>WH142 x1</td></tr> </table>	ボックス	SOR16-34 (日東工業製)	ボデー ドア	SIS-304 11.5	塗装色	S77/112(付'-'-)半艶	コネクタ	XL83-3877 x1	AC配線	XL83-3177 x1	AC配線	WH142 x1
スピーカーユニット	18cmダイナミック型 x4																								
全輸入力	20 W/15 W/10 W/7.5 W																								
出力再生レベル	95 dB/90 (1m)																								
周波数特性	130-10,000 Hz																								
入力インピーダンス	500 Ω/70 Ω/1 k Ω/1.3 k Ω																								
パワフル正電	パンチングメタル																								
ボックス	SOR16-34 (日東工業製)																								
ボデー ドア	SIS-304 11.5																								
塗装色	S77/112(付'-'-)半艶																								
コネクタ	XL83-3877 x1																								
AC配線	XL83-3177 x1																								
AC配線	WH142 x1																								

株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第139号	板橋 品一 一級建築士登録 第213806号	構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 大臣 ()	名称 小倉小学校体育館空調設置ほか改修工事	No. E - 13
構造/設備関係規定 への法適合を確認した 一級建築士登録 大臣 ()				縮尺 A2: 1/100 A3: -	